

明治三十二年開設シタル鹿兒島縣主催第十回九州沖  
繩八縣聯合共進會及青森縣主催第三回奥羽六縣聯合  
物産共進會へ本省ヨリ派遣セラレタル各審査長審査  
官ノ提出ニ係ル審査復命書ハ各種出品ニ就キ其精粗  
優劣ヲ審査評論シタルモノニシテ産業改良上裨益ス  
ル所尠ナシトモス依テ之ヲ印刷ニ附シ汎ク當事者ニ  
頒チ以テ參考ノ資料ニ供ス

明治三十二年十一月



農商務大臣官房秘書課



府縣聯合共進會審查復命書

目次

鹿兒島縣主催第十回九州沖繩八縣聯合共進會

審查長復命

一 全丁

米及椎茸審查復命

二十五丁

大豆及製造煙草審查復命

三十八丁

繭及生絲審查復命

五十七丁

紅茶及綠茶審查復命

九十四丁

砂糖審查復命

百五丁

織物審查復命

百十六丁

紙、花蔴及木蠟審查復命

百三十六丁

陶磁器審查復命

百六十六丁

水產物審查復命

百七十五丁

附

規則

百八十二丁

目次



褒賞一覽表

百九十四丁

青森縣主催第三回奥羽六縣聯合物産共進會

審査長復命	二百三丁
米審査復命	二百六丁
麥及果實審査復命	二百二十八丁
大豆及麻審査復命	二百四十六丁
蠶種、繭及生絲審査復命	二百五十六丁
織物審査復命	二百六十七丁
漆器及清酒審査復命	三百丁
水産物及罐詰審査復命	三百十一丁
牛馬審査復命	三百二十六丁

附

規則

褒賞一覽表

三百三十一丁  
三百三十九丁

第十回九州沖繩八縣聯合共進會復命書

本年二月十日ヨリ三月二十一日迄日數四十日間鹿兒島縣鹿兒島市ニ於テ第十回九州沖繩八縣聯合共進會ノ開設アリ不肖草其審査長ヲ命セラル即チ開會ニ先チテ該地ニ出張シ主催縣知事ト審査ニ關スル諸般ノ協議ヲ遂ケ各審査官ト評議ノ上審査規則並ニ各種ノ審査法ヲ左ノ通り協定シ二月十三日ヨリ審査ニ著手シ三月三日ニ至リ現品ノ審査完ク了リ全月十五日褒賞授與式ヲ舉行セラレタリ

第十回九州沖繩八縣聯合共進會審査規則

- 第一條 審査ハ本會規則ニ依リ先ツ現品ニ就テ其優劣ヲ鑑定シ更ニ申告書等ニ徴シテ其業況等ヲ調査シ擬賞スルモノトス
- 第二條 審査法ハ審査官之ヲ定メ審査長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第三條 審査ハ三名以上ノ審査員出席スルニアラサレハ之ヲ爲スコトヲ得ス  
審査員中病氣其他ノ事故ニ依リ缺席者アリテ前項ノ定數ニ充タサルトキハ審査官ハ審査長ノ承認ヲ得テ隨機ノ處分ヲ爲スヘシ
- 第四條 審査官ハ本則ニ違背スル審査員ニ對シ審査場ヨリ退去ヲ命スルコトヲ得此場合ニ於テハ直チニ其趣ヲ審査長ニ報告スヘシ
- 第五條 審査官ハ審査員ノ附點ヲ不當ト認ムルトキハ其理由ヲ説明シテ再審査ニ附スルコトヲ得



第六條 審査員ハ自己ノ出品若クハ自己ノ協賛シタル出品ノ審査ニ參與スルコトヲ得ス此場合ニ於テハ當該審査員ハ審査場ヲ退出スヘシ

第七條 審査ハ公平ニ之ヲ行ヒ苟モ偏頗ノ所爲ナキハ勿論之ニ關スル事項ハ一切漏泄スルコトヲ得ス

第八條 審査員ハ現品鑑定ヲ了リタル日ヨリ三日以内ニ審査概評ヲ當該審査官ニ提出スヘシ

第九條 審査ハ三月五日マテニ完了シ擬賞ノ手續ヲ爲スヘシ

米審査法

一、鑑定

第一項 品質

子實ノ堅軟、肥瘠、青米、赤米ノ有無等ヲ鑑定ス

第二項 色澤

色澤ノ純雜、光輝ノ有無ヲ鑑定ス

第三項 形狀

子實ノ整否、堅筋ノ深淺等ヲ鑑定ス

第四項 乾燥

乾燥ノ良否ヲ鑑定ス

第五項 調製

粃米、碎米、土砂等ヲ混スルヤ否ヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ状態並ニ出品者ノ業況等ヲ調査ス

大豆審査法

一、鑑定

第一項 品質

子粒ノ硬軟肥瘠、外皮ノ厚薄等ヲ鑑定ス

第二項 色澤

色澤ノ單雜良否等ヲ鑑定ス

第三項 形狀

形狀ノ整否ヲ鑑定ス

第四項 乾燥

乾燥ノ適否ヲ鑑定ス

第五項 調製

大豆審査法 爾審査法



屑豆、碎豆、土砂等ヲ混スルヤ否ヤヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ状態、出品商ノ業況等ヲ調査ス

繭審査法

一、肉眼鑑定

第一項 色澤

固有ノ色澤ヲ損セス齊一ナルヤ否ヤヲ鑑定ス

第二項 形状

各種類固有ノ形状ヲ有チ大小不同ナク縮緬粗密ナク製絲ニ適セルヤ否ヲ鑑定ス

第三項 緊緩

組織ニ粗密ノ差ナク繭層ノ硬軟宜シキニ適セルヤ否ヲ鑑定ス

第四項 殺蛹及貯蔵

殺蛹ノ時期貯蔵ノ適否ヲ熟察シ繭固有ノ質ヲ損セス蛹体ニ異狀ナク微菌等ノ寄生ナキヤ否ヲ鑑定ス

第五項 評價

前各項ヲ熟察シ壹石ノ價格ヲ鑑定ス

二、器械鑑定

第一項 絲長

繭三顆ヲ解舒シ絲織ノ長短ヲ鑑定ス

第二項 織度

繭三顆ノ絲量ヲ衡リ織維ノ細太ヲ鑑定ス

第三項 類節

繭三顆ヲ解舒シ檢尺器百回ニ對スル類節ノ多寡ヲ鑑定ス

第四項 切斷

繭三顆ヲ解舒シ切斷ノ多少ヲ鑑定ス

第五項 解舒

繭三顆ヲ解舒シ線絲ノ難易ヲ鑑定ス

三、調査

本業ノ状態及出品者ノ業況等ヲ調査ス

生絲審査法

一、肉眼鑑定

生絲審査法



第一項 色澤

総ニ表裏ノ差ナク色澤純清ナルヤ否ヲ鑑定ス

第二項 束装

結束、束絲、結留、力絲及総ノ大小等ノ適否ヲ鑑定ス

第三項 絡交

総耳ノ厚薄鋭角ノ適否及絡交ノ整否ヲ鑑定ス

第四項 評價

品質ノ良否需用ノ適否ヲ熟考シ百斤ニ對スル價格ヲ鑑定ス

二、器械鑑定

第一項 再練

再練ノ難易切斷ノ多少ヲ鑑定ス

第二項 織度

檢尺器二百回ニ對スル絲量ヲ衡リ織度ノ均否ヲ鑑定ス

第三項 類節

檢尺器百回ニ對スル類節ノ多少ヲ鑑定ス

第四項 強力及伸度

「セリメートル」ヲ以テ強力及伸度ノ優劣ヲ鑑定ス

三、調査

本業ノ状態及出品者ノ業況等ヲ調査ス

綠茶審査法

一、鑑定

第一項 形状

茶ノ細太伸縮整否緊緩篩分ノ如何ヲ鑑定ス

第二項 色澤

茶ヲ黑色ノ漆盆ニ盛リ其潤澤枯燥碧黃等ヲ鑑定ス

第三項 水色

茶量七分ヲ茶碗ニ入レ沸湯九勺ヲ注キ五分間ヲ經テ茶滓ヲ除キ水色ノ碧黃清濁不純物ノ多少等ヲ鑑定ス

第四項 蒸熬

茶滓ヲ檢シテ蒸熬ノ過不及葉狀ノ毀損等ヲ鑑定ス

綠茶審査法



第五項 香氣

茶量七分ヲ茶碗ニ入レ沸湯九勺ヲ注キ茶葉ノ開放スルヲ度トシ匙ヲ以テ茶葉ヲ抄ヒ其氣ヲ吸嗅シ又茶汁ノ氣ヲ吸嗅シテ其強弱燻焦芬藉等ヲ鑑定ス

第六項 味

茶量七分ヲ茶碗ニ入レ沸湯九勺ヲ注キ五分間ヲ經テ茶滓ヲ除キ茶汁ヲ含味シテ其甜和苦澁淡泊等ヲ鑑定ス

第七項 貯藏

茶ノ色澤香氣味水色ニ依リテ貯藏ノ適否ヲ鑑定ス

第八項 需要

茶ノ形狀色澤香味水色等ニ依リテ内外需用ノ廣狹ヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ狀態出品者ノ業況等ヲ調査ス

紅茶審査法

一、鑑定

第一項 形狀

茶ノ長短細太緊緩及篩分ノ如何ヲ鑑定ス

第二項 色澤

茶ヲ黑色ノ漆盆ニ盛リ其潤澤枯燥濃紅赤黃雜駁等ヲ鑑定ス

第三項 水色

茶量七分ヲ茶碗ニ入レ沸湯九勺ヲ注キ五分間ヲ經テ茶滓ヲ除キ水色ノ紅黃濃淡、清濁不純物ノ多少等ヲ鑑定ス

第四項 香氣

製茶七分ヲ茶碗ニ入レ沸湯九勺ヲ注キ茶葉ノ開放スルヲ度トシ匙ヲ以テ茶葉ヲ抄ヒ其氣ヲ吸嗅シ又茶汁ノ氣ヲ吸嗅シテ其強弱燻焦芬藉等ヲ鑑定ス

第五項 味

茶量七分ヲ茶碗ニ入レ沸湯九勺ヲ注キ五分間ヲ經テ茶滓ヲ除キ茶汁ヲ含味シテ其甜和苦澁淡泊等ヲ鑑定ス

第六項 萎凋

茶滓ヲ檢シ葉色ノ黑紅毀損ノ多少皺條ノ如何等ニ依リテ其適否ヲ鑑定ス

第七項 奄蒸

紅茶審査法



茶葉ノ狀ヲ檢シテ葉色ノ紅褐紅黑葉皮ノ柔剛等ヲ以テ其適否ヲ鑑定ス

第八項 貯藏

茶ノ色澤香氣味水色等ニ依リテ貯藏ノ可否ヲ鑑定ス

第九項 需要

茶ノ形狀水色香氣味等ニ依リテ外國需要ノ廣狹ヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ狀態出品者ノ業況等ヲ調査ス

砂糖審査法

第一種 黑砂糖（白下糖以外ニ於ケル初製  
黒褐色糖ノ全般ヲ含ム）及白下糖

一、肉眼鑑定

左記項目ノ規定ニ從ヒ別ニ說示スル所ノ施術概例ニ準シテ現品ノ鑑定ヲ行ヒ當該附點標準ニ照ラシテ相當ノ附點ヲナス

第一項 臭味

臭ノ有無、種類又ハ其程度、味ノ濃淡、種類又ハ其程度ノ如何ヲ鑑定ス

第二項 色澤

色澤ノ良否、同不同、又ハ其程度ノ如何ヲ鑑定ス

第三項 蜜濕

蜜分濕分ノ多少又ハ粘着力ノ強弱及其程度如何ヲ鑑定ス

第四項 結晶

結晶ノ細大又ハ其同不同ノ如何ヲ鑑定ス

第五項 石灰

石灰使用ノ適否又ハ其程度ノ如何ヲ鑑定ス

第六項 火度

火度ノ適否又ハ其程度ノ如何ヲ鑑定ス

第七項 雜物

挾雜物ノ程度若クハ其種類ノ如何ヲ鑑定ス

二、分析鑑定

肉眼鑑定ニテ優劣ヲ決定シ難キ時若クハ疑義ニ涉ルヘキ場合アルトキハ左ノ規定項目ノ全部若クハ一部ニ據リテ特ニ分析鑑定ヲ施行スルモノトス

第一項 反應

砂糖審査法



- 第二項 比重
- 第三項 純度
- 第四項 右轉糖
- 第五項 甘蔗糖

三、調査

本業ノ状態出品者ノ業況等ヲ調査ス

第二種 白砂糖(二度物ニ度牛物等ヨリ三益糖ノ類ヲ含ム)

一、肉眼鑑定

左記項目ノ規定ニ從ヒ別ニ說示スル所ノ施術概例ニ準シテ現品ノ鑑定ヲ行ヒ當該附點標準ニ照ラシテ相當ノ附點ヲナス

第一項 臭味

本項ノ鑑定ハ第一種ニ於ケル當該項目ニ準ス

第二項 色澤

各當該糖ニ於ケル色合及光澤ノ適否又ハ其同不同ヲ鑑定ス

第三項 蜜濕

各當該糖ニ於ケル蜜濕ノ適否又ハ其程度ノ如何ヲ鑑定ス

第四項 結晶

結晶ノ細太、形狀、又ハ其同不同ノ如何ヲ鑑定ス

二、分析鑑定

鑑定項目ノ規定及施行ノ場合ハ第一種ノ例ニ準ス

三、調査

第一種ノ例ニ準ス

木蠟審査法

一、鑑定

第一項 蠟分

蠟分ノ多寡ヲ鑑定ス

第二項 調製

硬軟ノ適否、融解ノ難易、色澤ノ良否、龜裂ヲ生スルヤ否ヤ等ヲ鑑定ス

第三項 適用

形狀、價格ノ適否、交物ノ有無及種類、需用ノ廣狹等ヲ鑑定ス

木蠟審査法



二、調査

本業ノ状態及出品者ノ業況等ヲ調査ス

製造煙草審査法

一、鑑定

第一項 原質

燃燒、灰色、乾燥、配合等ノ良否ヲ鑑定ス

第二項 色澤、香味

色澤、香味ノ良否ヲ鑑定ス

第三項 調製

刻方、卷方、加飾等ノ良否ヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ状態出品者ノ業況等ヲ調査ス

織物審査法

一、鑑定

第一項 組織

原絲、下拵、地合等ノ適合ヲ鑑定ス

第二項 色澤

晒白、精練、染色、整理等ノ適合ヲ鑑定ス

第三項 適用

柄、丈、幅、量、價、用等ノ適合ヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ状態並ニ出品者ノ業況等ヲ調査ス

花苳審査法

一、鑑定

第一項 原質

原料ノ種類、細大、長短、強弱、硬軟、乾燥及光澤ノ良否、斑點ノ有無等ヲ鑑定ス

第二項 組織色澤

織方、晒方、著色、仕上等ノ良否ヲ鑑定ス

第三項 意匠、價格、適用

意匠ノ巧拙、丈尺ノ長短、量目ノ輕重、價格ノ當否及需用ノ廣狹等ヲ鑑定ス

製造煙草審査法 織物審査法 花苳審査法



二、調査

本業ノ状態及出品者ノ業況等ヲ調査ス

紙審査法

一、鑑定

第一項 原質

原料ノ種類、細大、長短、強弱等ヲ鑑定ス

第二項 抄造

原料ノ煮方、晒方、抄造ノ方法、糊ノ用方、地合ノ良否等ヲ鑑定ス

第三項 整理、價格、適用

寸法、重量ノ適否裁斷結束ノ整否、價格ノ當否、需用ノ廣狹等ヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ状態及出品者ノ業況等ヲ調査ス

推茸審査法

一、鑑定

第一項 品質

肉ノ肥瘠、大小、損傷ノ有無、龜裂ノ整否ヲ鑑定ス

第二項 形狀

大小不同ナク縁邊卷縮ノ程度ヲ鑑定ス

第三項 香味

香味ノ良否ヲ鑑定ス

第四項 乾燥

乾燥ノ良否ヲ鑑定ス

第五項 色澤

色澤ノ潤飾、變色ノ有無等ヲ鑑定ス

第六項 調製

塵芥、屑物等ノ混入セルヤ否ヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ状態並ニ出品者ノ業況等ヲ調査ス

陶磁器審査法

一、鑑定

紙審査法 推茸審査法



第一項 品質

坯土釉藥其他原質ノ良否及製練ノ精粗等總テ工作以前ニ係ル事項ヲ鑑定ス

第二項 工作

成坯施釉燒成ノ良否彩畫ノ巧拙顔料發色其他一般製作上ノ事項ヲ鑑定ス

第三項 意匠

形狀紋樣彩畫配色裝飾ノ良否品位ノ程度等ヲ鑑定ス

第四項 適用

用途ノ適否、耐性ノ良否、價格ノ當否、需用ノ如何等ヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ狀態並ニ出品者ノ業況等ヲ調査ス

錫審査法

一、鑑定

第一項 品質

捕獲ノ時期ニ因ル原料ノ良否ヲ鑑定ス

第二項 形狀

内外ノ需要ニ適スル形狀(截割、製伸、整理)ヲ鑑定ス

第三項 光澤

洗滌ノ淡鹹水ニ因ルト又原料ノ新陳ニ因ル光澤トヲ鑑定ス

第四項 香味

原料ノ時期ト製造ノ巧拙ニ因ル香味ヲ鑑定ス

第五項 結果

大小ノ類別ト把束ノ整否トヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ狀態並ニ出品者ノ業況等ヲ調査ス

鐵銹審査法

一、鑑定

第一項 品質

種類ニ因ル原料ノ良否ヲ鑑定ス

第二項 光澤

洗滌ノ精粗ニ因ル光澤ノ有無ヲ鑑定ス

磁陶器審査法 錫審査法 鐵銹審査法



第三項 整理

截切、穿孔、組立ノ適否ヲ鑑定ス

第四項 乾燥

貯藏ノ適否ヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ状態並ニ出品者ノ業況等ヲ調査ス

鯉節審査法

一、鑑定

第一項 品質

捕獲ノ時期ニ因ル原質ノ良否ヲ鑑定ス

第二項 形状

截割、削磨ノ巧拙ヲ鑑定ス

第三項 光澤

微付、乾燥ヨリ生スル節ノ具有スル光澤ヲ鑑定ス

第四項 乾燥

日干、火乾ニ因ル乾燥ノ適否ヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ状態並ニ出品者ノ業況等ヲ調査ス

乾飽審査法

一、鑑定

第一項 品質

種類ニ因ル原料ノ良否ヲ鑑定ス

第二項 形状

種類ニ因ル固有ノ形状ト洗滌、鹽漬、乾燥ニ因ル形状ノ異同ヲ鑑定ス

第三項 香味

種類固有ノ香味ト製造ニ因ル香味トヲ鑑定ス

第四項 光澤

日干ト火乾ニ因ル光澤ノ適否ヲ鑑定ス

二、調査

本業ノ状態並ニ出品者ノ業況等ヲ調査ス

鯉節審査法 乾飽審査法



抑、當共進會ハ其回ヲ重ムルコト茲二十回、年ヲ閱スル亦十有八年此間幾多ノ經歷ヲ積ミ會務漸ク整頓シ會場ノ構造出品物ノ配置等大ニ見ルヘキモノアリ而シテ其効果ノ如何ニ至リテハ自ラ一進一退ノ跡ナキニアラスト雖要スルニ本會カ直接間接ニ物産改良上尠ナカラサル裨益ヲ與ヘタルハ蓋シ掩フヘカラサルノ事實ナリト信ス今ヤ第十回ヲ鹿兒島市ニ開クニ當リ其出品種類ハ増加シテ米、大豆、繭、生絲、紅茶、綠茶、砂糖、木蠟、製造煙草、絹織物、綿織物及雜織物、花苳、紙、椎茸、陶磁器、錫、乾鮑、鱈鱈、鯉節ノ十九種トナリ其總點數ハ三萬千五百五十餘、人員ハ二萬四千六百三十餘ノ多キニ達スルニ至レリ是レ實ニ初回以來未ダ嘗テ見サル所ノ盛況ナリ此盛況ヲ致スモノ畢竟當局者ノ勸誘其宜シキヲ得タルモノ與ツテカアルヘシト雖抑又當業者カ本會ノ利益ヲ認メタルノ結果タラスンハアラス然レトモ物盛ナレハ弊必ス之ニ隨フハ數ノ免カレサル處本會ノ如キ亦タ此弊ヲ脱スル能ハサルノ傾向アルハ竊カニ痛慮スル所ナリ殊ニ前回ノ如キハ殆ント其弊實ノ極ニ達シ少シク心アル者ハ衷心憂慮シツ、アリトハ小官等カ鹿兒島市到著以來頻々耳朶ニ觸ル、所ナリキコレ固ヨリ一種ノ巷說信スルニ足ラサルヘシト雖事ニ審査ニ從フモノ亦大ニ省慮スル所ナカルヘカラス故ニ今回ノ如キハ殊更ニ意ヲ茲ニ注キ各審査官ト共ニ協力事ニ當リ此等弊實ヲ矯正セシムルニ是レ務メ能ク嚴正ニ能ク公平ニ審査上毫無遺憾ナカラシムルコトヲ期セリ而シテ各審査官ハ前記セル審査規則並ニ審査法ニ則リ日夜勵精以テ審査ニ從事セリ即チ其成績ニ依リテ出品者中二千百廿六人ヲ選拔シテ優等ノ擬賞ヲナシ且ツ別ニ本會規

則ニ據リ本會出品物ニ關シ功勞遺績ノ顯著ナルモノ八名ヲ選拔シテ功勞賞及追賞ヲ稟申シタリ今審査ノ成績ニ就テ本會出品物ヲ概評スレハ從來殖産上先進國ヲ以テ目セラレタル縣ニシテ却ツテ後進國ノ後ニ墮若タルモノアリ又後進國ニシテ却ツテ先進國ヲ凌駕スルモノナキニアラスト雖要スルニ各縣トモ近年農工水産業ノ改良ニ汲々タルノ跡ハ歷々トシテ出品物ノ上ニ徴シテ之ヲ知ルヲ得ヘシ就中米、製茶、織物、水産物ニ於テ最モ然ルヲ見ル若シ夫レ各種出品物ノ細評ニ至リテハ各審査官ノ復命書ニ於テ反覆之ヲ詳説セルヲ以テ今更メテ爰ニ縷述スルノ必要ナシ唯タ今回共進會ニ據リテ將來改良スルノ必要アリト感シタル點一二ヲ附記シテ以テ參考ニ供セソト欲ス

一、出品點數ニ制限ヲ設クルコト

本會ノ規則ニ依レハ出品ノ數量ニハ一定ノ制限アリト雖其點數ニ至リテハ毫無牽束スル所ナシ故ニ聯合縣中運搬ノ便アリ且ツ出品獎勵ノ行届ケル縣ニ在リテハ其點數非常ニ多シト雖其否ラサルモノアリテハ僅々數十點ニ過キササルモノアリ例令ハ今回ノ實況ニ就テ之ヲ見ルニ鹿兒島縣出品總數ハ壹萬二千餘點ノ多キニ達セルモ其他ハ少ナキハ四百餘點多キモ四千餘點ニ過キス又タ米ノ一種ニ就テ之ヲ見ルモ鹿兒島縣ハ實ニ五千二百餘點ノ多キニ達セルモ沖繩、佐賀、大分諸縣ノ如キハ僅々千點以下ニ止マレリ是固ヨリ其縣ノ大小産額ノ多少ニ之レ因ルヘシト雖其差ノ甚大ナル斯ノ如ク夫レ著シキニ於テハ審査ノ比較上彼此公平ヲ得難キノ感ナキ能ハス故ニ出品獎勵ノ方針ヲ一ニスルト全時ニ規則中ニ於

概況



テ其出品シ得ヘキ點數ノ最高限ヲ規定シ置クノ必要アリト信ス如此スルトキハ審査ノ比較上公平ヲ保  
持シ得ルノミナラス又別ニ徒ラニ出品點數ヲ多クシテ經費ヲ多大ナラシムルノ弊ヲ防クノ便アルヘシ

二、賞品ノコト

從來ノ慣例ニ依レハ褒賞ニハ金員又ハ金、銀、木杯ヲ下付セラル、ヲ以テ通常トス然ルニ金杯ノ如キ  
ハ其價格高貴ナルカ故ニ自ラ褒賞費ニ制限セラレ擬賞上意ノ如クナラサル場合ナキ能ハス則チ擬賞ノ  
際出品物ノ優劣ニ依リテ其等級ヲ定ムルハ勿論ノ事ナリト雖時ニ或ハ費用ニ拘束セラレ止ムヲ得ス一  
等ヲ二等ニ若クハ二等ヲ三等ニ下クシテ擬賞セサルヲ得サル場合往々ニシテ是レアリ是レ豈ニ擬賞ノ  
真意ナランヤ然ラハ單ニ金員ノミヲ以テ其褒賞ニ充テシカ擬賞ノ分配上ニハ其便少ナカラスト雖是レ  
亦タ宜シキヲ得タルモノニアラス何トナレハ金員ハ直ニ消費シ易ク隨テ受賞者ノ感動ヲ惹クノ効薄ケ  
レハナリ故ニ從來ノ金杯ヲ廢シテ銀杯木杯ノ二種トナシ等級ニ依リテ其大小ノ別ヲ立ツルヲ以テ最モ  
可ナリト信ス然ルキハ褒賞費ニ少ナカラサル節約ヲ行フヲ得ルヲ以テ其ノ節約シ得タル費用ヲ以テ  
褒賞ノ數ヲ増加スルニ於テハ前記セルカ如キ擬賞上ノ弊ヲ矯正スルヲ得ヘキナリ  
其他各縣ヨリ派出スルキ審査員ノ選定方法ニ就テハ毎ニ苦慮スル所ナルモ多數ノ審査官ヲ派遣シ其審  
查ノ全部ヲ舉ケテ審査官ニ於テ處理セシムルノ方法ヲ取ルコトヲ得ハ之レニ過キタル良法ナカルヘシ  
ト雖否ラサルニ於テハ何レノ方法ヲ取ルモ其弊害アルニ至リテハ一ナリ故ニ是等ハ一ニ審査長審査官

ノ殿正ナル監督ニ待ツヨリ外良策ナカルヘシ

右謹テ復命ス

第十回九州沖繩八縣聯合共進會審査長

明治三十二年七月

農商務技師 紫 藤 章

農商務大臣會福荒助殿

米及推茸審査復命書

鹿兒島縣主催第十回九州沖繩八縣聯合共進會米、推茸審査官トシテ鹿兒島縣へ出張ノ命ヲ奉シ二月二  
日熊本出發全月五日本會開設地タル鹿兒島市ニ到着シ全月十三日各審査員ト協議シテ審査法ヲ編成シ  
十四日ヨリ現品審査ニ着手シ三月十日ヲ以テ審査ヲ完了セリ小官ニ屬スル審査員氏名左ノ如シ

米審査員

- |     |        |
|-----|--------|
| 長崎縣 | 熊澤 胖七郎 |
| 福岡縣 | 安部 熊之輔 |
| 大分縣 | 生山 寛造  |
| 佐賀縣 | 中島 宇三  |
| 熊本縣 | 幸島 直言  |



鹿兒島縣	赤塚源五郎
沖繩縣	稻福藩太
推茸審査員	
長崎縣	木村隆藏
大分縣	月本小策
熊本縣	本田芳太郎
宮崎縣	青木八平
鹿兒島縣	長濱正次郎

茲ニ別紙報告書相添ヘ謹而復命致候也

第十回九州沖繩八縣聯合共進會米及推茸審査官

明治三十二年五月廿日

農事試驗場技手 石井豊吉

農商務大臣曾禰荒助殿

米審査報告

米ノ出品ハ九州沖繩八縣聯合共進會創設以來本回ヲ以テ第二回目トナス抑モ本回ニ於ケル米ノ出品點數ハ壹萬〇九百八十四點ニシテ實ニ全點數ノ三割五歩強ヲ占メタリ之ヲ前回ノ八千二百十八點ニ比ス

レハ凡ツ三割四歩ノ増加ナリトス而シテ審査ノ結果優等ノモノ三百八十一點ヲ撰拔シテ之ヲ擬賞セリ其出品人一萬〇七百八十九人ニ對スル割合ハ三歩五四トナル茲ニ一言ス可キハ聯合縣中宮崎縣ヨリ米ノ出品ナキ事ニシテ小官ノ尤モ遺憾トスル處ナリ今左ニ各縣ノ出品物ニ就キ一々概評ヲ下ス可シ

長崎縣 出品點數ハ千〇五點出品人員千〇八十五人ニシテ其内賞ヲ得タルモノ四十六人トス本縣ハ出品點數ノ多キ熊本縣ノ次ニ位スルモ種類最モ雜駁ヲ極メ形狀或ハ大粒ナルアリ或ハ小粒ナルアリ區々ニシテ一定セサルノミナラス概シテ腹白多ク或ハ赤米青米等ヲ混セルモノアリテ品質大率不良ナリ調製乾燥亦佳ナラス甚シキハ變色腐敗ノ徵ヲ呈セルモノナキニアラサルカ如キハ尤モ欠點トスル處ナリ然リト雖僅ニ北松浦壹岐二郡ノ出品ニ係ルモノニ往々米質堅硬ニシテ色澤善良頗ル見ル可キノ優品ナキニアラス要スルニ本縣ノ出品物ハ品位ノ懸隔甚シト云フ可シ當業者タルモノ宜シク右ノ欠點ニ留意シテ將來充分ノ改良を企圖スベシ

福岡縣 出品點數ハ一千〇十三點ニシテ人員九百八十二人其内賞ヲ得タルモノ五十人ナリキ抑モ本縣ハ今回ニ於テ名譽ナル一等賞受賞者ヲ出シタルノミナラス外ニ二等賞一名三等賞五名ヲ出セリ即各縣中尤モ優品ニ富ムノミナラス甚シキ不良品割合ニ少ク稍出品ノ均整ヲ得タルハ本縣ニ在リト云ナルヲ得ヌ就中優品ノ最モ多キハ糸島郡ニシテ早良、三井、朝倉、三池、山門、企救、鞍手ノ諸郡亦見ル可キノ優品ナキニアラス獨リ田川郡最モ良品ニ乏シキハ遺憾トスル處ナリ然リト雖試ニ思ヘ聯

米審査報告



合縣中優品ヲ出スハ多クハ一二ノ地方ニ止マルモ本縣ニ在リテハ殆ント縣ノ各部ヨリ稍見ルニ足ル可キ良品ヲ出セルハ蓋縣内全体ヲ通シテ一般ニ改良ノ行届ケルモノアルカ如シ要スルニ本縣ノ出品物ハ種類畧ホ一定シ粒狀整一ニシテ品質佳良ナルモ乾燥色澤未タ充分ナラサルノ欠點アリ當業者タルモノ本回ノ結果ヲ以テ満足セス益改良進歩ヲ勵精シ一層良品ノ產出ヲ圖ランコトヲ望ム

大分縣 出品點數ハ七百廿五點ニシテ其人員七百二十人内受賞者三十八人トス抑モ本縣ノ出品ハ一二等賞ニ値ヒスルカ如キ優品ナク最高ノ賞ハ速見郡ニ於テ三等賞ヲ得タルモノ二名ノミナルモ其以下ノ賞ヲ得タルモノ割合ニ多カリキ要スルニ卓越ノ優品ヲ欠クト雖品位ノ懸隔著シカラス稍均整ヲ保テリ種類ハ頗ル善ク一定シ其形狀ノ佳良ナルハ鹿兒島熊本ニ優リ福岡ニ譲ラサルモ然レトモ其欠點ヲ指摘スレハ乾燥不良色澤暗濁ニシテ光輝無ク出陳中往々變色セントスルノ徵ナキニアラサルカ如キハ最モ遺憾トスル處ナリ諸製方亦其宜シキヲ得タリト云フ可カラス審査ノ結果當業者ニ望ム處ハ充分乾燥及翻製ニ注意スルニ在リ若シ夫レ是カ改善ヲ等閑ニ附スルニ於テハ將來内外市場ニ聲價ヲ博スルコト蓋シ難カル可シ

佐賀縣 出品點數ハ八百三十一點ニシテ人員八百二十八人受賞者四十四人ナリキ該縣ノ出陳米ハ概シテ種類一定セサルノミナラス粒ニ大小不同アリ僅カニ西松浦郡一部ノ出品物ニハ見ル可キ優品ナキニアラスト雖全般ヨリ觀察スルトキハ不良米多數ニシテ品位ノ不整甚シク青米、赤米等ヲ混シ大ニ

品質ヲ害スルモノアリ乾燥調製亦充分ナラサルノ嫌アリ是ヲ以テ種類ノ一定ヲ圖ルト同時ニ充分乾燥調製上ニ留意シテ改良ヲ企圖スルハ蓋シ本縣ノ急務ナリト信ス

熊本縣 出品點數ハ一千五百八十七點人員ニ於テ一千五百六十二人此内受賞者六十四人ナリ右ノ如ク本縣ノ出品點數多キコト主催縣ニ次キ往々見ル可キノ佳品ナキニアラサレトモ大率品質色澤共ニ不良ニシテ光輝ヲ有セス其粒形亦小ニシテ腹白米ノ多キコト聯合縣中最モ甚シ要スルニ其品位ノ均整ヲ失スルヤ論ナシ而シテ優品ハ殆ント縣内ノ一地方ニ偏寄シ即チ其多分ハ菊池郡ノ出品物ニシテ其他僅カニ阿蘇郡ノ一部ニ之ヲ見ルノミ殘余ノ諸郡ニ於テハ見ルニ足ル可キ出陳無シト云フモ敢テ失言ニアラサル可キヲ信ス然リト雖概シテ種類ノ一定セルト調製其宜シキヲ得タルハ進歩ノ徵トシテ見ルニ足ル可シ要スルニ今回ノ出品ニ依リ本縣ガ由來世上ニ喧傳セラル、肥後米ノ名聲ニ對シ著シク其品位ヲ失墜セルハ甚タ遺憾ニ堪ヘサル處ナリ當業者タルモノ將來肥培乾燥ニ注意シ奮勵一番改良ヲ企圖スルニアラサレハ肥後米ノ聲譽ヲ永遠ニ維持スルコト難カル可シ

鹿兒島縣 出品點數ハ五千六百七十一ニシテ其人員五千五百七十人ナリ聯合縣中其數最モ多ク實ニ米總點數ノ五割余ニ相當セリ而シテ其内賞ヲ得タルモノ百三十七人ニシテ名譽ナル二等賞二人三等賞六人ノ受賞者ヲ含メリ從來市場ニ於ケル薩摩米ノ品位ハ甚タ低カリシカ近年上下熱心以テ米作改良ニ着手シ其日尙ホ淺キニモ係ハラス本回ノ如キ佳品ヲ出スニ至リシハ異數ノ進歩ト云ハサルヲ得ス



蓋シ當局有司勸誘獎勵其宜シキヲ得タルニ歸ス可シト雖モ亦農家平素勵精ノ致ス處タラスンハ幾ン  
 ヲ夫レ此處ニ至ルヲ得ンヤ然リト雖全般ヨリ之ヲ觀察ストキハ出陳良否ノ懸隔甚シク其優品ヲ出セ  
 ルハ僅カニ薩摩、始良、肝屬、伊佐ノ四郡ニ止マリ其他ノ諸郡ニ至リテハ乾燥不良帶色暗濁ニシテ  
 光輝ナク更ニ見ル可キノ良品ナキハ甚タ遺憾トスル處タリ但シ一般ニ種類ノ雜取ナラサルト調製不  
 良ナラサルトハ頗ル賞ス可キナリ然リ而シテ本縣米ノ欠點タル乾燥色澤ノ不良ナルハ思フニ從來ノ  
 習慣上乾燥ニ注意セサルノ結果ニ外ナラサル可シ將來當業者ハ充分乾燥ノ點ニ注意スルハ勿論益種  
 類ヲ一定シ及ヒ肥培上ニ改良ヲ加ヘ致々トシテ怠ラサルニ於テハ内外市場ニ鹿兒島米ノ名聲ヲ博ス  
 ル期シテ待ツ可キナリ當業者夫レ之ヲ勉メヨ

沖繩縣 出品點數四十二點其人員モ亦是ニ同シク其内受賞者二人ヲ出セリ如斯聯合縣中出品點數最モ  
 少ク品質乾燥色澤共ニ不良ニシテ佳品ナク從ツテ米質ノ品位尤モ劣等ノ位置ニ在リ然リト雖トモ調  
 製ニ於テ稍見ル可キノ出品ナキニアラス今后着々耕種上ニ改良ヲ加フルトキハ將來優品ヲ産スルニ  
 至ル可シ當業者ハ右ノ欠點ニ注目シ宜シク改良進歩ヲ企圖スヘシ  
 尙ホ受賞者縣別表ヲ左ニ掲ク

縣名	等級	一等	二等	三等	四等	五等	六等	合計	出品人員	受賞者歩合
長崎縣		1	1	3	3	2	2	14	105	0.44

種類	福岡縣	大分縣	佐賀縣	熊本縣	鹿兒島縣	沖繩縣	合計
一等	1	1	1	1	1	1	6
二等	1	1	1	1	1	1	6
三等	5	2	2	5	6	3	24
四等	5	3	3	4	6	4	29
五等	2	6	0	3	3	2	16
六等	2	7	2	3	1	2	15
合計	50	38	34	44	50	38	254
出品人員	92	70	88	156	55	4	425
受賞者歩合	0.509	0.528	0.532	0.410	0.444	0.476	0.354

種類  
 凡ソ稻ノ種名ヲ呼フニ地方ニヨリ一様ナラス或ハ種子取寄セ先キノ地名ヲ附スルアリ或ハ其取寄セ人  
 ノ名ヲ命スルアリ或ハ其收量ノ多寡或ハ其有スル特性ニヨリ命スル等區々ニシテ一々列舉ニ違アラス  
 從ツテ同一種類ニシテ地方ニ依リ其名稱ヲ異ニスルノ例少カラサレハ異名必スシモ異物ニアラサル可  
 シト雖モ今參考ノ爲メ各縣ニ於テ出品セル種類名(方言)ヲ擧クレハ即チ左ノ如シ但シ出品點數四五點  
 以下ノ種類ハ之ヲ省除セリ

長崎縣

三十九種

- 神力、佐賀田、五斗夜食、道海、デケズ、肥後ネジ、大グルミ、
- 大村種穀、白玉、男山、大村、四國、町田、佐賀坊主、

米實報告



長崎坊主、大グロシ、太政官、三國、ミズホ、今長者、穂増、米ノ山、筑前坊、成瀬、イセダ、彦山僧、江戸坊主、ミロク、旭、日本、モギボーズ、イロヤチツ、豊前坊主、借錢タワシ、シラサギ、サキガケ、都、カイツムリ、湯ノ浦ワセ、

福岡縣

九種

神力、萬作坊主、三國、白玉、勸業坊主、今長者、彦山、白一本、都、

大分縣

十三種

神力、白玉、中村、高砂、三國、山城、白鳥、戰爭坊主、今長者、惣五郎、五反穂、四國早、熊一、佐賀縣、十九種、神力、米ノ山、道海、赤紅屋、萬作坊主、白紅屋、卯平次、萬作坊主、白玉、白石坊主、筑前坊主、西國坊主、黒田、霜冠、四國藏、瑞穂玉、日本、三國、尾張、熊本縣、十種

神力、オマセ、塞坊、白藤、萬願寺、穂増、二千本、大阪坊主、白玉、三國、鹿兒島縣、十四種

石割、薩摩、小關、神力、白玉、穂増、金花山、白一本、三國、福富、萬作坊主、白藤、萬願寺、竹成撰、備考、薩摩ハ都ノ別名ナリ

沖繩縣

二種

赤、稻、コウジャア

今回出品セル種類ハ大略右ノ如シト雖就中各縣ニ於テ出品ノ多キ主ナル種類ヲ舉クレハ左ノ如シ

長崎縣

八種

神力、五斗夜食、道海、白玉、米ノ山、日本、借錢タワシ、カイツムリ、

福岡縣

四種

神力、萬作坊主、三國、白玉、大分縣、七種

米審査報告



神力、白玉、中村、高砂、惣五郎、三國、山城、

佐賀縣 九種

神力、米ノ山、道海、赤紅屋、白紅屋、萬作坊主、白玉、

瑞穂玉、三國、

熊本縣 五種

神力、オマセ、白藤、萬願寺、穂増、

鹿兒島縣 六種

石割、薩摩、小關、白玉、穂増、神力、

沖繩縣 二種

赤稻、コウシヤア、

右ノ如ク各縣トモ多少特有ノ種類存スレハ一種ニシテ三縣以上ヨリ出品セルモノニ就キ參考上尙ホ特  
性ノ概略ヲ記述スルハ全ク無益ノ業ニアラサル可シ

神力 米粒稍小ニシテ其品質善良ナラスト雖晚中兩稻ノ中間ニ成熟シ稻稈短矮ニシテ分蘖力強ク肥料  
過多ノ爲メ倒伏ノ患少シ故ニ肥沃ノ地ニ栽培シテ收量多キニヨリ其栽培區域甚タ廣ク沖繩縣ヲ除キ  
各縣ヨリ出品セリ

白玉、三國、中熟ニシテ米粒大ク殊ニ後者ヲ最トナス而シテ前者ハ無芒後者ハ穂ノ先端ニ短芒アリ品

質善良ナルヲ以テ沖繩縣ヲ除キ各縣ヨリ出品セリ

萬作坊主、中熟ニシテ米粒大ク無芒ニシテ品質善良鹿兒島、佐賀、福岡ノ三縣ヨリ其出品ヲ見ル  
都、中熟ニシテ米粒無芒ニシテ品質善良色澤ニ光輝アリ鹿兒島、福岡、長崎ノ三縣ヨリ出品セリ

椎茸審査報告

椎茸ノ出品ハ九州沖繩八縣聯合共進會創設以來實ニ本會ヲ以テ嚆矢トス抑モ本回出品總點數ハ二百九  
十八點ニシテ此人員二百九十二人ナリキ而シテ聯合縣中椎茸ヲ出品セシハ宮崎、大分、熊本、長崎、  
鹿兒島、福岡ノ六縣ニシテ宮崎縣最モ多ク福岡縣ハ僅カニ一點ノ出品ニ止マリ佐賀沖繩ノ二縣ハ全ク  
之ヲ缺ケリ其出品ノ種類ヲ通觀スルニ主トシテ厚葉、薄葉ニシテ熊本、宮崎ノ二縣ヨリ多少色々ノ  
出品ヲ見ル然リ而シテ是等ノ乾燥法ハ九分通り室乾燥ノモノニ係リ僅カニ一分ヲ申指乾燥ノモノトナ  
ス爰ニ審査ノ結果トシテ優等ノモノ七十四點ヲ撰別シテ之ヲ擬賞セシカ其人員ニ對スル歩合ハ二割五  
歩ニ相當セリ今各縣ノ出品ニ就キ概評スレハ左ノ如シ

長崎縣 出品點數ハ三十八點此人員三十七人ニシテ賞格ニ入リシモノ八人其出品人員ニ對スル歩合ハ

二割二歩トス抑モ本縣ノ出品ハ全部殆ント對馬國上縣、下縣ノ二郡ヨリシ往々形狀色澤共ニ其宜シ

キヲ得タル佳品ナキニアラスト雖概スルニ多數ノ出品ハ品質ニ於テ欠クル處多キ而已ナラスト乾燥色



澤不良ニシテ已ニ徹ヲ生セルモノ少カラスヲ以テ聯合各縣ニ對比スレハ品位劣等ノ位置ニ在リト云ハサルヲ得ス營業者タルモノ今後充分ノ改善ヲ要ス

福岡縣 只一點ノ出品ニシテ概評ノ價值ヲ有セス

大分縣 出品點數ハ六十八點此人員六十六人其内賞格ニ入リシモノ十六人ニシテ其出品人員ニ對スル歩合ハ二割四歩トス抑モ本縣ノ出品ハ卓越セル優品ヲ缺クト雖又甚シキ粗惡品ナク中等品多クシテ稍品位ノ均整ヲ得タリ之ヲ各縣ニ對比スルニ鹿兒島長崎ノ上ニ位シ宮崎熊本ノ下位ニ在リ概シテ乾燥ニ注意セリト雖一般ニ品質色澤不充ナルノ憾アリ特ニ營業者ノ反省ヲ望ム

熊本縣 出品點數ハ四十七點此人員四十六人内賞格ニ上リシモノハ十三人ニシテ其人員ニ對スル割合ハ二割八歩ニ當レリ抑モ本縣出品ノ品位ハ宮崎縣ノ次ニシテ即聯合縣中第二等ノ位置ニ在リ而シテ其出品物ハ卓拔ノ優品ヲ缺クト雖乾燥色澤稍見ル可キノ點多ク内外ノ需要ニ適ス可シ然リト雖未タ品質形狀ニ缺クル處少カラス營業者タルモノ將來充分ノ改良ヲ加ヘ優品ノ産出ニ勉ム可シ

宮崎縣 出品點數ハ七十八點ニシテ此人員七十七人内賞格ニ入リシモノハ二十二人其出品人員ニ對スル歩合ハ二割九歩ニ相當ス即聯合各縣中尤モ優品ニ富ミ不良品割合ニ少ク内外ノ需要ニ適ス可シ之ヲ各縣ニ對比スルニ其品位尤モ優等ノ位置ニ在リト云フ可シ然リト雖概シテ乾燥色澤未タ充分ナラサルノ嫌アリ尙一層ノ改善ヲ希望ス

思フニ木縣ハ山林ニ富ミ斯業ニ對シ將來尤モ有望ナルヲ以テ營業者タルモノ益々是カ改良發達ヲ企圖シ勝ヲ海外市場ニ占ムルノ覺悟アラント希望ニ堪ヘス

鹿兒島縣 出品點數ハ六十六點人員モ亦全數ニシテ此内賞格ニ入リシモノ十五人其出品人員ニ對スル歩合ハ二割三歩ニ相當セリ抑モ本縣出品ノ品位ハ稍劣等ニシテ之ヲ各縣ニ對比スルニ長崎縣ノ上位ニシテ大分縣ノ下位ニ在リ而シテ往々優品ナキニアラスト雖不良品多クシテ品位ノ均整ヲ失ヘリ若シ夫レ是カ欠點ヲ指摘センカ或ハ乾燥不良ノ爲メ已ニ徹氣ヲ生セルアリ或ハ往々串指乾製品ノ出陳アリテ形狀色澤ヲ害スルコト少カラス將來營業者ハ一般ニ乾燥法ニ注意シ又串指製ハ室乾製ニ改良シ益良品ノ産出ヲ企圖センコトヲ望ム

尙ホ參考トシテ左ニ縣別受賞表ヲ掲ク

縣名	等級	一等	二等	三等	四等	五等	六等	合計	出品人員	歩合
鹿兒島							八	一五	六	二二七
熊本							七	三三	四	二八三
宮崎							二	三三	七	二八五
大分							二	一六	六	二四四
長崎							一	八	七	二二二
計							六	一四	二九	二五三



大豆及製造煙草審査復命書

第十回九州沖繩八縣聯合共進會出品大豆及製造煙草審査官トシテ同會主催地ナル鹿兒島縣  
へ出張ノ命ヲ奉シ二月十四日ヨリ審査ヲ開始シ三月六日ニ全ク結了セリ審査員ノ氏名左ノ如シ

大豆審査員

長崎縣	熊澤 胖七郎
福岡縣	安部 熊之輔
大分縣	生山 寛造
佐賀縣	中島 宇三
熊本縣	幸島 直言
鹿兒島縣	赤塚 源五郎
沖繩縣	稻福 蒲太
製造煙草審査員	
長崎縣	滿井 勝次郎
福岡縣	古森 眞太郎
大分縣	滋野 定造

佐賀縣	山浦 龍太夫
熊本縣	有 働 林
鹿兒島縣	藤崎 専左工門

茲ニ別紙報告書相添ヘ謹テ復命ス

第十回九州沖繩八縣聯合共進會大豆及製造煙草審査官

明治三十二年五月十五日

農事試驗場技師 小 幡 健 吉

農商務大臣會禰荒助殿

大豆審査報告

第十回九州沖繩八縣聯合共進會出品大豆ハ其總數四千九百四十五點出品人員四千九百十九名ニシテ鹿  
兒島縣ノ出品最モ多ク殆ント其半數ヲ占メ長崎、熊本、大分、福岡、佐賀及沖繩六縣之ニ順次シ宮崎  
縣ハ出品セス而シテ審査ノ結果優等者百八十六名ヲ撰拔シテ褒賞ヲ擬セリ

抑モ今回ノ出品中最モ多ク優品ヲ出シタルハ長崎福岡及鹿兒島ノ三縣ニシテ熊本縣之ニ亞ケリ而シテ  
長崎縣ニ在リテハ北松浦及壹岐ノ二郡、福岡縣ニ在リテハ山門郡、鹿兒島縣ニ在リテハ始良郡、熊本  
縣ニ在リテハ下益城郡ノ産何レモ優等ノ位置ヲ占メタリ就中長崎鹿兒島二縣ノ如キハ種類稍一定ノ  
觀アリト雖其他ニ至リテハ往々雜駁ニシテ殊ニ福岡縣ノ如キハ最モ甚シク大分縣之ニ亞ケリ夫レ種類

大豆及製造煙草審査復命書 大豆審査報告



ヲ撰擇シ其地味ニ適シ其用途ニ應スルノ良種ヲ一定スルハ最モ緊切ニシテ實ニ種藝改良ノ先着トスヘシサレハ事ニ之ニ當ルモノ獎勵誘導以テ先ツ其地方ニ適スル良種ノ一定ヲ圖ラサル可ラス又タ種類雜駁ノ結果トシテ福岡縣ノ如キハ往々絶群ノ優品アリト雖最モ劣等ノ粗品亦タ少カラス其優劣ノ間懸隔ノ甚シキ聯合各縣中恐ラクハ其右ニ出ツルモノナカルヘシ今若シ大部分ノ方面ヨリ各縣出品ヲ觀察スルトキハ品質整一ナラスシテ劣等ノモノ多ク色澤不良ニシテ往々紫斑、暗濁、青色等ヲ交フルモノアリ乾燥亦タ充分ナラスシテ間、收穫ノ適期ヲ誤レルモノアリ殊ニ肥後大豆ニ於テ此觀アルハ惜シムヘキナリ調製ノ注意亦タ到ラサルモノ多シ當業者宜シク耕種ニ改良ヲ加ヘ乾燥調製ニ一層ノ意ヲ注キ孜孜勉以テ品位ノ均齊ト上進トヲ期スヘシ今各縣ノ出品ニ就テ概評ヲ下ストキハ左ノ如シ

長崎縣 出品八百九十五點ナリ蓋シ本縣ハ全國大豆生産首要地方十縣ノ内ニ位シ其産額ノ多キ九州第一タリ(第十三次農商務統計表ニ據ル)從テ縣別輸出ノ額亦々頗ル多シトス種類ハ稍、一定シ子實概テ小形ニシテ往々見ルヘキノ良品アリ就中壹岐郡ノ如キハ種類殆ト金大豆種ニ一定シ形狀整齊、子實豊肥ニシテ外皮ノ皺縮セルモノ甚タ少ナク色澤佳良ニシテ調製概テ宜シク全郡ヲ通シテ傑出ノ優品ヲ見スト雖亦タ群ニ落ツルノ劣品ナク其品位ノ佳一ナルハ他縣ニ多ク其比ヲ見サル所ナリ若シ夫レ耕種ト乾燥トニ尙一層ノ意ヲ注カハ今日ニ倍捷スル良品ヲ産出スルコト疑ヒナケン北松浦郡ハ品種整齊ノ點ニ於テハ壹岐郡ニ一步ヲ讓ルト雖モ其他ニ至ラハ大差ナク而モ品質ノ優等ナルモノハ此

郡ニ多シトス南高來郡ニハ僅ニ一點ノ良品アリタリト雖其他ハ北高來郡ト大同小異ニシテ見ルヘキモノ少ナク東彼杵郡、西彼杵郡、南松浦郡、上縣郡及下縣郡ノ如キハ種類稍、雜多ニシテ品質ノ佳ナルモノ少ナク色澤單純ナラスシテ紫斑、青色若クハ暗色ヲ帶フルモノ多ク調製亦タ不良ニシテ往々屑豆碎豆莢片等ヲ混セリ

福岡縣 出品三百十點ニシテ種類雜駁ヲ極メ品位均齊セスシテ優劣ノ懸隔甚シク獨リ山門郡ニ於テ往々著シキ優品アリト雖モ其他ニ於テハ品質甚タ劣リ色澤光輝ヲ欠キテ紫斑又ハ暗色ヲ帶ヒ乾燥調製ノ不良ナルモノ多シ宜シク良種ヲ撰擇シテ之カ一定ヲ圖リ以テ品位ノ均齊上進ニ努ムヘシ

大分縣 出品四百點ニシテ種類雜駁ニ形狀整一ナラス色澤多クハ暗色ヲ帶ヒ往々紫色若クハ褐色ノ斑點ヲ呈シ調製ハ概シテ可ナルモ乾燥ハ一般不良ナリ抑モ縣下直入郡及大野郡ハ舊岡藩ノ領ニ屬シ地味能ク大豆ニ適シ品質良好ニシテ産額亦少ナカラス之ヲ岡大豆ト稱シ京阪地方ニ輸出シテ好評ヲ博セリ然ルニ時勢ノ變遷ト共ニ爾後耕種次第ニ粗雜ニ流レシモ近年奮勵改良ヲ企圖スルニ至リ爲メニ産額ヲ増加シ殆ト昔日ニ劣ラサル良品ヲ産スルニ至レリト云フ今回ノ出品中最モ優リタルハ大野郡ノ産ニシテ良品ノ多キヲ占メ其他ニ至テハ各郡ノ産何レモ多クハ粗劣ニシテ見ルヘキモノ稀ナリ佐賀縣 出品二百五十六點ニシテ種類ハ稍、雜駁ニ且リ品質形狀色澤共ニ不良ノモノ多ク調製ハ殊ニ悪クシテ碎豆屑豆莢片等ヲ混セルモノ多シ就中良品トシテ見ルヘキモノハ東松浦郡ニ多ク佐賀郡之



ニ亞キ其他ニ至テハ僅ニ二三ノ受賞者アリタルノミ

熊本縣 出品六百二十一點ナリ蓋シ本縣大豆ハ肥後大豆ノ名ヲ以テ古來聲價ヲ博シ每歲京阪地方へ輸出スル高多ク上等ノ味噌及醬油ヲ製スルニハ肥後大豆ヲ原料トナスト云フ子實ハ概テ大形ノモノ多ク色澤一般ニ不良ニシテ青味ヲ呈スルモノ少ナカラス間々紫斑、灰褐色、暗色等ヲ帶フルモノアリ乾燥概シテ充分ナラス調製亦タ宜シキヲ得サルモノ多シ獨リ下益城郡ノ産ハ一般ニ品質ノ佳良ナテルモノ多ク色澤ニ欠點ナキニアラスト雖單純シテ調製亦タ可ナルヲ見ル唯乾燥ノ充分ナラサルヲ憾ム其他八代郡産ニハ稍、佳ナルモノ數點アリト雖種類多シテ子粒ノ充實セサルモノ多ク玉名郡産ノ品位概シテ之ニ亞ケリト雖一般ニ色澤不良ナリ球磨郡、鹿本郡、天草郡及宇土郡産ノ如キハ寥々トシテ見ルヘキモノ稀ナリ飽託郡、阿蘇郡、上益城郡及葦北郡ノ産ハ劣等ニシテ何レモ受賞者ナシ要スルニ本縣大豆ノ名産地ハ主ニ下益城郡ナリト雖之ヲ今回ノ出品ニ徵スルニ乾燥不充分ニシテ色澤ニ欠點アルヲ免レス當業者銳意改良ニ從事スルニアラソンハ肥後大豆ノ聲價ハ年ト共ニ減退スルニ至ラン豈ニ勉メサルヘケンヤ

鹿兒島縣 出品二千四百二十點ニシテ出水郡(大粒多シ)ヲ除クノ外ハ一般ニ小粒多ク種類稍、一定シ品質色澤調製共ニ見ルヘキモノ往々之レアリニ殊ニ始良郡ノ産ハ長崎縣壹岐郡ノ産ト相匹敵シ而モ品質ハ之ニ優ルモノ多ク種類ハ概テ金大豆種ニシテ品位整齊シ子實豊肥ニシテ色澤調製共ニ宜シク至テハ見ルヘキモノ極メテ稀ナリ

沖繩縣 出品四十三點ニシテ色澤佳良ナラサルモ子實整一ニシテ往々見ルヘキモノアリ益、屬精意ヲスルハ一層ノ良品ヲ産スルヲ得ン

今參考ノ爲メ受賞縣別表ヲ掲ケレハ左ノ如シ

縣名	出品點數	出品人員	一等	二等	三等	四等	五等	六等	合計	受賞者步合
長崎縣	八九五	八八九	〇	一	三	二	九	三	一七	〇・五二
福岡縣	三〇〇	三〇五	〇	〇	〇	三	五	五	一六	〇・五二
大分縣	四〇〇	三九六	〇	〇	〇	一	四	一	一六	〇・四〇
佐賀縣	二五六	二五六	〇	〇	〇	一	一〇	一	一六	〇・四〇
熊本縣	六二二	六四	〇	〇	三	四	七	一六	三〇	〇・四八
鹿兒島縣	二四〇〇	二四六	〇	〇	四	三	五	四	一六	〇・三三
沖繩縣	四三	四三	〇	二	一	〇	二	二	四	〇・三三
計	四九四五	四九九	〇	二	一三	一四	二二	二七	一八六	〇・三七

製造煙草審査報告

製造煙草審査報告



第十回九州沖繩八縣聯合共進會出品製造煙草ハ刻及紙卷(擬似葉卷數點アリ)ノ二種ニシテ宮崎縣ヲ除クノ外各縣何レモ出品シ其總數九百九十七點、出品人員二百十九名ナリソノ出品點數ノ最モ多キハ鹿兒島縣ニシテ全數ノ二分一弱ヲ占メ熊本縣、長崎縣、福岡縣、佐賀縣、大分縣之ニ順次シ沖繩縣ハ僅ニ數點ニ過キス而シテ審査ノ結果優等者九十一名ヲ撰拔シテ褒賞ヲ擬セリ今各縣ニ就テ概評ヲ下スニ先タチ聊カ出品全般ニ亙リテ所見ヲ述ヘント欲ス

惟フニ九州煙草刻製ノ業ハ近年ニ至リテ愈々隆盛ニ赴キ各自競フテ事業ノ精巧ヲ圖リ勞力ヲ節減シ産額ヲ増加センカ爲メニハ或ハ足踏器械ヲ用ヒ或ハ水力ヲ利用シ其規模ノ宏大ナルモノニ至リテハ往々蒸氣機械ヲ用フルモノアルニ至レリ又タ色澤香味ヲ善良ナラシメンカ爲メニハ原料ノ撰擇配合等ニ意ヲ用フルコト漸ク厚キニ至レリ斯ノ如ク當業者カ此業ニ孜孜タルノ効果ニ由リ今回ノ出品ハ概シテ良品ニ富ミ色澤香味ノ賞スヘキモノ少カラサルハ進歩ノ徵トシテ寔ニ喜フヘキナリ然レトモ此進歩タルヤ既往ニ對スル比較的ノ評語ニシテ若シソレ各縣ニ就テ區々點檢スルトキハ原料ノ撰擇并ニ配合調製ニ於テ改良ヲ要スル點少ナシトセス而モ聯合各縣ヲ通シテ品位ノ歩武整然タラサルノ憾アリ抑モ近年刻煙草ノ需要ハ世運ノ進歩ニ伴ヒテ著シク増加シ將來ニ於テ愈々多キヲ加フルハ論ヲ俟タサルナリ是ヲ以テ製造販賣者ハ熟々社會一般ノ嗜好ヲ察シテ原料ノ撰擇ニ意ヲ用ヒ配合調製ノ良法ヲ考究シ機械以テ各地ノ需要ニ應シ益々販路ヲ擴張スルノ覺悟ヲ忘ル可ラス而シテ共進會ナルモノハ其精

ヲ就ヒ其業ヲ獎メ其販路ヲ擴張スルノ一手段ニシテ實ニ一大廣告場タリ然ルニ此方面ヨリ今回ノ出品ニ就テ考察スルニ往々其目的ヲ誤ルモノアリ又タ更ニ改良ヲ要スヘキモノアリ試ミニ其概項ニ二三ヲ舉クレハ凡ソ左ノ如シ

一、著シク價格ノ不相當ナルモノアルコト 凡ソ製品ノ要トスル所ハ生産費ヲ減シテ價格ヲ低廉ニシ而モ比較的良品ヲ多額ニ製産スルニアリ共進會審査ノ方針亦タ茲ニ着眼スル處多シ是ヲ以テ多數出品者中褒賞ヲ僥倖セント欲シテ實際市場ニ於テハ高價ニ値スヘキ精品ニ附スルニ極メテ廉價ノ賣札ヲ以テスルモノ少カラス之レ從來殆ト各種出品ニ見ル所ノ通弊ナレトモ殊ニ今回出品ノ刻煙草ニ於テソノ甚シキヲ認ム固ヨリ此等ハ審按鑑識以テ適應ノ措置ヲナシ其不正ヲ矯ムルニ躊躇セザリシト雖モ出品者タルモノ深ク各自ノ德義心ニ省ミテ斷シテ斯ノ如キ不正ノ所爲ヲ改メ速カニ此惡弊ヲ打破スルニ咨ナラサランコトヲ望ム

一、箱裝ノ虛飾ニ流ル、弊アルコト 陳列品ヲ通觀スルニ鹿兒島縣出品中間、硝子張ノ箱ニ包裝シタル刻煙草ニ種々ノ意匠ヲ凝ラシテ裝飾ヲ施セルモノアリ其他亦タ此類ナキニアラス而シテ其價格ハ箱代及裝飾費ヲ含ムヲ以テ著シク高價ヲ呈シ刻煙草百目ニ付キ二圓五六十錢ニ上リ甚シキハ四圓ニ達スルモノアリ思フニ此ノ如キハ實用上何等ノ價值ナク徒ラニ床間ニ於ケル裝飾品タルニ過キスシテ共進會ノ目的ヲ解セサルモノナリ蓋シ商品トシテ人目ヲ惹カンカ爲メニ多少ノ裝飾ヲ加フルハ亦



タ欠ク可ラサルノ場合アルヘシト雖モ其裝飾タル度ヲ脱シテ虛ニ流レ且ツ其價ヲ商品ニ加フルカ如キニ至リテハ誤レルモ甚シト謂ハサル可ラス固ヨリ以上出品ノ數ハ寥々タリト雖其關係ノ及フ所尠少ナラサルヲ以テ茲ニ一言スル所以ナリ

一、包裝及品名ノ區々タルコト 包裝及品名ヲ一定シ其產地ノ何レナルヤヲ治テク世人ニ知リ易カラシメ以テ顧客ノ便ヲ圖リ其信用ヲ博スルノ必要ナルハ多言ヲ要セスシテ明ナリ然ルニ長崎福岡二縣ヲ除クノ外ハ包裝、品名何レモ區々雜多ニ亘リ一ノ規スヘキナシ當業者ソレニ縣ノ例ニ鑑ミテ之ニ倣ヒ協同一致以テ販賣ノ便ヲ開キ顧客ノ信用ヲ増進センコトヲ望ム

紙卷煙草ニアリテハ概ネ未タ幼稚ノ域ヲ脱セス其用紙ノ選擇ノ如キ卷方ノ如キ何レモ見ルヘキモノ少ナシ殊ニ加飾意匠ノ如キハ本品ニ最モ重キヲ置クモノ、一ニシテ假令ヒ其原料ニシテ優ナランモ其用紙ニシテ佳ナランモ其調製ニシテ可ナランモ加飾意匠ニシテ高尚ヲ欠ク時ハ顧客ハ一見之ヲ擯斥スヘク到底中流者以上ノ嗜好ヲ迎フル能ハサルヤ論ナシ然ルニ今回出品中鹿兒島縣授産場其他二三ノ出品ヲ除クノ外ハ加飾意匠ニ至テ見ルヘキモノ稀ナルハ最モ遺憾トスル所ナリ蓋シ當業者カ改良ヲ施スヘキモノ多シト雖モ先ツ此點ヲ以テ第一着トナサ、ル可ラスト信ス又タ擬似葉卷ヲ出品セルモノ數點アリ何レモ普通紙卷ヲ被フニ更ニ葉ヲ以テシタルモノニシテ一ハ全部ヲ一ハ燃燒部ノミヲ葉ニテ卷キタルモノ、二種アリ共ニ此等ハ虛飾ノ極ニシテ野卑ニ流レ且ツ紙ヲ被フニ更ニ葉ヲ以テシタルカ爲メ紙

焦ノ惡臭、喫煙ニ交ハリテ煙草固有ノ香味ヲ損スルノ嫌アリ斯ノ如キモノハ到底一般ノ需要ニ適スルノ望ナン

抑モ近年内國ニ於ケル紙卷煙草ノ需要ハ非常ニ増進シ從テ其製造業モ之ニ伴ヒテ長足ノ進歩ヲナシ各其精巧ヲ競ヒ事業ノ擴張ニ致タラサルハナシ其結果トシテ海外(重モニ支那及朝鮮)ニ輸出スル高モ亦タ年々少カラスト雖内國需要ノ増進ハ到底内國ノ供給ヲ以テ足レリトセス又タ社會ノ進歩ニ伴ヒテ嗜好ノ度愈々高尚ニ赴クヲ以テ外品ノ輸入沿々トシテ年一年ニ累進ノ勢ヲ呈セリ即チ明治二十五年ニハ紙卷煙草ノ輸入高十七萬余圓ナリシカ僅々數年ヲ越ヘタル昨三十一年ニ於テハ百七十二萬余圓即チ十倍ノ巨額ニ上レリ以テ内國ニ於ケル外品需要カ如何ニ増進スルカヲ知ルニ足ラン今最近七年間ニ於ケル紙卷煙草ノ輸入高ヲ示セハ左ノ如シ

明治二十五年	一七〇、六二八	明治二十九年	五七四、二三五
全	二五四、六四〇	全	九九七、二三七
全	二二七、三三二	全	一七二〇、八二七
全	二二八、八七一		

是レ最モ注意着眼スヘキ要點ニシテ將來ニ於ケル紙卷煙草ノ製造業益々多望ナリト謂ツ可シ然リ而シテ九州産紙卷煙草ハ鹿兒島縣出品ノ少數ヲ除クノ外ハ未タ進歩ノ域ニ達セスシテ中流社會以上ノ嗜好ニ適セサルモノ多ク又タ外品模造ノモノニアリテハ熊本縣ハトンボ商會ノ出品アリト雖性、改良ヲ要



スルノ點アリ以上ノ狀況ナルヲ以テ當業者タルモノ益々事業ヲ擴張シテ其産額ノ増大ヲ圖ルト同時ニ原料ヲ精撰シ香味ニ注意シ意匠卷方其他調製法ヲ改善シテ一般ノ嗜好ニ投シ以テ輸入ヲ防クノ策ヲ講シ國家經濟上大ニ資スル所アラシコトヲ望マサルヲ得ス今各縣出品ニ就テ概評ヲ下ストキハ左ノ如シ

長崎縣 本縣ノ出品ハ悉ク刻煙草ニシテ其點數百四十五、人員三十一名ナリ抑モ本縣製造煙草ハ長崎煙草ノ名ヲ以テ古來聲譽ヲ博セリ而シテ其製造ノ盛ナルハ南高來郡島原地方ニシテ所謂長崎煙草ナルモノハ主トシテ同地方産ニシテ現今ニ於テハ寧ろ島原煙草ト稱スルヲ穩當トスルカ如シ今回ノ出品亦タ皆同地方ニ限レリ蓋シ長崎市ノ如キハ去ル明治三十年ニハ其産額凡ソ七八萬圓ニ過キサリシカ南高來郡ニテハ同年ニ凡ソ五十四萬圓、昨三十一年ニハ既ニ凡ソ六十餘萬圓ノ多額ニ達セリト云フ以テ其業ノ隆盛ナルヲ推スヘシ從テ該地ニ於ケル製造業ノ如キ近年次第ニ進歩シテ頗ル觀ルヘキモノアリ即チ明治十七年頃ニハ他地方ト同シク單ニ關臺ヲ用ヒシカ販路ノ擴張ハ産額ノ増加ヲ促カシテ已マサルヲ以テ製造家ハ爭フテ器械ノ改良ヲ圖リ一人足踏器械ヨリ直チニ數人共同足踏器械ヲ用フルニ至リ或ハ水力ヲ利用シ或ハ石油發動機或ハ空氣發動機ヲ用ヒ又タ蒸氣力ヲ用フルモノアルニ至レリ加之各製造者相協同シテ包裝ヲ定メ其品位ノ等級ニ應シテ鳳凰(百目ニ付キ一圓二十錢)、二羽鶴(全一圓)、一羽鶴(全八十錢)、二疋龜(全六十錢)、一疋龜(全五十錢)、ノ商名ヲ付シテ

價格ヲ一定シ以テ顧客ニ便ヲ與フル等多年苦心經營ノ結果タルヲ知ルニ足ル其刻製ノ如キハ概ネ佳良ノ域ニ達シ殆ント間然スル所ナシ又タ原料ハ鹿兒島縣産ヲ主トシ其他各地ノ名葉ヲ配合調製シタルモノニシテ其色澤香味モ亦タ賞スヘキモノ少カラスト雖惜ムラクハ稀ニ一種ノ香味ヲ付シタルモノアリ蓋シ葉煙草ノ惡色ヲ善美ナラシメ其外觀ヲ裝ハンカ爲メニ硫黃ニテ薰蒸スルモノ世上往々アリ而シテ其製品ノ惡臭ヲ蔽ハンカ爲メニ調製ノ際香味ヲ付スルモノアリト聞ク前述製品ハ果シテ茲ニ出テタルヤ否ヤヲ詳カニセスト雖要スルニ一種ノ方法ヲ用ヒテ天然的良香ニ模擬セントスル手段ヲランカ是レ寔トニ惡ムヘキ所爲ト云フヘシ況ンヤ曩キニ明治二十八年ニ於ケル第四回内國勸業博覽會ニ於テモ稍々類似ノ手段ヲ施シタルモノアルニ於テオヤ該審查報告ニ曰ク

長崎縣島原煙草ノ如キハ煙葉ノ劣惡ナル本色ヲ掩ハンカ爲メ一種ノ手段ヲ施シテ製品ノ色澤ヲ裝ヘルモノアリ是レ不適當ノ原料ヲ用ヒテ外觀ヲ修飾スルモノト云ハサル可ラス宜シク斯ル卑劣手段ヲ捨テ、原料ノ選擇ニ注意シ正當ノ良品ヲ出スコトヲ圖ルヘシ

是レ僅々數年前ノ事タリ而シテ今ヤ亦タ前顯ノ事實ヲ認ム假令ヒ斯ル手段ヲ行ヒタルモノ殆ト數點ニ出テスト雖豈長崎煙草ノ瑕瑾ニアラストセンヤ此弊ニシテ速カニ改メスンハ延ヒテ全体ノ信用ニ關係ヲ及ホスコト決シテ尠少ニアラサルヲ以テ茲ニ之ヲ固ク將來ニ戒メ併セテ同業者カ之ニ向テ嚴ニ制裁ヲ加ヘンコトヲ望マサルヲ得ス



之ヲ要スルニ本縣ノ出品ハ著シキ劣等品ナクシテ一般ニ佳良ノモノ多ク從テ受賞歩合ノ多キヲ占メタル他縣ニ其比ヲ見サル處ナリ業ニ之ニ當ルモノ益々奮テ一層規模ヲ擴張シテ製造ヲ盛ニシ以テ生産費ヲ節減シテ多額ノ製品ヲ廉價ニ産出スルヲ努ムルト同時ニ原料ノ撰擇ニ一段ノ意ヲ加ヘ益々配合調製ヲ改善シ致々トシテ怠ラザランコトヲ要ス若シ然ラスシテ小成ニ安ンシ先進國タルノ名ニ誇リ改良進取ノ急務タルヲ忘レンカ競争ノ世界ハ一日モ其聲價ヲ維持スルヲ許サスシテ忽チ四隣ノ凌駕ヲ受ケ名聲地ニ墜テ回復其期ナキニ至ラン若シ夫レ更ニ眼ヲ轉シテ他一二縣ノ出品ヲ見ハ大ニ面目ヲ改メ進歩ノ度甚タ驚クヘキモノアリ豈深ク戒メサルヘケンヤ

福岡縣 本縣ノ出品ハ悉ク刻煙草ニシテ其點數百十四、人員四十六名ナリ其原料ハ鹿兒島縣產及本縣並ニ他ノ諸縣產ヲ使用シ往々ニシテ佳品ヲ出セリト雖配合調製宜シキヲ得スシテ色澤香味ノ不充ナルモノ少カラス包装ハ能ク一定シテ天拜(百目ニ付キ一圓二十錢)、玄海(全八十錢)、飛梅(全六十錢)、其他二三種ノ商名ヲ附シ之ニ應シテ價格ヲ一定シテ販路ノ擴張、需用者ノ信用ヲ博セントスルカ如キハ全ク營業者カ拮据經營ノ結果トシテ喜フヘキナリ唯其裝飾ノ淡且ツ粗ニ過クルハ物品其者ニ對シテ輕重ナキカ如シト雖商品トシテハ適當ノ意匠裝飾ヲ加フルコト亦タ必要ナラン抑モ本縣煙草製造ノ業ハ明治十年前ニハ頗ル盛ニシテ福岡市ニ百名許、各郡ニ百五十名許ノ製造業者アリシカ十六年七月稅則改正ノ結果、製造業者ハ一時殆ト半數ニ減シタリ然ルニ爾來漸ク人文ノ開

發ニ隨ヒ個人的事業ヲ廢シテ組合團體ヲ組織スルノ進達ニ際シ縣下各地方ニ製造業ヲ開始スルモノ續々踵起シ既ニ此時ヨリ手切法ヲ廢シ十八年頃ニハ一般ニ關臺ヲ用フルニ至リ二十一年頃ヨリ足踏機械ヲ使用シ二十二年七月再ヒ稅則改正アリシガ以來販路愈々擴張シ製造業者大ニ増加シテ殆ト二百五十名ニ達セリ而シテ二十九年ニ至リ山門郡柳川ニアリテハ會社ヲ組織シテ蒸氣機械ヲ運轉シ又々朝倉郡久喜宮村ニアリテハ一個人ニテ蒸氣機械ヲ据付ケ以テ製造業ニ銳意勵精セリ又々福岡一市三郡有志ノ者相謀リ福岡市煙草同業組合ヲ組織シタルハ去ル明治十六年ニシテ該組合ノ規約トシテ商標ニ日ノ限印ヲ專用スルコトニ確定シタリシモ爾來區々ニ流レテ普チ行ハレサリシカ愈々此年ヲ以テ商標ヲ一定シ之ヲ勵行スルコトニ一決セリ即チ既ニ述ヘタルカ如ク現今一般ニ用フル處ノ天拜、玄海、飛梅等ノ商名是レナリ斯ノ如ク製造事業ニカヲ用ヒ販路ノ擴張ヲ圖ルト同時ニ一方ニ於テハ益々原料ノ撰擇、配合調製ノ改良ニ注意セハ品位ヲ上進シ年ニ其面目ヲ改ムル蓋シ難キニアラサルヘシ

大分縣 本縣ノ出品ハ悉ク刻煙草ニシテ其點數四十三、人員二十一名ナリ原料ニハ本縣產ヲ用ヒ其配合及乾燥ハ稍々可ナルモノナキニアラスト雖概シテ充分ナラス香味ノ如キハ他縣ニ及ハサルモノ多シ然レトモ價格低廉ナルヲ以テ販路甚タ廣シ蓋シ本縣ニアリテハ藩政時代ヨリ臼杵町煙草同業組合規約ヲ設ケ製造煙草ノ原料ニハ必ス元ト臼杵ノ領地タル大野及北海部兩郡ノ葉煙草ヲ以テ充ツルコ



トニ一定シ他郡又ハ他縣產ノ混用ヲ禁セリ之レ他ナシ同郡ハ固來葉煙草ノ名產地ニシテ其名葉ヲ精撰配合シテ調製スルトキハ火付快利シテ色澤香味佳良ナルヲ以テ能ク世人ノ嗜好ニ適シ販路愈々擴張シ得ヘシトシタルヲ以テナリ而シテ若シ違約スルモノアル時ハ積立金三十圓ヲ沒收シ尙ホ組合ヲ除名スルコトヲ規定セリ亦タ昨三十一年一月ニハ縣下有志ノモノ相謀リ白杵製造煙草合資會社ヲ組織シ七馬力ノ蒸氣機關ヲ据付ケ刻臺三十挺ヲ運轉シ一日ノ製出高二千斤ニ下ラスト云フ以テ近年愈々斯業ノ盛運ニ向フヲ知ルニ足ル此時ニ際シ當業者タルモノ宜シク原料ノ撰擇ニ意ヲ注キ其配合ヲ改良シ奮勵以テ品位ノ上進ヲ圖ルヘシ

佐賀縣 本縣ノ出品ハ九十九點此人員二十一名ニシテ其内、紙卷煙草ノ出品ハ八點三名ナリ刻煙草ハ主トシテ其原料ヲ鹿兒島縣及他縣產ノ名葉ニ取リタルモノニシテ往々見ルヘキノ良品ナキニアラスト雖全体ニ於テ配合ノ適度ヲ誤レルモノ少ナシトセス思フニ藩政時代ニ於テハ本縣ノ煙草製造業ハ極メテ微々タルモノナリシカ他縣カ未タ手切法ヲ專用スル頃既ニ本藩發明ニ係ル佐賀盤ナルモノヲ利用シ明治十四年頃ヨリ改メテ一般ニ關臺ヲ用ヒ二十五年ニ至リ凡ソ六馬力ノ蒸氣機械ヲ据付ケテ製造ヲ營ムモノアルニ至リ二十九年佐賀株式會社ヲ組織シ蒸氣機械ヲ使用シテ盛ニ製造ヲナシ其他該機械ヲ用フルモノ尙ホ二三アリテ勞力ノ省減、價格ノ低廉ハ産額ノ多量ヲ圖ル等斯業ニ銳意勵精スルニ至レル寔トニ喜フヘキナリ尙ホ進ンテ原料ヲ精撰シ配合ヲ改良シ改々トシテ怠ルナクンハ

其面目ヲ一新シ聲價ヲ發揚スルヲ得ン紙卷煙草ハ原料適良ナリト言ヒ難ク卷方用紙共ニ可ナラス加飾亦タ高尚ナラスシテ到底中流者以上ノ需用ニ適シ難シ宜シク一般ノ嗜好ヲ察シテ改良ヲ加ヘ殊ニ意匠ニ最モ心ヲ用フヘシ

熊本縣 本縣ノ出品ハ百六十二點此人員四十七名ニシテ其内紙卷煙草三十九點十二名ナリ刻煙草ハ上等及中等ノ製品ニハ主トシテ原料ヲ鹿兒島縣出水產ニ取リ下等品ニハ本縣產ヲ使用セリ其品質配合ノ如キ未タ完全ナラサルモノアリ隨テ色澤香味ニ欠點アルモノ少カラスト雖佳品亦タ乏シカラス殊ニ他縣ニ卓絶セル優品ヲ出シ他ノ著名ナル製產地ヲシテ後ニ腔若タラシメタル如キ改良進歩ノ蹟明カニ見ルニ足ル其他一般ノ嗜好ヲ鑑ミ漸次器械ヲ改善シテ大ニ販路ヲ擴張スルニ努ムルカ如キ當業者ノ精勵賞スヘキモノアリ尙ホ益々奮テ協同一致以テ規模ヲ大ニシ配合調製ニ一層ノ意ヲ用ヒ今日ニ倍從スル良品ヲ製出センコトヲ望ム

紙卷煙草ハ普通品ノ外ニ熊本市ハトンボ商會ヨリ外國模造品ヲ出セリ同商會ノ出品ハ十二點其内、往々品質加飾意匠共ニ佳ナルモノアリテ頗ル意ヲ凝ラシタルモノアリト雖モ間々徒ラニ華美ニ偏シ却テ高尚ヲ欠ケルモノナキニアラス又タ卷方ノ如キ緩緊宜シキヲ得サルモノアリ調味亦タ改良ヲ要スルノ點アリ其他ノ出品ニアリテハ稀ニ佳良ノモノアリト雖概シテ香味燃燒卷方共ニ可ナラス意匠亦タ觀ルニ足ラス又タ出品中葉卷ニ擬似セルモノ三點許アリ何レモ紙卷ノ上ニ葉ヲ貼付シタルモノ



ニシテ之ヲ喫スルニ紙焦ノ臭氣ヲ混シ天然ノ香味ヲ損スルノ嫌アリ斯ノ如キハ虚飾野卑ニシテ一般ノ需用ニ適セサルハ明カナルヲ以テ宜シク改ムヘシ又タ天草郡出品ハ十點許アリシカ原料ハ勿論意匠最モ下等ナリ

之ヲ要スルニ本縣ハ刻煙草ニ於テハ近年長足ノ進歩ヲナシタリト雖紙卷煙草ニ至リテハ尙ホ幼稚ノ域ヲ脱セス宜シク原料ヲ精撰シ調製ヲ改善シ最モ意匠ニ意ヲ注クヘシ

鹿兒島縣 本縣ノ出品ハ四百二十九點、此人員百五十一名ニシテ其内、紙卷煙草百五十一點五十名ナリ刻煙草ハ概シテ本縣産ヲ原料トシ喫味ハ佳良ニシテ芳香ニ富メルモノ多シト雖原料配合上注意ノ周到ナラサルノ點少ナシトセス而シテ往々色澤不同ニシテ調製殊ニ充分ナラス乾燥モ亦タ可ナラサルモノ多シ加之出品中箱入ノモノニアリテハ間、意匠ヲ凝ラシテ種々ノ裝飾ヲ施シ徒ラニ其外觀ヲ美ニシ爲メニ價格從テ甚タ高キニ上ルモノアリ是等ハ商品トシテ實用上何等ノ價値ナシ此ノ如キ弊ハ斷シテ改ムヘシ抑モ本縣刻煙草製造事業ノ既往ニ溯リテ進歩ノ度ヲ考察センニ明治十年以前ニアリテハ製造業者ハ鹿兒島市ニ多數ヲ占メ郡ニアリテ營業スルモノ寥寥タリ而シテ當時刻製ノ法タル手切ノミニシテ器械ヲ使用スルモノ稀ナリ加之器械刻製ハ頗ル香味ヲ損ストノ世評流傳シ爲メニ甚タ之ヲ嫌厭セリ明治十年兵亂以後漸次規模ヲ擴張シテ關臺ヲ使用スルニ至レリ十六年七月稅則改正ノ結果個人的事業ヲ變シテ組合團體ヲ組織スルノ進運ニ際シ始メテ器械ノ効用ヲ知リテ其使用稍

盛大ニ赴キ十八年ニ至リ手刻ミハ全ク其跡ヲ絶チ二十年頃ヨリ縣下各地方ニ製造業ヲ開始スルモノ續々隨テ接シ二十一年頃ヨリ足踏器械ヲ使用スルニ至レリ當時縣下製造業家ハ漸ク百名以内ニ過キナリシカ二十二年七月再ヒ稅則改正アリシ爲メ一時ハ凡ソ半數ニ減セリ然ルニ爾後漸次開業スルモノ増加シ二十七八年頃ニ至リテハ縣下製造業家ノ數百六十七ニ及ヘリ而シテ現今ハ三百名ニ達シ揖宿郡内ニアリテハ會社ヲ組織シ或ハ一個人ニテ規模宏大ナルモノハ蒸氣機械ヲ使用スルモノアリ垂水及國分地方ニアリテハ水力ヲ利用スルモノアリ之ヲ要スルニ本縣ハ古來葉煙草ノ名産地ニシテ製造ニ於テハ骨ヲ其名聲著シカラヤリシカ近年社會ノ進運ニ伴ヒ製造ノ方法次第ニ發達シ其事業愈々擴張シ之ヲ昔日ニ比スルニ進歩ノ度歴然トシテ徵スヘキモノアリ

紙卷煙葉ハ出品點數多ク隨テ粗劣ノモノ多シト雖往、觀ルヘキノ佳品アリ就中授産場ノ出品ハ三十四點ノ多キニ達シ各、價格ニ應シテ品位ニ差アレトモ原料調製意匠等概シテ何レモ佳良ニシテ間然スル處少ナシ蓋シ本縣ニアリテ紙卷煙草ハ明治十四五年頃迄ハ製造スルモノ少ナク十六年ヨリ鹿兒島市ニテ五六ノ製造家アリシト雖需用極メテ少ナク從テ其供給寥々タリ十八年頃ヨリ漸次流行シ目今ニ至リテハ縣下到處煙草製造業者ニシテ紙卷ヲ製造セサルモノナキニ至レリ以テ其進歩ノ速カナルヲ知ルニ足ル今茲ニ今回紙卷煙草ノ最優品ヲ出シタル授産場業務ノ概況ヲ記シテ參考ニ供センニ同場ニ於ケル明治十八年ノ製造高ハ四百八十萬本、十九年ニハ七百五十萬本、二十年ニハ千三百



萬本、廿一年ニハ二千三百萬本ニシテ爾來廿六年迄ハ二千五百萬本乃至三千萬本ナリシカ廿七年ニハ三十三百五十萬本、廿八年ニハ二千七百六十萬本、廿九年ニハ二千七百八十萬本、三十年ニハ二千三百二十六萬五千四百五十本、三十一年ニハ二千九百七十七萬五千五百八十本ナリ而シテ當初ニアリテハ管卷ナリシカ明治十九年四月頃ヨリ器械卷ニ改メタルナリ其製造法ノ一斑ヲ述フレハ初メ製品ノ種類ニ由リテ各種ノ葉煙草ヲ撰別配合シ車臺ヲ以テ刻ミ卷工科ニ於テ卷上ケタル後ヲ検査掛ニ於テ卷方ノ良否ヲ検査シ検査済ノモノハ之ヲ指工科切工科へ廻ハシ口紙ヲ指シ又ハ口屑ヲ切ラシメ再検査ヲ遂ケタル後チ之ヲ整工科へ廻ハシ製品ノ區別ニヨリ百本入廿本入等ヲ調整整理スルモノトス要スルニ今回紙卷煙草ヲ出品シタルハ本縣ノ外熊本佐賀ノ二縣ナリシカ本縣ノ出品ハ進歩發達ノ度遙カニ該二縣ニ超ヘ將來望ヲ屬スヘキモノ多シ宜シク益々斯業ニ努力シ原料調製意匠等ニ一層ノ意ヲ注キ普テク良品ノ製出ヲ圖ルヘシ

沖繩縣 本縣ノ出品ハ僅ニ五點二名ニ過キササルヲ以テ評ヲ下シ難シ  
今參考ノ爲メ受賞縣別表ヲ掲クレハ左ノ如シ

縣名	出品點數	出品人員	一等	二等	三等	四等	五等	六等	合計	受賞者步合
長崎縣	一五	三	〇	〇	一	三	二	五	八	五七四
福岡縣	二四	六	〇	〇	一	三	二	七	一八	二六〇

縣名	出品點數	出品人員	一等	二等	三等	四等	五等	六等	合計	受賞者步合
大分縣	四三	二	〇	〇	〇	〇	二	三	五	二二八
佐賀縣	九九	二	〇	〇	〇	一	二	四	八	三八〇
熊本縣	一六二	四	一	〇	一	一	二	四	七	三六二
鹿兒島縣	四九	一	〇	〇	〇	一	二	三	七	三六二
沖繩縣	九七	二	〇	〇	〇	〇	一	一	二	二八五
計	九七	三	一	〇	一	一	二	三	六	二八五

爾及生絲審査復命書

第拾回九州沖繩八縣聯合共進會出品爾及生絲審査官トシテ鹿兒島縣鹿兒島市へ出張ノ命ヲ拜シ二月六日ヨリ審査ノ準備ニ着手シ審査法並ニ審査例則ヲ編成シ同十二日各審査員ヲ會シ審査ノ項目ヲ説明シ協議決定翌十三日ヨリ現品ノ審査ヲ開始セリ今小官ニ附屬セシ審査員ノ氏名ヲ擧クレハ左ノ如シ

- 長崎縣 貞方嘉吉郎
- 全 蒲原純三
- 福岡縣 宮下賢造
- 全 細川民次郎
- 大分縣 香川大造
- 全 和田倉吉

爾及生絲審査復命書



佐賀縣	掛橋經規
全	永田米藏
熊本縣	遠藤信常
全	長野關吉
宮崎縣	橋本猪之吉
全	竹原祐吉
鹿兒島縣	石塚萬之介
全	千田孫一

外ニ書記名助手貳拾名ヲ使役シ三月五日ヲ以テ審査ヲ完了セリ茲ニ審査ノ概況ヲ具シ別冊報告書  
相添護シテ復命ス

第拾回九州沖繩八縣聯合共進會繭生絲審査官

明治三十二年

生絲検査所技手 町 田 稷

農商務大臣會禰荒助殿

繭審査報告

繭ノ出品總數ハ一千〇十三點ニシテ鹿兒島熊本ノ二縣最多ク出品シ大分宮崎ノ二縣之ニ次キ長崎、福

岡、佐賀ノ三縣又之ニ次ケリ而シテ審査ノ結果トシテ一等賞ニ擬シタルモノ一、二等賞ニ擬シタルモノ二、三等賞ニ擬シタルモノ七、四等賞九、五等賞二十五六等賞九十合計一百三十四點ノ優品ヲ得タリ

左ニ聯合各縣出品ノ割合及肉眼審査ノ成績ヲ圖シテ一覽ニ供ス

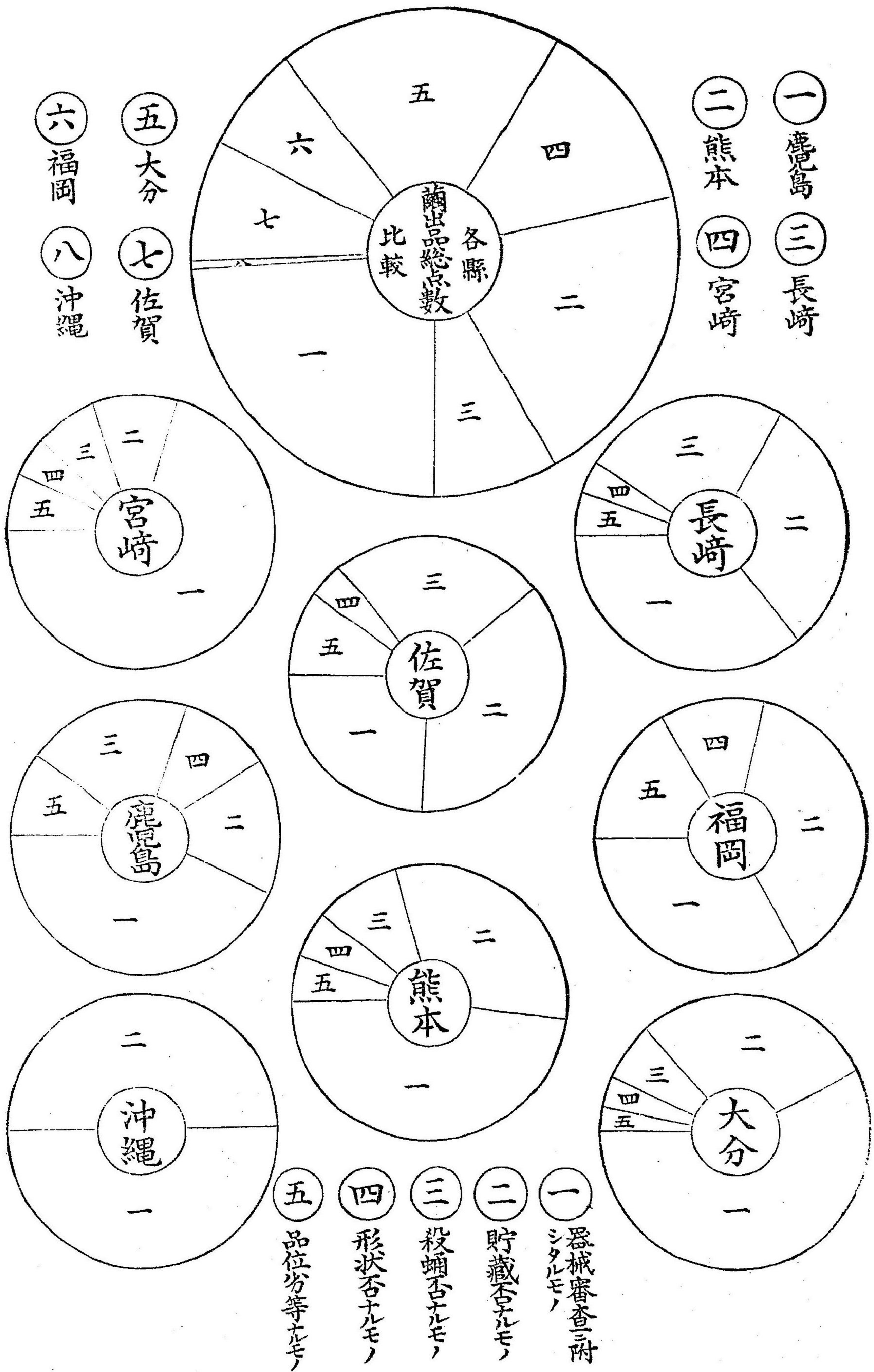
本會出品總數中品位劣等ナルカ爲メニ形狀不同ニシテ或ハ大或ハ小ニ過クルカ爲メニ殺蛹ノ時機ヲ失シ貯藏ノ方法ヲ誤リタルカ爲メニ器械審査ヲ經サリシモノ五百三十一點ニシテ其器械審査ヲ了シタルモノハ四百八十二點ナリトス

尙肉眼鑑定ニ於ケル色澤、形狀、緊緩、殺蛹及貯藏ノ四項ニ就キ逐次短評ヲ下セハ左ノ如シ

一、色澤 多クハ固有ノ色澤ヲ損シ齊一ナルモノ極メテ少キハ甚タ遺憾トスル所ナリ蓋シ上簇ノ注意周到ナラサルモノ或ハ其一因ナルヘシト雖職トシテ殺蛹ノ時機ヲ失シ乾燥ノ適度ヲ誤リ貯藏ノ方法宜シキヲ得サルノ結果ニ由ラスンハアラサルナリ

二、形狀 種類概ネ雜駁ニシテ大小一ナラス例令ハ小石丸ニシテ青熟ヨリモ大ナルモノアリ青熟ニシテ又昔ヨリモ小ナルモノアリ其他同名ニシテ異形ノモノアリ異名ニシテ同形ノモノアリ殊ニ一種類ニシテ縮縞ニ粗密アルハ勿論宛モ肥後俵ノ如ク兩端開張シテ中央ノ緊縮セルモノ殆ント樵實ノ如ク一端尖リテ他ノ一端鈍キモノ或ハ中央緩弛シテ全形略平均セル伊佛種ノ如キモノ又ハ兩端





細小ニシテ中央稍膨脹セル支那種ノ如キモノアリテ彼此相混淆セルカ如キハ其最甚シキモノナリ  
 是ヲ以テ其種類固有ノ形状ヲ具ヘ大小不同ノ差ナク齊一ニシテ線絲ニ適當セルモノニ至リテハ蓋  
 シ稀有ト謂ハサルヲ得ス

三、緊綫 組織ニ粗密ノ差アルノミナラス繭層ノ硬軟等シカラナルモノ多シ或ハ一方薄ク一方厚キ  
 片懸繭アリ或ハ手味石ノ如キ石繭アリ且俗ニ綿繭ト稱シテ組織甚シク浮鬆セルモノアリ又所謂ハ  
 フヌケト稱シテ兩端極メテ薄キモノアリ概スルニ觸感粗硬ニシテ緊緩味フヘキモノ太タ鮮シ

四、殺蛹及貯藏 殺蛹ノ時機早キニ過キテ未タ蛹ニ變セサルモノアリ遲キニ失シテ將ニ蛾ニ化セン  
 トセルモノアリ又乾燥充分ナラスシテ蛹体膨脹シ腐敗甚シク内層ヲ汚染セルモノアリ其他火度高  
 クシテ繭面ヲ損シ貯藏完カラスシテ微害ヲ蒙リタルモノ甚多シ概スルニ殺蛹ノ時機ヲ失ハス乾燥  
 ノ適度ヲ過タス貯藏ノ方法其宜シキヲ得タルモノ極メテ少シ故ニ蛹体達摩ノ如ク其色藍甲ノ如キ  
 モノニ至リテハ蓋シ罕ニ見シ所ナリ

以上ハ肉眼鑑定ノ概略ヲ陳ヘシニ過キス

抑モ本會ノ出品ハ専ラ殺蛹貯藏ノ方法ヲ過チタルヨリ徒ラニ良繭ヲ損傷セシモノ多キノミナラス寧ロ  
 全体ヲ通シテ其完全ヲ缺キタルモノト謂フヘシ九州ニ於ケル蠶業ノ未タ幼稚ノ域ヲ去ラス趨趨巡今  
 尙斯ノ如ク缺點ノ多キヲ見ルハ實ニ豫想ノ外ニ出タリ當業者タルモノ宜シク既往ヲ顧ミ將來ヲ慮リ發



憤勵精大ニ改善ノ道ヲ講シ速カニ進歩ノ途ニ上ルノ覺悟ナカルヘカラサルナリ

今別紙器械審査ノ成績ヲ表記シ以テ一覽ニ供ス

聯合各縣ノ出品ヲ總括シタル概評ハ以上陳フル所ノ如シ更ニ是ヨリ各縣別ニ概評ヲ下スヘシ

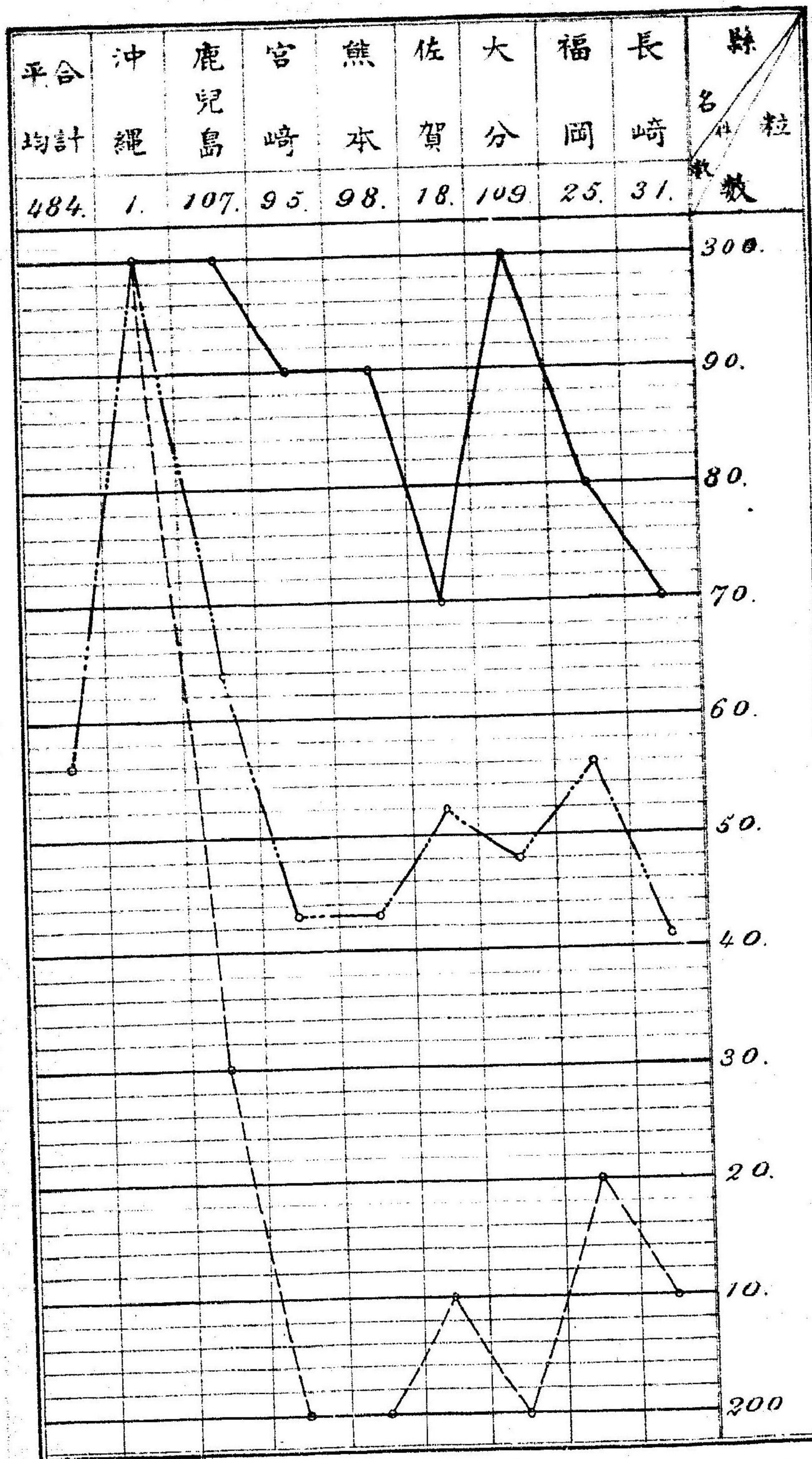
長崎縣 本縣ノ出品總數ハ八十六點ニシテ下縣郡最多ク北高來郡之ニ次キ北松浦、南高來、上縣ノ三郡又之ニケリ而シテ壹岐郡ハ東彼杵、西彼杵二郡ヨリ多ク長崎市、南松浦郡最少シ種類ハ赤熟若クハ赤熟類似ノモノ多クシテ較々一定セルノ感アリ然レトモ色澤概シテ佳良ナラス形狀大ニ過キ縮纏不齊ナリ唯緊緩ノ稍觀ルヘキモノナキニアラスト雖穀蛹ノ機之ヲ遲ニキ失ヒ乾燥ノ度之ヲ高キニ過チタルヨリ硬軟宜シキヲ得タルノ手味ヲ變シテ觸感石ノ如ク硬化セシメタルノミナラス之カ爲メ繭層ノ内外ヲ汚染焙灼シ知ラス繭ヲス絲線ヲシテ脆弱ナラシメタルモノ少カラス加フルニ貯藏ノ方法ヲ誤リタルヨリ蛹體膨脹シテ微害ヲ蒙リタルモノ殊ニ多シ

全出品中審査ノ結果トシテ二等賞ニ擬シタルモノ一、四等賞ニ擬シタルモノ一、五等賞二、六等賞八合計十二點ノ優品ヲ得タリ

別紙各郡出品ノ割合及肉眼審査ノ成績ヲ圖シテ一覽ニ供ス

本縣出品總點數中品位劣等ナルカ爲ニ形狀不同ニシテ或ハ大或ハ小ニ過クルカ爲ニ穀蛹ノ時機ヲ失ヒ貯藏ノ方法ヲ誤リタルカ爲ニ器械審査ヲ經サリシモノ五十五點ニシテ其器械審査ヲ了シタルモノ





繭器械審査成績表

其一

ハ三十一點ナリトス

尙各郡ニ於ケル審査ノ成績ヲ陳フレハ左ノ如シ

長崎市 本市ノ出品ハ僅カニ一點ニシテ色澤形狀緊緩共ニ佳良ナラサルニアラス然レトモ殺蛹貯藏ヲ誤リタルカ爲ニ遂ニ器械審査ニ附セス

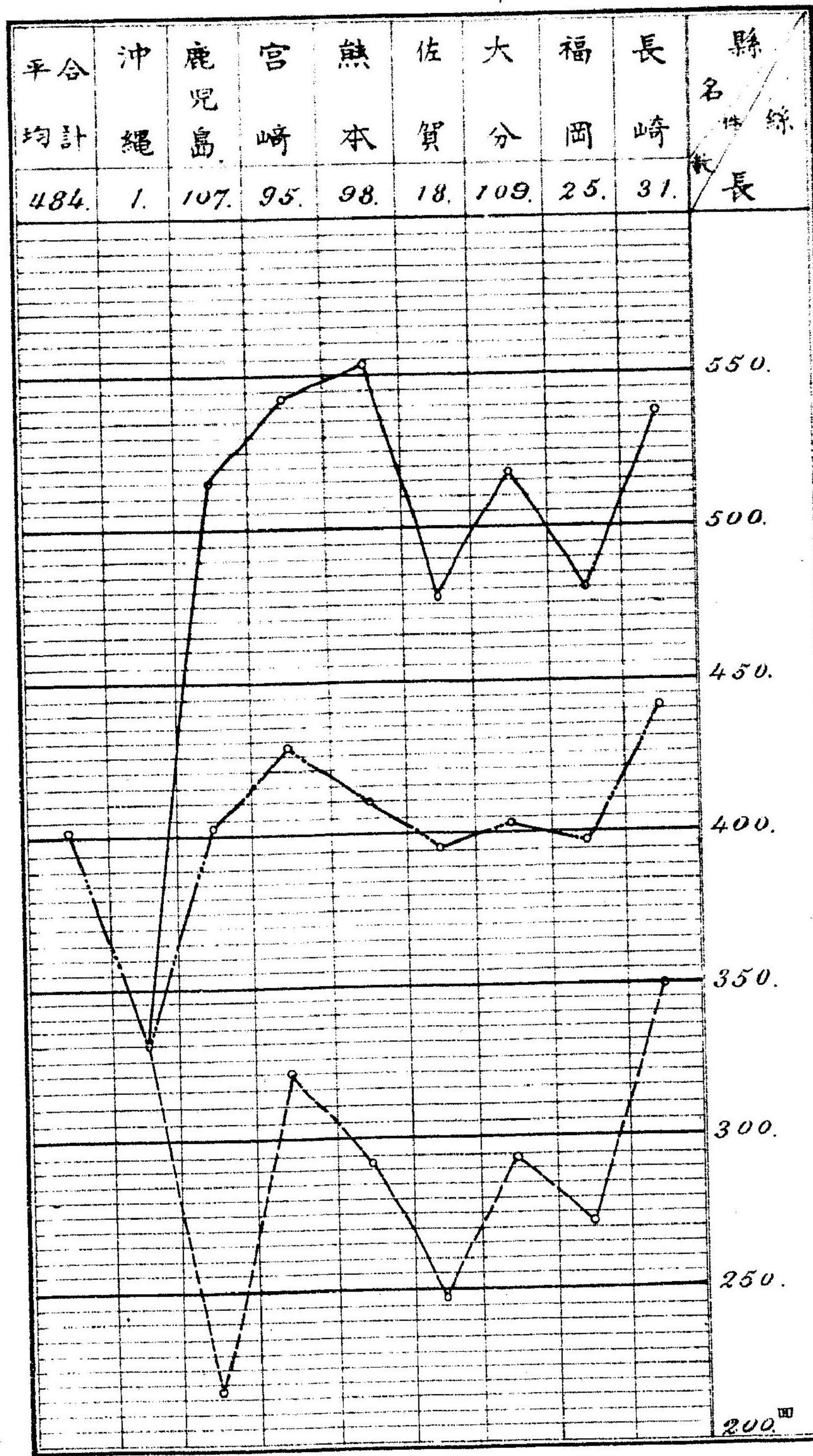
西彼杵郡 本郡ノ出品ハ三點ニシテ内器械審査ニ附シタルモノ二點ナリ色澤形狀共ニ佳良ナリト雖緊緩稍不同ニシテ硬軟宜シキニ適セス而シテ貯藏ヲ誤リタルカ爲ニ肉眼鑑定ニ於テ廢除ニ屬シタルモノ一點ナリ

東彼杵郡 本郡ノ出品ハ四點ニシテ殺蛹乾燥ノ度高キニ過キ繭殻ヲ焙灼シ變色ヲ來セルモノ一點貯藏ヲ誤リ内徹ヲ生シタルモノ三點ニシテ更ニ器械審査ニ附シタルモノナシ

北高來郡 本郡ノ出品ハ十七點ニシテ内器械審査ニ附シタルモノ十一點ナリ色澤緊緩共ニ佳良ナラスト雖形狀稍一樣ナルモノアリ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除ニ屬シタルモノハ殺蛹ノ時機ヲ失ヒ乾燥ノ適度ヲ過チタルモノ三點貯藏ヲ誤リ内徹ヲ生シタルモノ三點合計六點ナリ

南高來郡 本郡ノ出品ハ拾點ニシテ内器械審査ニ附シタルモノ七點ナリ色澤佳良ナルモノナキニアラスト雖緊緩概テ不同ニシテ形狀大ニ失セリ而シテ其最著大ナルモノニ至リテハ一升ノ粒數、百八十顆ニ足ラサルモノアリ



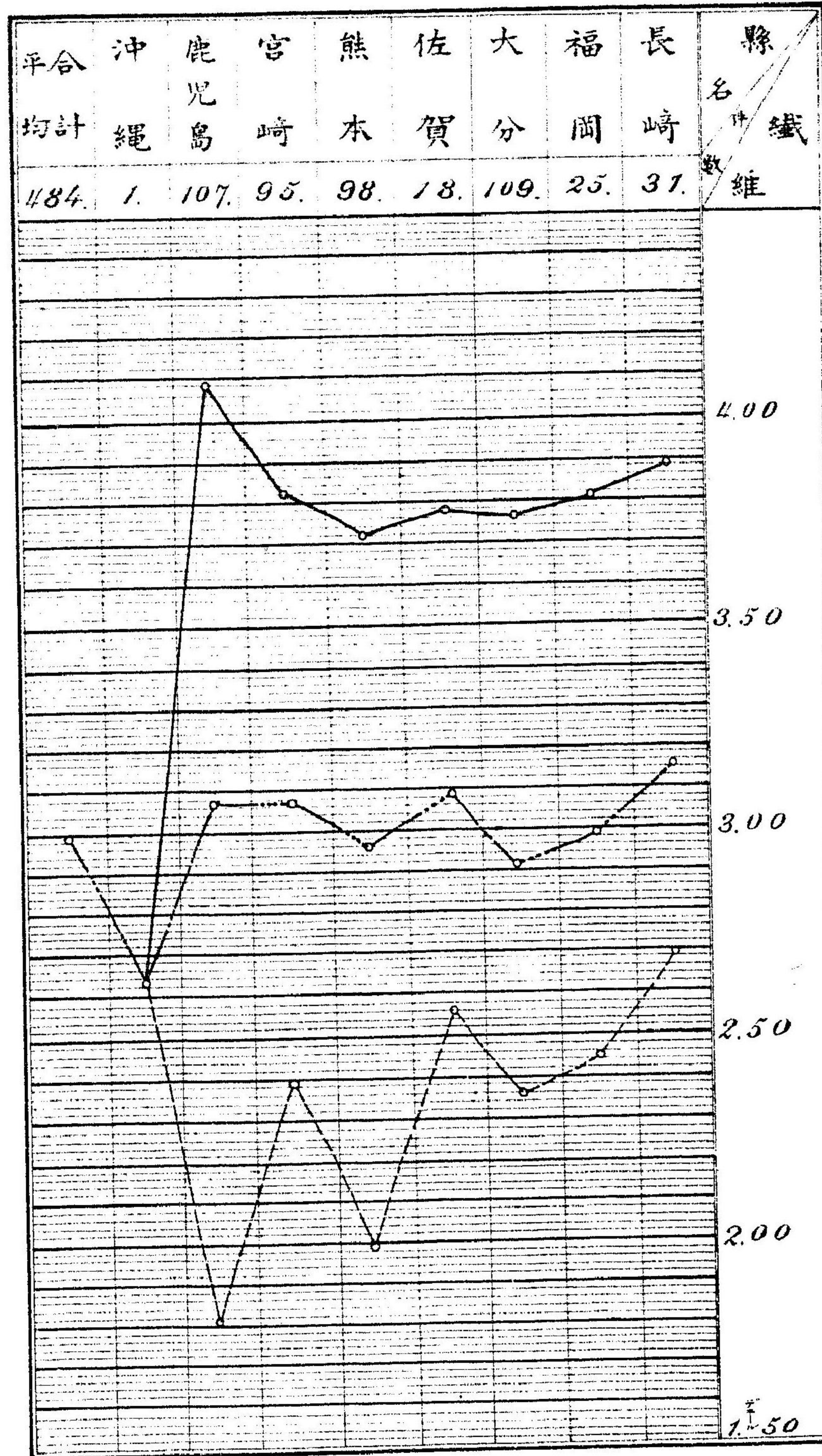


農器検査成績表

其二

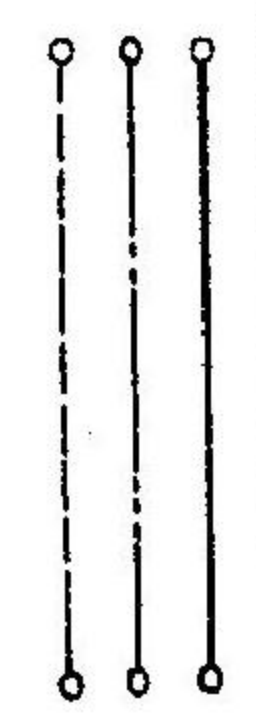
○ ○ ○  
 最平景  
 短均長





蘭器械審査成績表

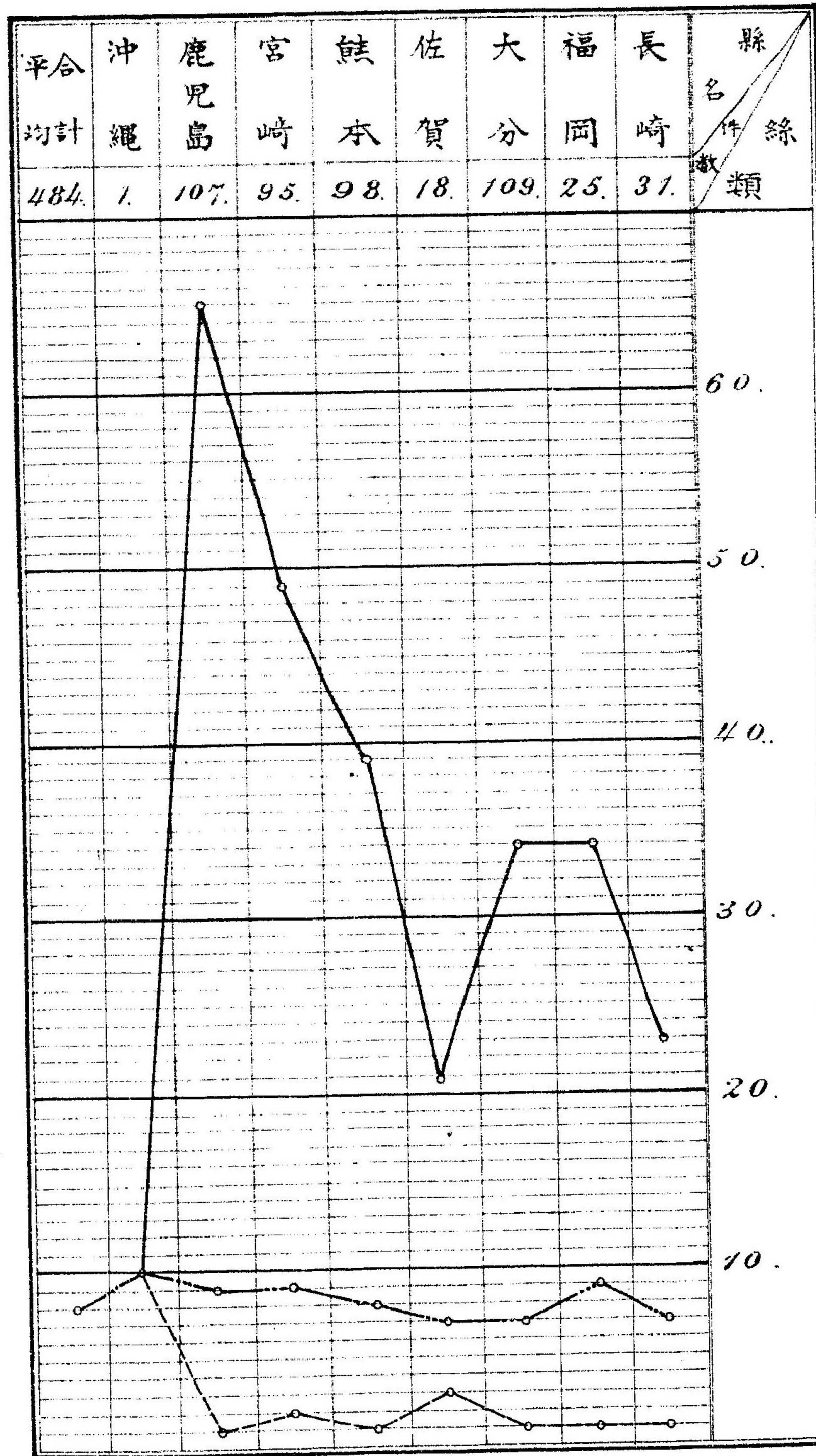
其三



最平最

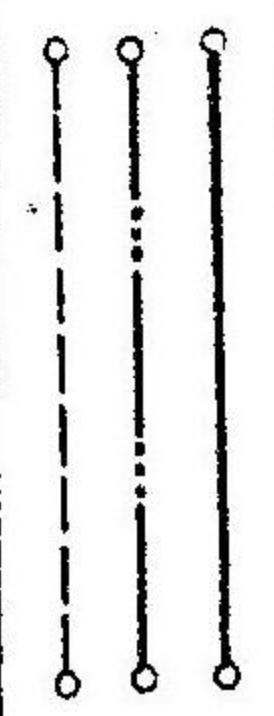
細均太





繭器機審査成績表

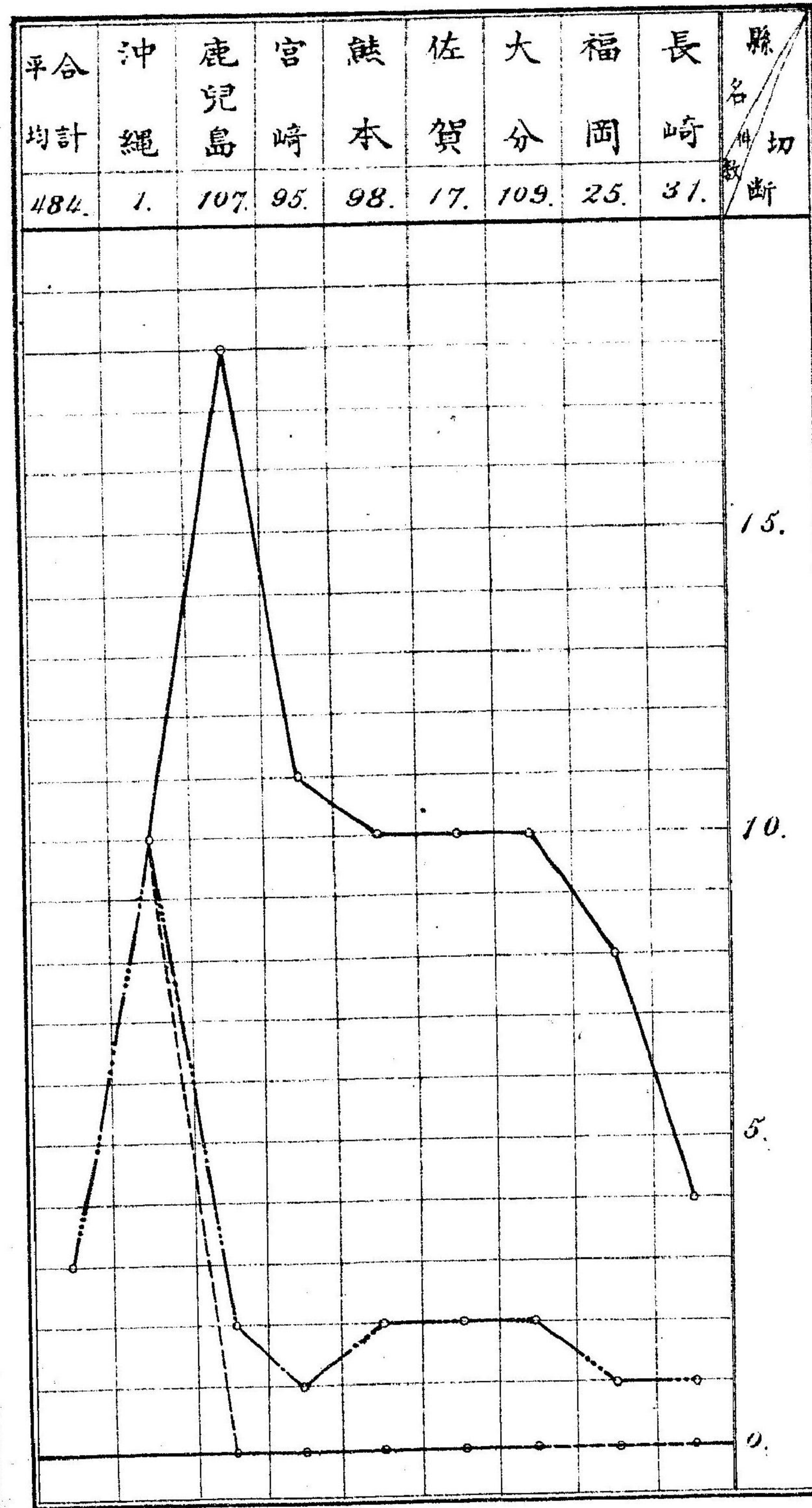
其四



最平均

最多少





繭器械審査成績表

其五

最平均  
最少均多



北松浦郡 本郡ノ出品ハ拾二點ニシテ内器械審査ニ附シタルモノ五點ナリ色澤緊緩共ニ佳良ナラスト雖形狀ノ稍觀ルヘキモノアリ然レトモ貯藏ノ方法其宜シキヲ得サルカ爲メ蛹體膨脹シテ腐殆甚シキモノ七點ノ多キニ及ヘリ

南松浦郡 本郡ノ出品ハ僅カニ一點ナリト雖色澤形狀共ニ佳良ニシテ緊緩亦稱スヘキノ點ナキニアラス唯惜ムラクハ殺蛹ノ時機稍遅レタルノ感アリ

壹岐郡 本郡ノ出品ハ六點ニシテ内器械審査ニ附シタルモノ三點ナリ色澤形狀共ニ佳良ニシテ緊緩亦宜シキヲ得タリ然レトモ貯藏ヲ誤リタルカ爲メ微害ヲ蒙リタルモノ多ク遂ニ肉眼鑑定ニ於テ廢除ニ屬シタルモノ出品點數ノ半ニ及ヘリ

下縣郡 本郡ノ出品ハ二十二點ニシテ器械審査ニ附シタルモノハ僅カニ二點ニ過キス種類概テ雜駁ニシテ形狀一様ナラス其最小巢ノモノハ一升ノ粒數、三百二十顆以上ニ及ヘルモノアリ加フルニ色澤緊緩共ニ不齊ニシテ佳良ナルモノ極メテ少ク殊ニ貯藏ノ方法其宜シキヲ得サルカ爲メ蛹體膨脹シテ内微ヲ生セルモノアリ又殺蛹ノ時機遅レタルカ爲メ菌殺ノ内部ヲ汚染シ絲線ヲ脆弱ナラシメタルモノアリ

上縣郡 本郡ノ出品ハ十點ニシテ一モ器械審査ニ附シタルモノナシ蓋シ色澤佳良ナラス且形狀緊緩共ニ不齊ニシテ品位劣等ナルモノ多ク殊ニ殺蛹貯藏甚タ不完ニシテ菌殺ヲ灼シ微害ヲ蒙リタルモノ



ノアルヲ以テナリ

今別紙器械審査ノ成績ヲ表記シ各郡相對照シテ以テ一覽ニ供ス

福岡縣 本縣ノ出品總數ハ七拾五點ニシテ京都郡ノ出品最モ多ク筑紫、築上ノ二郡之ニ次キ宗像、糟屋、企救ノ三郡又之ニ次ケリ而シテ糸島、三池ノ二郡ハ岡福、嘉穂、朝倉ノ一市二郡ヨリ多ク其最少キヲ三井郡トナス

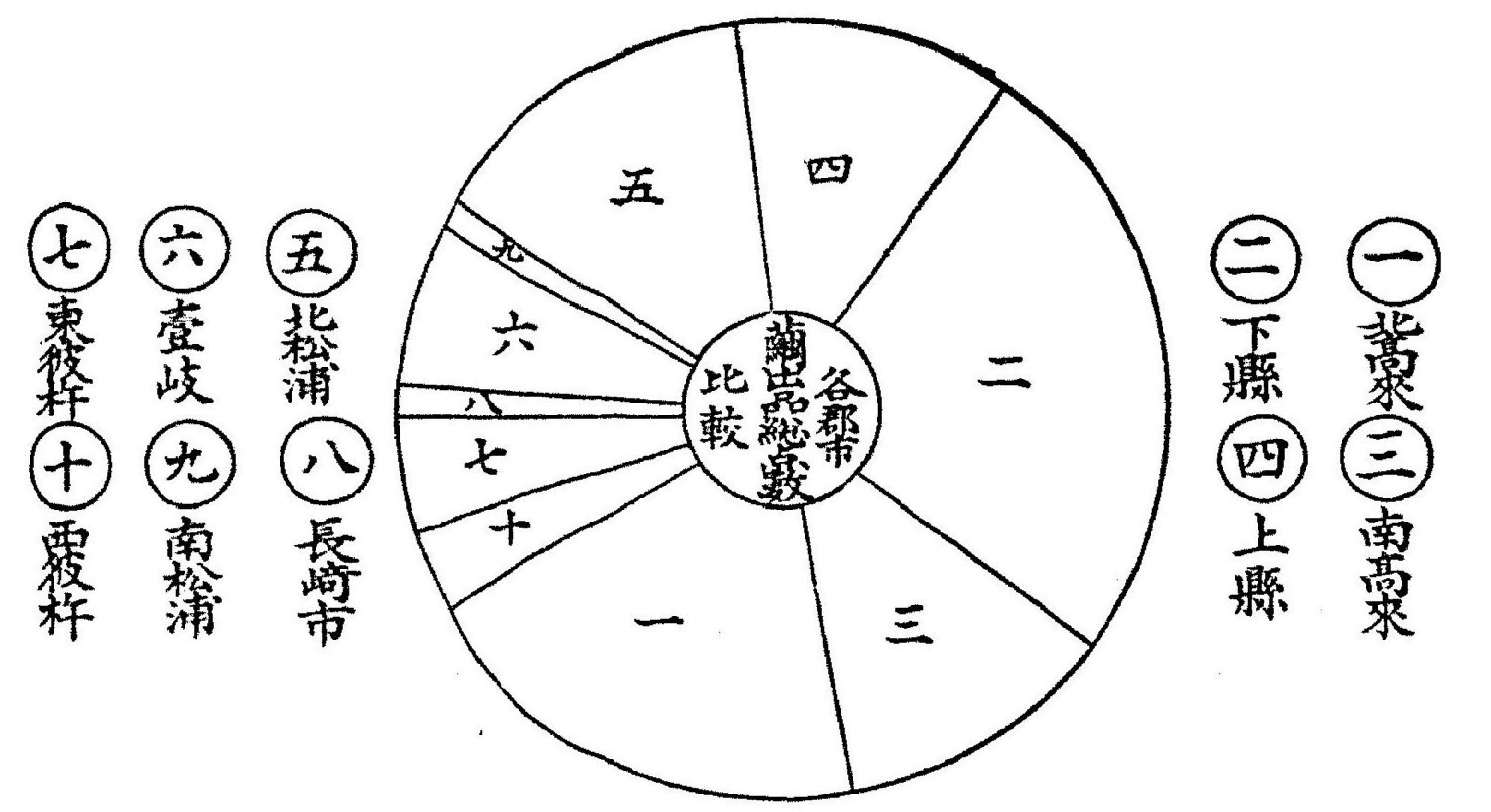
種類概ネ難駁ニシテ殆ント一定セルモノナク撰繭極メテ未熟ニシテ良否混淆セルモノ頗ル多シ品質不良色澤不美形狀過大ニシテ緊緩硬ク殊ニ殺蛹貯藏ノ方法其宜シキヲ得サルカ爲メ繭殼ヲ灼シ色澤ヲ損シタルノミナラス蛹體膨脹シテ腐穢甚タシキモノアリ

全出品中審査ノ結果トシテ參等賞ニ擬シタルモノ一、五等賞二、六等賞七合計拾點ノ優品ヲ得タリ別紙各郡出品ノ割合及ヒ肉眼審査ノ成績ヲ圖シテ一覽ニ供ス

本縣出品總數中品位劣等ナルカ爲ニ、形狀不同ニシテ或ハ大或ハ小ニ過クルカ爲ニ、殺蛹ノ時機ヲ失ヒ貯藏ノ方法ヲ誤リタルカ爲ニ器械審査ヲ經サリシモノ五十點ニシテ其器械審査ヲ了シタルモノハ二十五點ナリトス

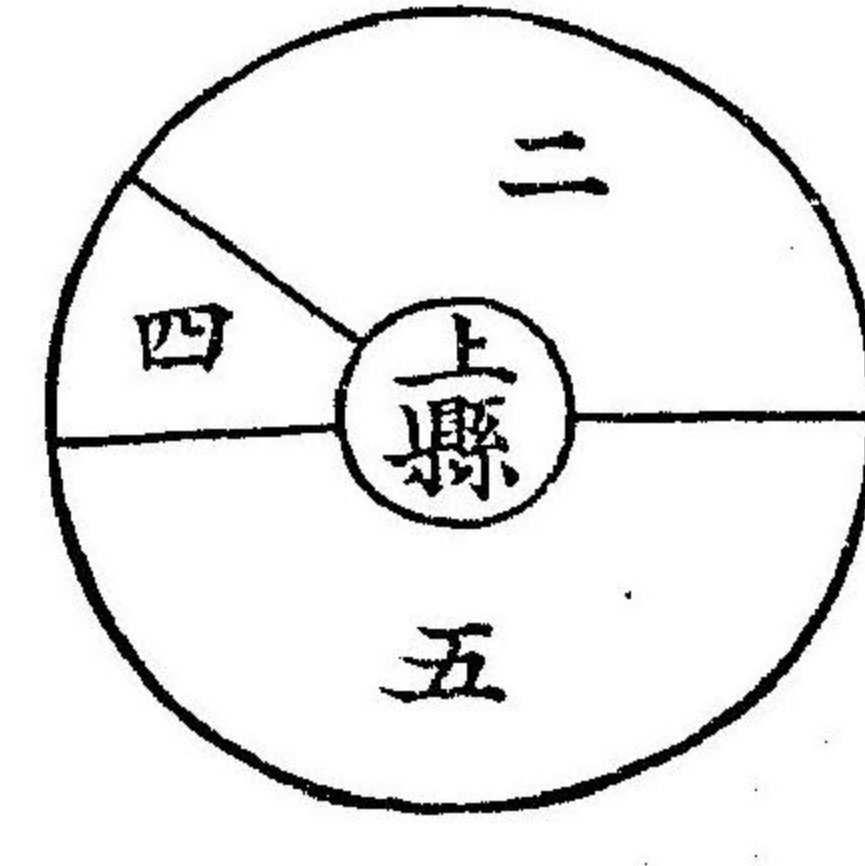
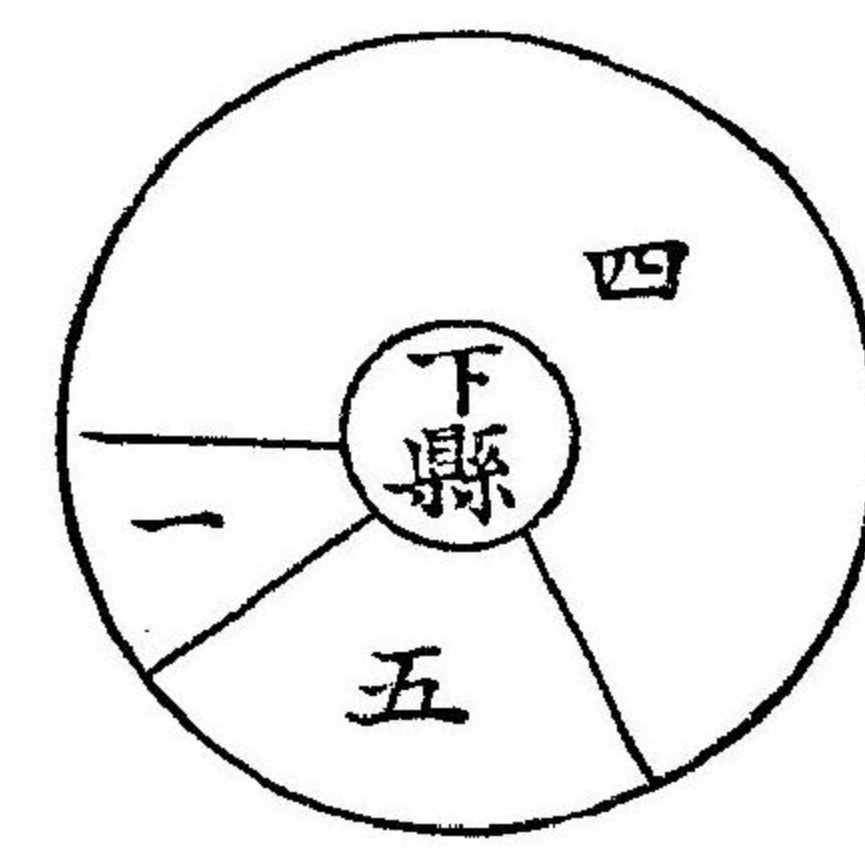
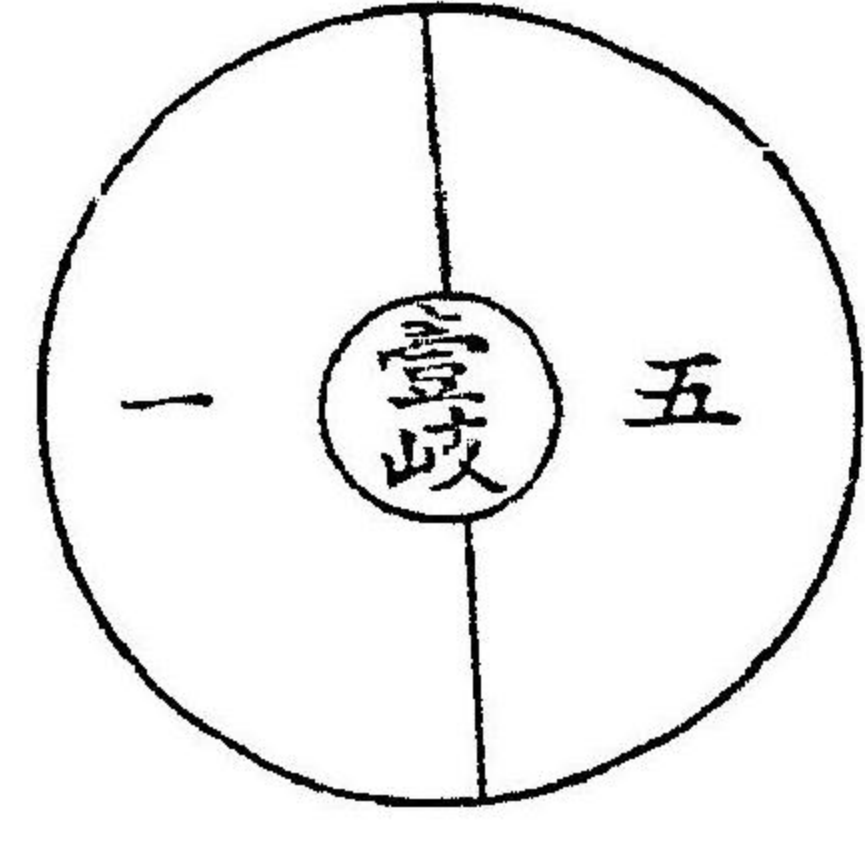
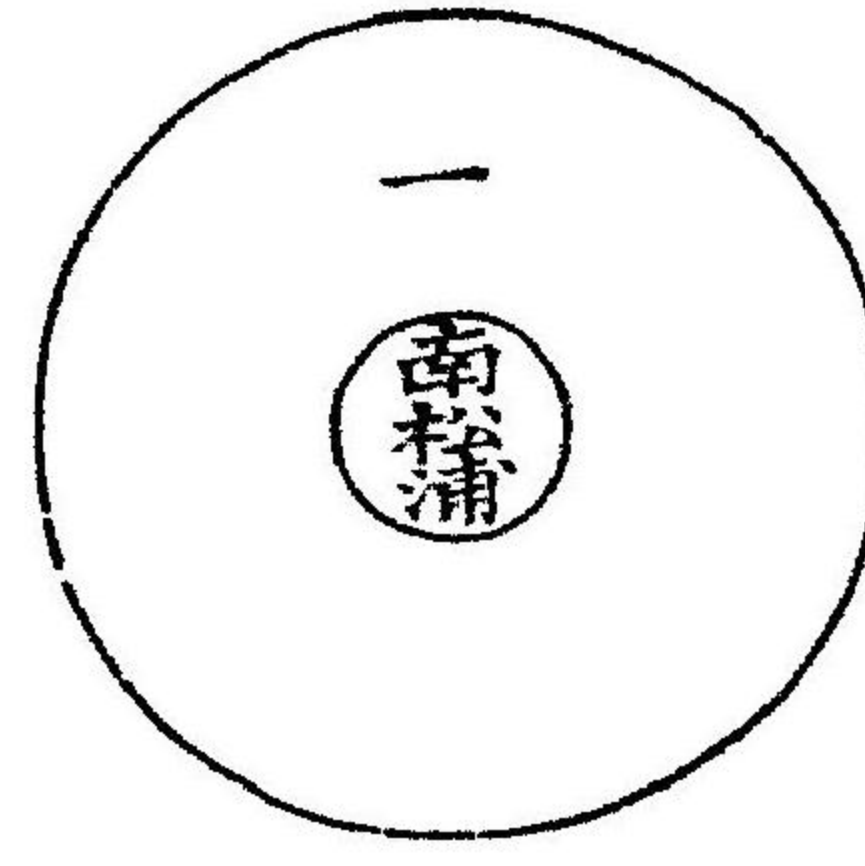
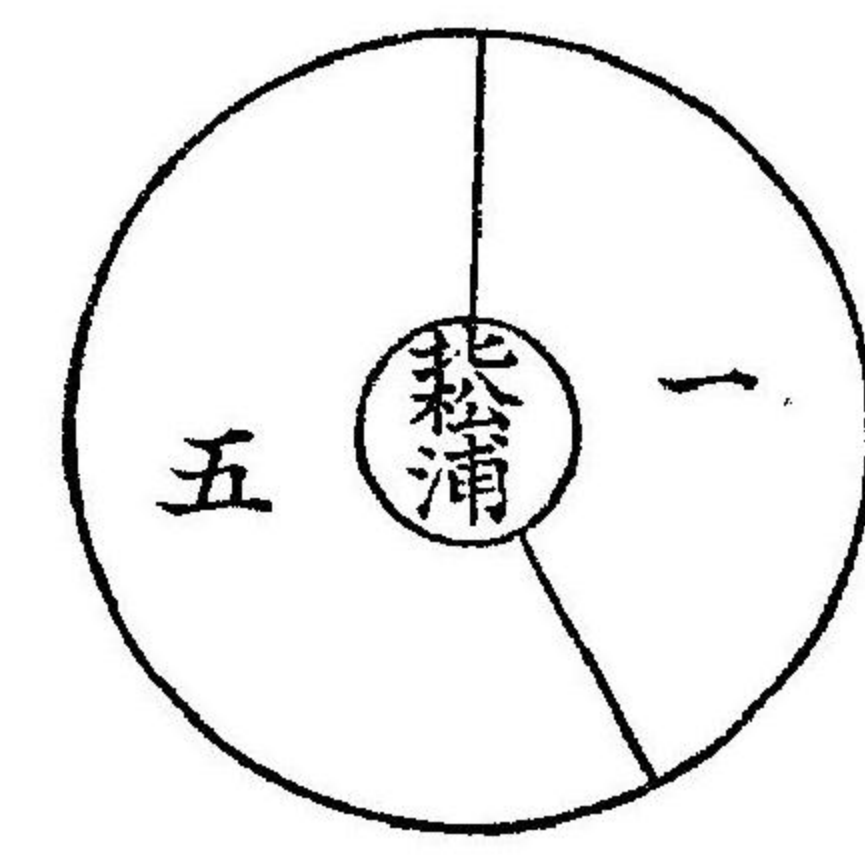
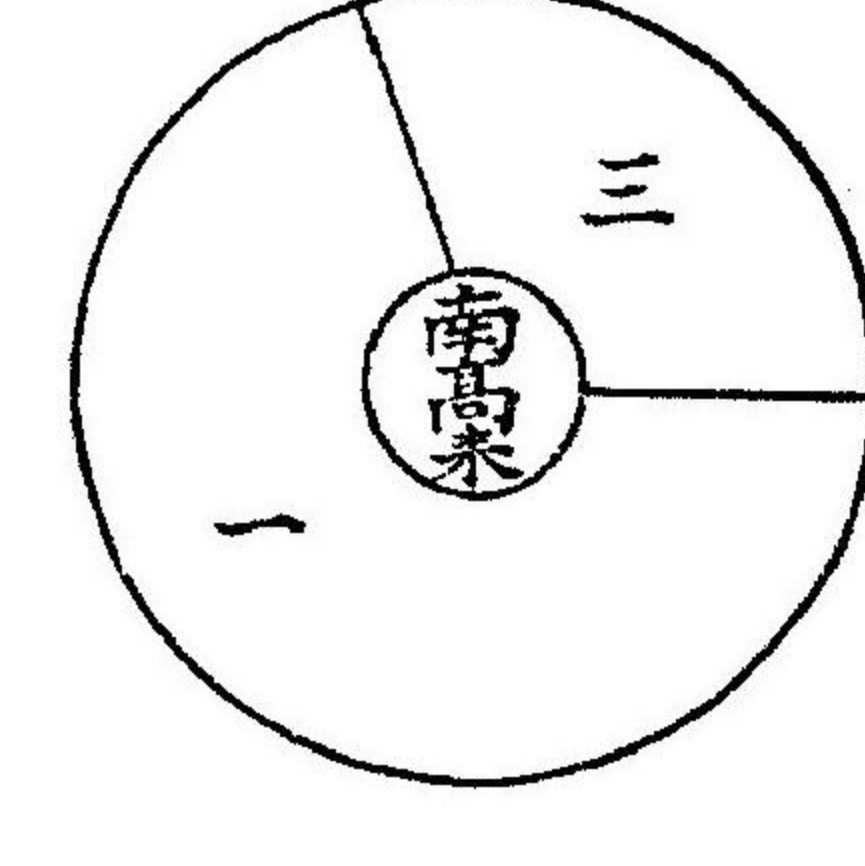
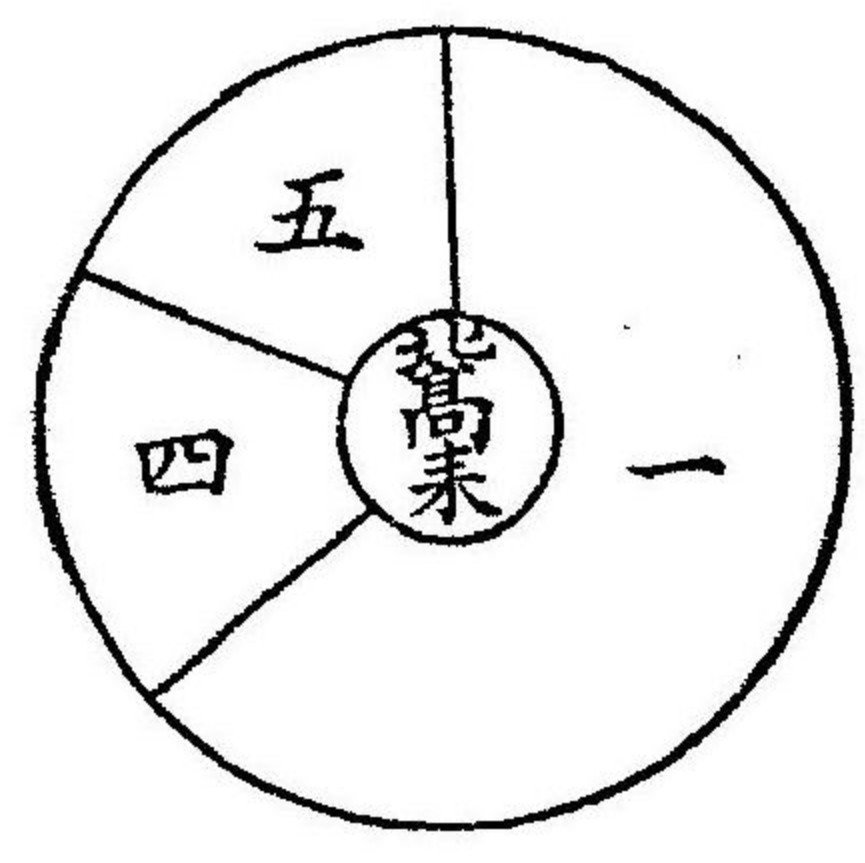
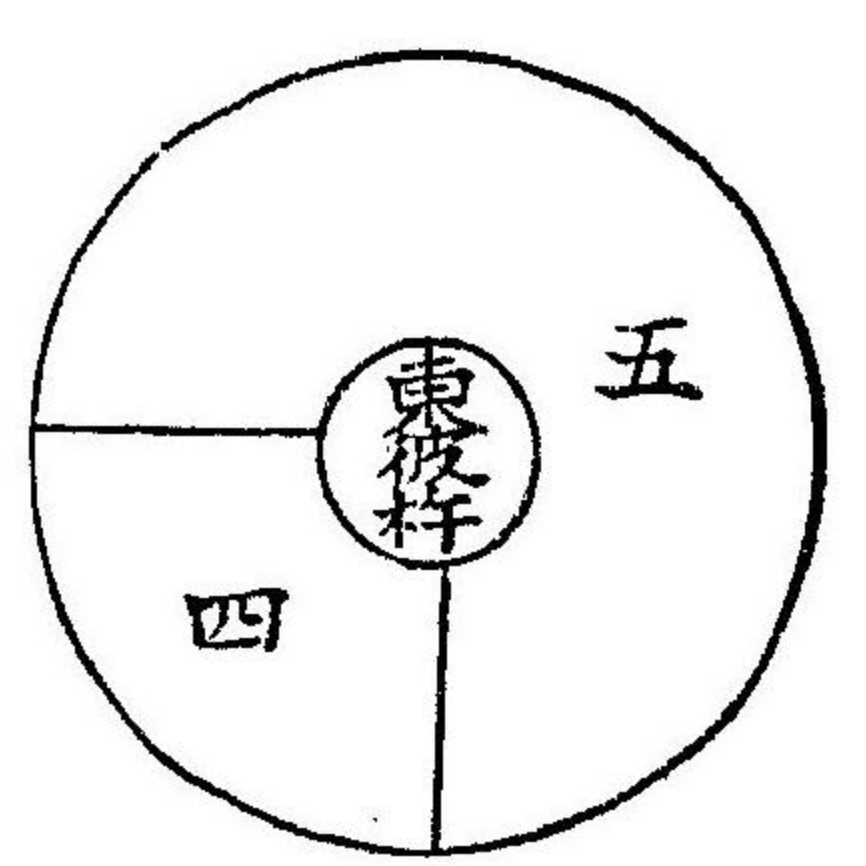
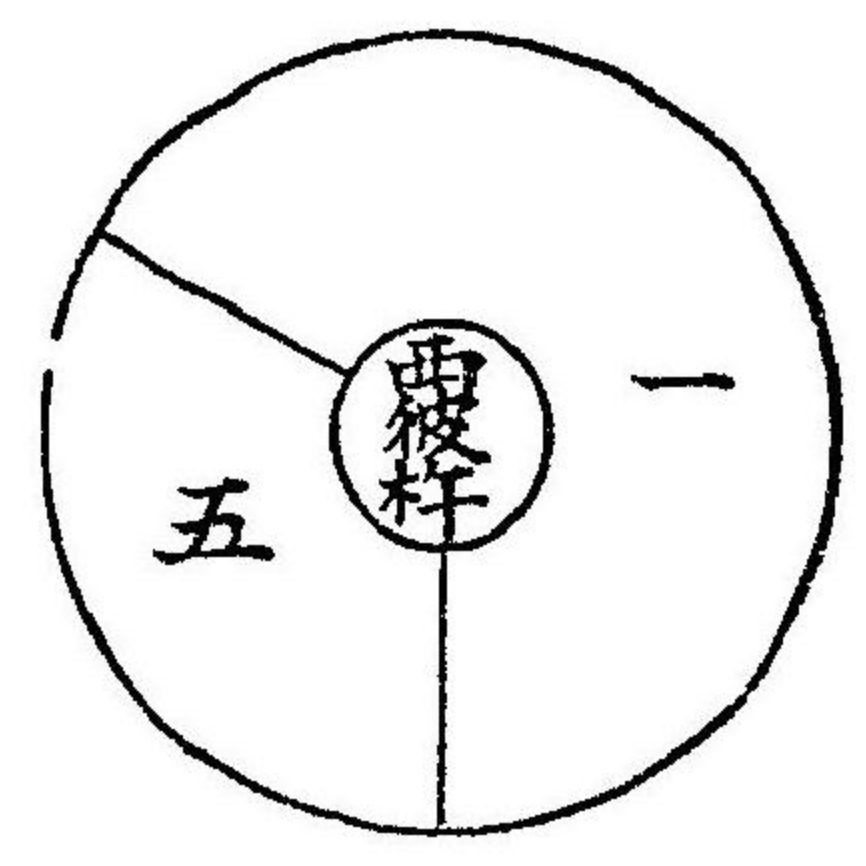
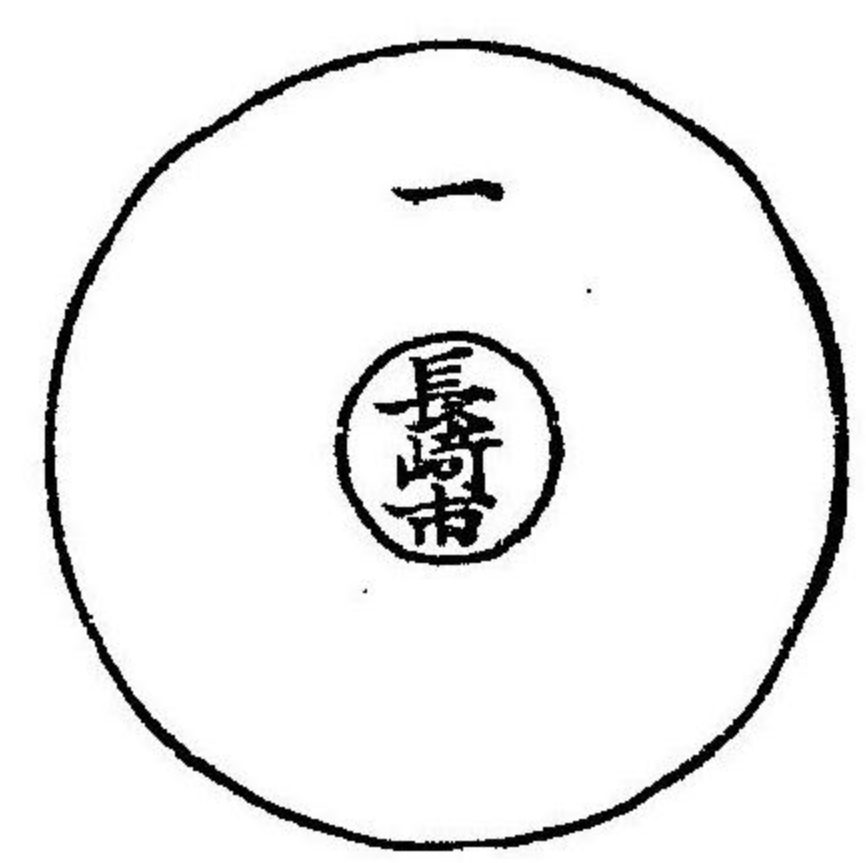
尙各郡ニ於ケル審査ノ成績ヲ陳フレハ左ノ如シ

福岡市 本市ノ出品ハ二點ニシテ器械審査ニ附シタルモノハ一點ナリ色澤形狀稍佳良ニシテ殺蛹貯



- ① 筑紫
- ② 南筑紫
- ③ 下縣
- ④ 上縣

- ⑤ 北松浦
- ⑥ 長崎市
- ⑦ 壹岐
- ⑧ 南松浦
- ⑨ 東彼杵
- ⑩ 西彼杵

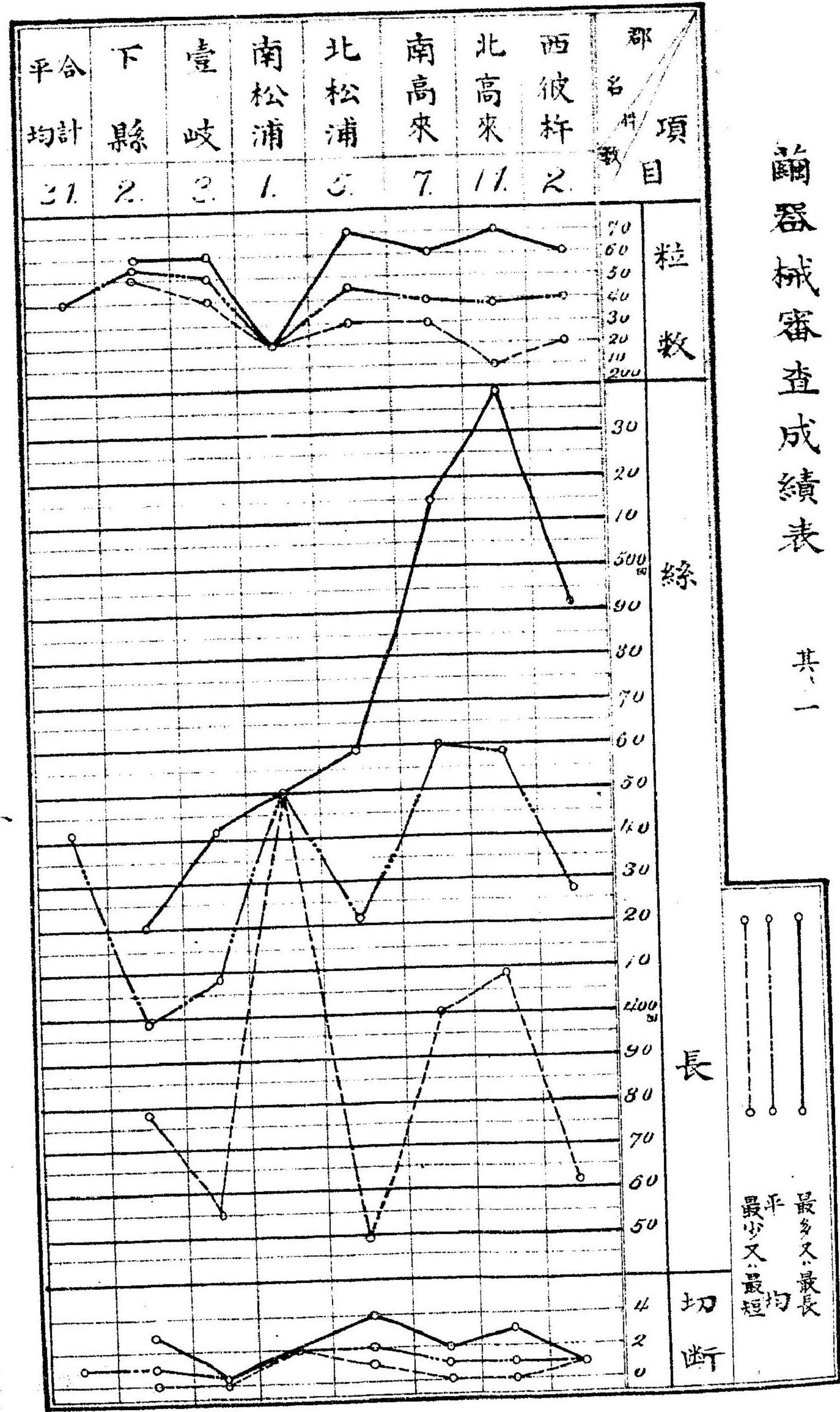


- ① 器械審査ノ附シタルモノ
- ② 品位劣等ナルモノ
- ③ 形狀否ルモノ
- ④ 殺蛹否ルモノ
- ⑤ 貯藏否ルモノ



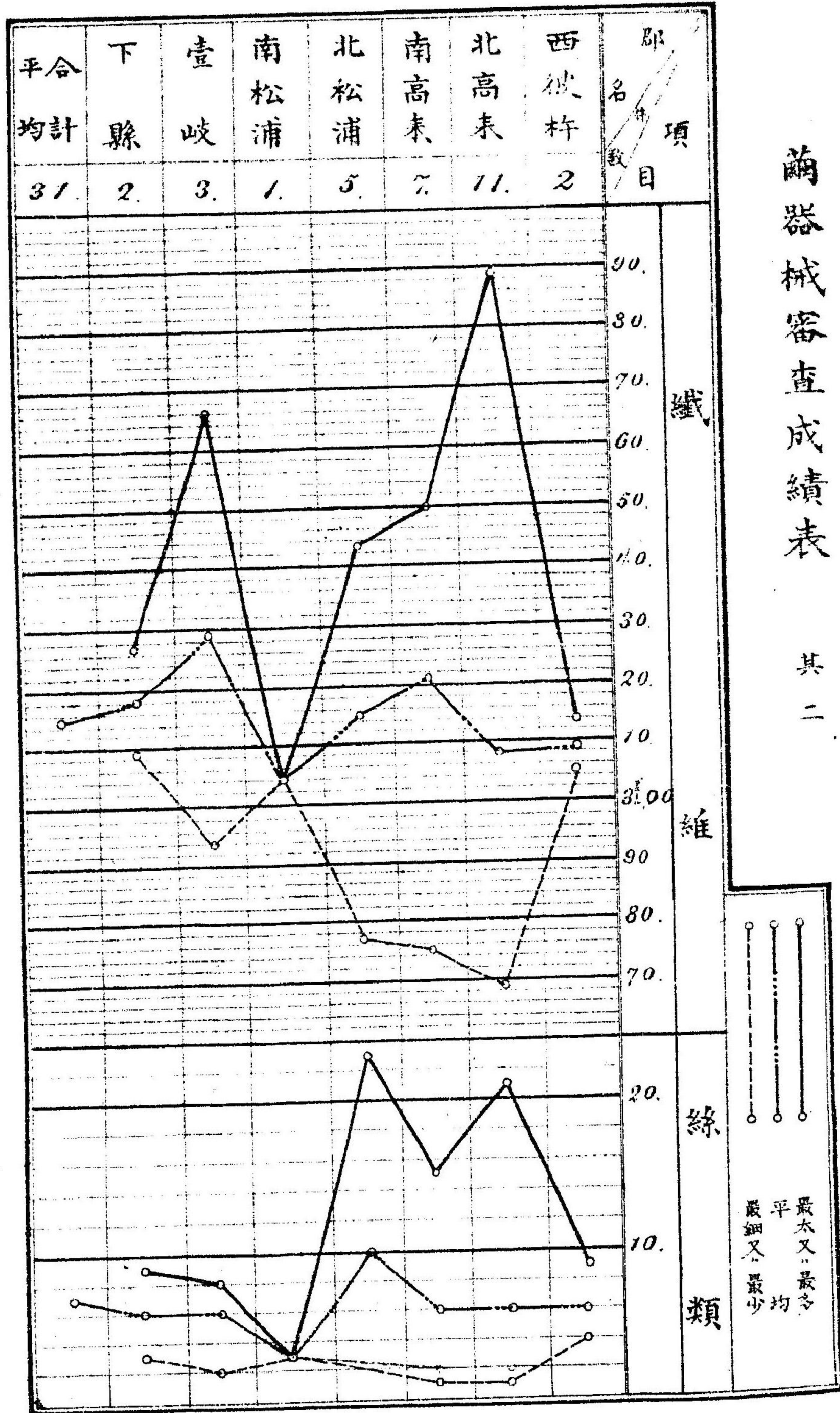
繭器械審査成績表

共一





繭器械審查成績表 其二





藏頗ル觀ルヘキモノアリ然レトモ緊緩不齊ニシテ硬軟宜シキニ適セス而シテ器械審査ニ附セサル  
モノハ品質著シク劣レルモノ一點ナリ

精屋郡 本郡ノ出品ハ七點ニシテ内器械審査ニ附シタルモノ二點ナリ品位優等ニシテ觀ルヘキモノ  
ナキニアラスト雖多クハ色澤不美形狀不同緊緩不齊ニシテ殺蛹貯藏其宜シキヲ得タルモノ甚タ少  
シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除ニ屬シタルモノハ品位劣等ニシテ縮縮粗大ナルモノ一點、形狀小ニ  
失シテ一升ノ粒數、三百三十顆以上ニ及ヘルモノ一點、蛹體膨脹シテ腐培甚シキモノ三點ナリ

宗像郡 本郡ノ出品ハ九點ニシテ内器械審査ニ附シタルモノ六點ナリ色澤形狀共ニ佳良ニシテ緊緩  
宜シテニ適セルモノ多ク殺蛹貯藏ノ方法ヲ誤リタルモノ亦甚少シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタ  
ルモノハ品位劣等ナルモノ二點、内微ヲ生シタルモノ一點ナリ

嘉穂郡 本郡ノ出品ハ二點ニシテ器械審査ニ附シタルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモ  
ノハ品質良好ナラサルモノ一點、貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ一點ナリ

朝倉郡 本郡ノ出品ハ二點ニシテ色澤形狀共ニ觀ルヘキモノナキニアラスト雖組織ニ粗密ノ差多ク  
繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモノナシ加フルニ品質良好ナラサルカ爲メ肉眼鑑定ニ於テ悉ク廢除ニ  
屬セリ

筑紫郡 本郡ノ出品ハ拾點ニシテ内器械審査ニ附シタルモノ四點ナリ色澤緊緩共ニ佳良ナラス殺蛹



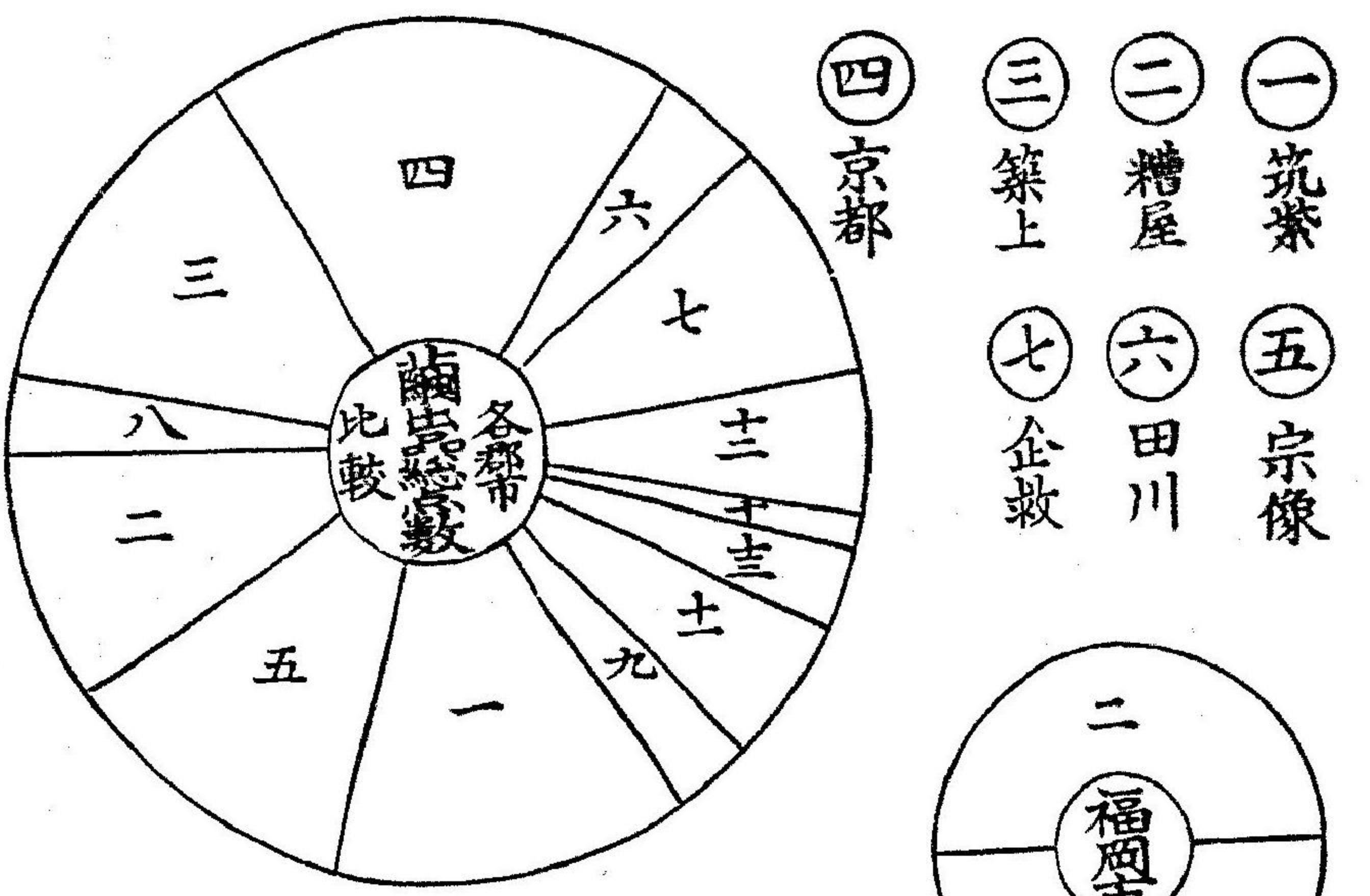
貯藏亦其宜シキヲ得スト雖形狀稍齊一ナルモノアリ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ナルモノニ點、乾燥十分ナラス貯藏完全ナラサルヨリ蛹體膨脹シテ腐蝕甚シキモノ四點ナリ糸島郡 本郡ノ出品ハ四點ニシテ色澤形狀共ニ佳良ナルモノナキニアラスト雖緊緩概シテ不齊ニシテ殺蛹貯藏其宜シキヲ得タルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ形狀大ニ失シ一升ノ粒數、二百顆ニ足ラサルモノ一點、貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ三點ナリ

三井郡 本郡ノ出品ハ僅ニ一點ニシテ色澤不美形狀不同緊緩不齊ニシテ大ニ稱スヘキノ點アルヲ見スト雖殺蛹貯藏ノ法頗ル宜シキニ適セルモノアリ依テ器械審査ニ附セリ

三池郡 本郡ノ出品ハ四點ニシテ一モ器械審査ニ附シタルモノナシ色澤不美形狀不同ニシテ緊緩亦甚不齊ナリ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノヲ區別スレハ品位劣等ニシテ縮細粗大ナルモノ一點、形狀大ニ失シ一升ノ粒數、二百顆ニ足ラサルモノ一點、殺蛹貯藏ヲ誤リ蛹體ニ異狀ヲ來シ

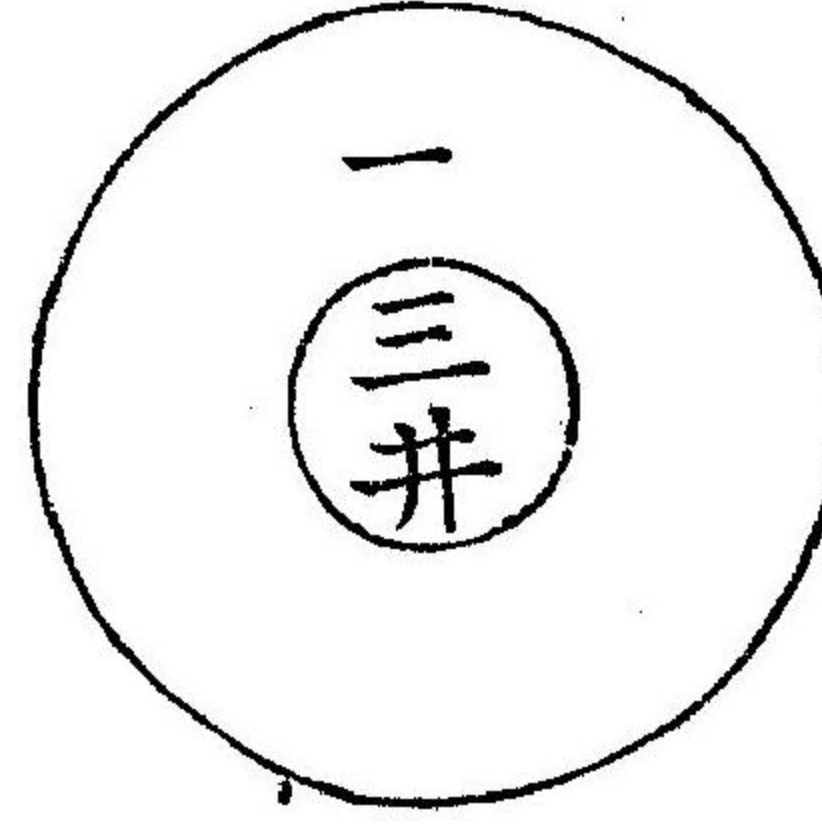
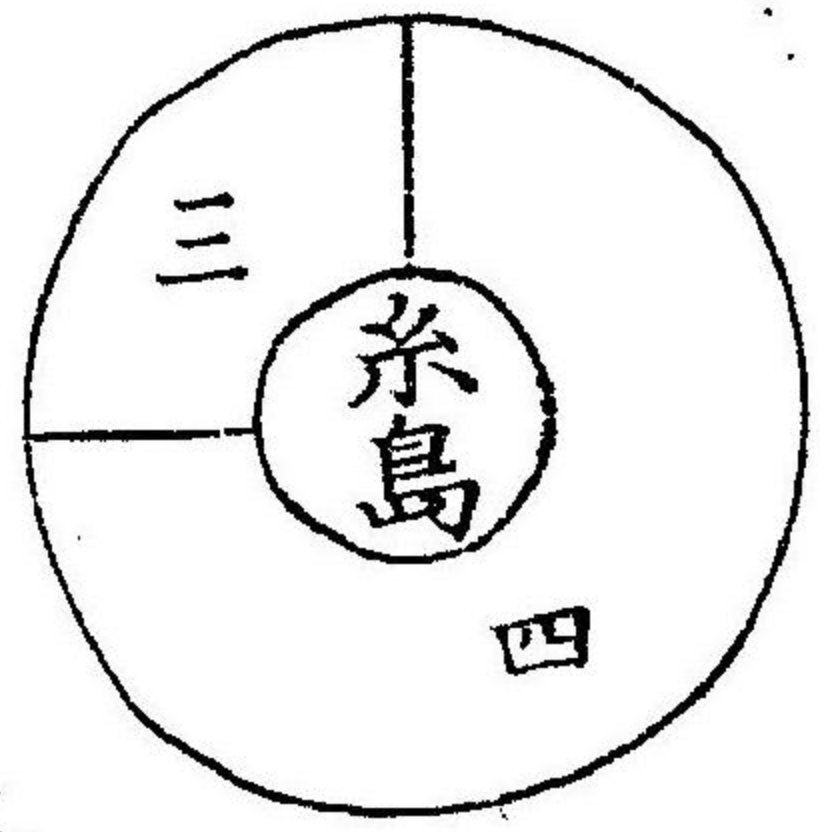
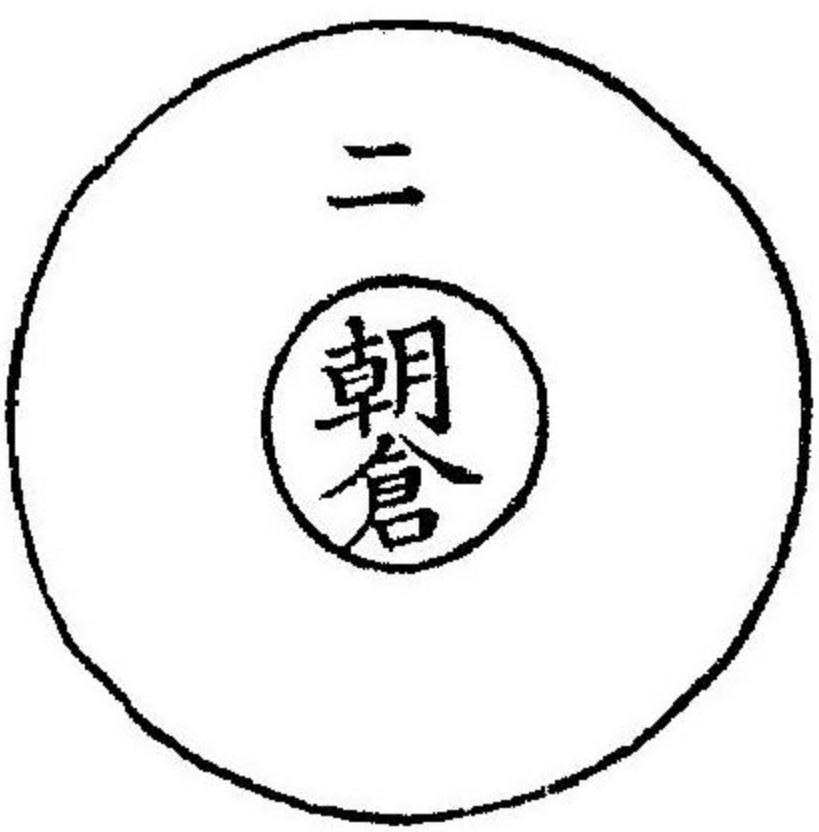
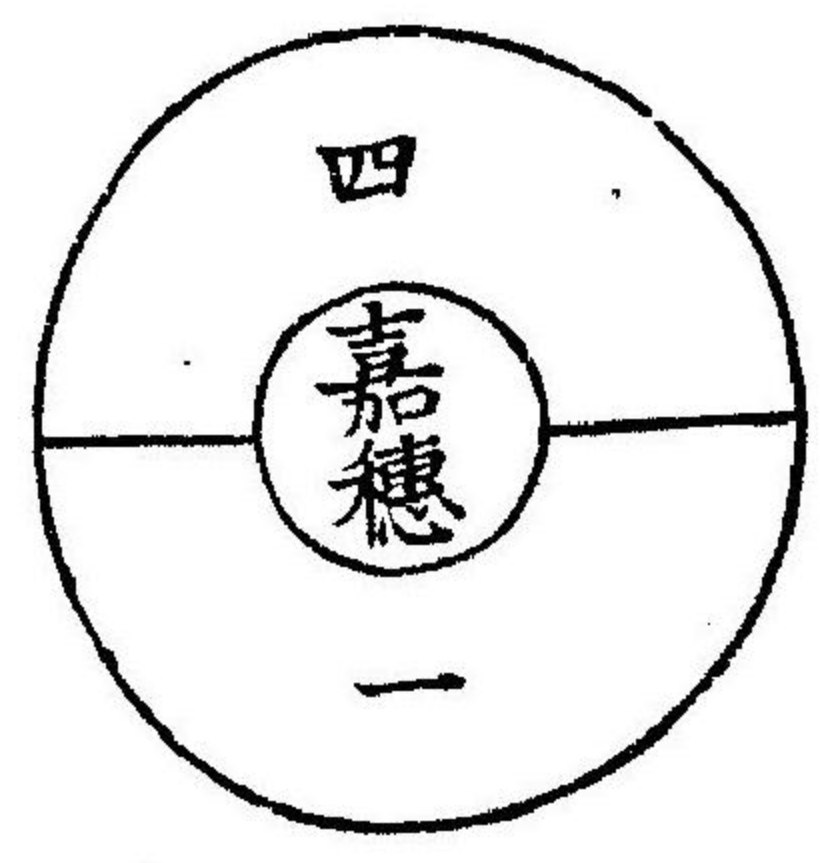
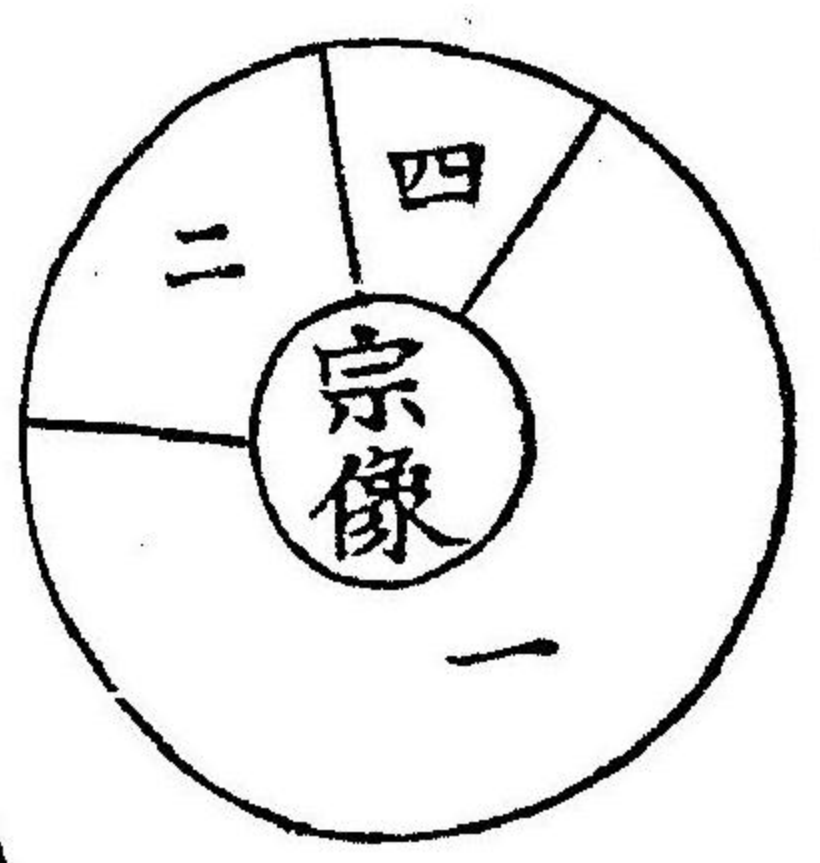
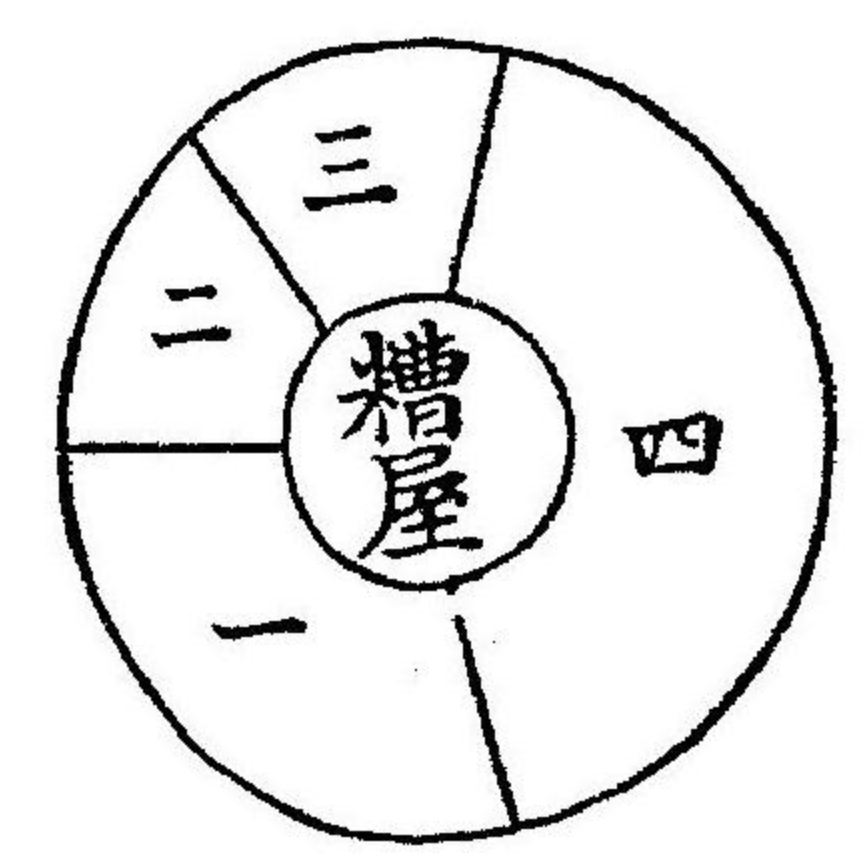
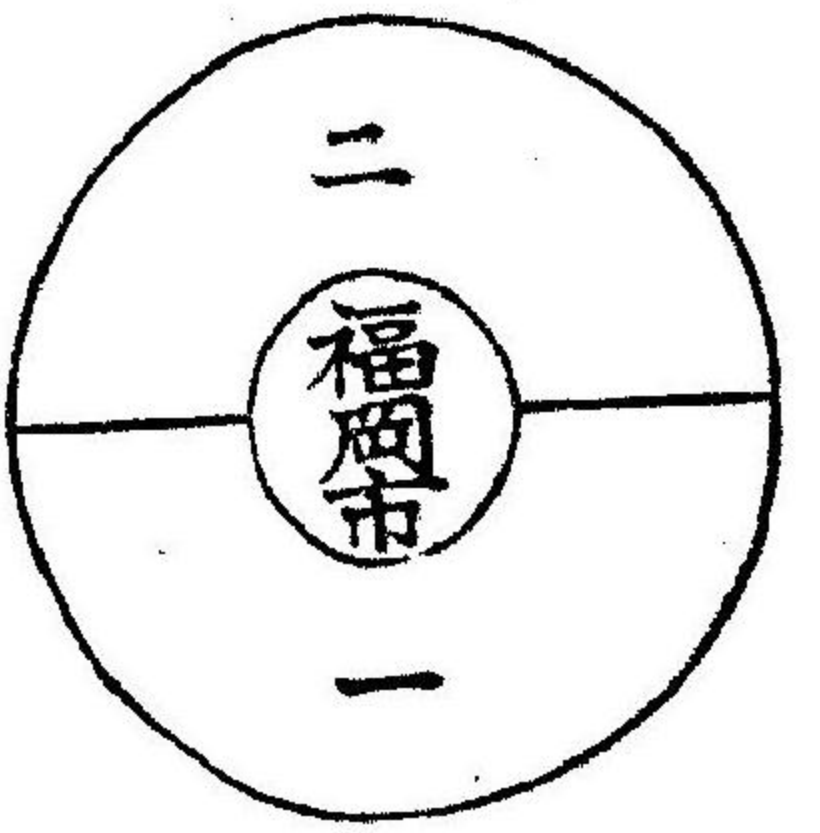
微害ヲ蒙リタルモノ二點ナリ

企救郡 本郡ノ出品ハ七點ニシテ内器械審査ニ附シタルモノ二點ナリ色澤緊緩概シテ佳良ナラスト雖形狀ノ不同極メテ少キモノアリ然レトモ殺蛹貯藏ノ方法完全ナラスシテ繭層蛹體ニ異狀ヲ呈セルモノアリ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品質著シク劣レルモノ一點、内微生シ色澤ヲ損シタルモノ四點ナリ

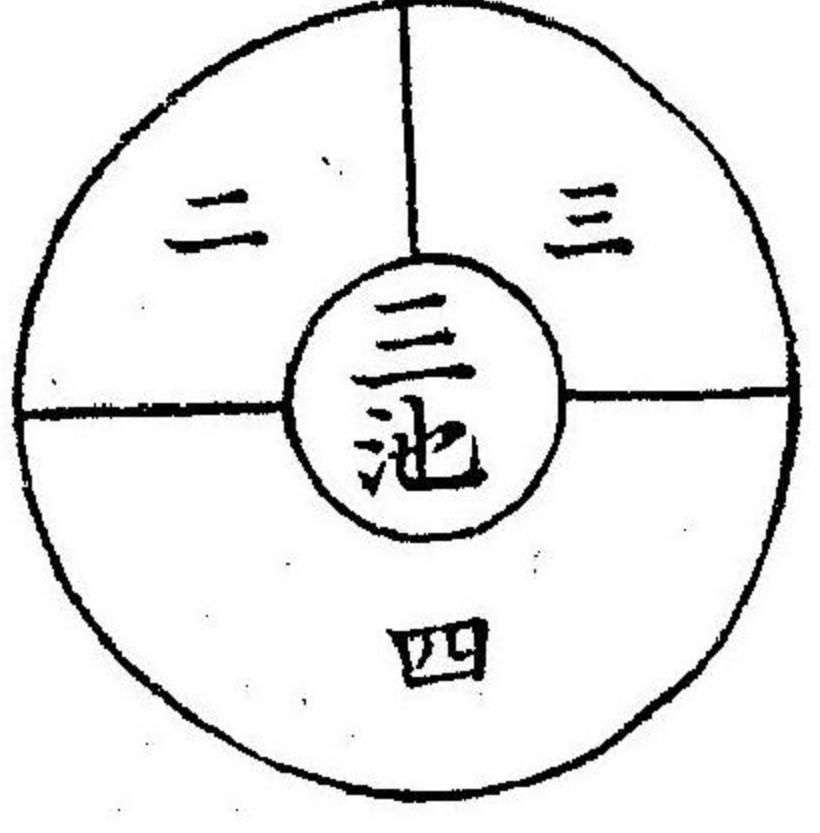
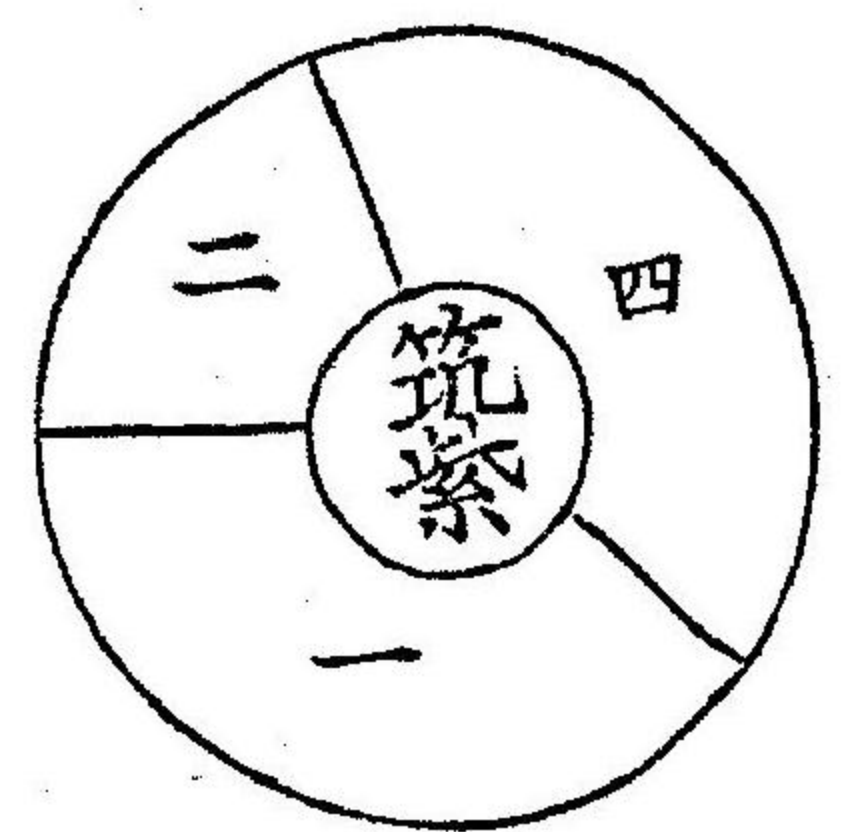


- ① 坑紫
- ② 糟屋
- ③ 築上
- ④ 京都
- ⑤ 宗像
- ⑥ 田川
- ⑦ 企救

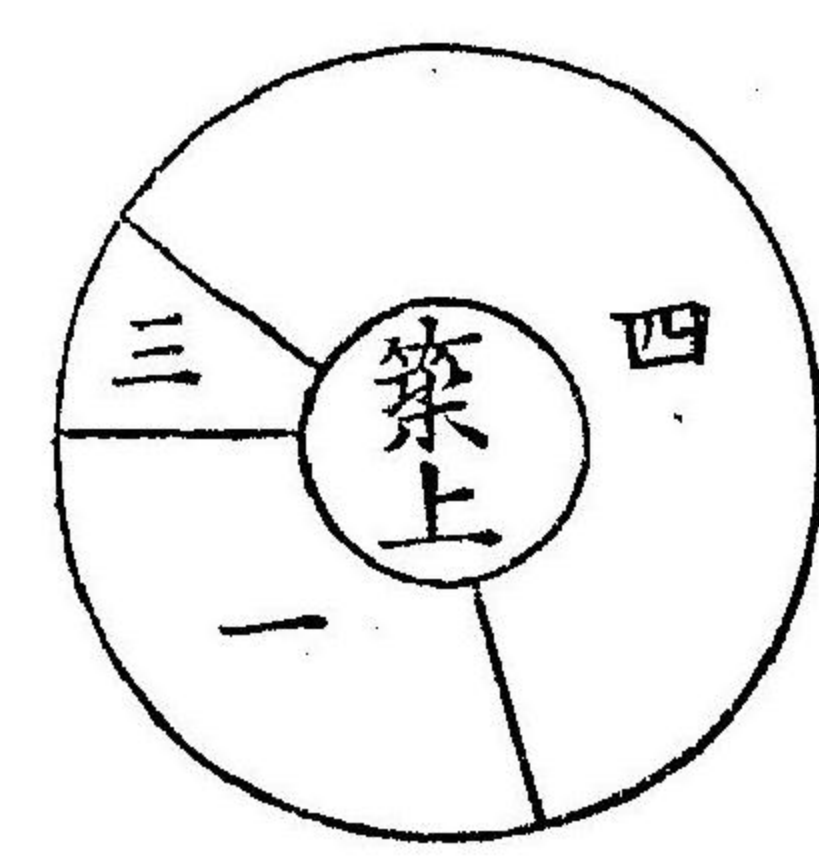
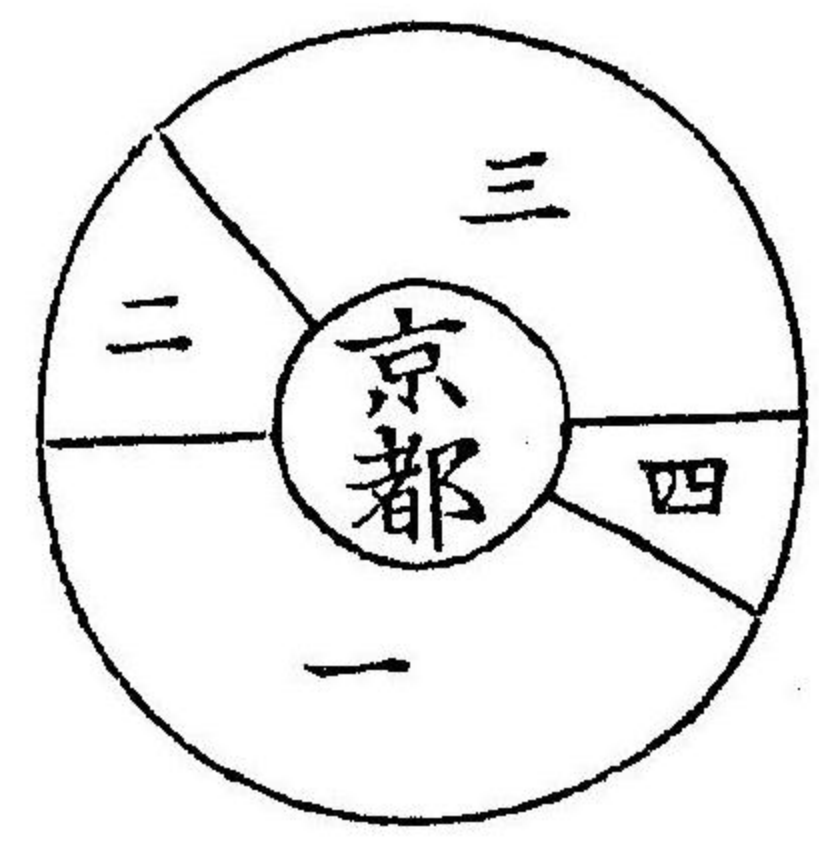
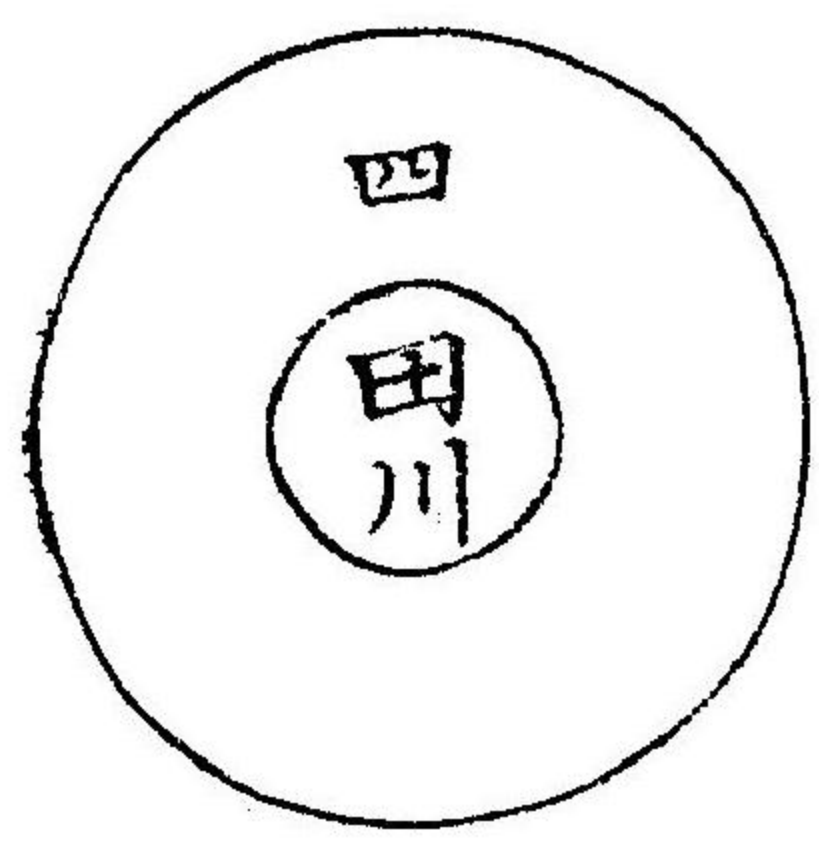
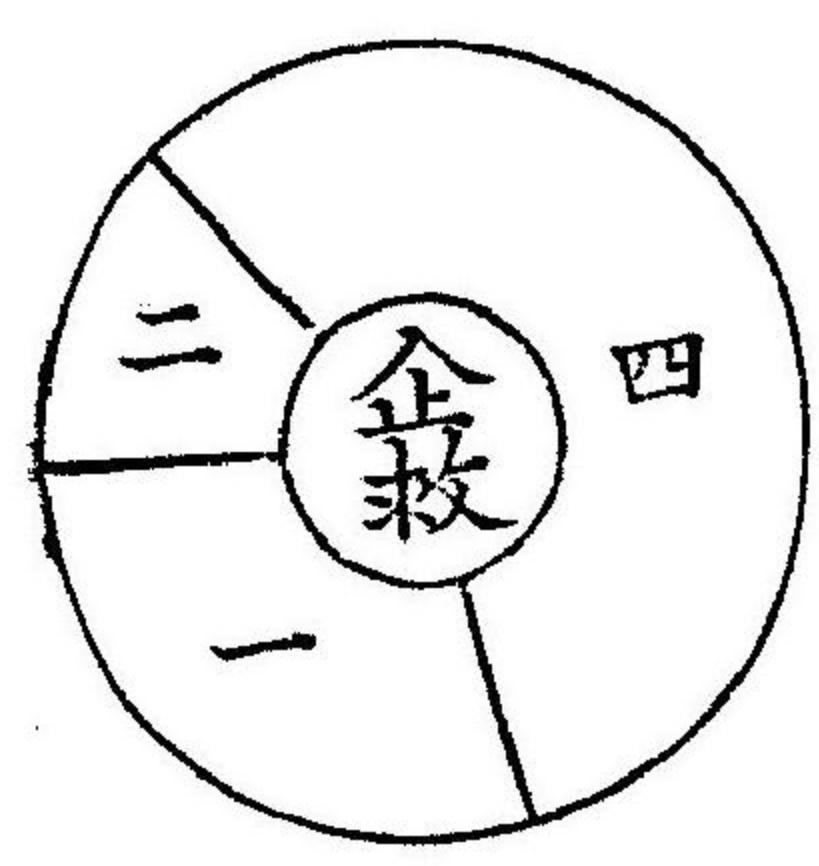
- ⑧ 嘉穂
- ⑨ 福岡市
- ⑩ 三池
- ⑪ 糸島
- ⑫ 三井
- ⑬ 朝倉



- ① 器械審査ニ附シタルモノ
- ② 品位劣等ナルモノ
- ③ 形狀不齊ナルモノ
- ④ 貯藏不齊ナルモノ



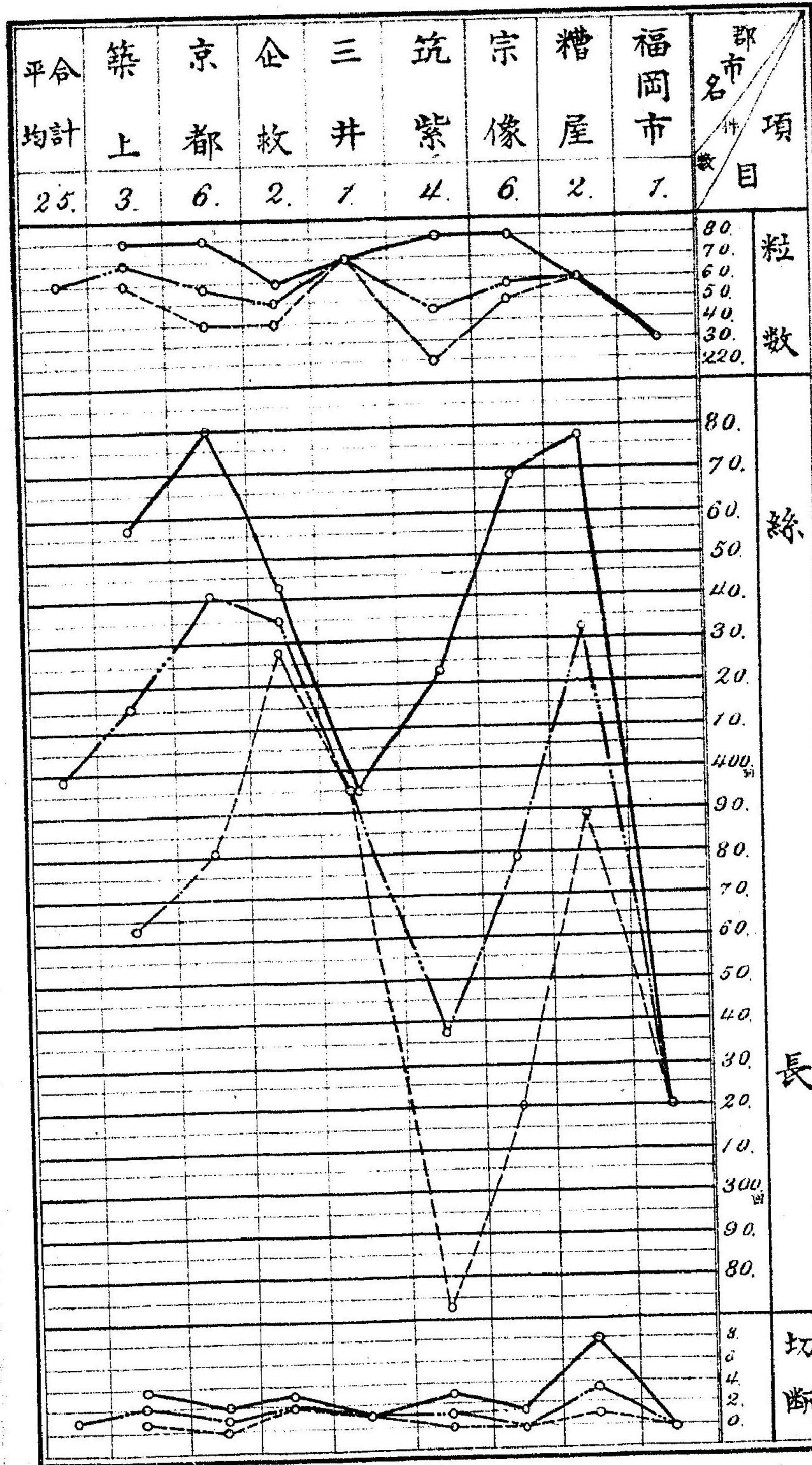
- ① 器械審査ニ附シタルモノ
- ② 品位劣等ナルモノ
- ③ 形狀不齊ナルモノ
- ④ 貯藏不齊ナルモノ





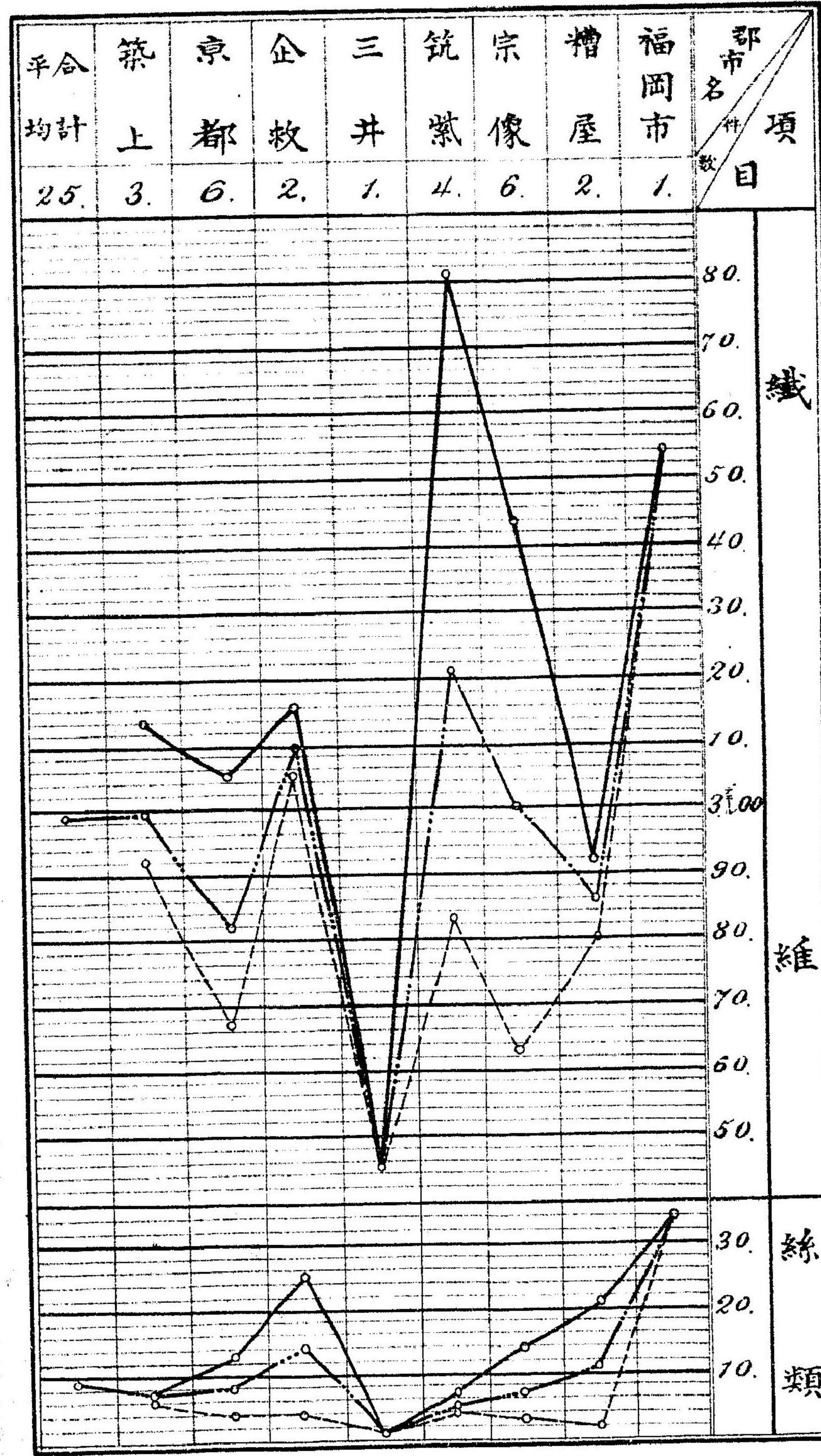
繭器械審査成績表

其一





繭器械審査成績表 其二





田川郡 本郡ノ出品ハ三點ニシテ形狀ノ稍觀ルヘキモノナキニアラスト雖色澤不美緊緩不齊ニシテ殺蛹貯藏共ニ完全ナルモノナシ加フルニ腐蝕甚シク繭層ノ内外ヲ汚染セルヲ以テ器械審査ニ附シタルモノナシ

京都郡 本郡ノ出品ハ十四點ニシテ内器械審査ニ附シタルモノ六點ナリ色澤緊緩概ネ佳良ナラス殺蛹貯藏多クハ完全ナラスト難形狀ノ大小宜シキニ適シ不同種メテ少キモノアリ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ナルモノ二點形狀不同粒數大ニ失セルモノ五點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ一點ナリ

築上郡 本郡ノ出品ハ拾點ニシテ内器械審査ニ附シタルモノ三點ナリ色澤不美形狀不同ニシテ緊緩宜シキニ適セルモノ極メテ少シ殊ニ殺蛹貯藏ニ至リテハ一トシテ完全ナルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除ニ屬セルモノハ形狀大ニ失シ一升ノ粒數、百八拾顆ニ足ラサルモノ一點乾燥貯藏完全ナラサルヨリ蛹体膨脹シテ内微ヲ生シタルモノ六點ナリ

今別紙器械審査ノ成績ヲ表記シ以テ參考ニ供ス

大分縣 本縣ノ出品總數ハ一百九拾點ニシテ直入郡ノ出品最多ク下毛、宇佐ノ二郡之ニ次キ大野、大分、西國東ノ三郡又之ニ次ケリ而シテ南海部、北海部ノ二郡ニ玖球郡ヨリ多ク日田、速見ノ二郡最少シ種類頗フル雜駁ナリト雖品位劣等ノモノ甚少ク色澤形狀共ニ佳良ニシテ緊緩宜シキニ適セルモ



ノ多ク縮繻亦齊一ナルモノ少カラス然レトモ殺蛹ノ時機ヲ失ヒタルカ爲メ蛹變化蛾ノ体既ニ具リ彼  
ノ「アルカリ」性ノ液汁ヲ分泌シテ繻ノ内部ヲ汚染シ不知不識絲線ヲシテ脆弱ナラシメタルモノ  
アリ又乾燥貯藏ノ方法其宜シキヲ得サルカ爲メ蛹体膨脹シテ腐敗甚シキモノアリ  
全出品中審査ノ結果トシテ一等賞ニ擬シタルモノ一、二等賞ニ擬シタルモノ二、四等賞二、五等賞六、  
六等賞十三合計二十四點優品ヲ得タリ

別紙各郡出品ノ割合及肉眼審査ノ成績ヲ圖シテ一覽ニ供ス

本縣出品總點數中品位劣等ナルカ爲ニ形狀不同ニシテ或ハ大或ハ小ニ過クルカ爲メニ殺蛹ノ時機ヲ  
失ヒ貯藏ノ方法ヲ誤リタルカ爲メニ器械審査ヲ經サリシモノ八十一點ニシテ其器械審査ヲ了シタル  
モノハ一〇九點ナリトス

尙各郡ニ於ケル審査ノ成績ヲ陳フレハ左ノ如シ

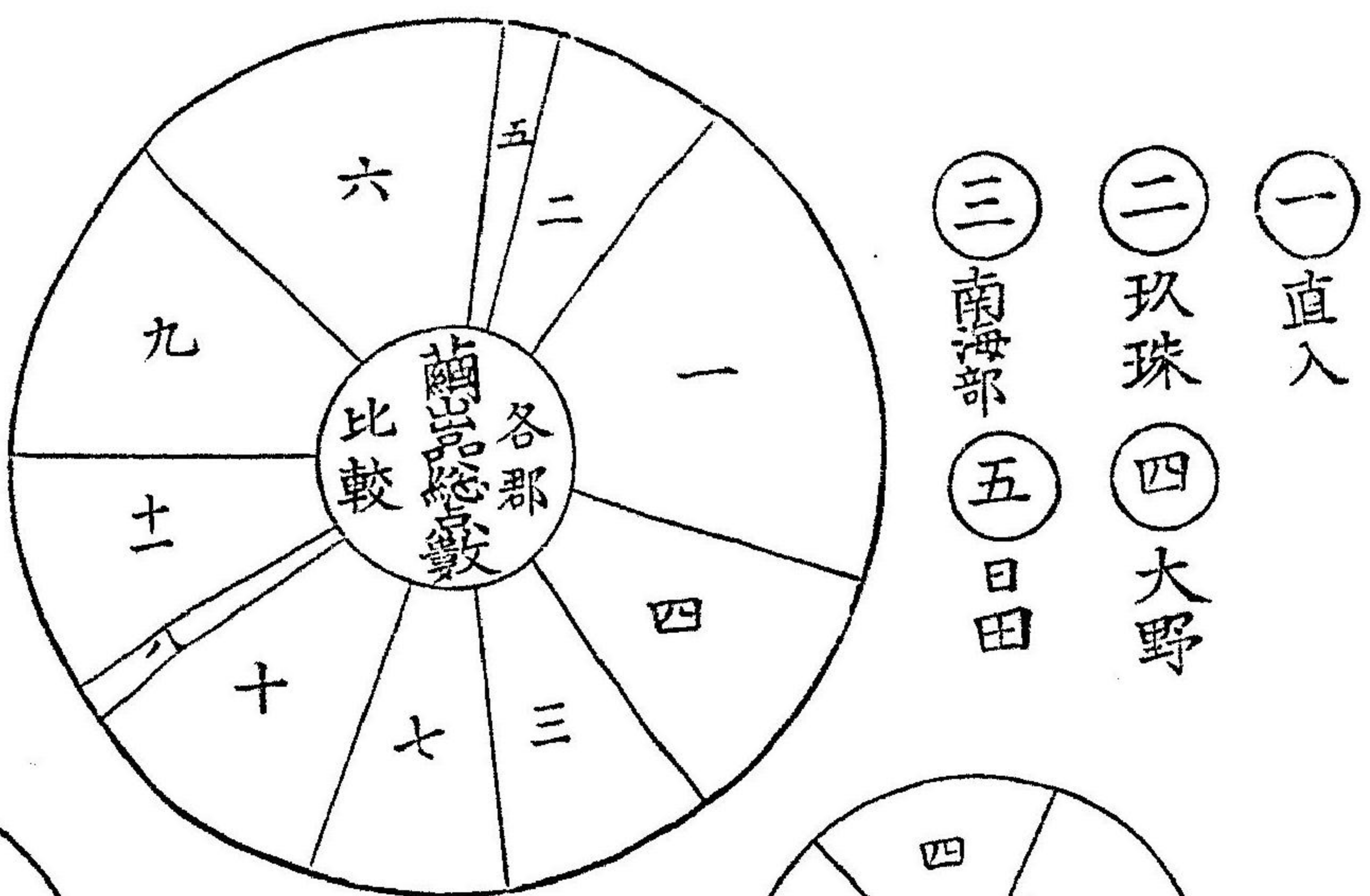
西國東郡 本郡ノ出品ハ十七點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ五點ナリ色澤不美形狀不同緊緩不齊

ニシテ殺蛹貯藏其宜シキヲ得タルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品質著シク劣

レルモノ一點殺蛹ノ時機ヲ失ヒ乾燥ノ度ヲ過チ蛹体繻層ニ形狀ヲ呈セルモノ三點貯藏ヲ誤リ内微

ヲ生シ色澤ヲ損セルモノ七點ナリ

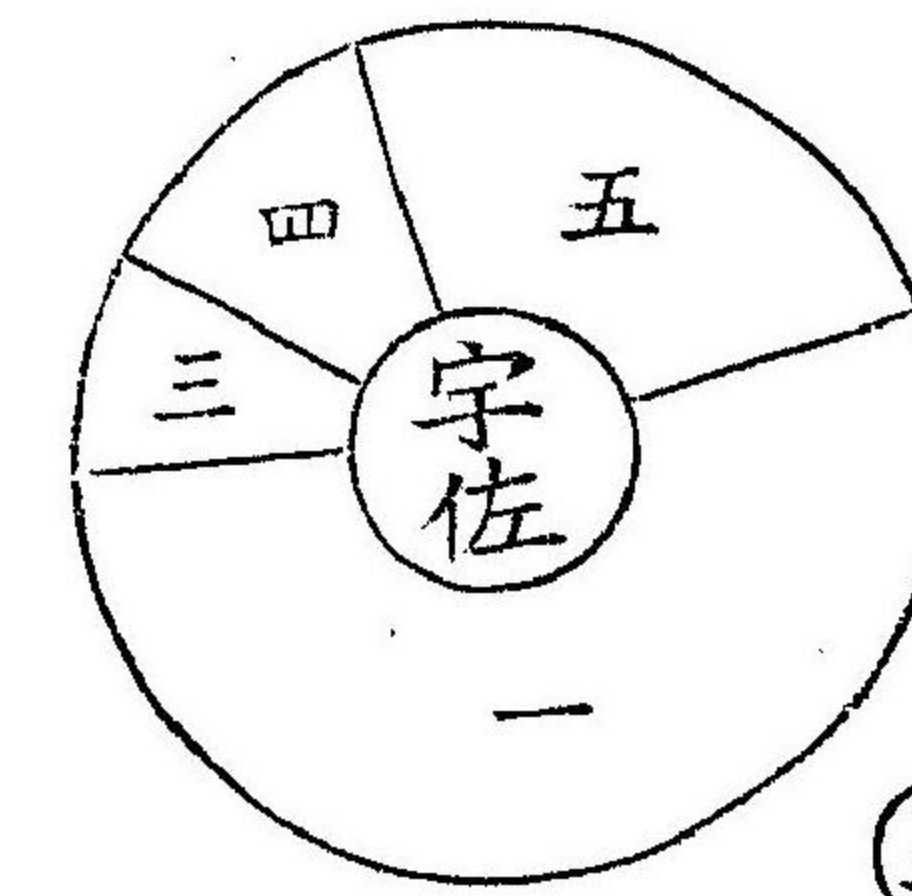
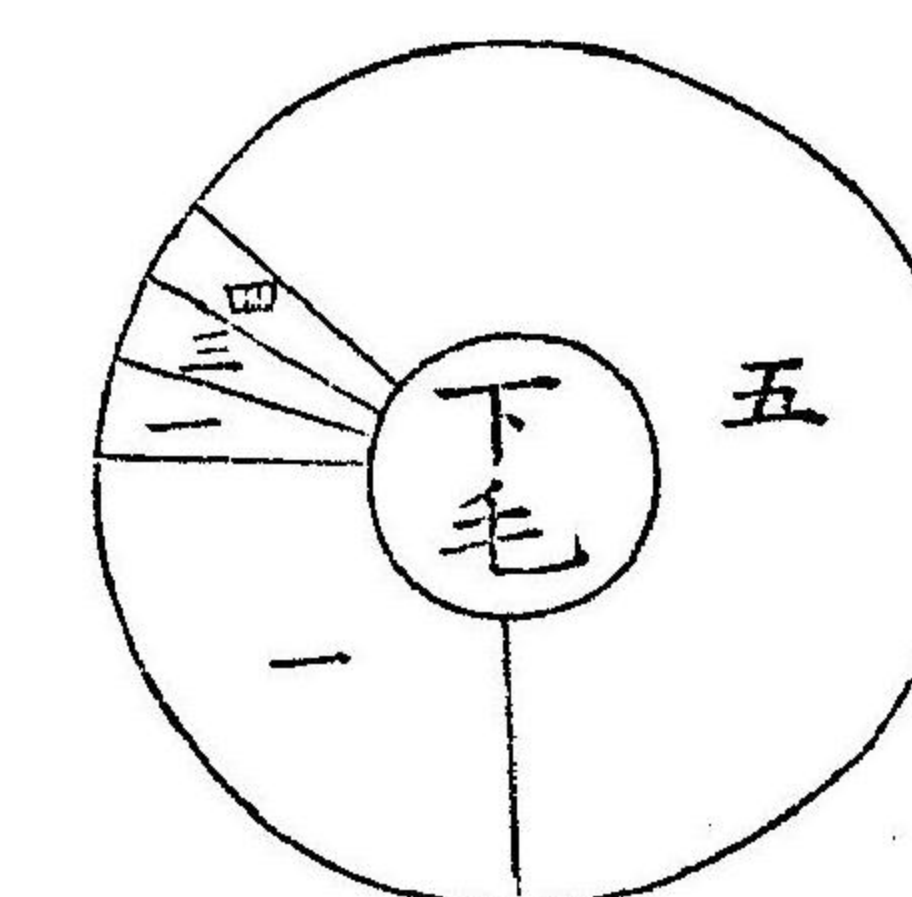
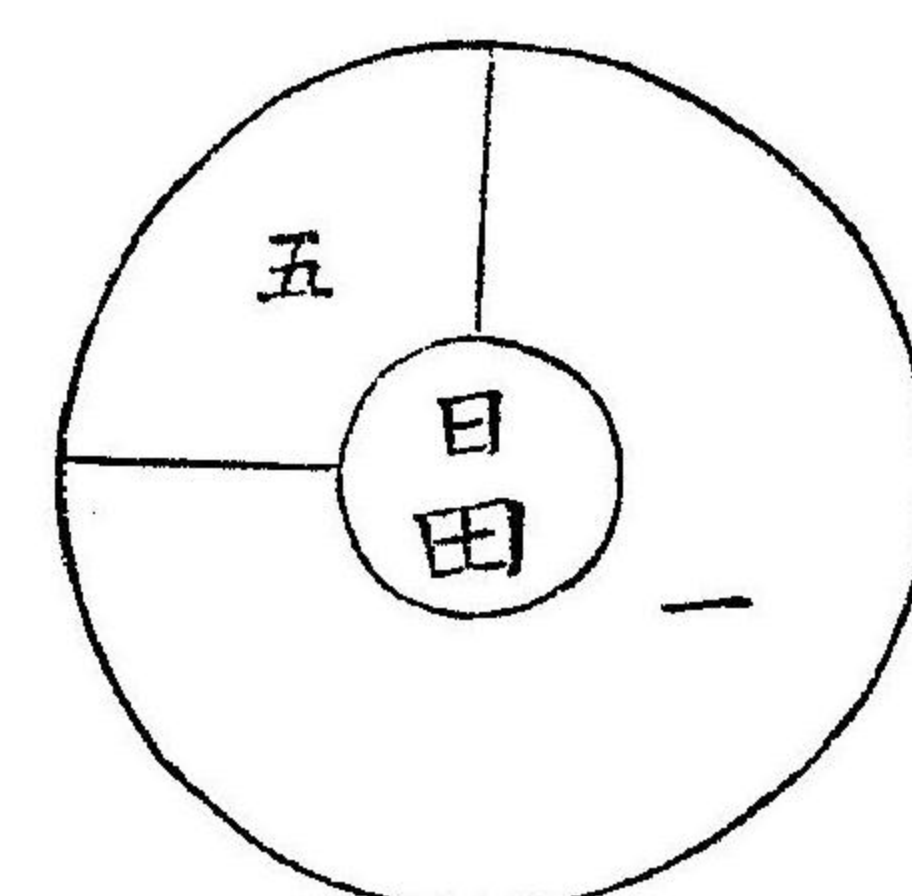
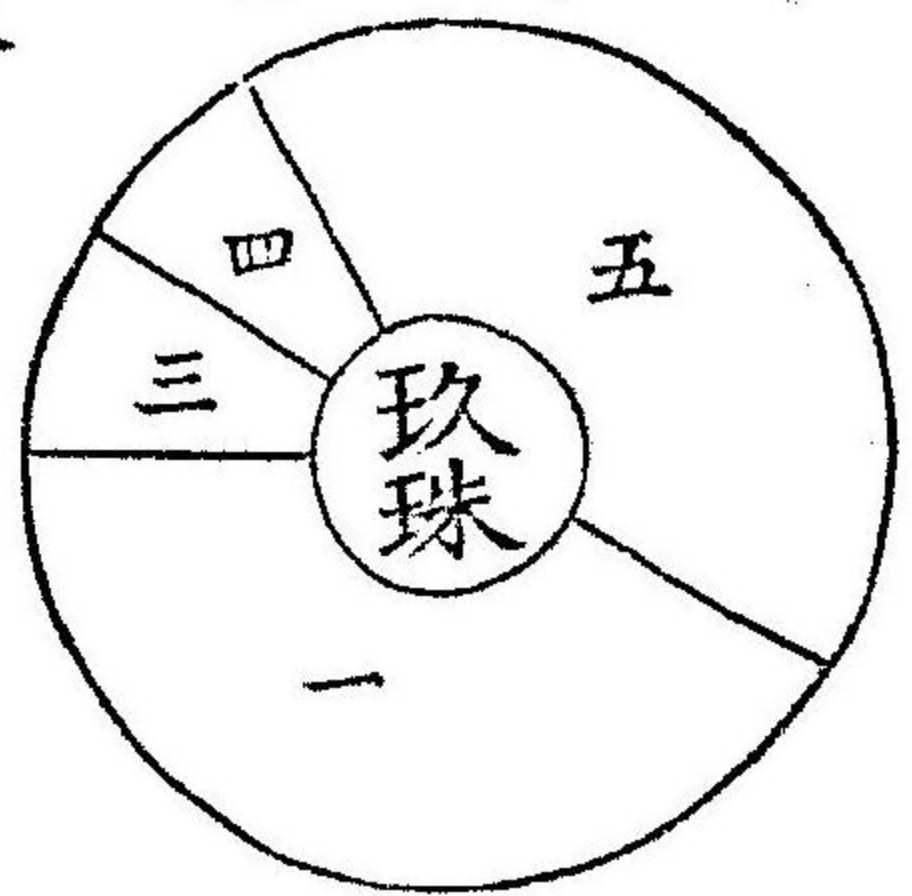
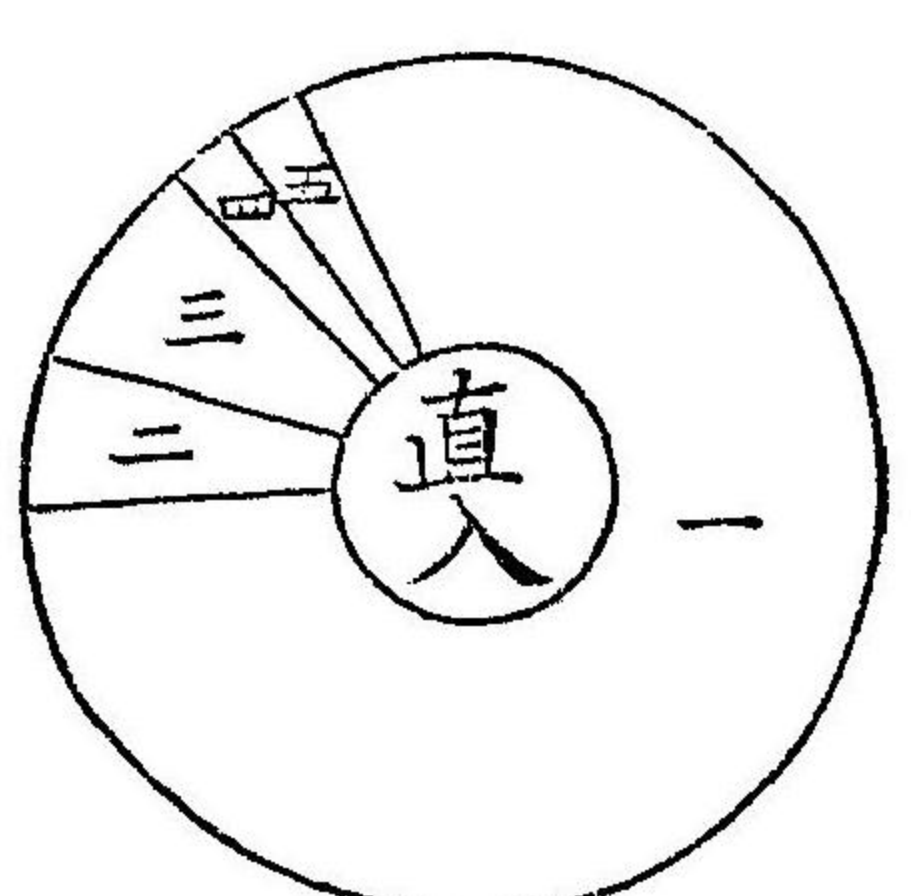
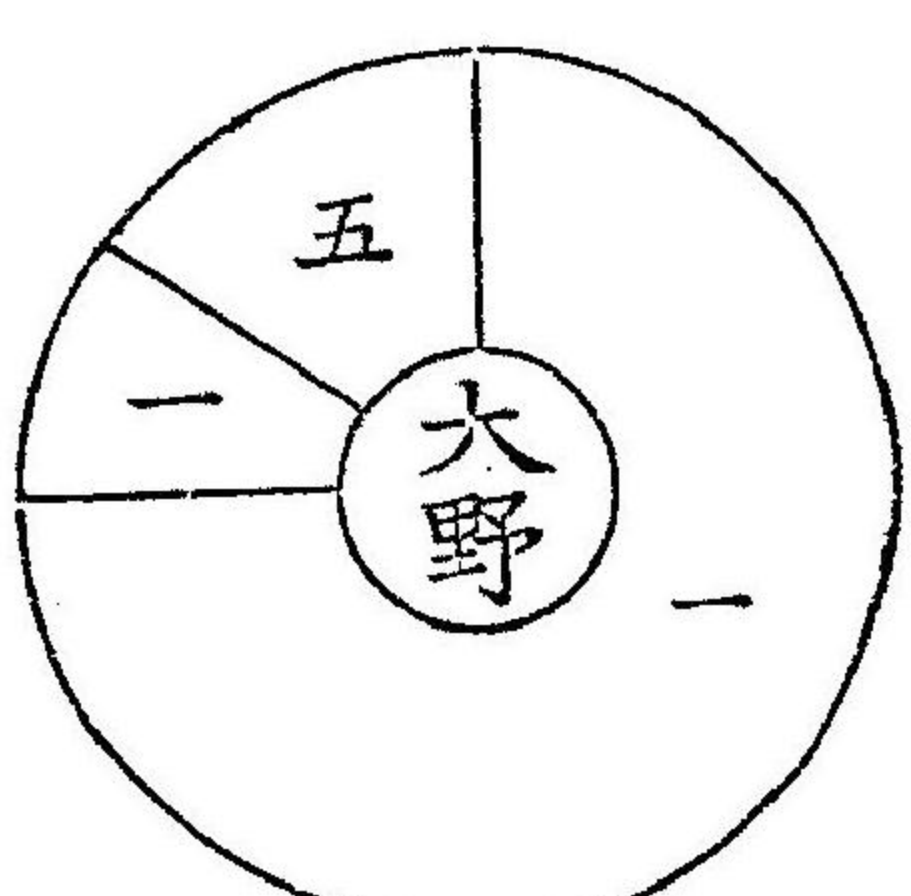
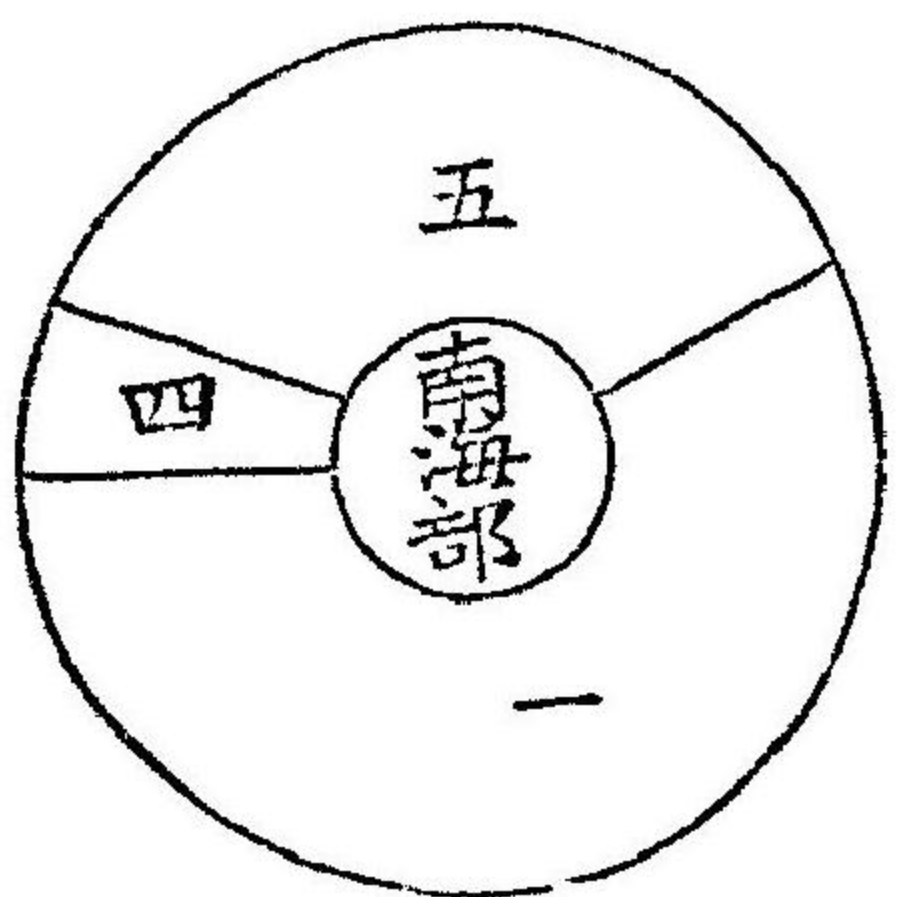
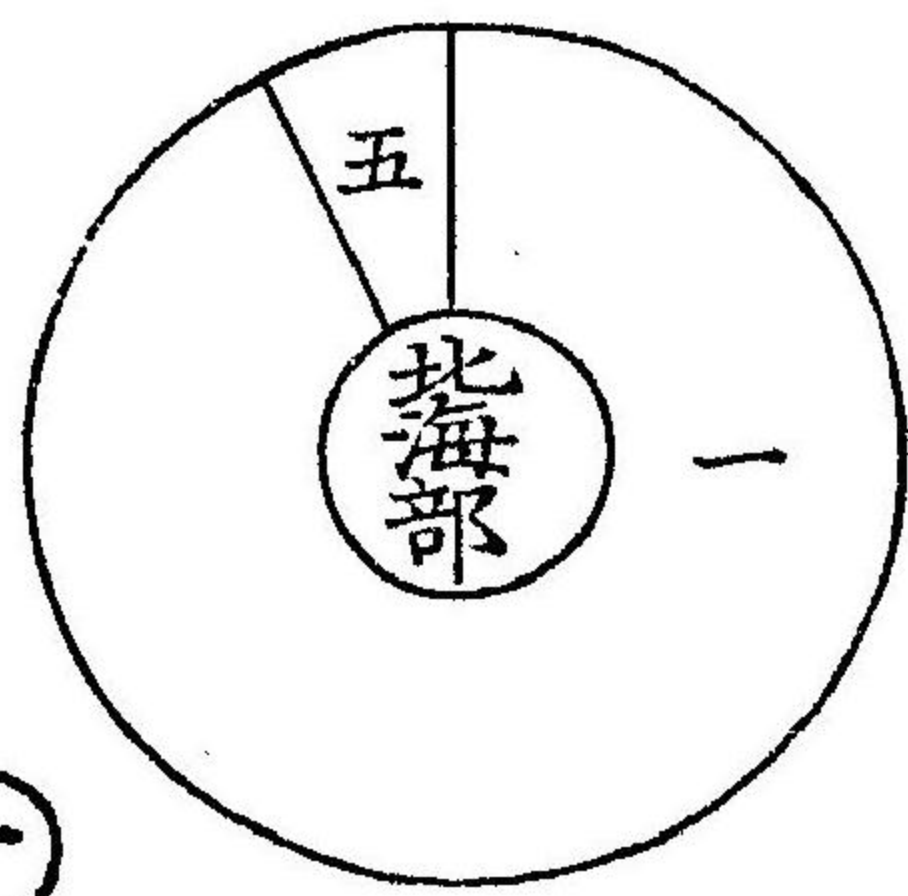
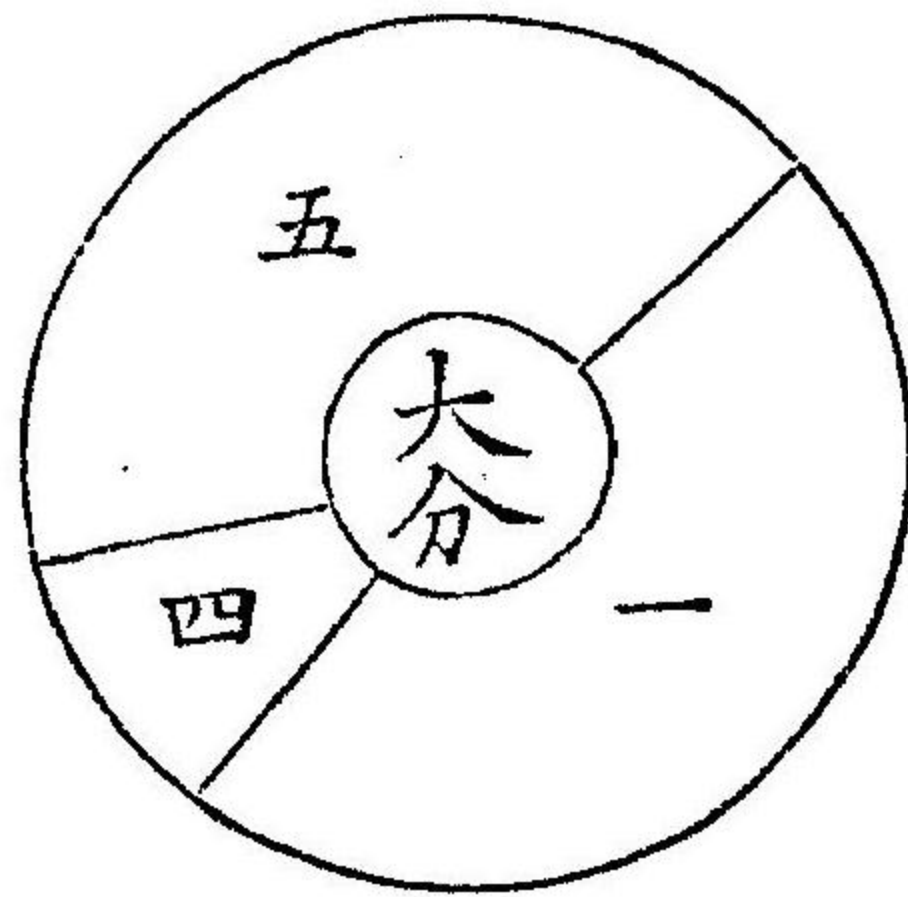
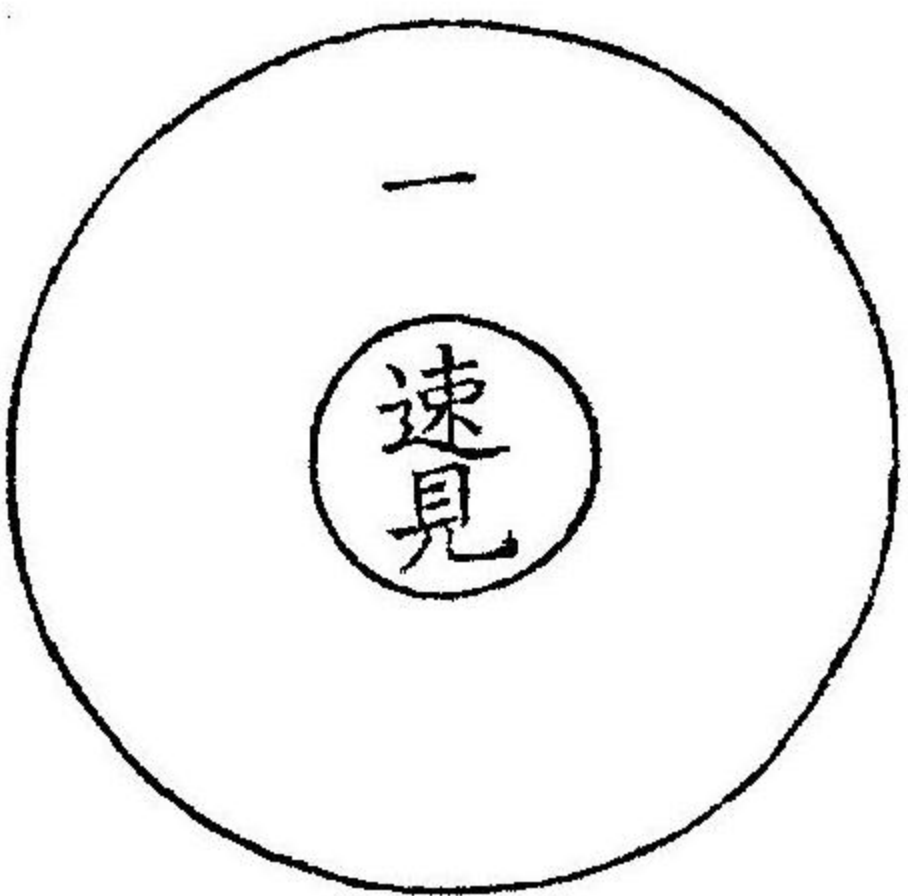
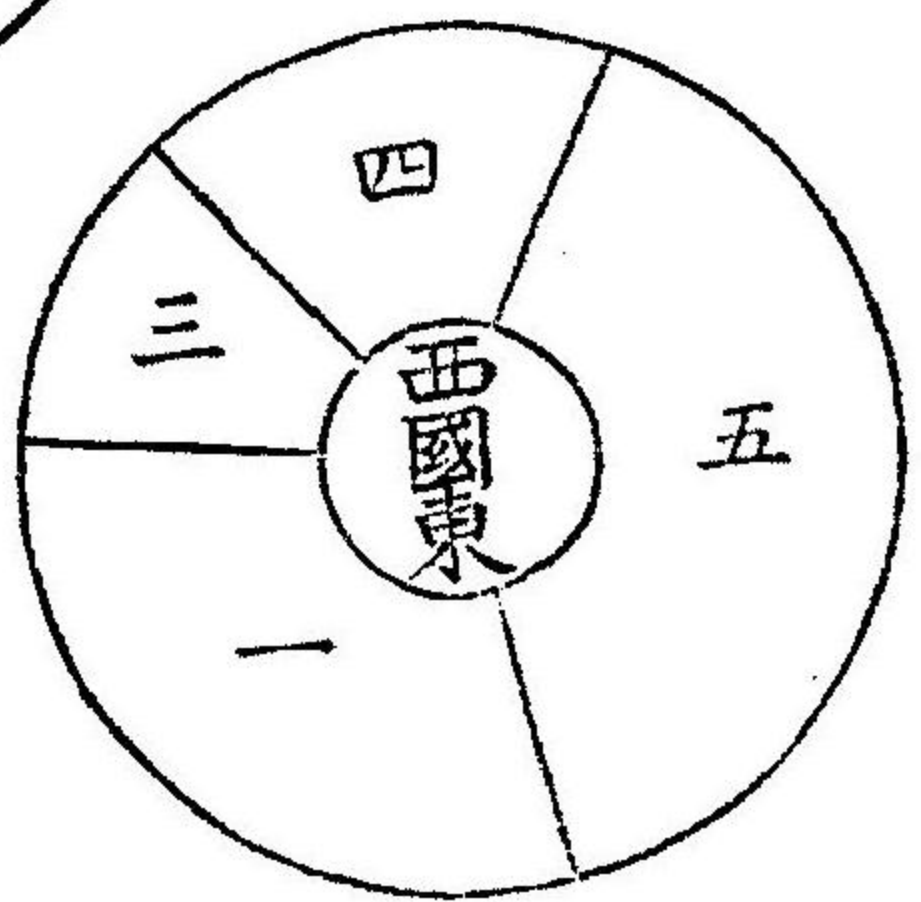
速見郡 本郡ノ出品ハ二點ニシテ悉ク器械審査ニ附セリ色澤形狀共ニ佳良ニシテ撰繻ノ注意周到ナ



① 直入

② 玖珠 ④ 大野

③ 南海部 ⑤ 日田



- ① 器械審査
- ② 品質等
- ③ 形狀否
- ④ 殺蛹否
- ⑤ 貯藏否

- ⑥ 下毛
- ⑦ 北海部
- ⑧ 速水
- ⑨ 字佐
- ⑩ 大分
- ⑪ 西國東



ルモノアリ然レトモ緊緩稍不齊ニシテ殺蛹貯藏亦完全ナラス

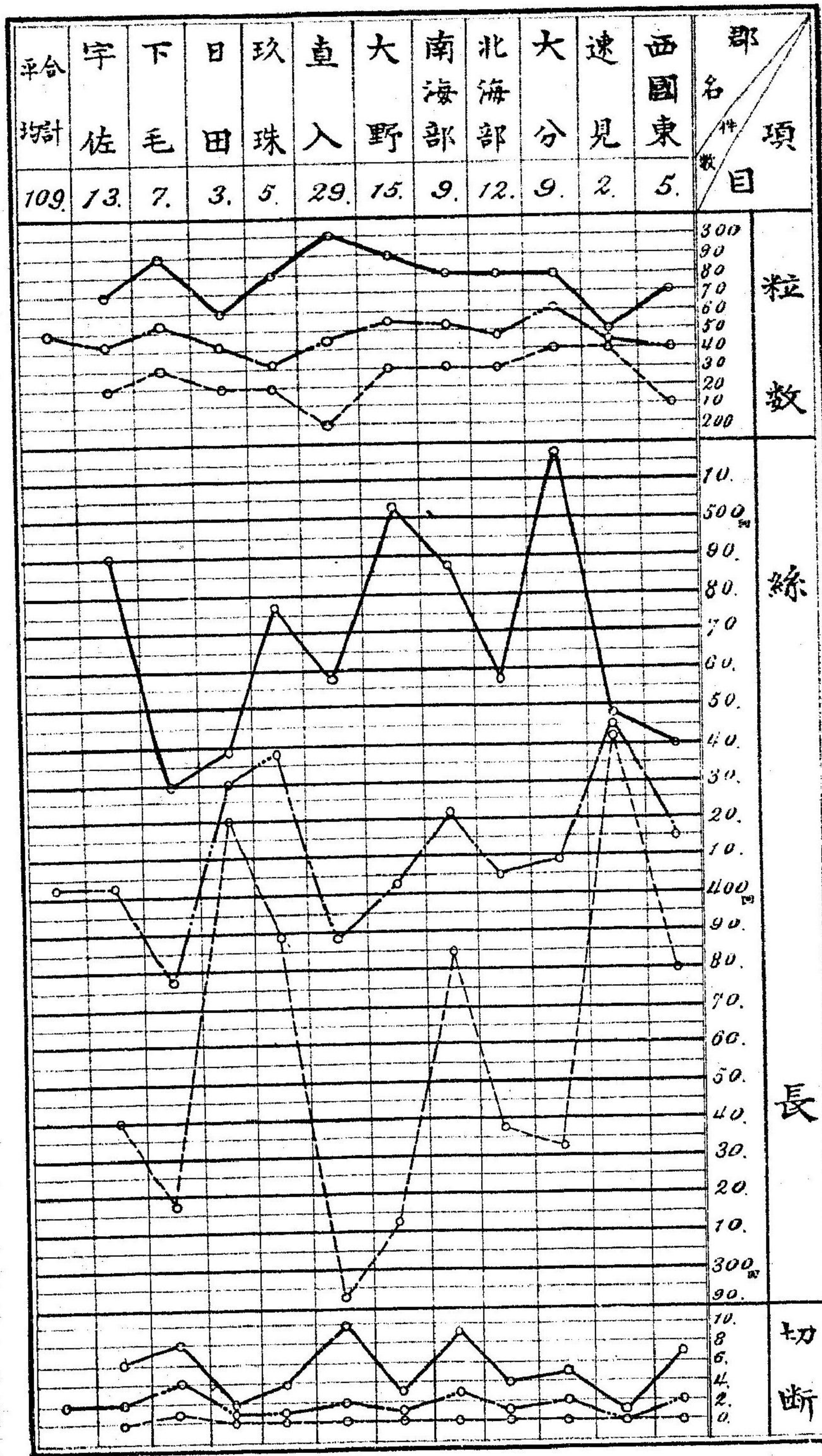
大分郡 本郡ノ出品ハ拾九點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ九點ナリ品位優等ニシテ卓然比類ナキモノ一點アリ其他色澤形狀頗ル佳良ニシテ觀ルヘキモノナキニアラス唯繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモノ極メテ少ク殺蛹ハ時機ニ後レ貯藏ハ完全ヲ得サルモノ多シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ殺蛹ノ時機ヲ失ヒ繭層ニ異狀ヲ呈セルモノ二點貯藏ヲ誤リ蛹体膨脹シテ内微ヲ生セルモノ拾點ナリ

北海郡 本郡ノ出品ハ拾三點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ拾二點ノ多キニ及ヘリ概シテ品位優等ノモノナシト雖色澤形狀共ニ佳良ニシテ緊緩不同少ク殺蛹貯藏モ亦觀ルヘキモノナキニアラス而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ乾燥貯藏ヲ誤リ蛹体腐爛シテ内層ヲ汚染セルモノ僅ニ一點ナリ

南海郡 本郡ノ出品ハ拾六點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ九點ナリ色澤形狀共ニ佳良ナラサルニアラスト雖緊緩稍不齊ニシテ殺蛹貯藏亦宜シキヲ得タルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ殺蛹ノ時機ニ後レ内層ヲ汚染セルモノ一點乾燥貯藏ヲ誤リ蛹体膨脹シテ内微ヲ生セルモノ六點ナリ

大野郡 本郡ノ出品ハ二拾點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ拾五點ナリ色澤形狀概ネ佳良ニシテ緊





繭器械審査成績表

其一



繭ニ不同少ク殺蛹貯蔵亦宜シキヲ得タルモノ多シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ殺蛹ノ時機ニ後レタルモノニ點乾燥貯蔵ヲ誤リ蛹体膨脹シテ内微ヲ生セルモノ三點ナリ

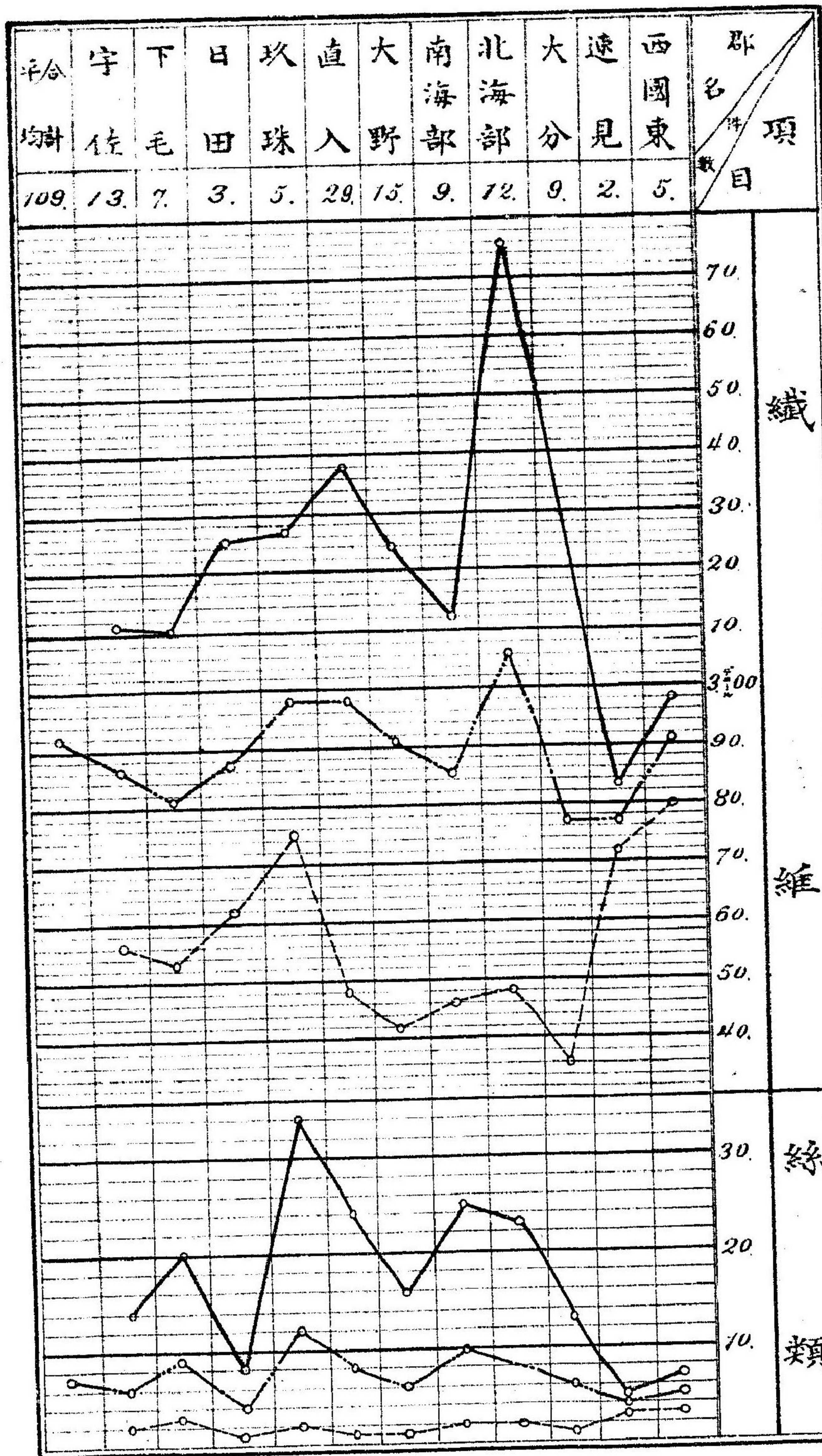
直入郡 本郡ノ出品ハ三拾六點ニシテ器械審査ニ附シタルモノニ拾九點ナリ色澤佳ナルモノナキニアラスト雖形狀不同緊緩不齊ニシテ殺蛹貯蔵宜シキニ適セルモノ甚タ少シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ナルモノニ點形狀不同ニシテ或ハ小或ハ大ニ失セルモノ三點殺蛹ノ時機ヲ失ヒ内層ヲ汚染セルモノ一點乾燥貯蔵ヲ誤リ蛹体腐爛セルモノ一點ナリ

玖珠郡 本郡ノ出品ハ拾二點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ五點ナリ品位優等ノモノナキニアラスト雖色澤形狀多クハ佳良ナラヌ緊緩亦不齊ナリ加フルニ殺蛹貯蔵ノ方法完全ナルモノ極メテ少シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ形狀不同ニシテ粒數ノ小ニ失セルモノ一點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ一點乾燥貯蔵ノ方法完全ナラスシテ蛹体膨脹シ腐敗甚シキモノ五點ナリ

日田郡 本郡ノ出品ハ四點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ三點ナリ色澤形狀稍佳ナリト雖緊緩不齊ニシテ殺蛹貯蔵共ニ宜シキヲ得タルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ貯蔵ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ一點ナリ

下毛郡 本郡ノ出品ハ二拾七點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ僅ニ七點ナリ色澤不美形狀不同ニシテ緊緩不齊ナリ加フルニ殺蛹ノ時機ヲ誤リノ法是ニ巧ニシテ彼ニ熟セルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於





繭器械審査成績表、其二



ヲ廢除シタルモノハ品質甚シク劣レルモノ一點形狀大ニ失シ一升ノ粒數百八十顆ニ足ラサルモノ  
一點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ一點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ十七點ナリ

宇佐郡 本郡ノ出品ハ二拾四點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ拾三點ナリ色澤稍佳ナリト雖形狀不  
同ニシテ緊緩齊一ナラス殊ニ殺蛹貯藏ニ至リテハ多クハ不完全ニシテ觀ルヘキモノ極メテ少シ而  
シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ形狀大ニ過キテ一升ノ粒數二百顆ニ足ラサルモノ又ハ小ニ  
失シテ三百二十顆ニ餘レルモノ各一點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ三點乾燥十分ナラス貯藏完全ナ  
ラサヨリ蛹體膨脹シテ内微ヲ生シタルモノ六點ナリ

今別紙器械審査ノ成績ヲ表記シ各郡相對照シテ以テ參考ニ供ス

佐賀縣 本縣ノ出品總數ハ七十三點ニシテ佐賀、三養基ノ二郡最多ク東松浦、藤津ノ二郡之ニ次キ佐  
賀、小城、杵島ノ一市二郡又之ニ次ケリ而シテ其最少キヲ神埼郡ノ出品トナス  
種類極メテ雜駁ニシテ殆ント觀ルヘキモノナク品位概シテ劣等ニシテ更ニ優秀ノモノナシ色澤不美  
形狀過大緊緩硬クシテ縮細粗ナリ殊ニ殺蛹ノ時機ヲ失ヒタルヨリ蛹體變シテ蛾ニ化セントセルモノ  
アリ之レカ爲メ繭殻ノ内層ヲ汚染シ絲線ヲシテ脆弱ナラシメタルモノアリ又未タ乾燥ノ術ニ熟セス  
貯藏ノ方法完全ナラサルヨリ微菌繭層ノ内外ヲ浸害シ蛹體膨脹シテ臭腐甚シキモノアリ  
全出品中審査ノ結果トシテ四等賞一、五等賞一、六等賞六合計八點ノ優品ヲ得タリ

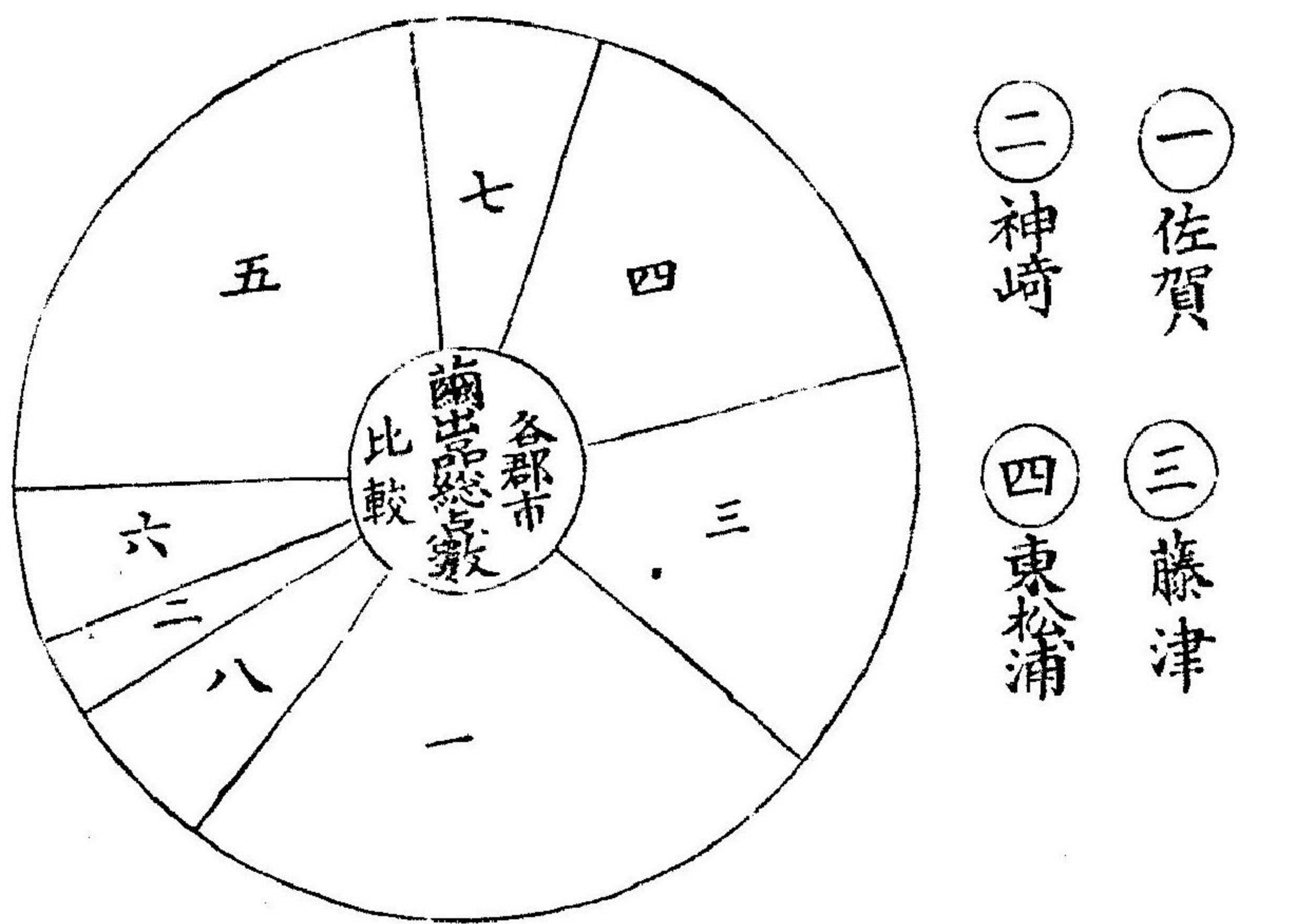


今別紙各郡出品ノ割合及肉眼審査ノ成績ヲ圖シテ一覽ニ供ス  
本縣出品總點數中品位劣等ナルカ爲メニ形狀不同ニシテ或ハ大或ハ小ニ過クルカ爲メニ殺蛹ノ時機  
ヲ失ヒ貯藏ノ方法ヲ誤リタルカ爲メニ器械審査ニ附セサルモノ五十五點ニシテ其器械審査ニ附シタ  
ルモノハ十八點ナリトス

尙各郡ニ於ケル審査ノ成績ヲ陳フレハ左ノ如シ

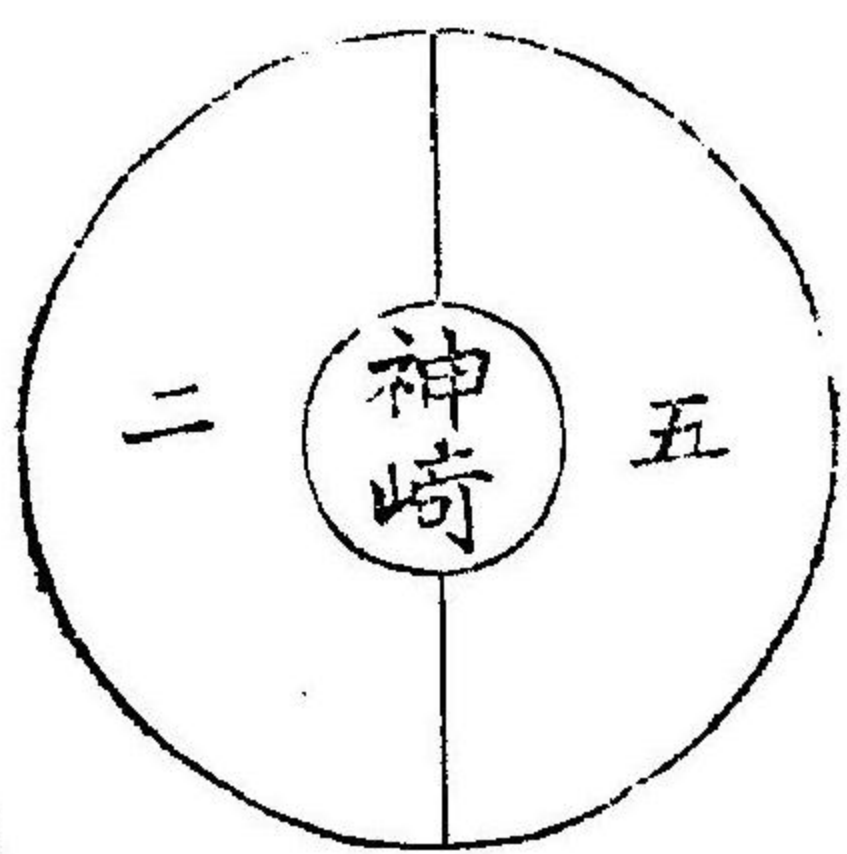
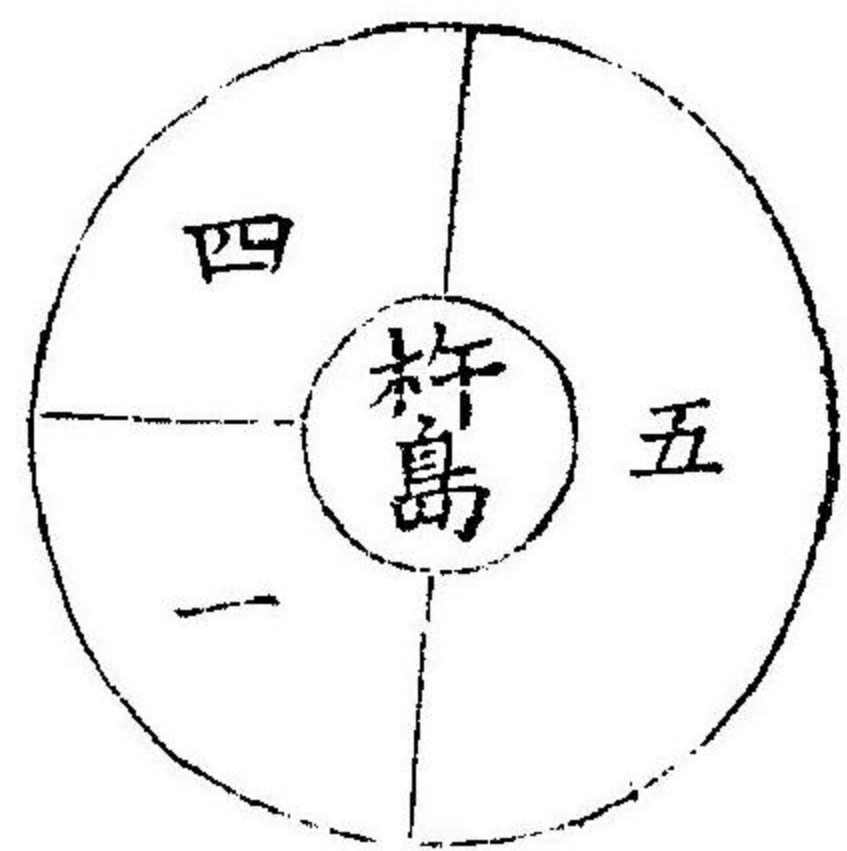
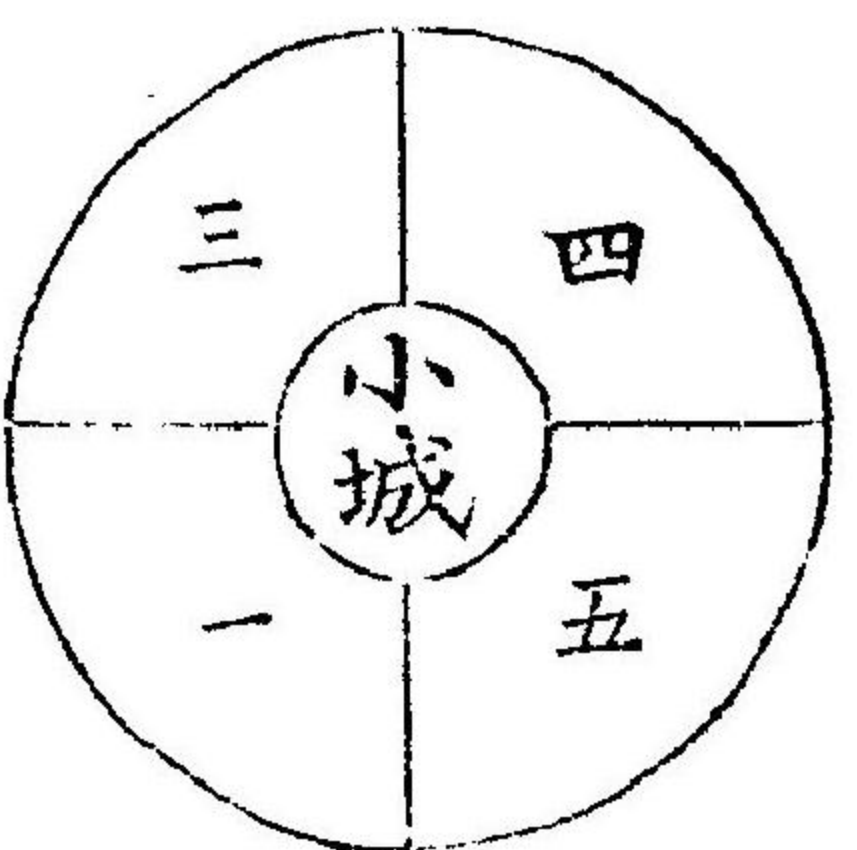
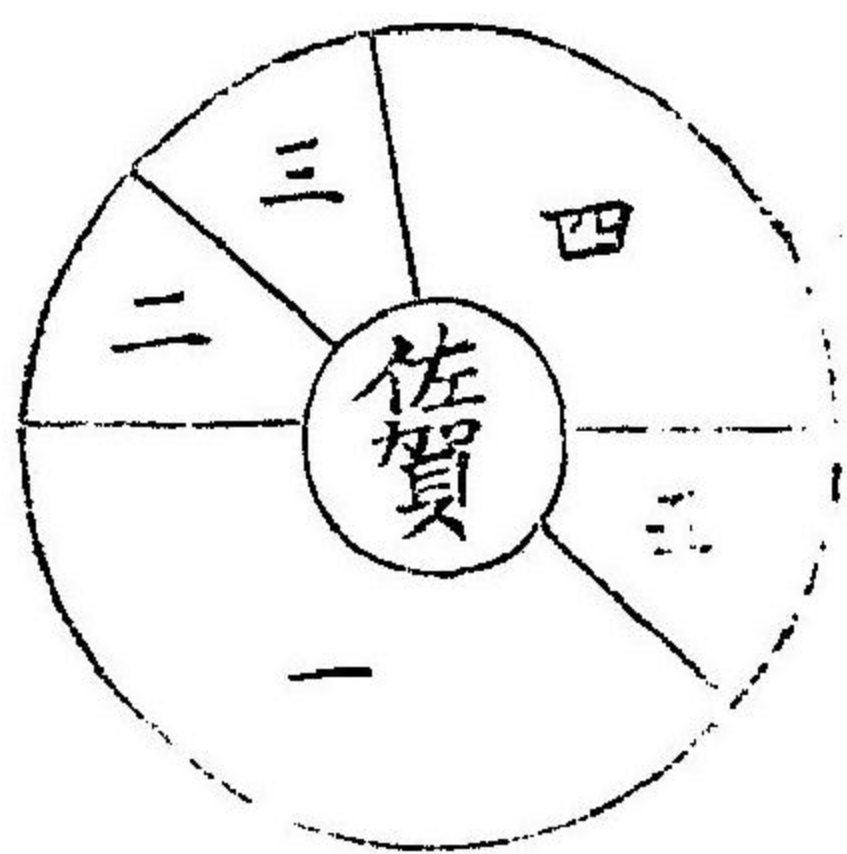
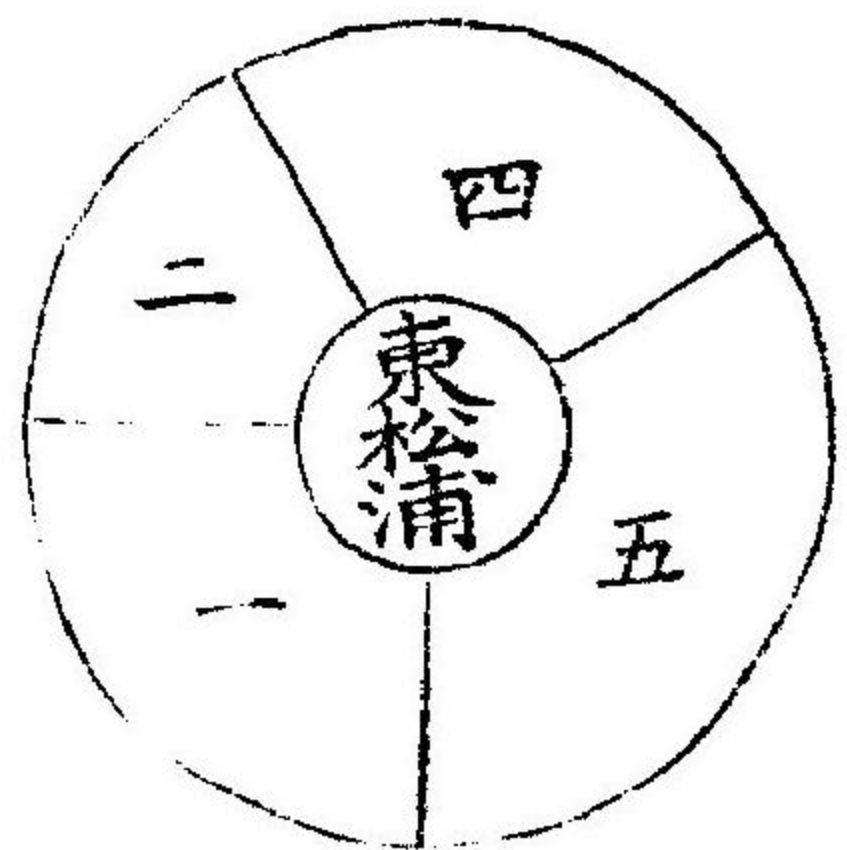
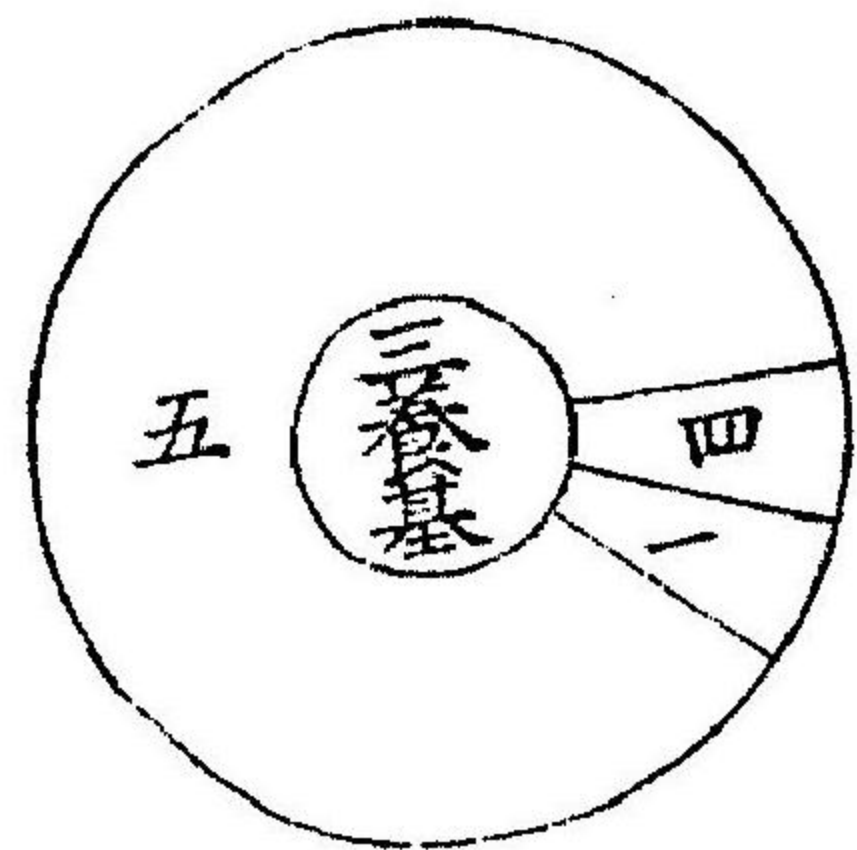
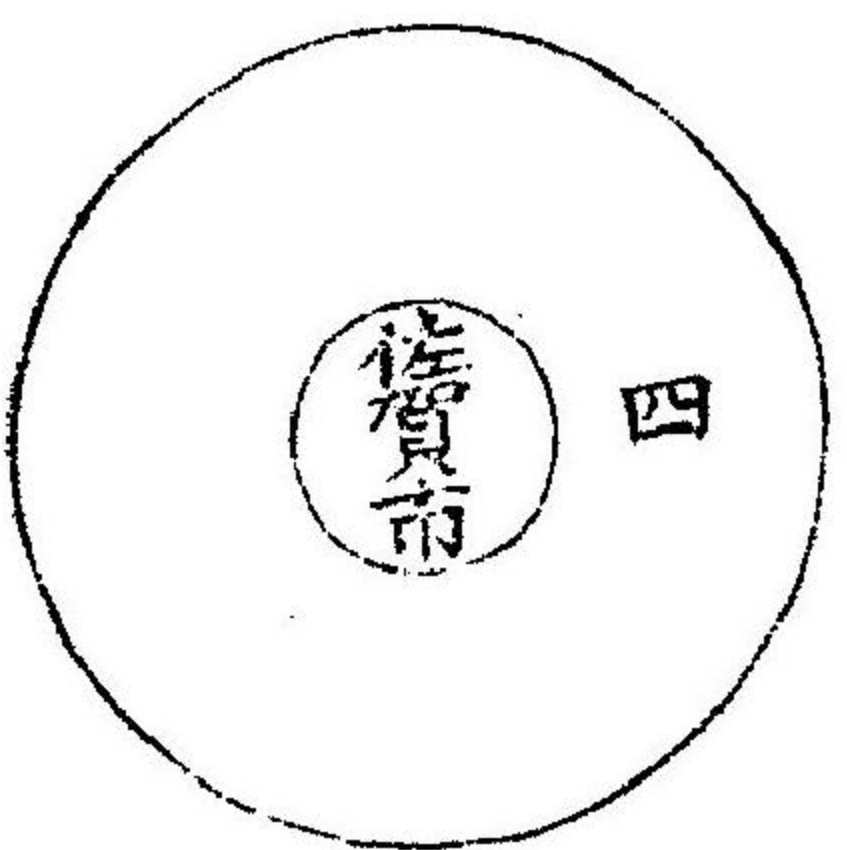
佐賀市 本市ノ出品ハ五點ニシテ色澤形狀觀ルヘキモノナキニアラスト雖緊緩概ネ不齊ニシテ繭層  
ノ硬軟宜シキニ適セルモノナク加フルニ殺蛹ノ時機ニ後レタルノミナラス乾燥貯藏共ニ完全ナラ  
サルヨリ外層ヲ焙灼シ内層ヲ汚染シ絲線ヲシテ脆弱ナラシメタルモノアリ又蛹體膨脹シテ甚シク  
微害ヲ蒙レルモノアリ是ヲ以テ肉眼鑑定ニ於テ悉ク廢除ニ屬シ一モ器械審査ニ附シタルモノナシ  
佐賀郡 本郡ノ出品ハ十八點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ七點ナリ品質佳良ニシテ稍觀ルヘキモ  
ノナキニアラスト雖色澤不美形狀不同緊緩不齊ニシテ殺蛹貯藏其宜シキヲ得タルモノ極メテ少シ  
而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等縮細粗大ナルモノ二點形狀不同ニシテ且大ニ失  
シ一升ノ粒數百九十顆ニ足ラサルモノ二點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ五點乾燥貯藏ヲ誤リ蛹體膨  
脹シテ腐微甚シキモノ二點ナリ

神埼郡 本郡ノ出品ハ二點ニシテ色澤形狀共ニ佳良ナラス緊緩亦不齊ニシテ殺蛹貯藏皆其宜シキ



- ① 佐賀
- ② 神埼
- ③ 藤津
- ④ 東松浦

- ⑤ 養基
- ⑥ 杵島
- ⑦ 佐賀市
- ⑧ 小城



- ① 器械審査ニ附シタルモノ
- ② 品位劣等ナルモノ
- ③ 形狀劣等モノ
- ④ 殺蛹否否モノ
- ⑤ 貯藏否否モノ



ヲ得ス而シテ一ハ品位劣等ナルカ爲メニ他ハ貯藏ヲ誤リタルカ爲メニ悉ク肉眼鑑定ニ於テ廢除ニ屬セリ

三養基郡 本郡ノ出品ハ十七點ニシテ品位劣等ナルカ爲メ肉眼鑑定ニ於テ悉ク廢除ニ屬セリ今試ニ其缺點ニ據リテ之ヲ區分スレハ品質甚シク劣レルモノ一點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ一點貯藏ヲ誤リ内徴ヲ生シタルモノ十五點ナリ

小城郡 本郡ノ出品ハ四點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ一點ナリ色澤形狀共ニ佳良ナラス緊緩亦不齊ニシテ殺蛹貯藏宜シキヲ得タルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ形狀大ニ失シ一升ノ粒數二百顆ニ足ラサルモノ一點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ一點貯藏ヲ誤リ内徴ヲ生シタルモノ一點ナリ

東松浦郡 本郡ノ出品ハ十二點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ僅ニ三點ナリ色澤概シテ佳良ナラス形狀多クハ不同ニシテ或ハ大ニ過キ或ハ小ニ失セルモノアリ殊ニ緊緩不齊ニシテ繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモノナク加フルニ殺蛹ノ術貯藏ノ法皆悉ク完全ナルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等縮繭粗大ナルモノ二點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ三點乾燥貯藏ヲ誤リ蛹體膨脹シテ徵害甚シキモノ四點ナリ

杵島郡 本郡ノ出品ハ四點ニシテ器械審査ニ附シタルモノハ一點ナリ色澤形狀稍佳ナリト雖緊緩頗



ル不齊ニシテ殺蛹貯藏極メテ不完ナリ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ一點貯藏ヲ誤リ内徹ヲ生シタルモノ二點ナリ

藤津郡 本郡ノ出品ハ拾一點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ六點ナリ色澤形狀頗ル佳良ニシテ觀ルヘキモノナキニアラスト雖緊緩概ネ不齊ニシテ殺蛹貯藏其宜シキヲ得タルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ニシテ繭層薄弱ナルモノ一點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ二點乾燥貯藏ヲ誤リ蛹體膨脹シテ内徹ヲ生シタルモノ三點ナリ

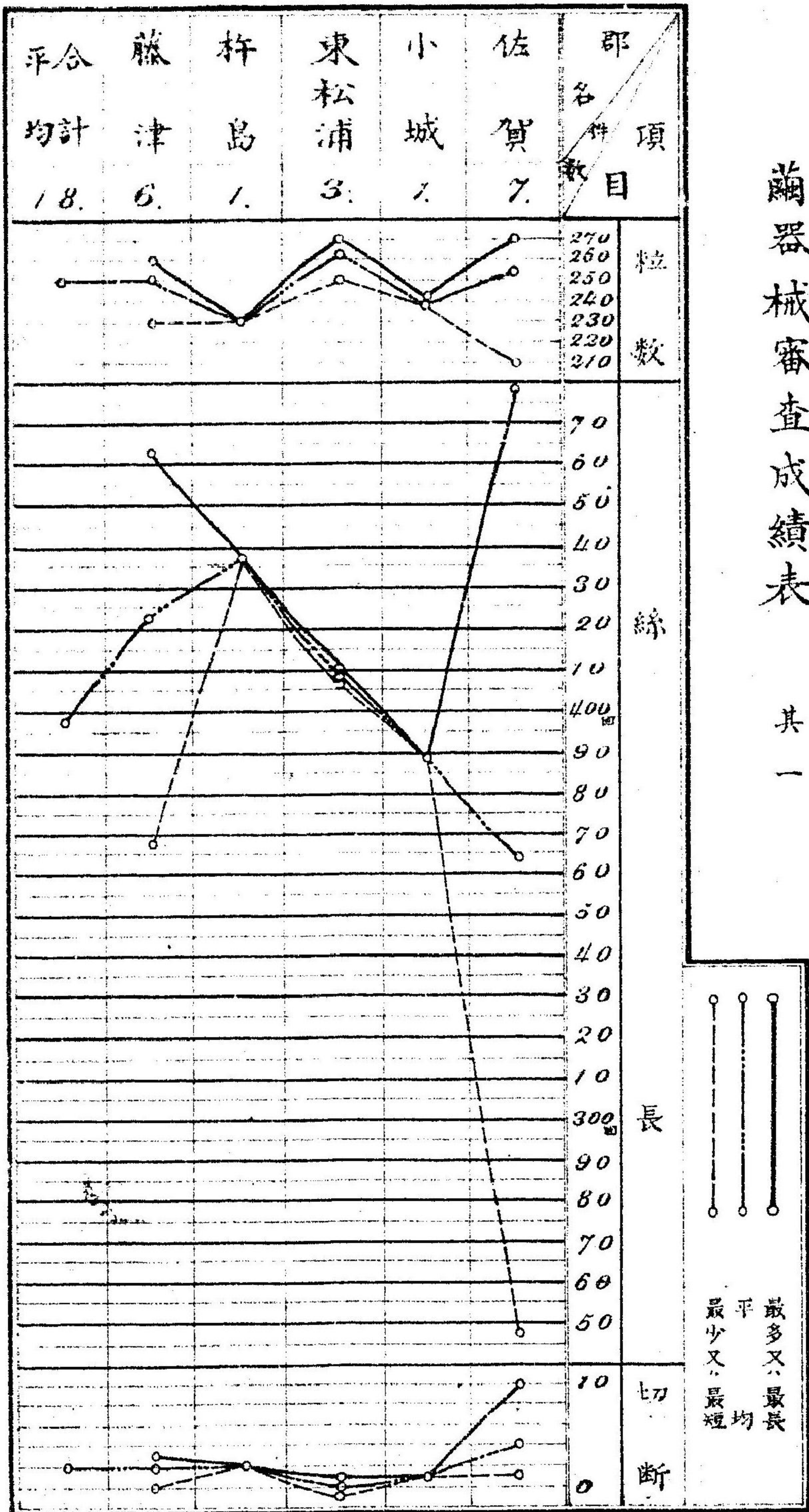
今別紙器械審査ノ成績ヲ表記シ以テ參考ニ供ス

熊本縣 本縣ノ出品總數ハ二百〇五點ニシテ飽託郡最多ク菊池、上益城ノ二郡之ニ次キ下益城、鹿本、八代ノ三郡又之ニ次ケリ而シテ宇土郡ハ玉名、葦北ノ二郡ヨリ多ク球磨郡ハ天草阿蘇ノ二郡ヨリ少ク熊本市ハ其出品ノ最少キモノナリ

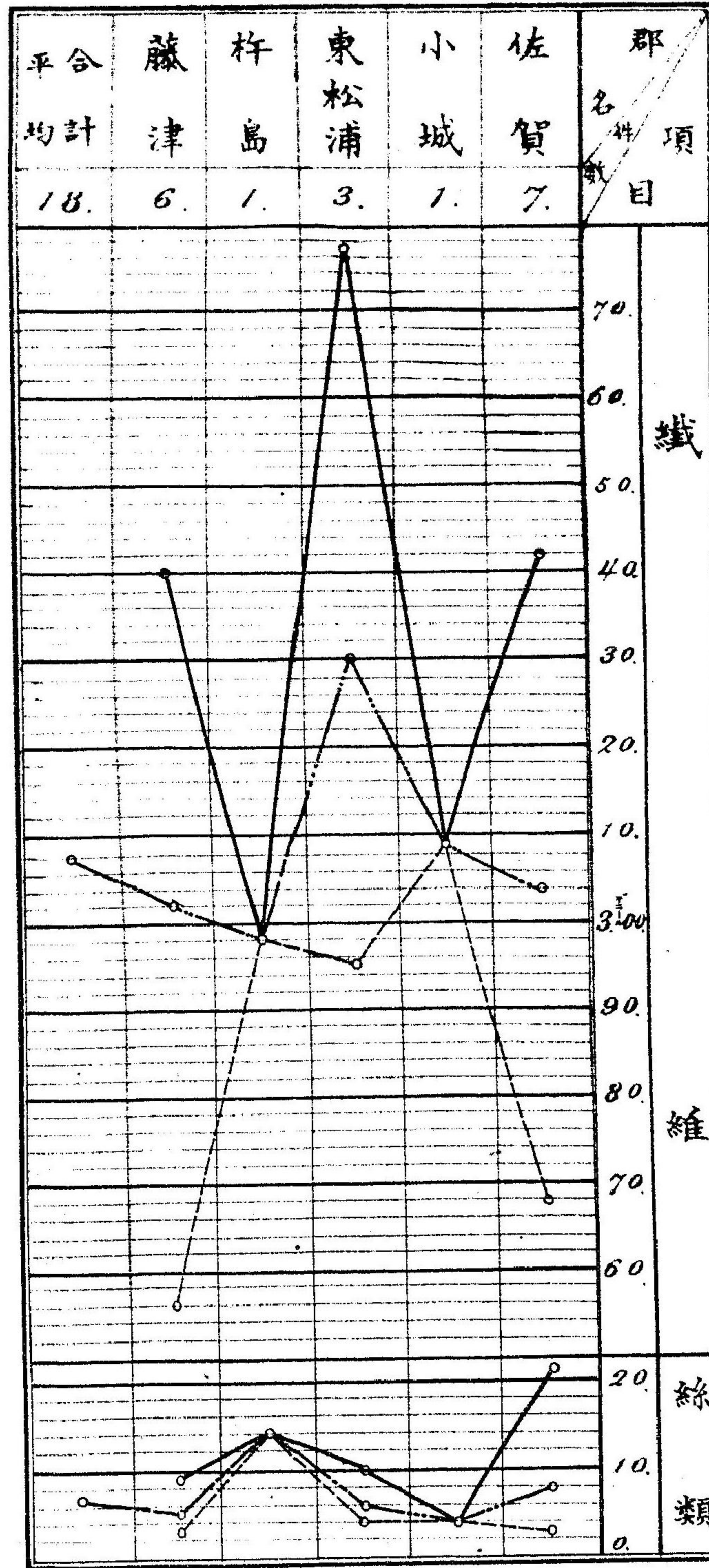
種類概シテ雜駁ニシテ觀ルヘキモノ甚少シ品質不良色澤不美形狀大ニ過キ縮繭粗ニ失セリ然レトモ組織ニ粗密ノ差少ク繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモアリ但殺蛹ノ時機ヲ失ヒ乾燥ノ適度ヲ過チタルモノアルノミナラス貯藏ノ方法完全ナラサルヨリ蛹體既ニ化蛾ニ瀕シ内層ヲ汚染セルモノアリ或ハ繭層ヲ焙灼セルモノアリ又ハ微害ヲ蒙リタルモノアリ之カ爲メ色澤ヲ損シ絲質ヲ傷ヒ絲線ヲ脆弱ナラシメサルモノアリ

繭器械審査成績表

其一

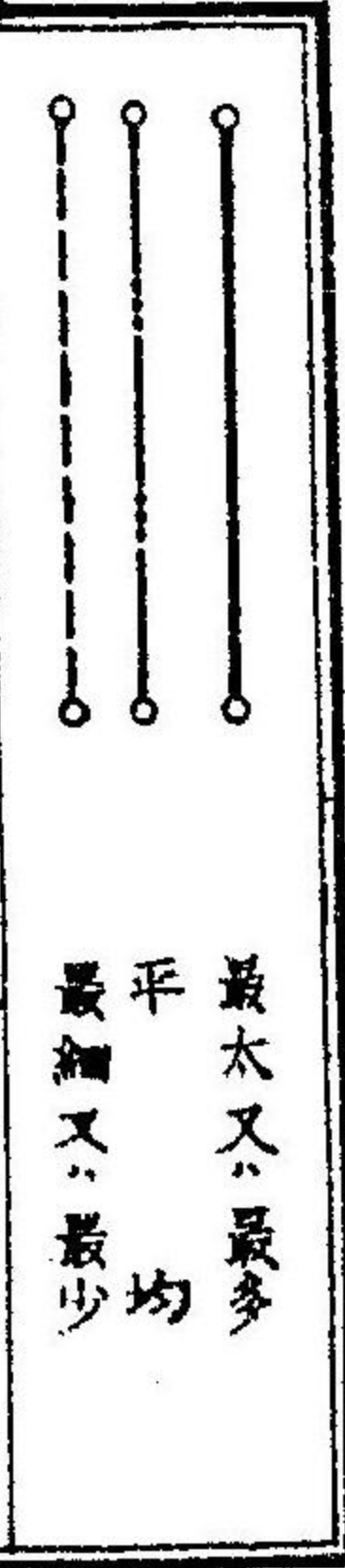






繭器械審査成績表

其二





全出品中審査ノ結果トシテ參等賞ニ擬シタルモノ一、四等賞一、五等賞二、六等賞二十合計二十四點ノ優品ヲ得タリ

別紙各郡出品ノ割合及ヒ肉眼審査ノ成績ヲ圖シテ一覽ニ供ス

本縣出品總點數中品位劣等ナルカ爲メニ形狀不同ニシテ或ハ大或ハ小ニ過クルカ爲メニ殺蛹ノ時機ヲ失シ貯藏ノ方法ヲ誤リタルカ爲メニ器械審査ヲ經サリシモノ一百零七點ニシテ其器械審査ヲ了シタルモノハ九十八點ナリトス

尙各郡ニ於ケル審査ノ成績ヲ陳フレハ左ノ如シ

熊本市 本市ノ出品ハ僅ニ一點ニシテ形狀稍不同ナリト雖顆粒ノ大小宜シキニ適シ色澤亦頗ル佳ナリ加フルニ殺蛹貯藏完全ニシテ大ニ觀ルヘキモノアリ唯惜ムラクハ緊緩稍不齊ニシテ繭層ノ硬軟宜シキヲ得サルノ感アリ

飽託郡 本郡ノ出品ハ四十五點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ二十九點ナリ品位優等ノモノナキニアラスト雖色澤形狀概シテ佳良ナラス緊緩多クハ不齊ニシテ殺蛹貯藏宜シキヲ得タルモノ甚少シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ノモノ一點形狀不同甚ク且大ニ過キテ一升ノ粒數二百顆ニ足ラサルモノ又ハ小ニ失シテ三百十顆ニ餘レルモノ三點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ四點貯藏ヲ誤リ色澤ヲ損シタルモノ八點ナリ

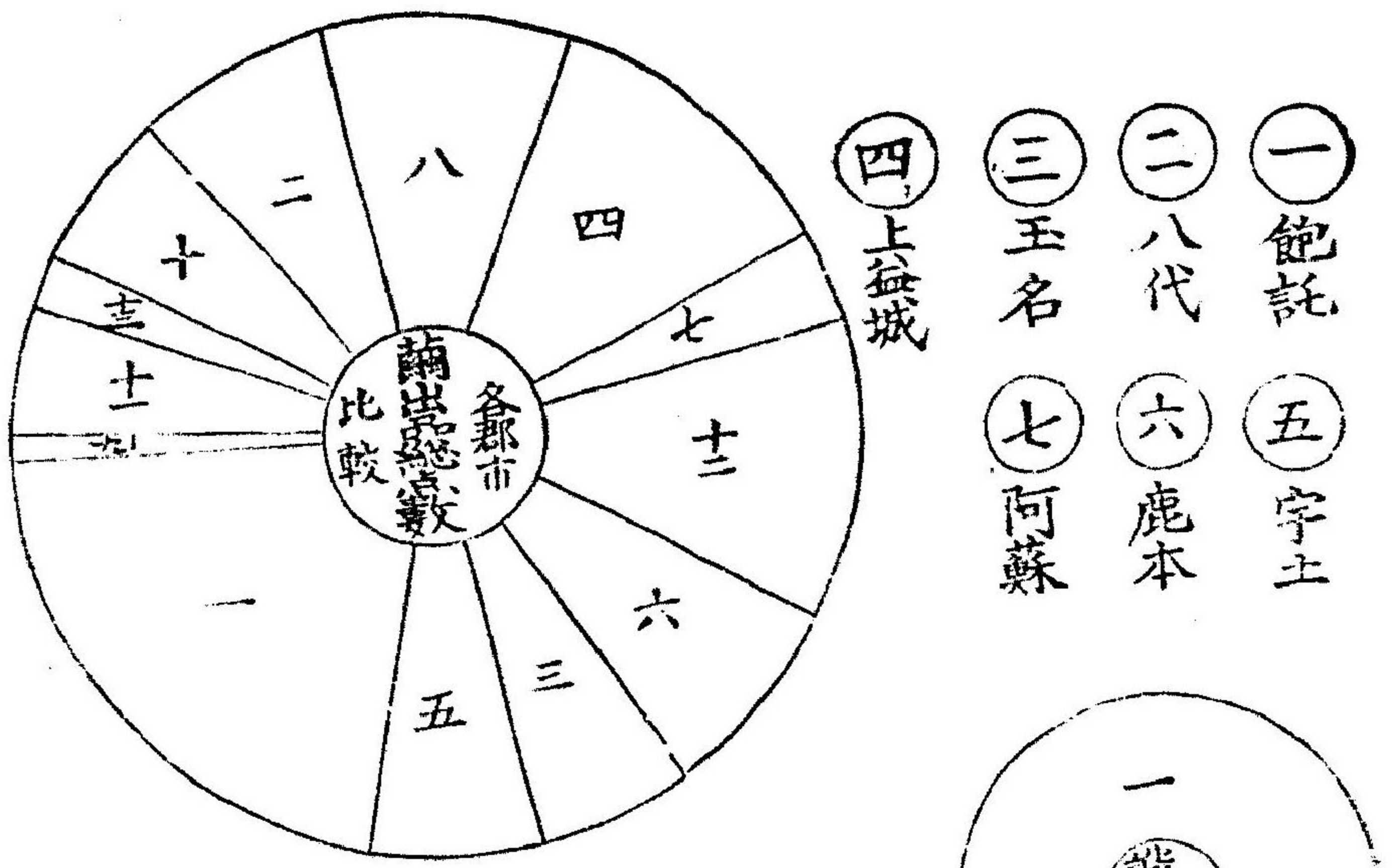


宇土郡 本郡ノ出品ハ十三點ニシテ器械審査ニ附シタルモノハ僅ニ二點ナリ色澤不美形狀不同緊緩  
 稍不齊ニシテ殺蛹貯藏亦宜シキヲ得タルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ形狀大  
 ニ失シ一升ノ粒數百七拾顆ノモノ一點百九十顆ニ足ラサルモノ三點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ三  
 點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ四點ナリ

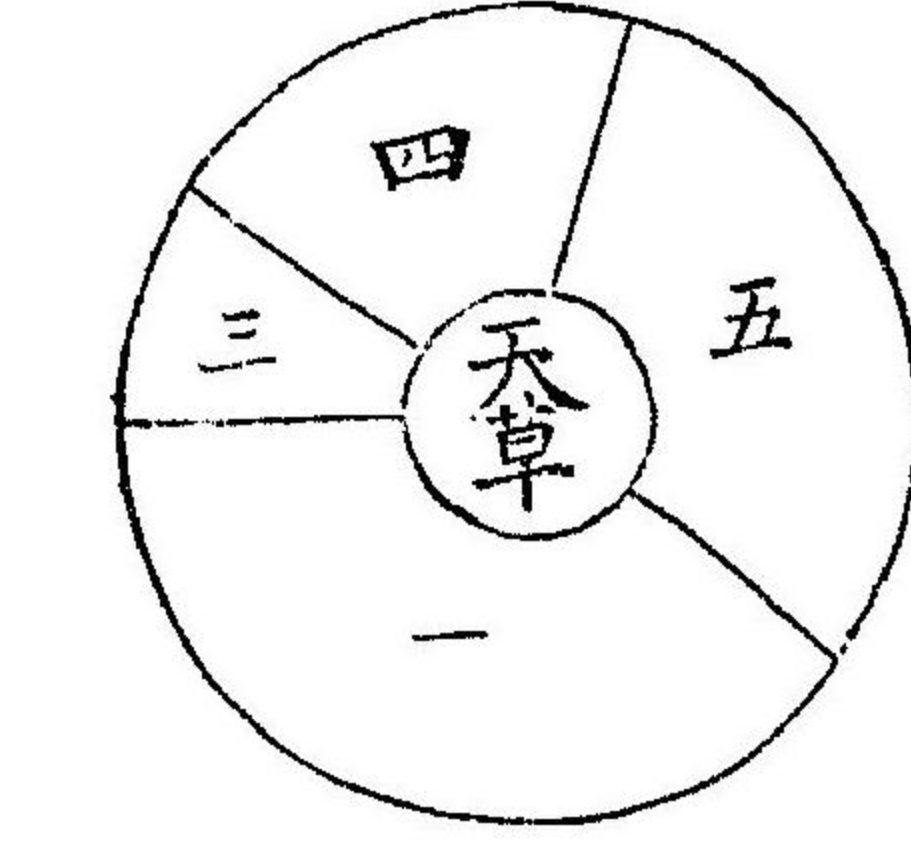
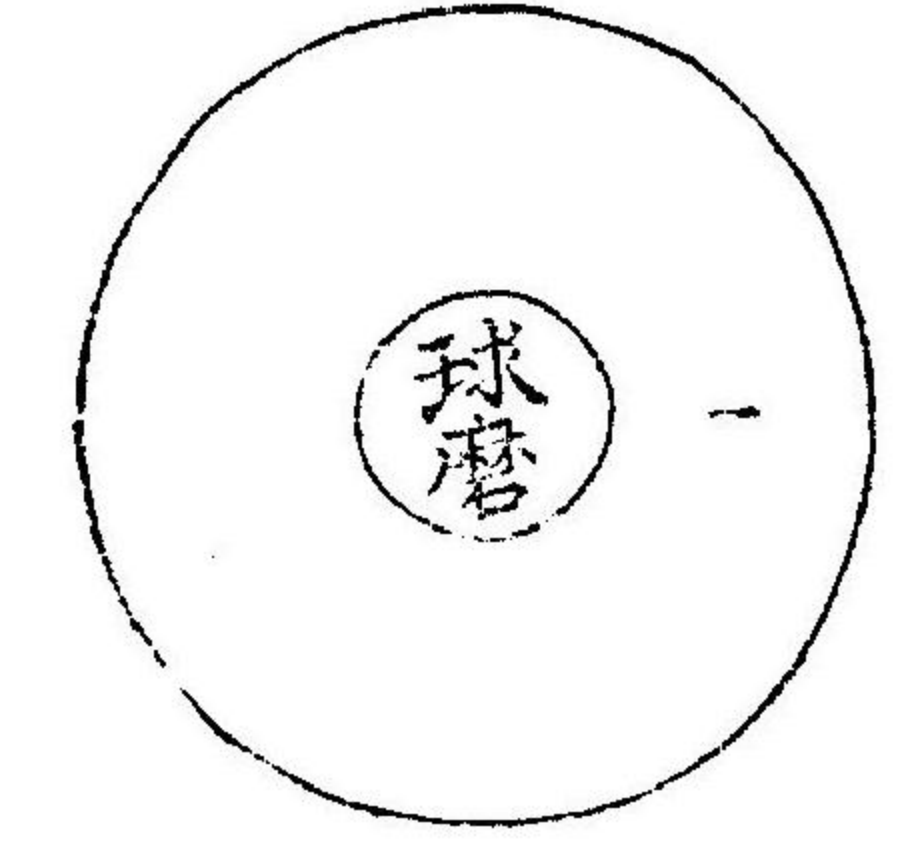
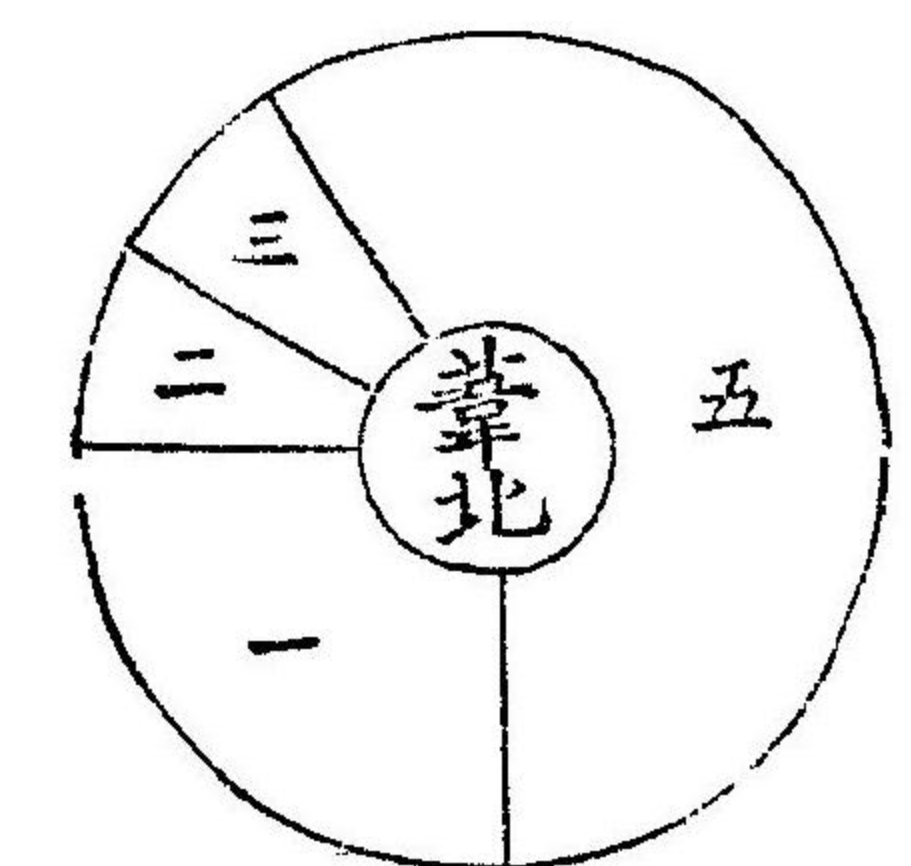
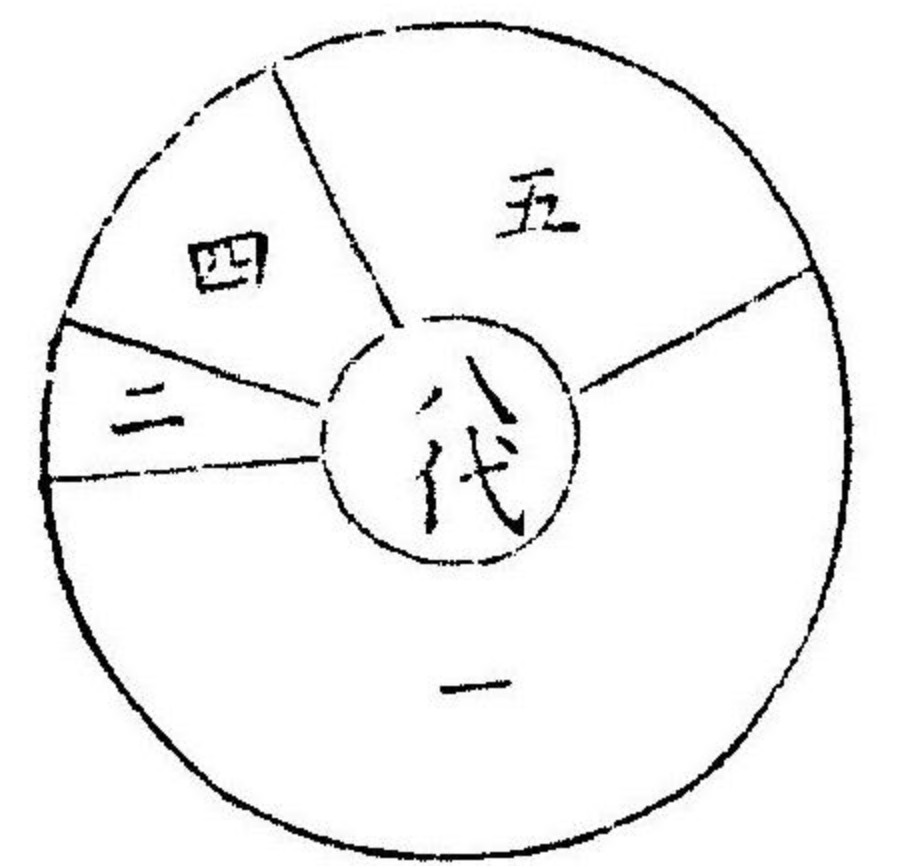
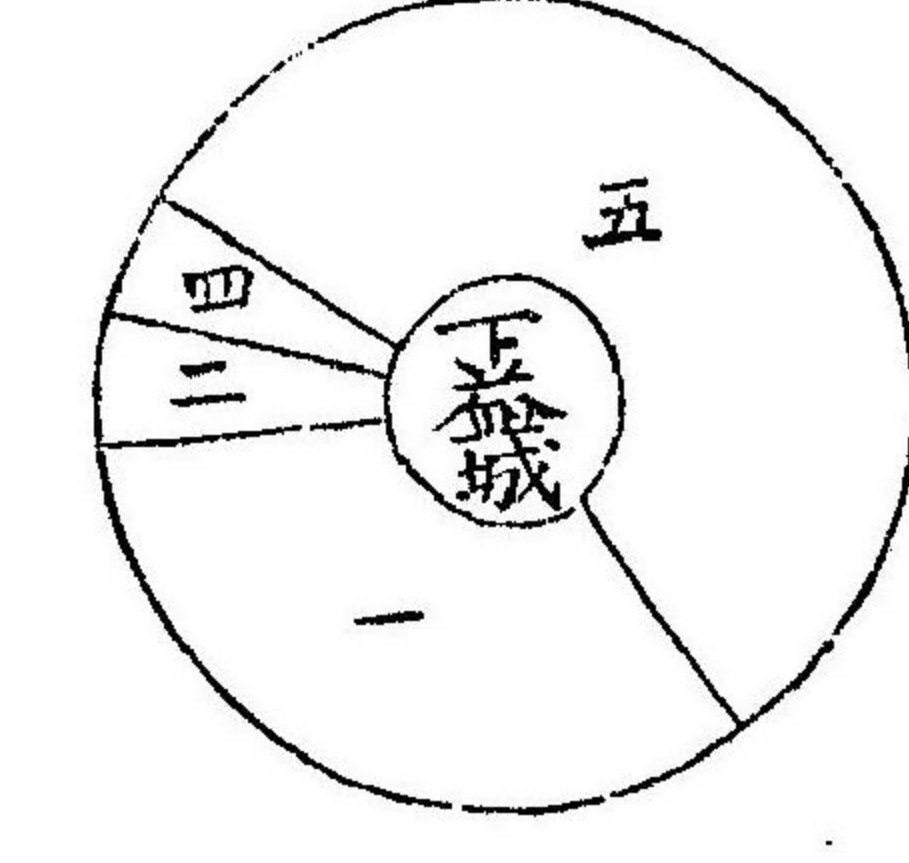
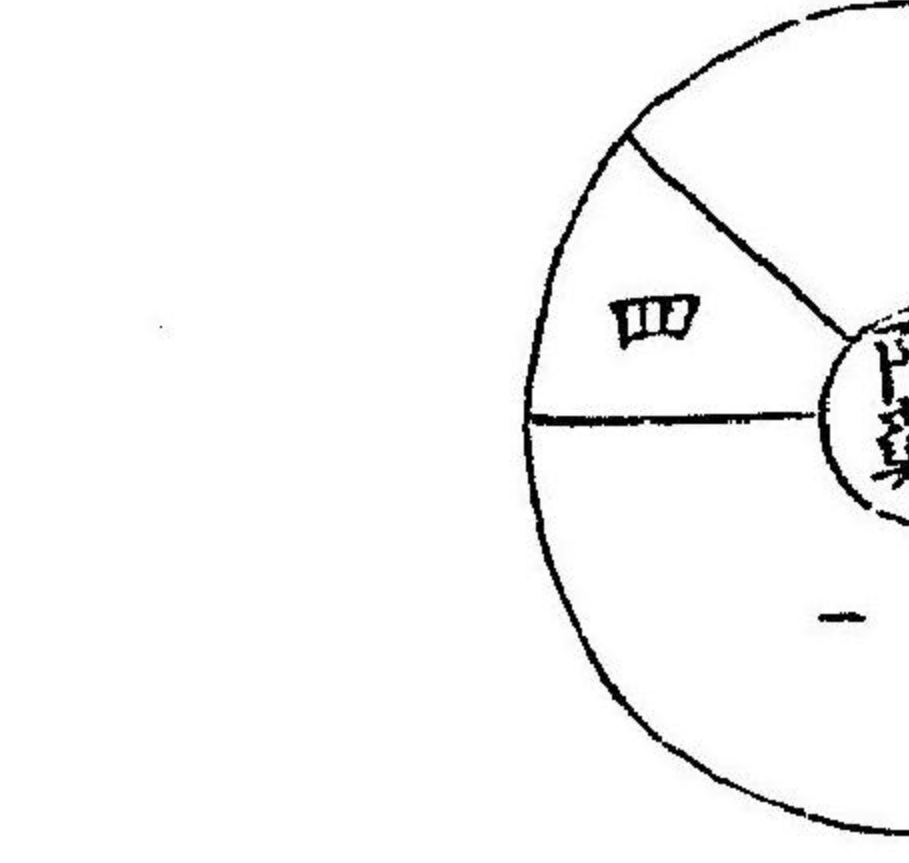
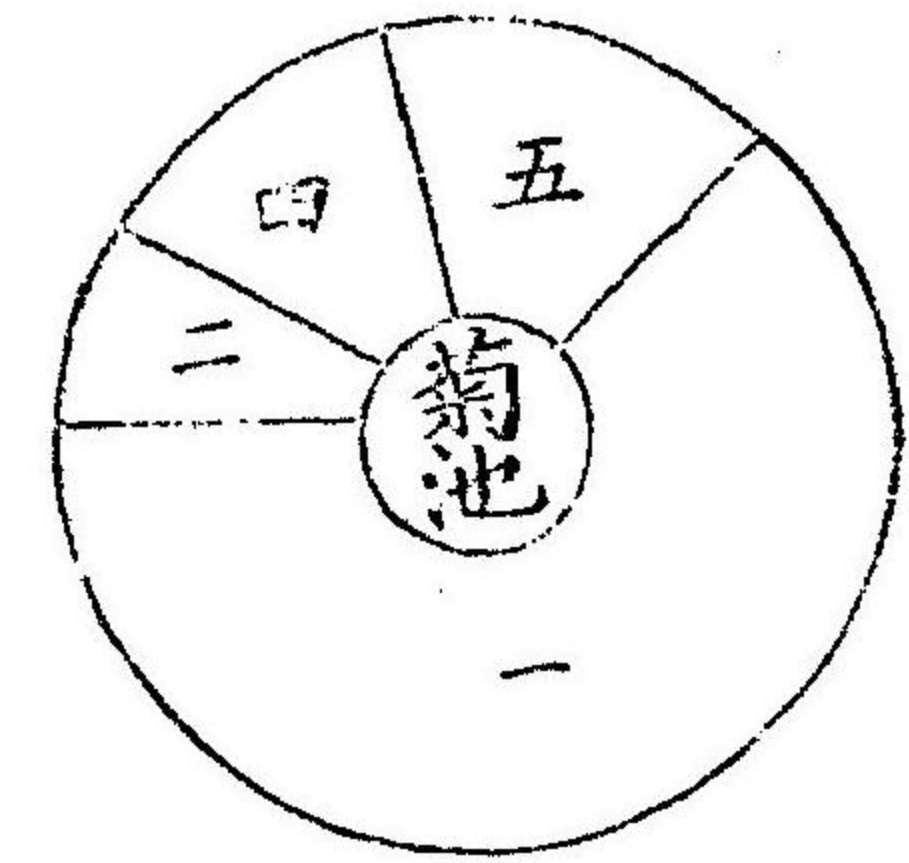
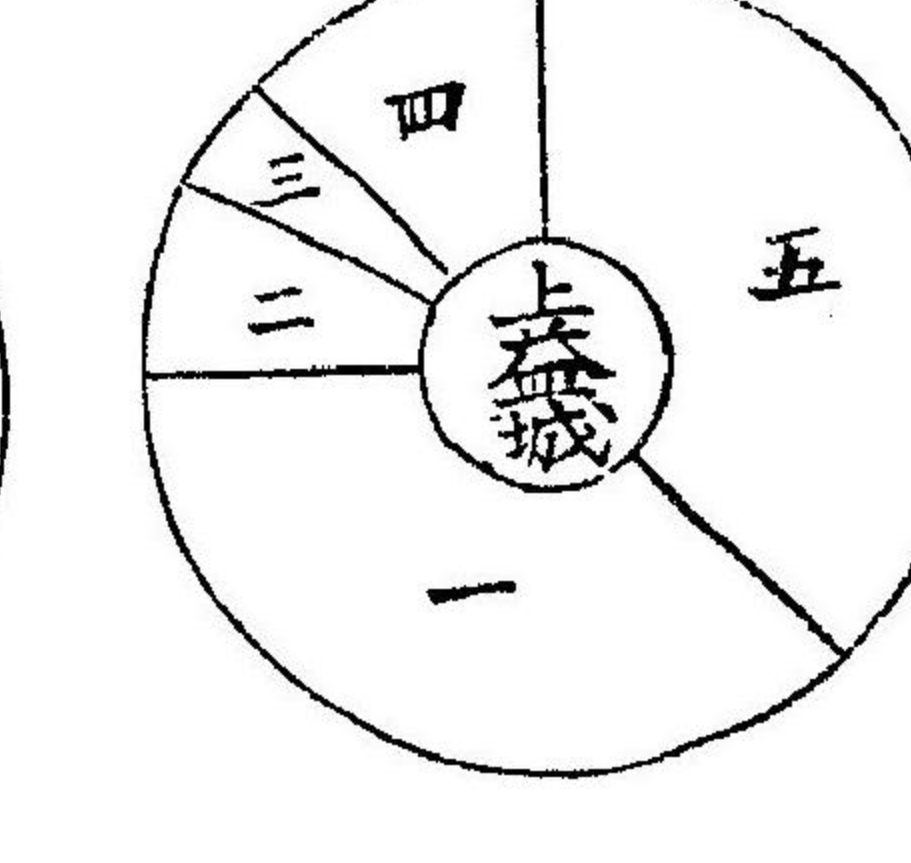
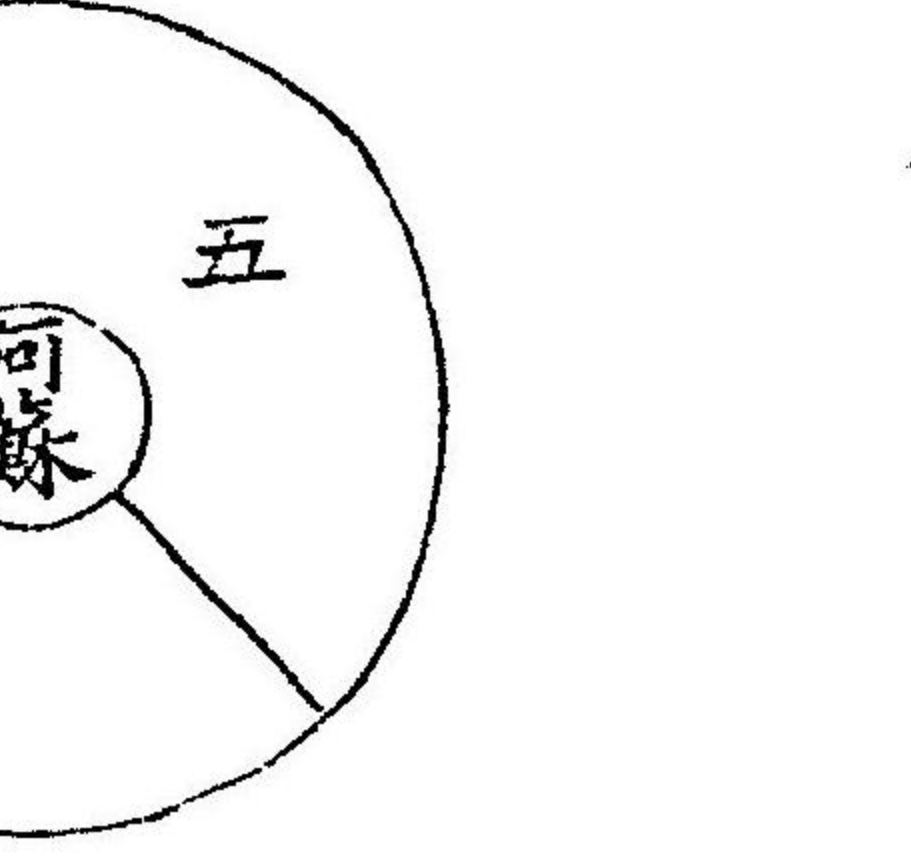
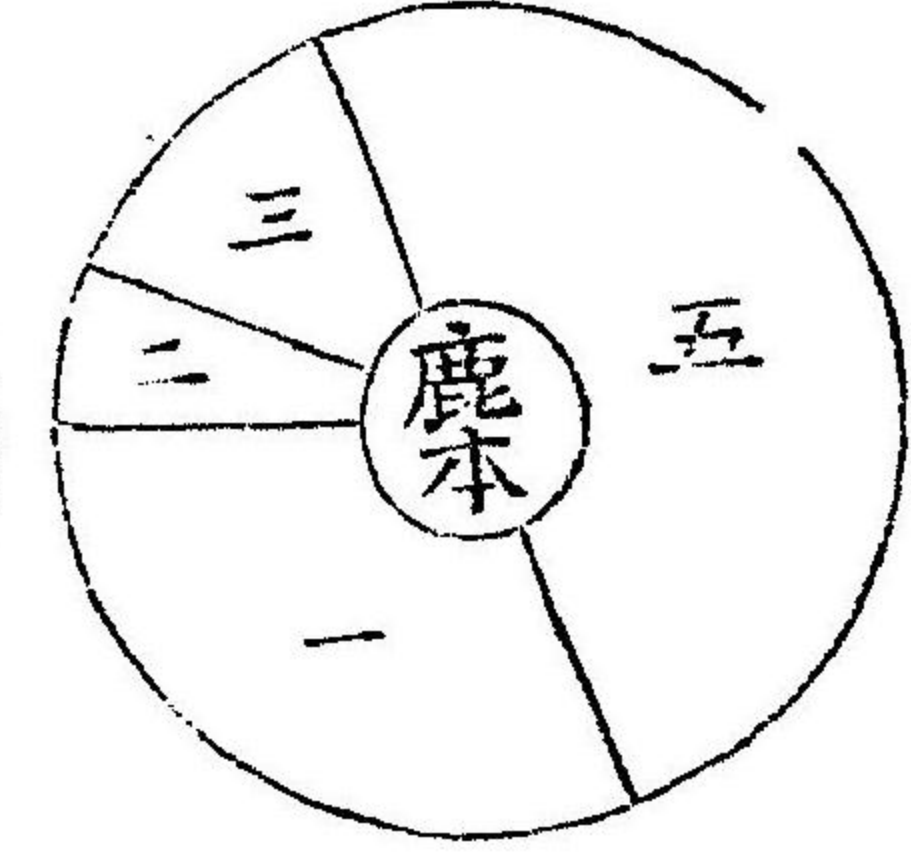
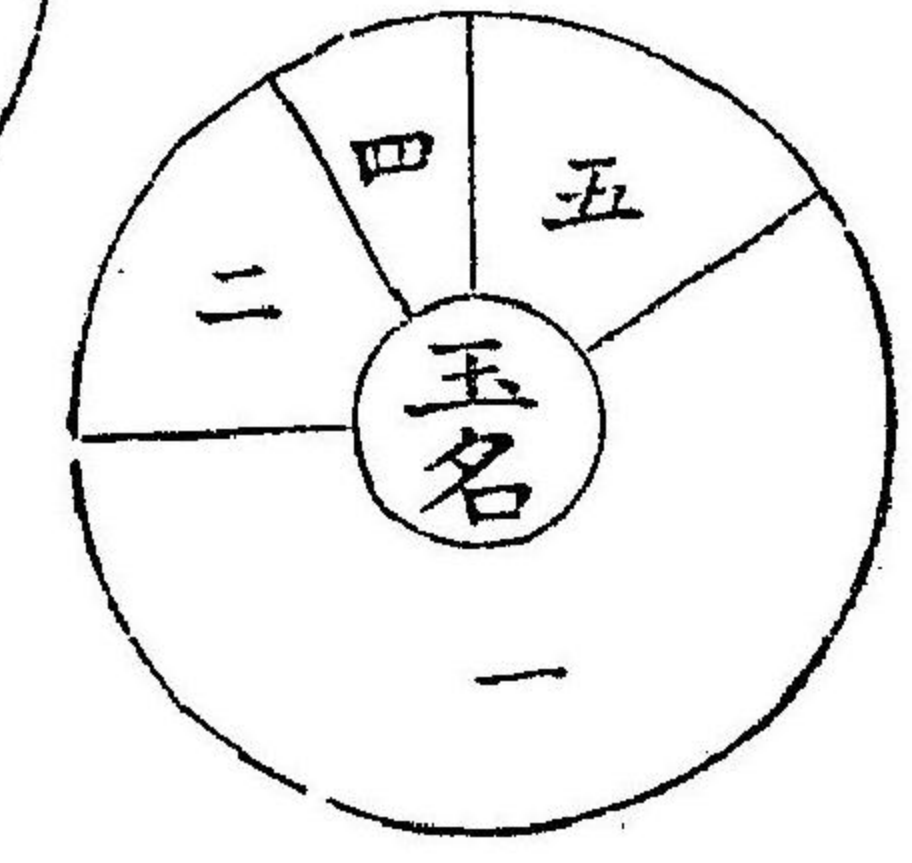
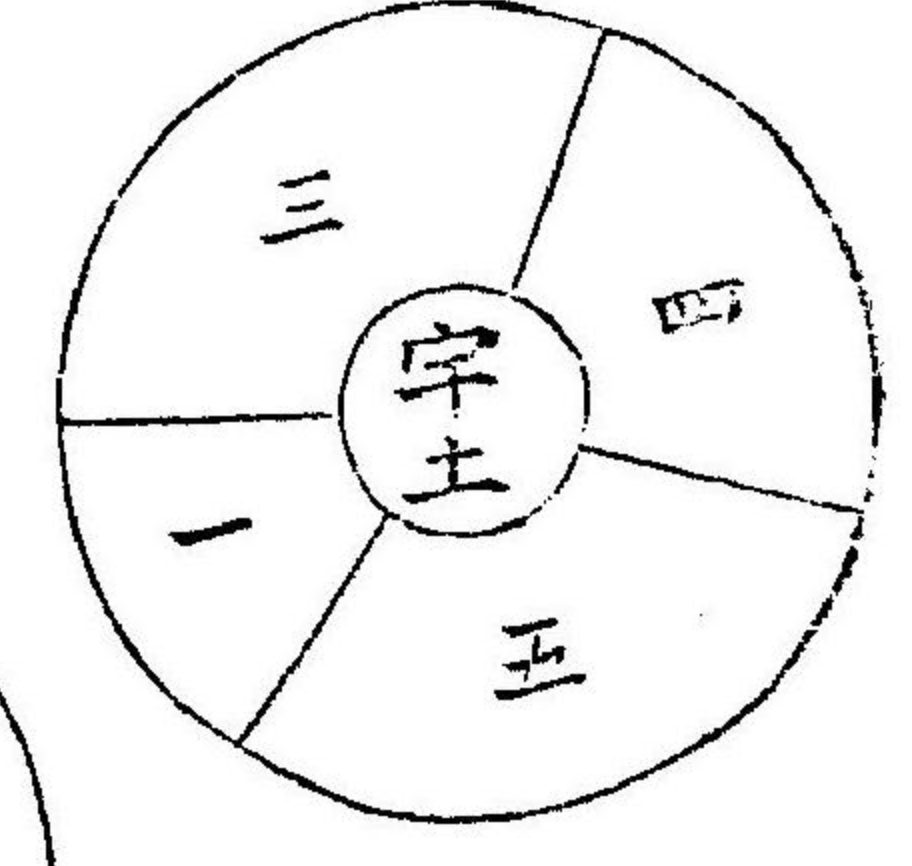
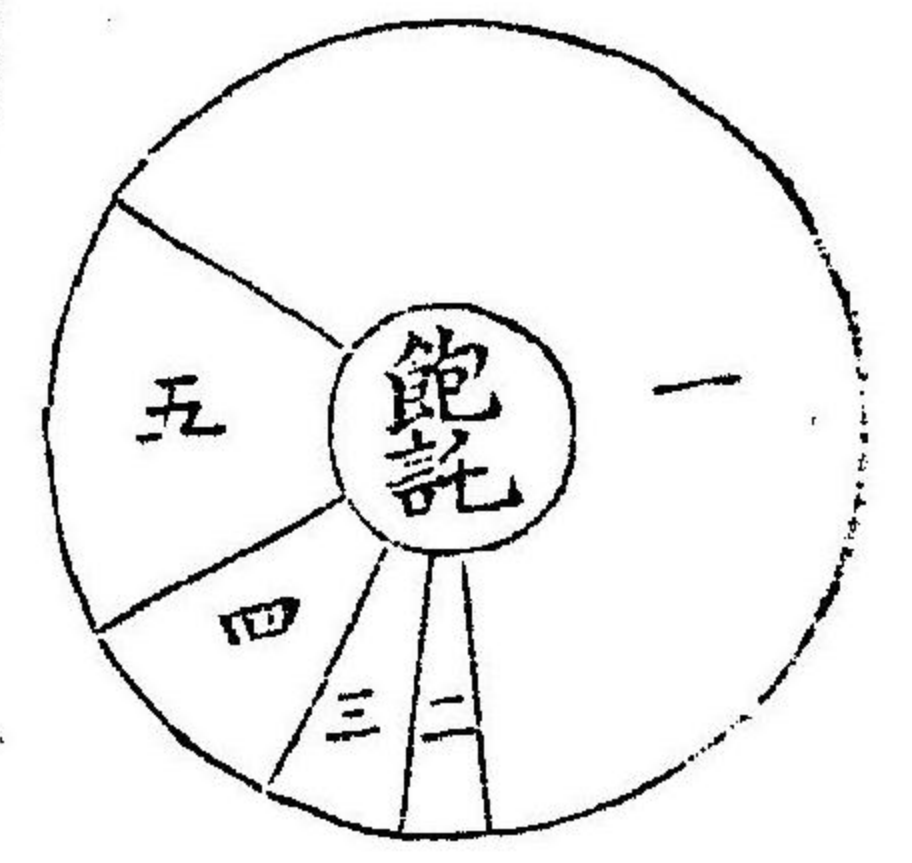
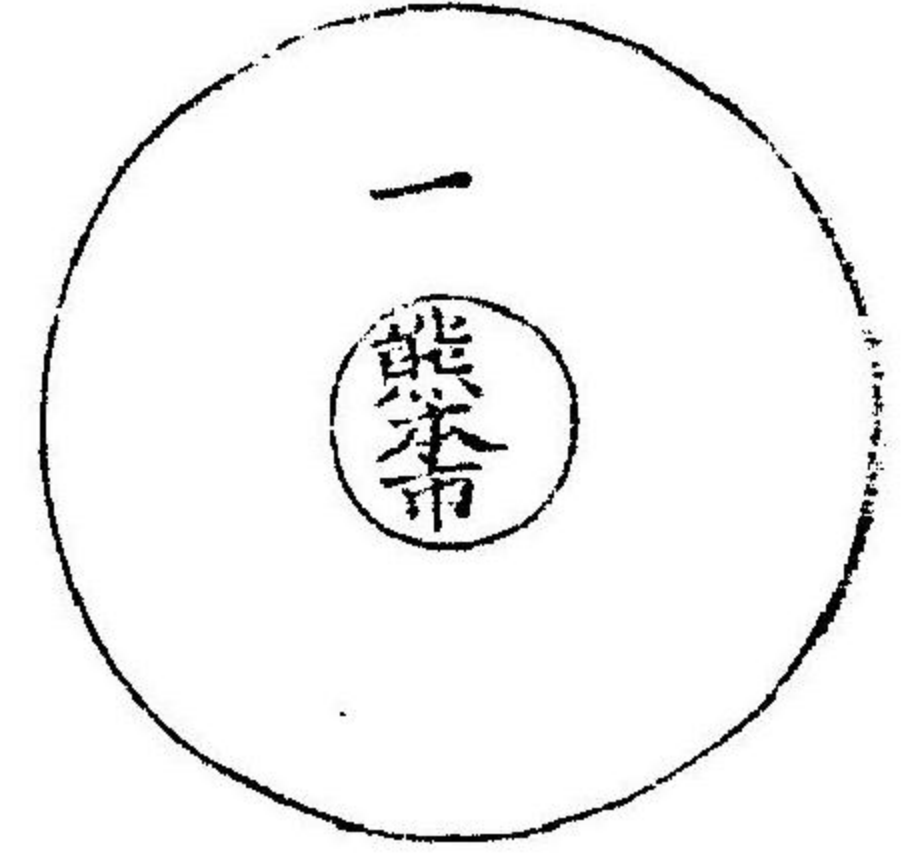
玉名郡 本郡ノ出品ハ十二點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ七點ナリ色澤形狀稍觀ルヘキモノアリ  
 ト雖緊緩概テ不齊ニシテ繭層ノ硬軟宜シキニ適セス加フルニ殺蛹貯藏其宜シキヲ得タルモノ極メ  
 テ少シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品質著シク劣レルモノ二點殺蛹ノ時機ニ後レタル  
 モノ一點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ二點ナリ

鹿本郡 本郡ノ出品ハ十六點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ五點ナリ色澤緊緩概シテ佳良ナリト雖  
 形狀不同ニシテ殺蛹貯藏其宜シキヲ得タルモノ甚少シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品  
 位劣等ニシテ縮繭粗大ナルモノ一點形狀大ニ過キテ一升ノ粒數百八十顆ニ足ラサルモノ又小ニ失  
 シテ三百十顆ニ餘レルモノ二點乾燥貯藏ヲ誤リ蛹體膨脹シテ腐殖甚シキモノ八點ナリ

菊池郡 本郡ノ出品ハ二十四點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ十五點ナリ色澤形狀稍佳ナリト雖緊  
 緩多クハ不齊ニシテ繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモノナク殺蛹貯藏モ亦完全ナルモノ極メテ少シ而  
 シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ニシテ縮繭浮穢セルモノ二點殺蛹ノ時機ニ後レタ



- 一 飽託
- 二 八代
- 三 玉名
- 四 上益城
- 五 宇土
- 六 鹿本
- 七 阿蘇
- 八 下益城
- 九 熊本
- 十 球磨



- 一 器械審査ニ附シタルモノ
- 二 品位劣等ナルモノ
- 三 形狀不齊ナルモノ
- 四 殺蛹否ナキモノ
- 五 貯藏否ナキモノ



ルモノ三點乾燥貯藏ヲ誤リ腐痞甚シキモノ四點ナリ

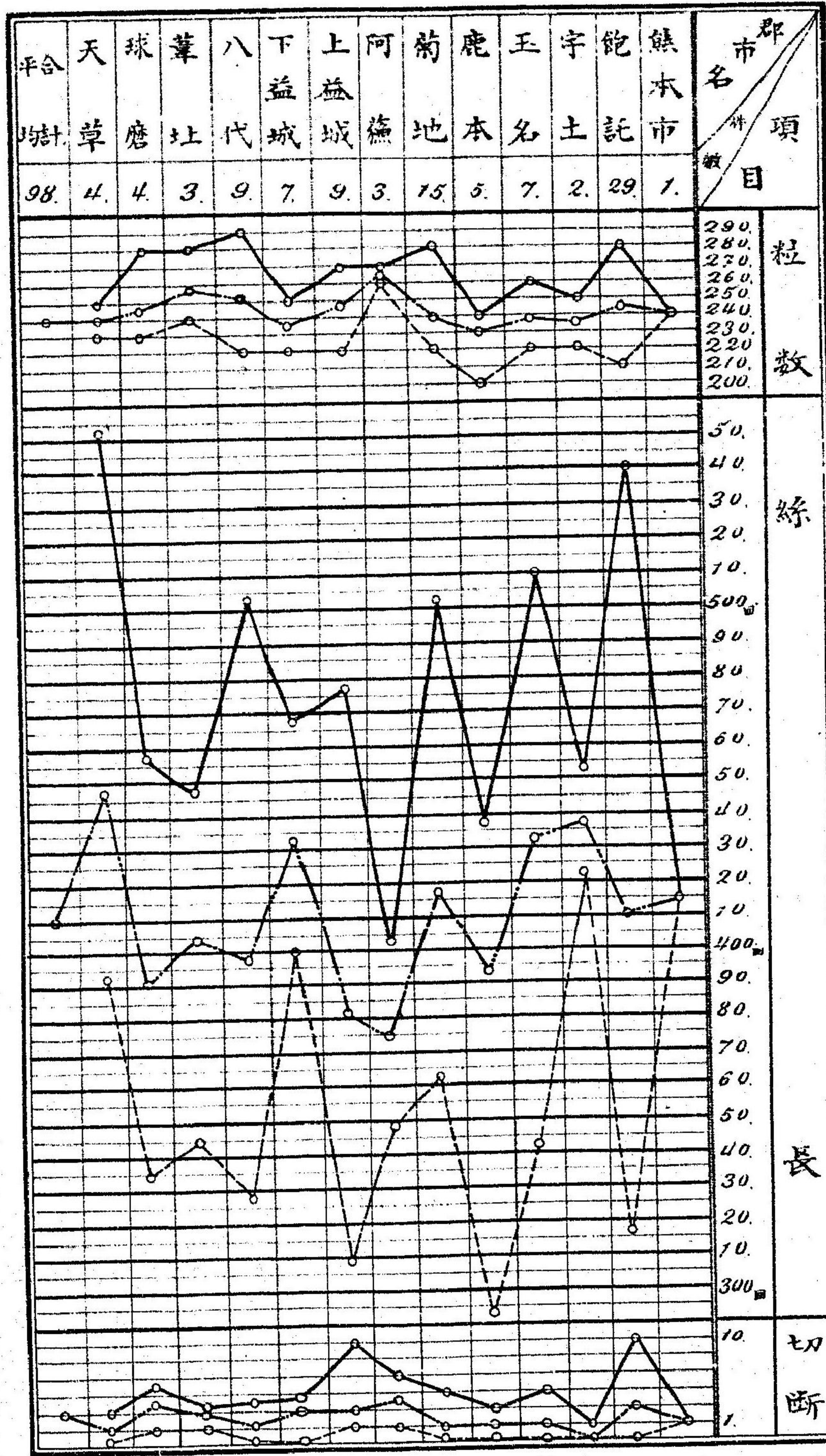
阿蘇郡 本郡ノ出品ハ八點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ三點ナリ色澤不美緊緩不齊ニシテ形狀不同ナキニアラスト顆粒ノ大小宜シキニ適シ殺蛹貯藏亦頗ル觀ルヘキモノアリ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ殺蛹乾燥ノ度高キニ過キテ繭ノ外層ヲ焙灼シ甚シク色澤ヲ損シタルモノ一點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ四點ナリ

上益城郡 本郡ノ出品ハ二拾四點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ九點ナリ色澤形狀共ニ佳良ナラス緊緩亦不齊ニシテ殺蛹貯藏完全ナルモノ甚少シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ニシテ繭層薄弱ナルモノ二點形狀大ニ失シテ一升ノ粒數二百顆ニ足ラサルモノ一點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ三點乾燥貯藏ヲ誤リ蛹體膨脹シテ腐痞甚シキモノ九點ナリ

下益城郡 本郡ノ出品ハ二拾點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ七點ナリ色澤形狀稍佳ナルモノナキニアラスト雖緊緩概ネ不齊ニシテ殺蛹貯藏宜シキヲ得タルモノ極メテ少シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品質著シク劣レルモノ一點殺蛹乾燥ノ度高キニ失シテ繭面ヲ焙灼シタルモノ一點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ拾一點ナリ

八代郡 本郡ノ出品ハ拾六點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ九點ナリ色澤概ネ佳良ナラス緊緩頗ル不齊ナリト雖形狀大小不同アルモノ少ク殺蛹貯藏亦其宜シキヲ得タルモノ多シ而シテ肉眼鑑定ニ





繭器械審査成績表 其一

宮崎縣 本縣ノ出品總數ハ百三十四點ニシテ北諸縣郡ノ出品最多ク兒湯郡之ニ次キ西諸縣、東臼杵ノ二郡又之ニ次ケリ而シテ南那珂郡ハ宮崎郡ヨリ少ク東諸縣郡ヨリ多シ

今別紙器械審査ノ成績ヲ表記シ以テ參考ニ供ス

於テ廢除シタルモノハ品質著シク劣レルモノ一點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ二點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ四點ナリ

葦北郡 本郡ノ出品ハ拾二點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ三點ナリ色澤佳ナラス形狀概テ不同ニシテ緊緩宜シキニ適セルモノナク殺蛹貯藏亦完全ナルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品質甚シク劣レルモノ一點形狀大ニ失シテ一升ノ粒數二百顆ニ足ラサルモノ一點乾燥貯藏ヲ誤リ蛹體膨脹シ腐穢甚シキモノ七點ナリ

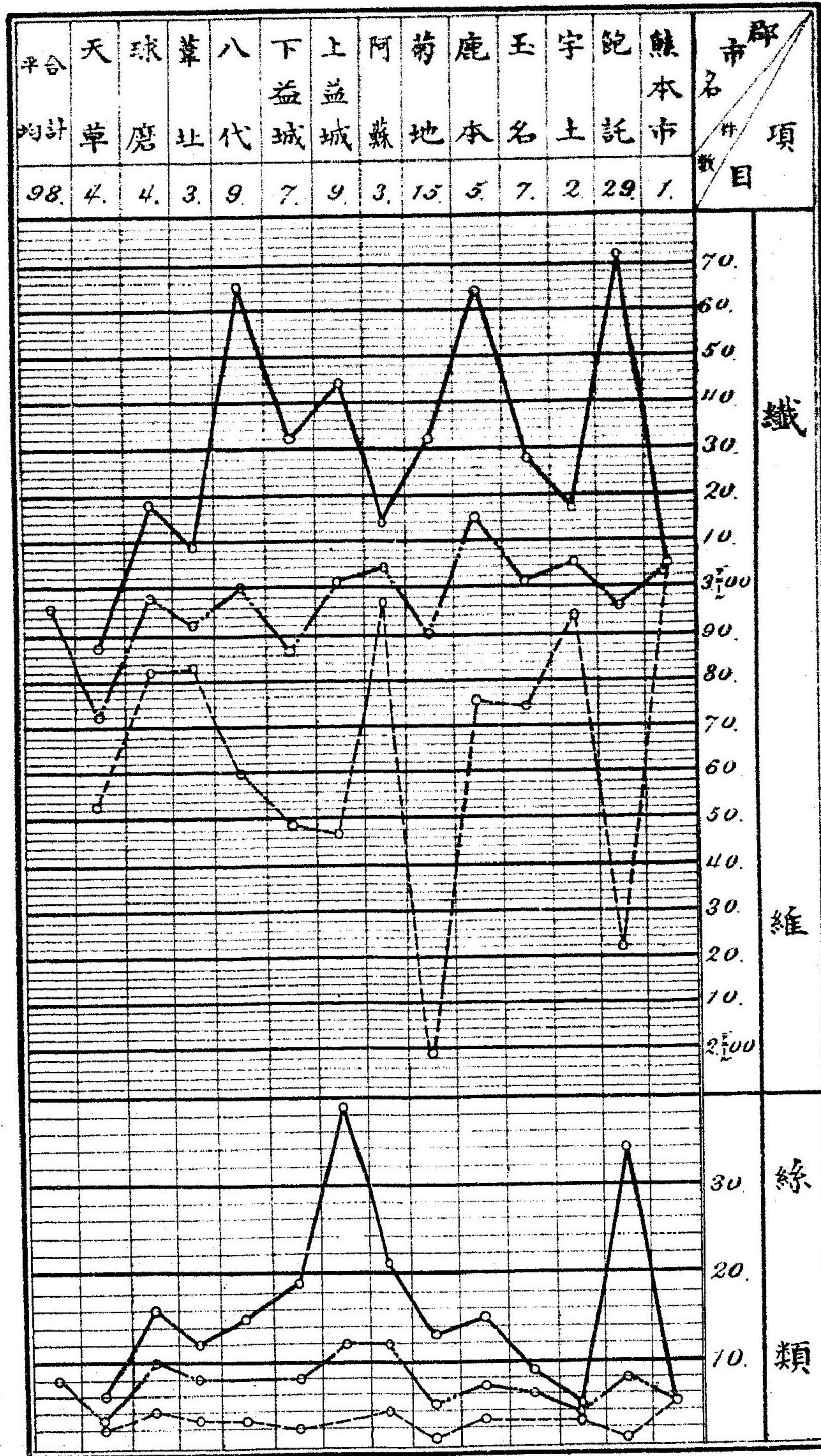
球磨郡 本郡ノ出品ハ四點ニシテ悉ク器械審査ニ附セリ色澤形狀稍佳良ニシテ殺蛹貯藏其宜シキヲ得タルモノ多シ唯緊緩頗ル不齊ニシテ繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモノナキハ最惜ムヘシ

天草郡 本郡ノ出品ハ拾點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ四點ナリ色澤形狀其ニ佳良ナラス緊緩概シテ不齊ニシテ殺蛹貯藏完全ナルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ形狀小ニ失シテ一升ノ粒數三百顆ニ餘レルモノ一點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ二點乾燥貯藏ヲ誤リ蛹體膨脹シテ腐穢甚シキモノ三點ナリ



繭器械審查成績表

共二





種類多クハ又昔、白玉ノ二種ニシテ品質色澤共ニ佳良ナリ形状ハ稍齊一ニシテ大小不同ノ差少ク繰  
絲上適當ノモノ頗ル多シ而シテ緊緩ノ硬軟手觸味フヘク縮緬ノ疎密整然觀ルヘキモノアリ加フルニ  
殺蛹ノ時機ヲ失ヒタルモノナキニアラスト雖概シテ貯藏完全ニシテ品質色澤共ニ齊一ナルモノ多キ  
ハ聯合各縣ノ出品ニ對シテ大ニ誇稱スルニ足ルモノアリト謂フヘシ  
全出品中審査ノ結果トシテ參等賞ニ擬シタルモノ二、四等賞二、五等賞五、六等賞十四合計二十三  
點ノ優品ヲ得タリ

別紙各郡出品ノ割合及肉眼審査ノ成績ヲ圖シテ一覽ニ供ス  
本縣出品總點數中品位劣等ナルカ爲メニ形状不同ニシテ或ハ大或ハ小ニ過クルカ爲メニ殺蛹ノ時機  
ヲ失シ貯藏ノ方法ヲ誤リタルカ爲メニ器械審査ヲ經サリシモノ三十九點ニシテ其器械審査ヲ了シタ  
ルモノハ九十五點ナリトス

尙各郡ニ於ケル審査ノ成績ヲ陳フレハ左ノ如シ

宮崎郡 本郡ノ出品ハ十一點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ九點ナリ色澤形状概シテ佳良ニシテ殺  
蛹貯藏頗フル觀ルヘキモノアリ唯緊緩不齊ニシテ繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモノナシ而シテ肉眼  
鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ乾燥貯藏ヲ誤リ蛹体膨脹シテ腐穢甚シキモノ二點ナリ  
南那珂郡 本郡ノ出品ハ八點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ五點ナリ色澤形状概シテ佳良ニシテ殺蛹



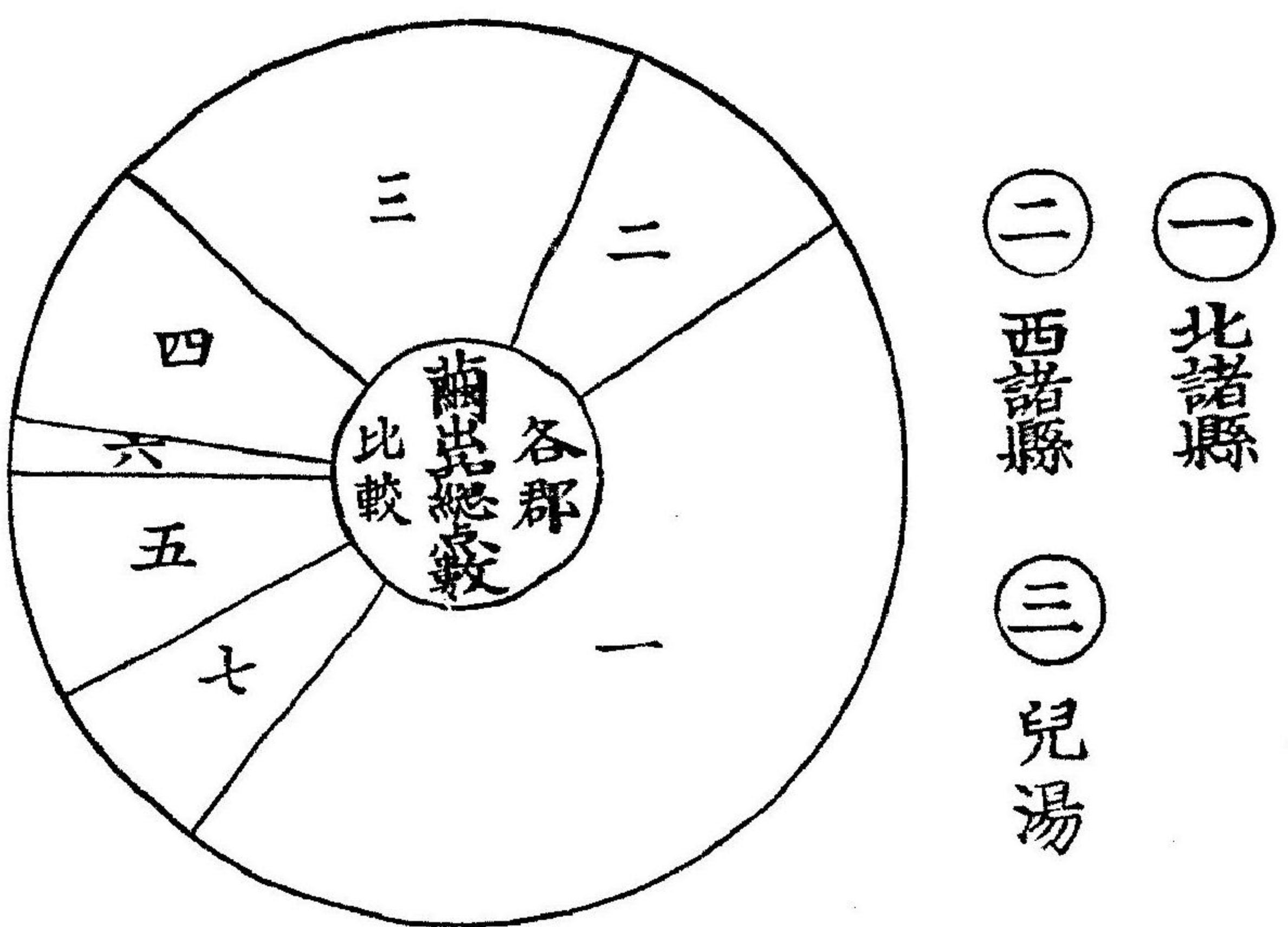
貯藏亦其宜シキヲ得タルモノ少カラス加フルニ緊緩頗フル齊一ニシテ繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモノアリ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ一點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ二點ナリ

**北諸縣郡** 本郡ノ出品ハ六十點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ實ニ五十點ノ多キニ及ヘリ色澤形狀頗フル佳良ニシテ殺蛹貯藏亦完全ナルモノ多シ加フルニ緊緩齊一ニシテ繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモノ少カラス而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ形狀不同ニシテ且大ニ失シ一升ノ粒數ニ百顆ニ足サルモノ一點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ六點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ三點ナリ

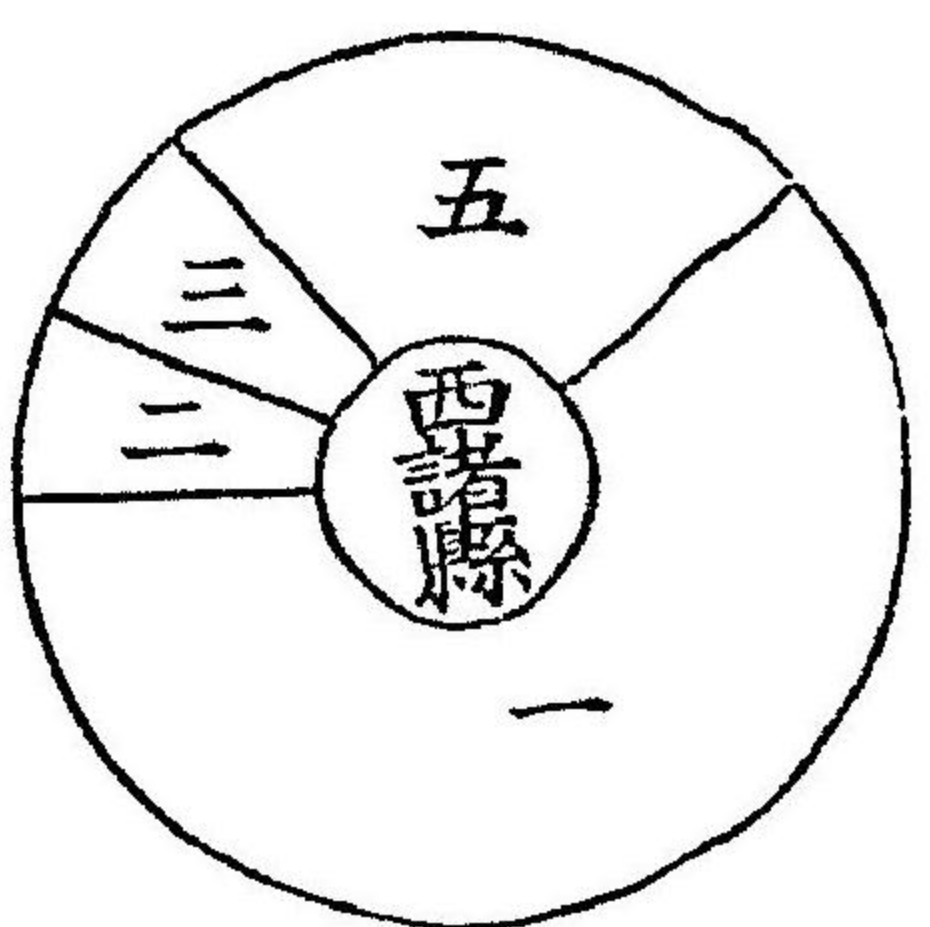
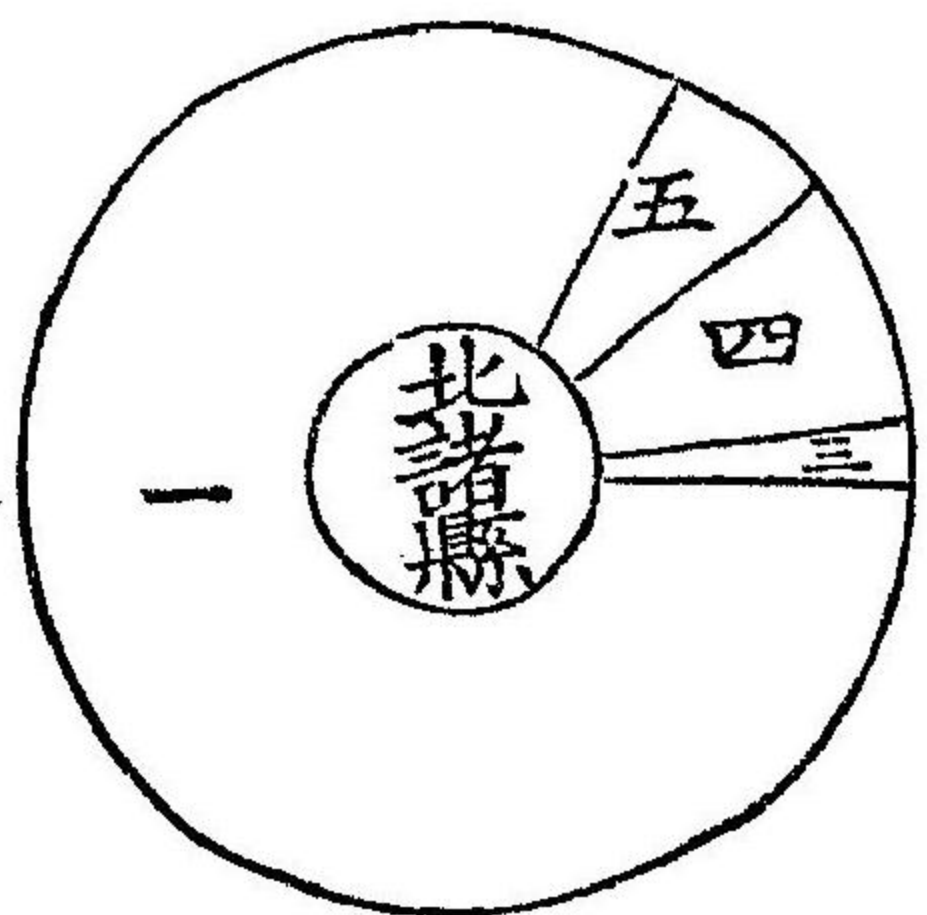
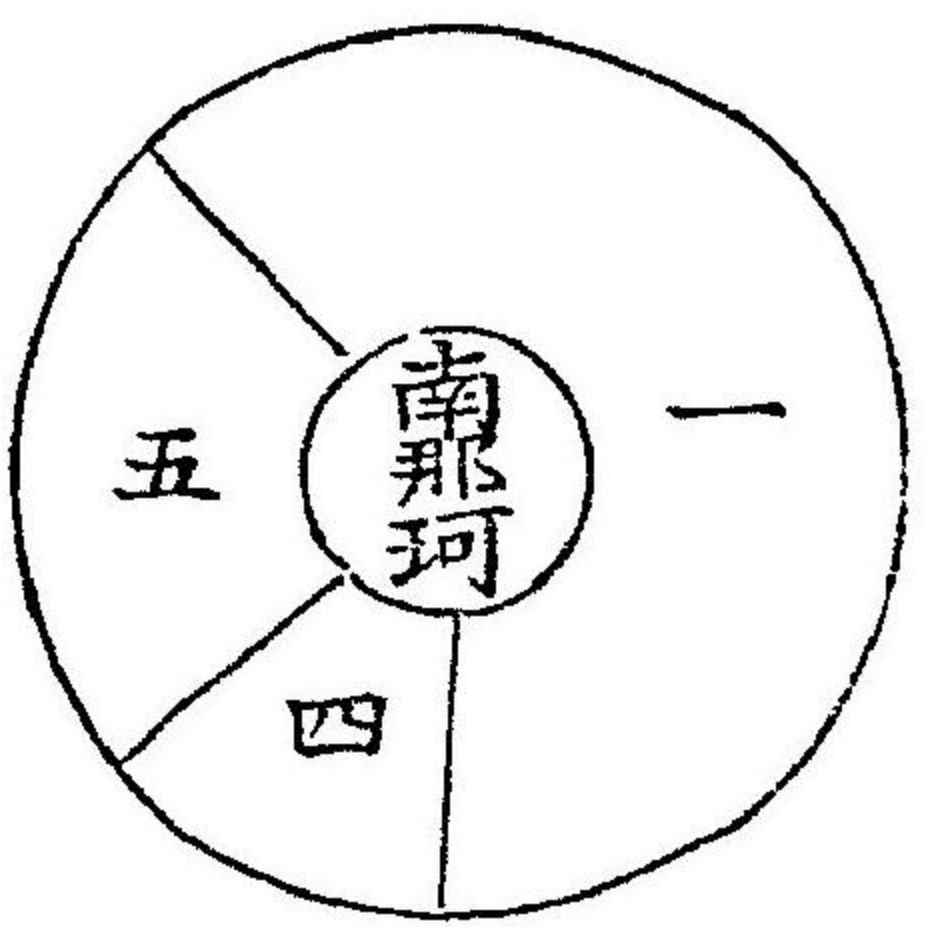
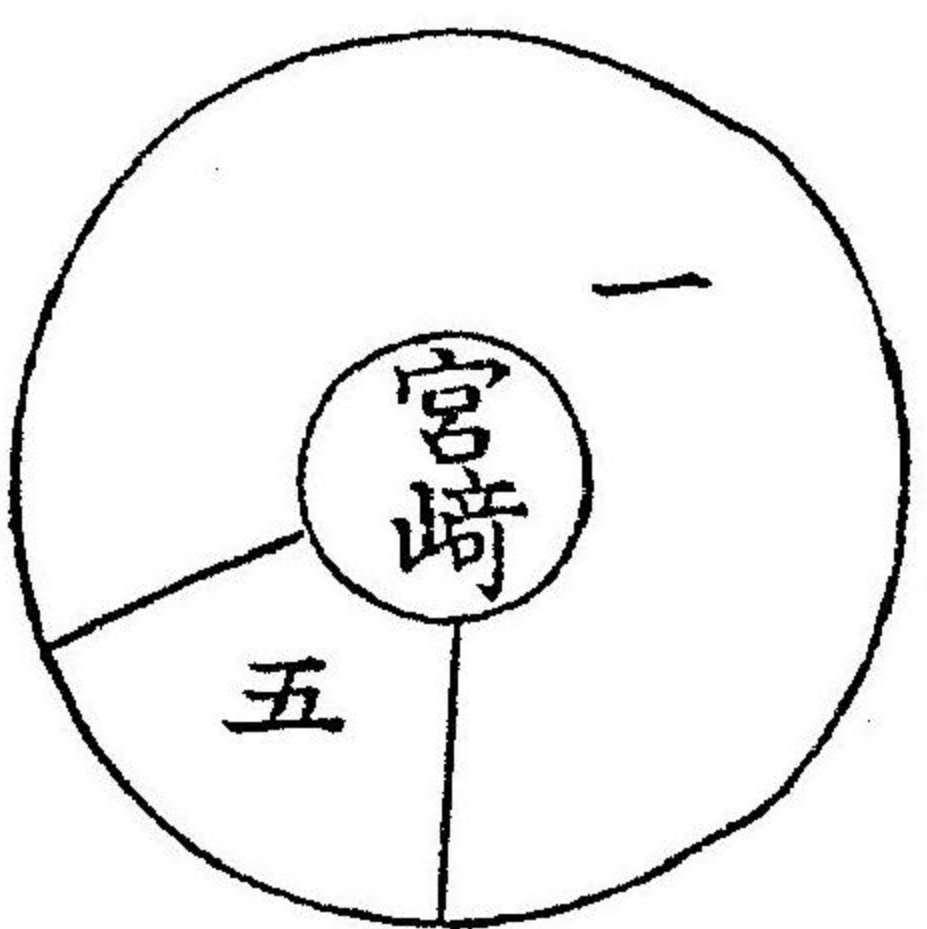
**西諸縣郡** 本郡ノ出品ハ拾四點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ九點ナリ色澤形狀稍佳良ニシテ殺蛹貯藏頗フル宜シキヲ得タルモノ少カラス然レトモ緊緩概テ不齊ニシテ繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモノ甚稀ナリ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品質著シク劣レルモノ一點形狀不同ニシテ且大ニ失シ一升ノ粒數ニ百顆ニ足ラサルモノ一點乾燥貯藏ヲ誤リ蛹體膨脹シテ廢痞甚シキモノ三點ナリ

**東諸縣郡** 本郡ノ出品ハ二點ニシテ悉ク器械審査ニ附セリ色澤形狀共ニ佳良ニシテ殺蛹貯藏極メテ完全ナリ唯緊緩不齊ニシテ繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモノナシ

**兒湯郡** 本郡ノ出品ハ二拾六點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ僅ニ七點ナリ色澤形狀共ニ佳良ナル

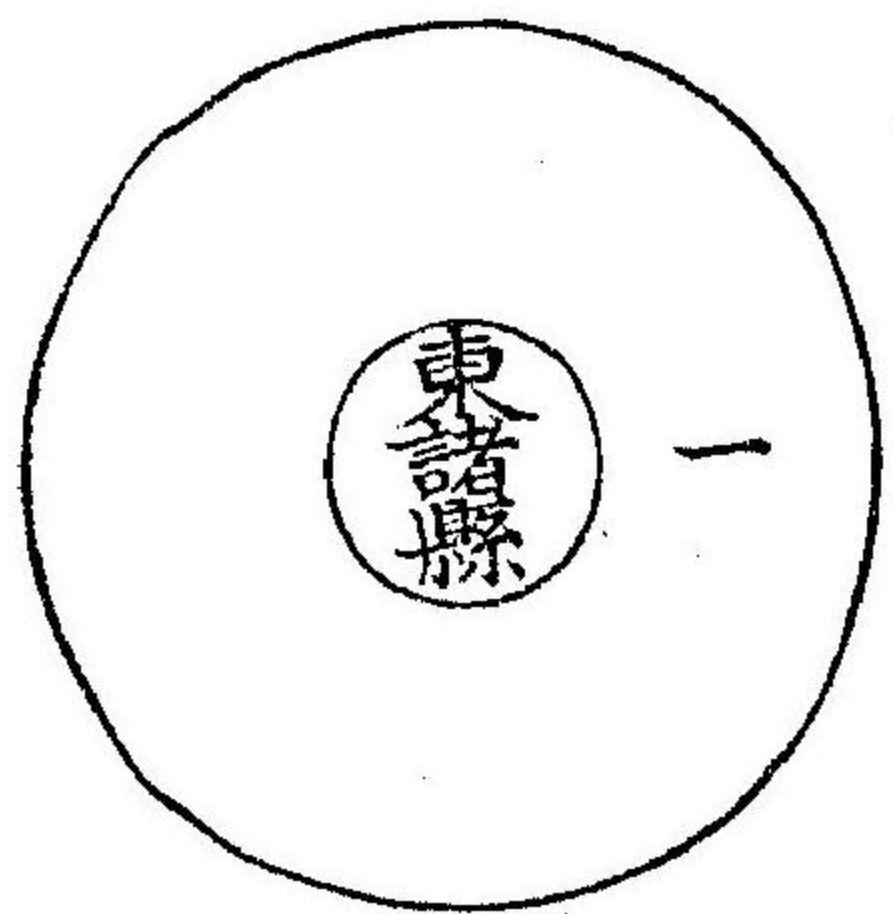
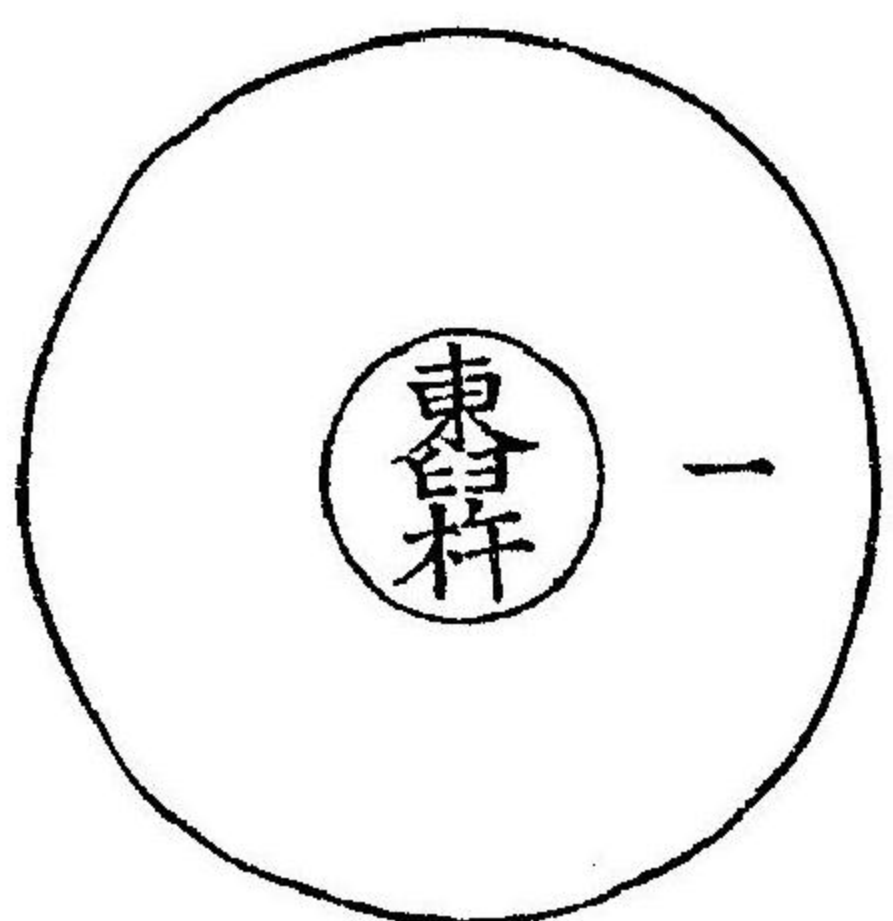
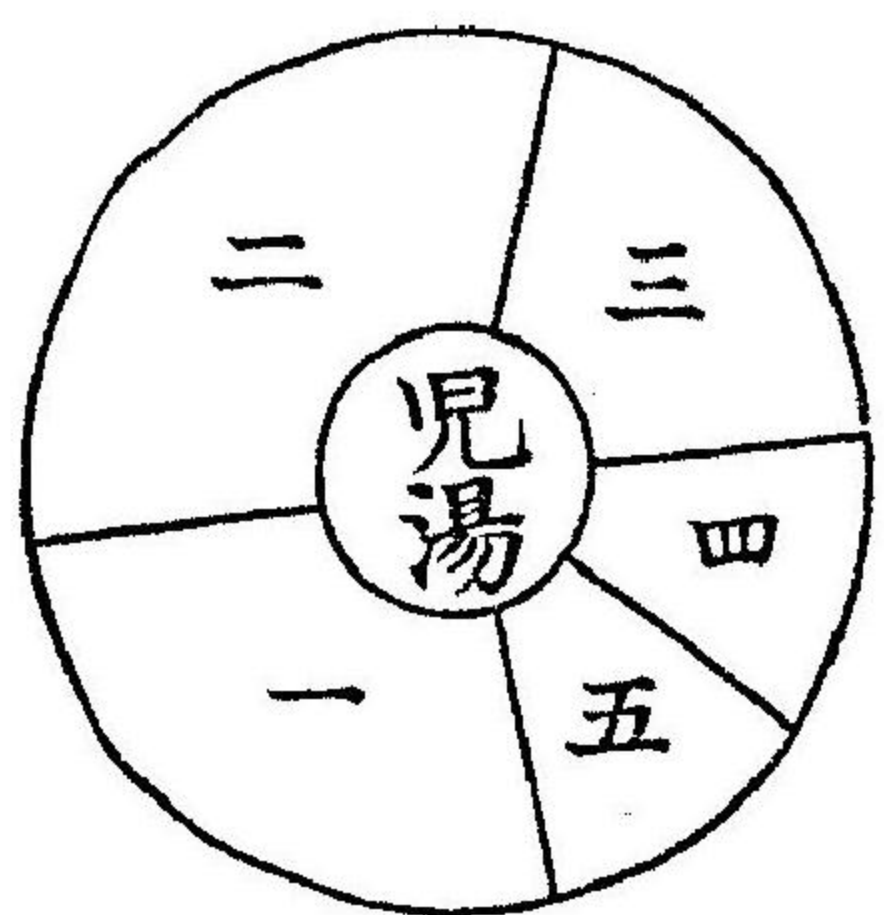


- 一 北諸縣
- 二 西諸縣
- 三 兒湯
- 四 東白杵
- 五 宮崎
- 六 東諸縣
- 七 南那珂



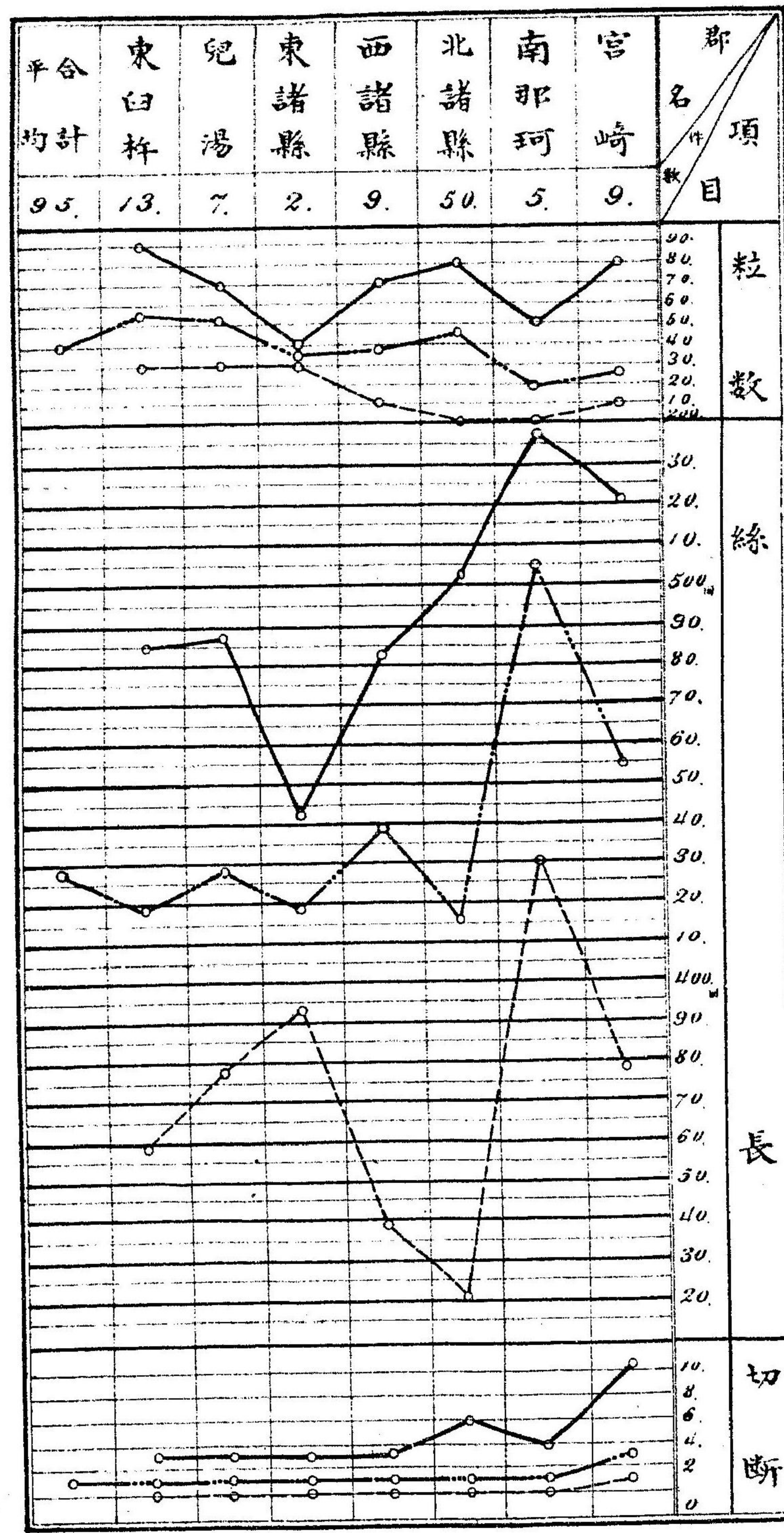
- 一 器械審査ニ附シタルモノ
- 二 品位劣等ナルモノ

- 三 形狀否ナルモノ
- 四 殺蛹否ナルモノ
- 五 貯藏否ナルモノ





齒器械審査成績表 其一

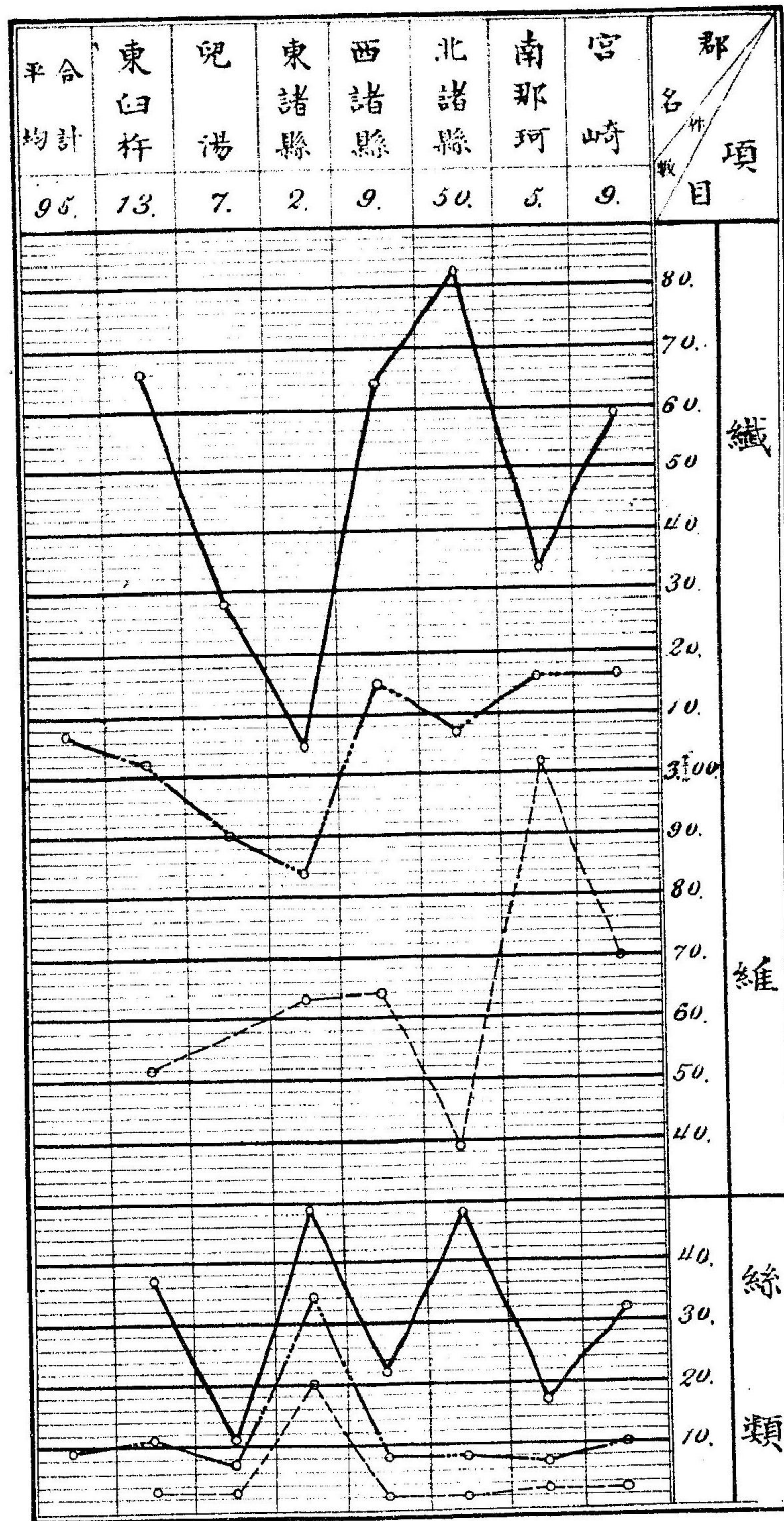


最多又是最長  
 平均  
 最少又是最短



齒器械審查成績表

其二





モノナキニアラスト雖緊緩頗フル不齊ニシテ殺蛹貯藏其宜シキヲ得タルモノ甚少シ而シテ肉眼鑑  
定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ニシテ浮髒甚シキモノハ八點形狀不同ニシテ且大ニ失シ一升ノ  
粒數二百顆ニ足ラサルモノ五點、殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ三點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ  
三點ナリ

東白杵郡 本郡ノ出品ハ拾三點ニシテ悉ク器械審査ニ附セリ色澤形狀頗フル佳良ニシテ緊緩宜シキ  
ニ適セルモノ多ク殺蛹貯藏亦完全ナルモノ少カラス

今別紙器械審査ノ成績ヲ表記シ以テ參考ニ供ス

鹿兒島縣 本縣ノ出品總數ハ二百五十一點ニシテ伊佐郡最多ク始良郡之ニ次キ薩摩、日置ノ二郡又之  
ニ次ケリ而シテ出水郡ハ鹿兒島市、鹿兒島郡ヨリ多ク肝屬郡ハ川邊郡、贈嶽郡ヨリ少ク其出品ノ最  
少キヲ揖宿郡トナス

種類頗フル雜駁ニシテ殆ント據ルヘキモノナク從テ卓絶シタル優品ナシ色澤不美縮繻不齊組織ニ粗  
密ノ差アルモノ多ク繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモノ少シ殊ニ形狀ニ至リテハ大小不同著シク一升ノ  
粒數大ハ百九十顆ニ足ラサルモノアリ小ハ三百四十顆ニ餘レルモノアリ其他太クシテ短キモノアリ  
細クシテ長キモノアリ中央ノ深ク緊レルモノアリ兩端ノ稍尖レルモノアリ而シテ殺蛹ノ術貯繭ノ法  
完全ニシテ熟達セルモノ極メテ少ク或ハ乾燥ノ度ヲ過テ繭面ヲ焙灼シテ大ニ絲質ヲ傷ヒタルモノア

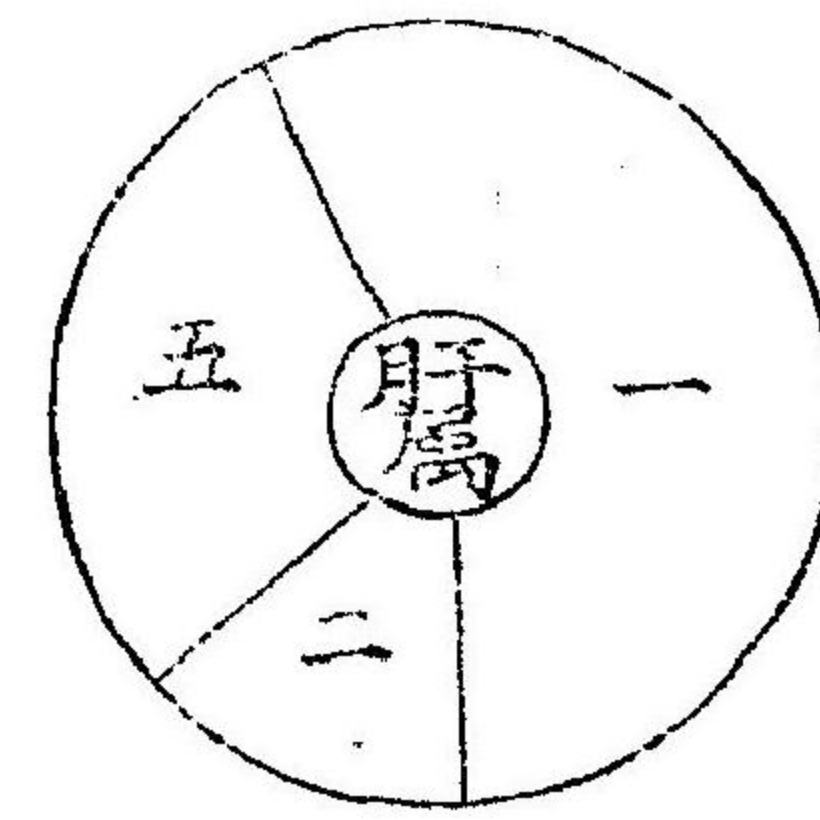
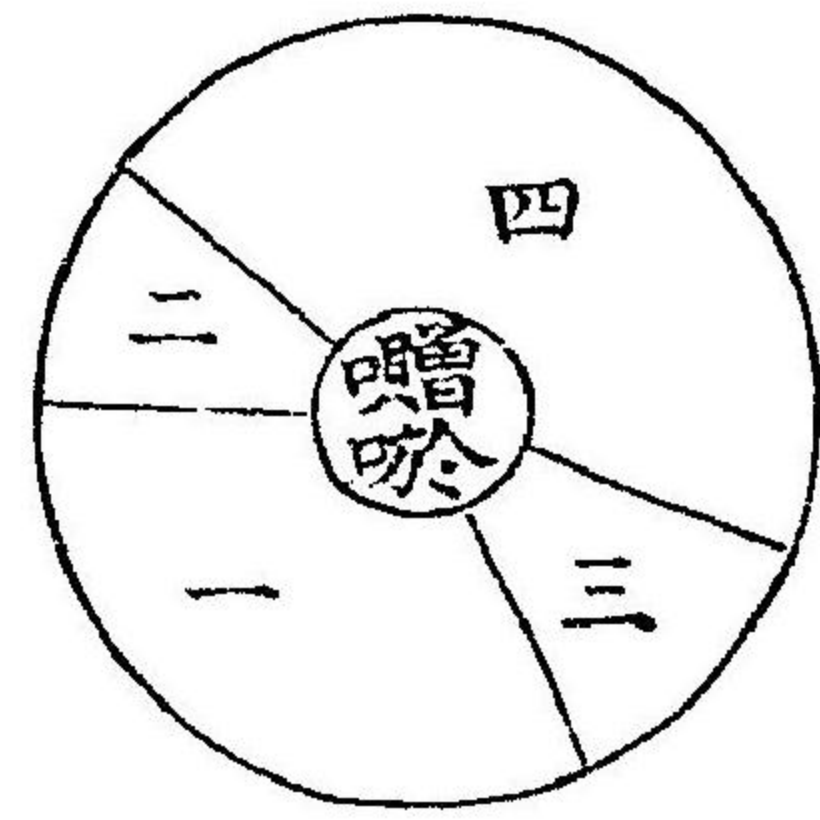
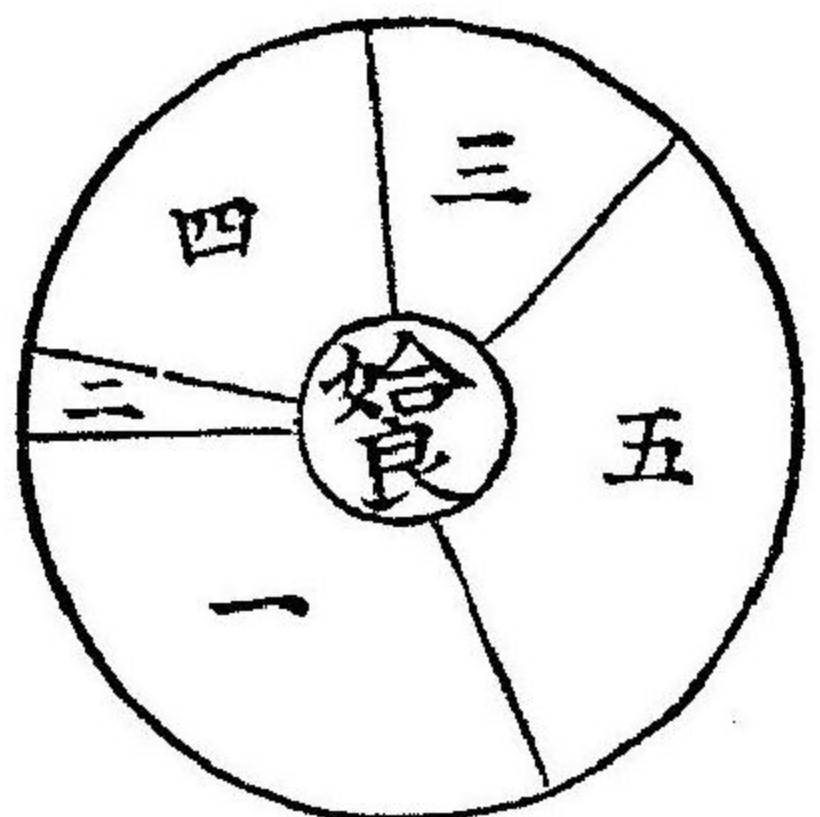
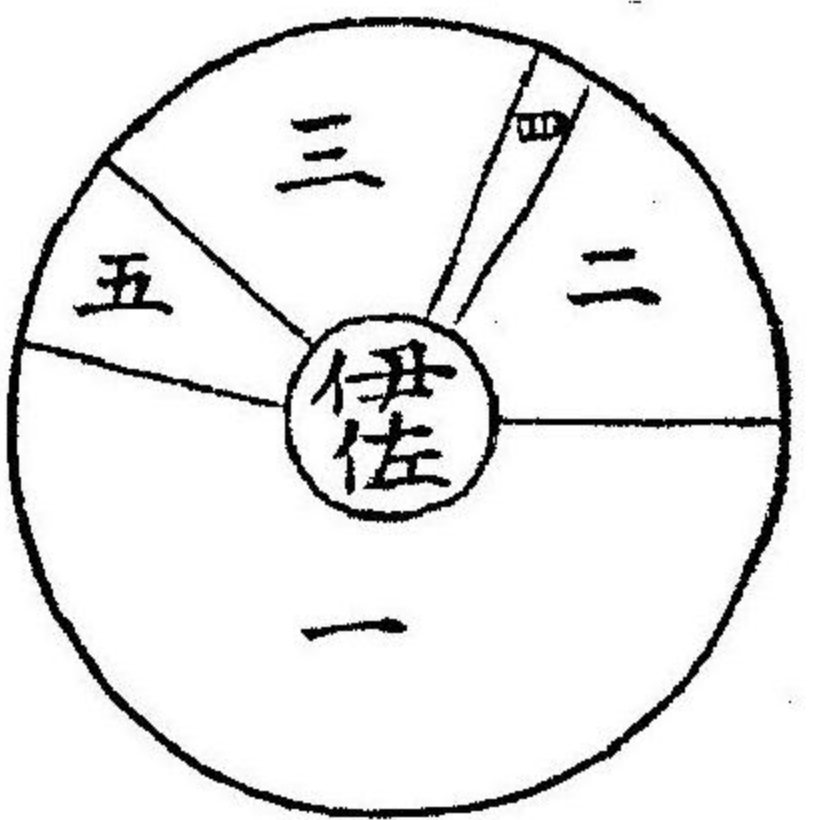
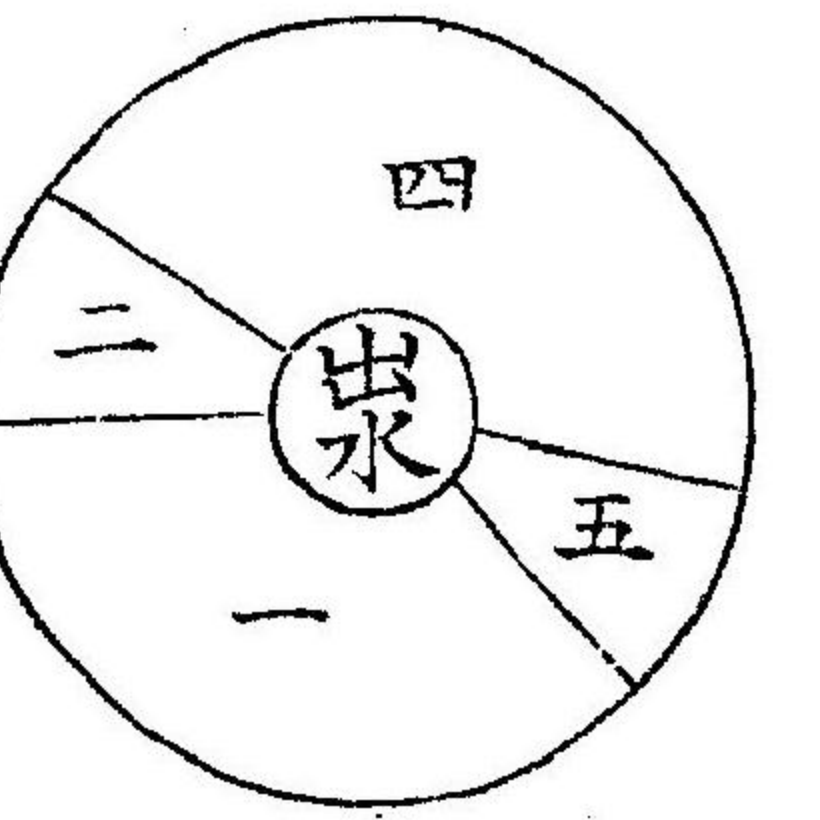
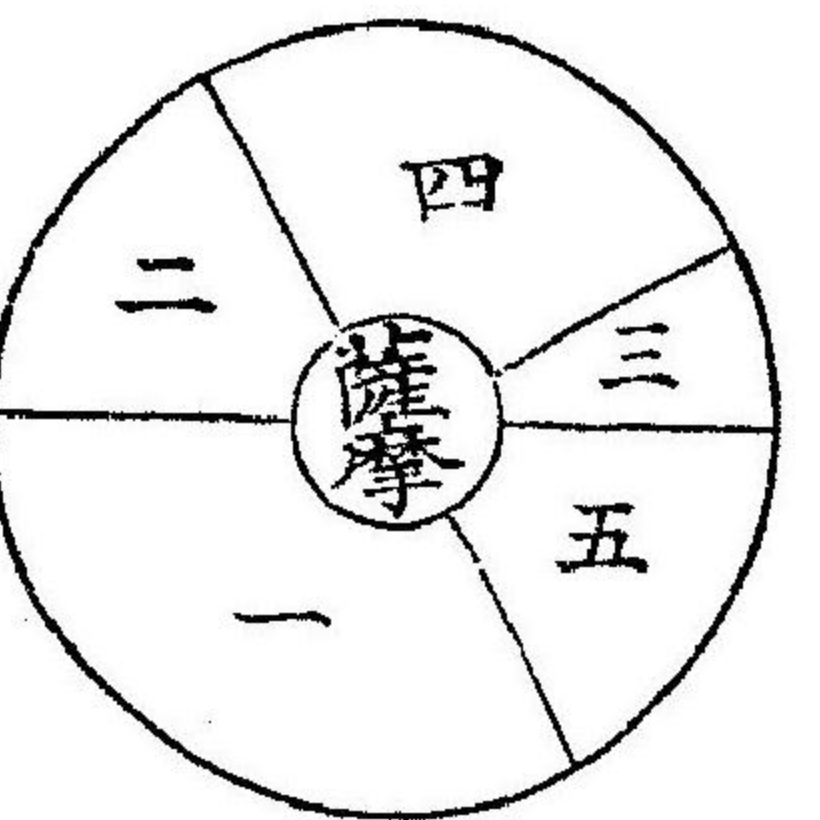
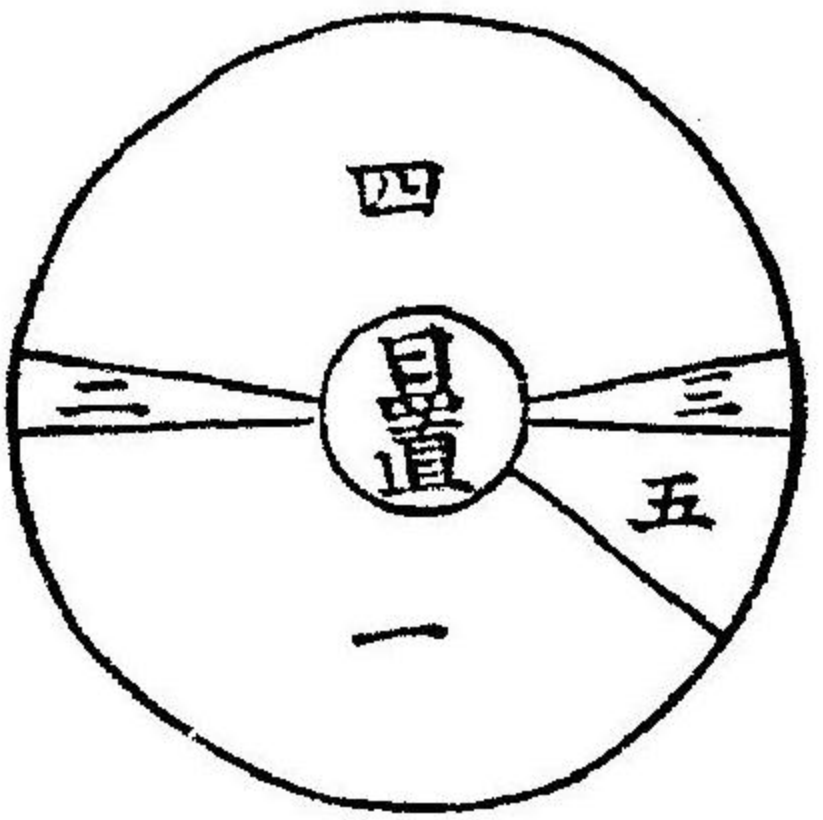
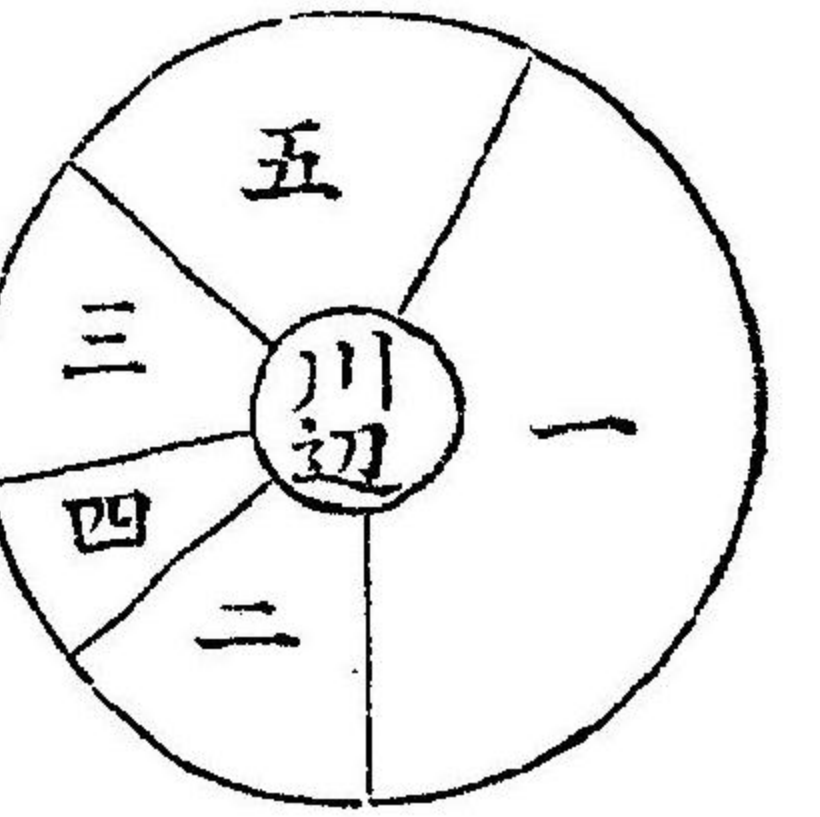
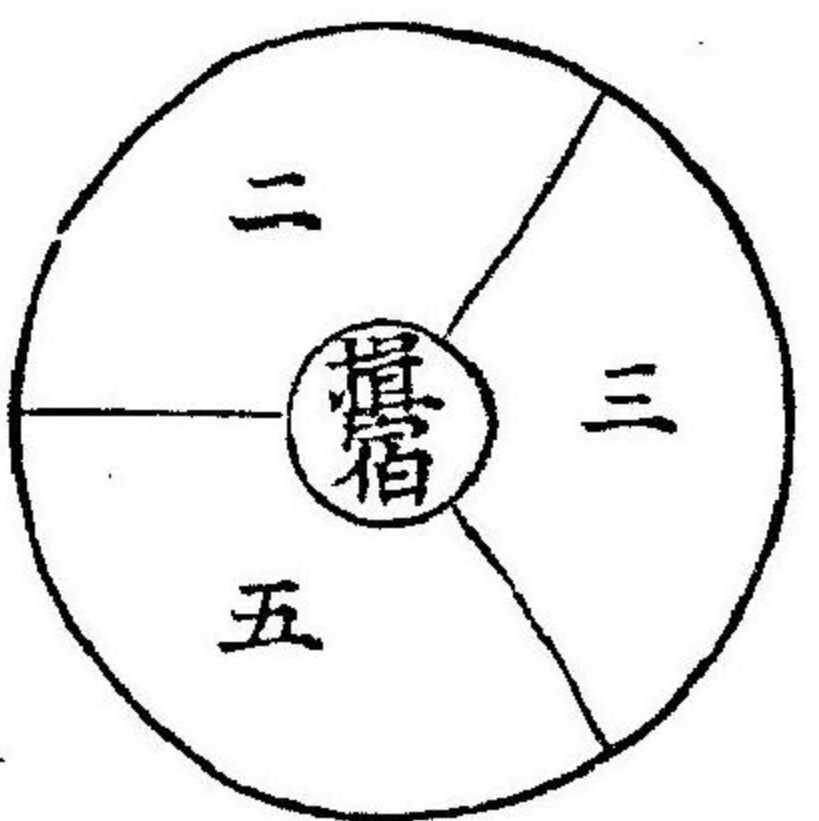
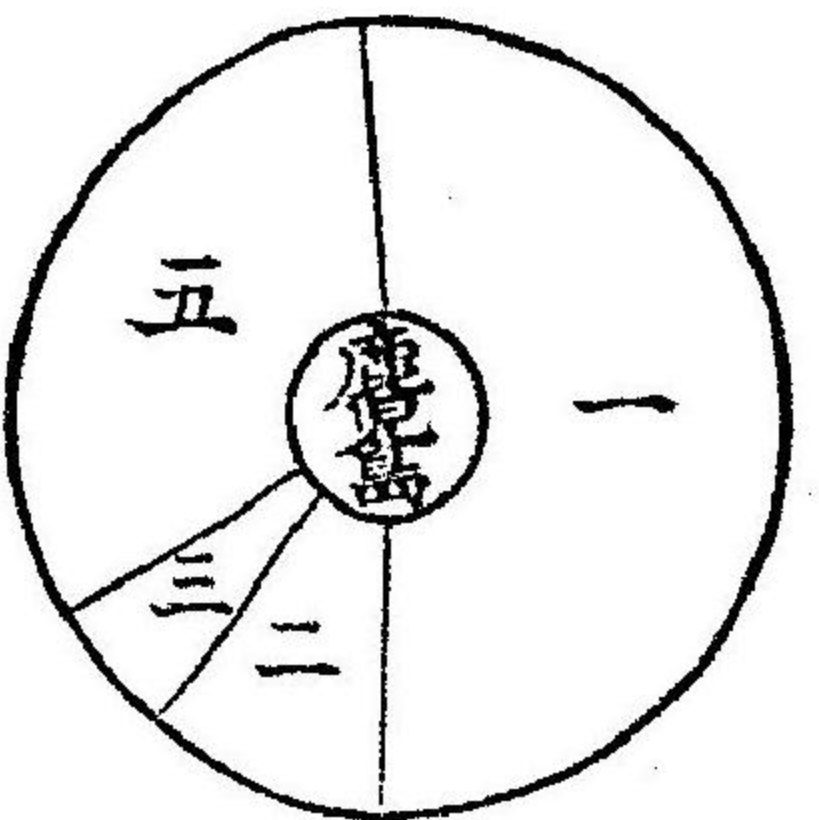
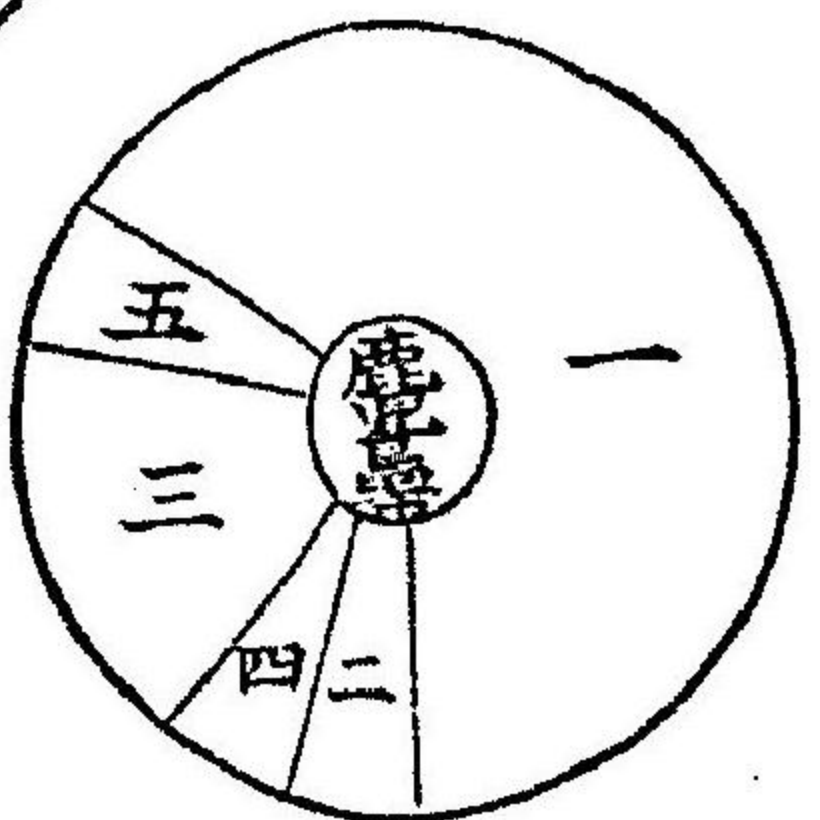
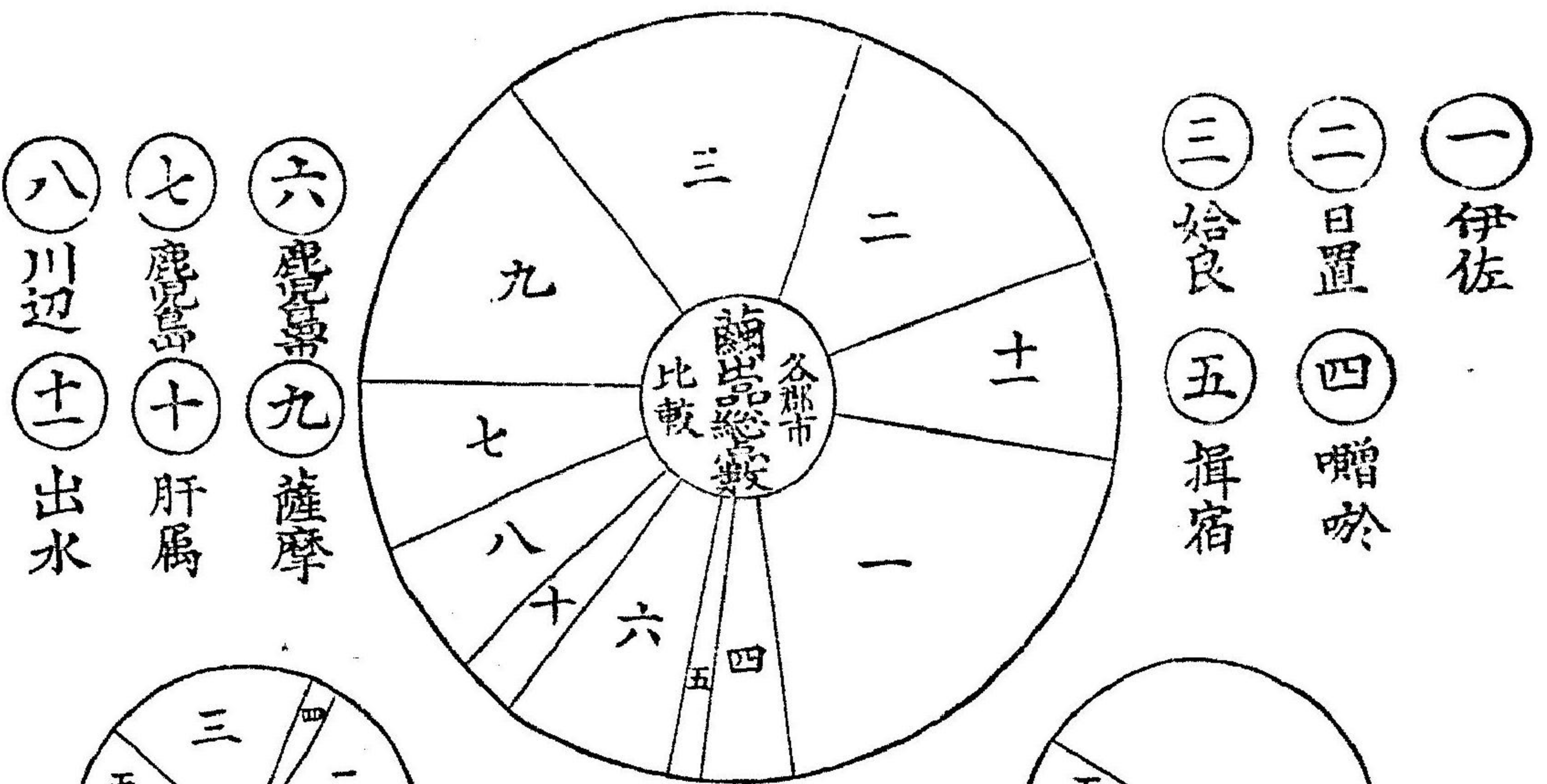


リ或ハ微菌ノ害ヲ蒙リ蛹体膨脹シテ甚シク色澤ヲ損セルモノアリ  
 全出品中審査ノ結果トシテ二等賞ニ擬シタルモノ一、三等賞ニ擬シタルモノ一、四等賞二、五等賞  
 七、六等賞二十一合計三十二點ノ優品ヲ得タリ  
 別紙各郡出品ノ割合及肉眼審査ノ成績ヲ圖シテ一覽ニ供ス  
 本縣出品總點數中品位劣等ナルカ爲メニ形狀不同ニシテ或ハ大或ハ小ニ過クルカ爲メニ殺蛹ノ時機  
 ヲ失ヒ貯藏ノ方法ヲ誤リタルカ爲メニ器械審査ヲ經サリシモノ百四十四點ニシテ其器械審査ヲ了シ  
 タルモノハ一百〇七點ナリトス

尙各郡ニ於ケル審査ノ成績ヲ陳フレハ左ノ如シ

鹿兒島市 本市ノ出品ハ十八點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ十二點ナリ色澤頗ル佳良ニシテ形狀  
 緊緩共ニ觀ルヘキモノアリ加フルニ殺蛹貯藏其宜シキヲ得タルモノ少カラス而シテ肉眼鑑定ニ於  
 テ廢除シタルモノハ品位劣等ナルモノ一點形狀不同ニシテ且小ニ失シ一升ノ粒數三百十顆ニ餘レ  
 ルモノ三點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ一點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ一點ナリ

鹿兒島郡 本郡ノ出品ハ十八點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ九點ナリ色澤形狀共ニ佳良ニシテ繭  
 層ノ硬軟宜シキニ適セルモノアリ加フルニ殺蛹貯藏亦完全ナルモノ少カラス而シテ肉眼鑑定ニ於  
 テ廢除シタルモノハ品位劣等ナルモノ二點形狀不同ニシテ且小ニ失シ一升ノ粒數三百十顆ニ餘レ



- 一 器械審査ニ附シタルモノ
- 二 品位劣等
- 三 形狀劣等
- 四 殺蛹否
- 五 貯藏否



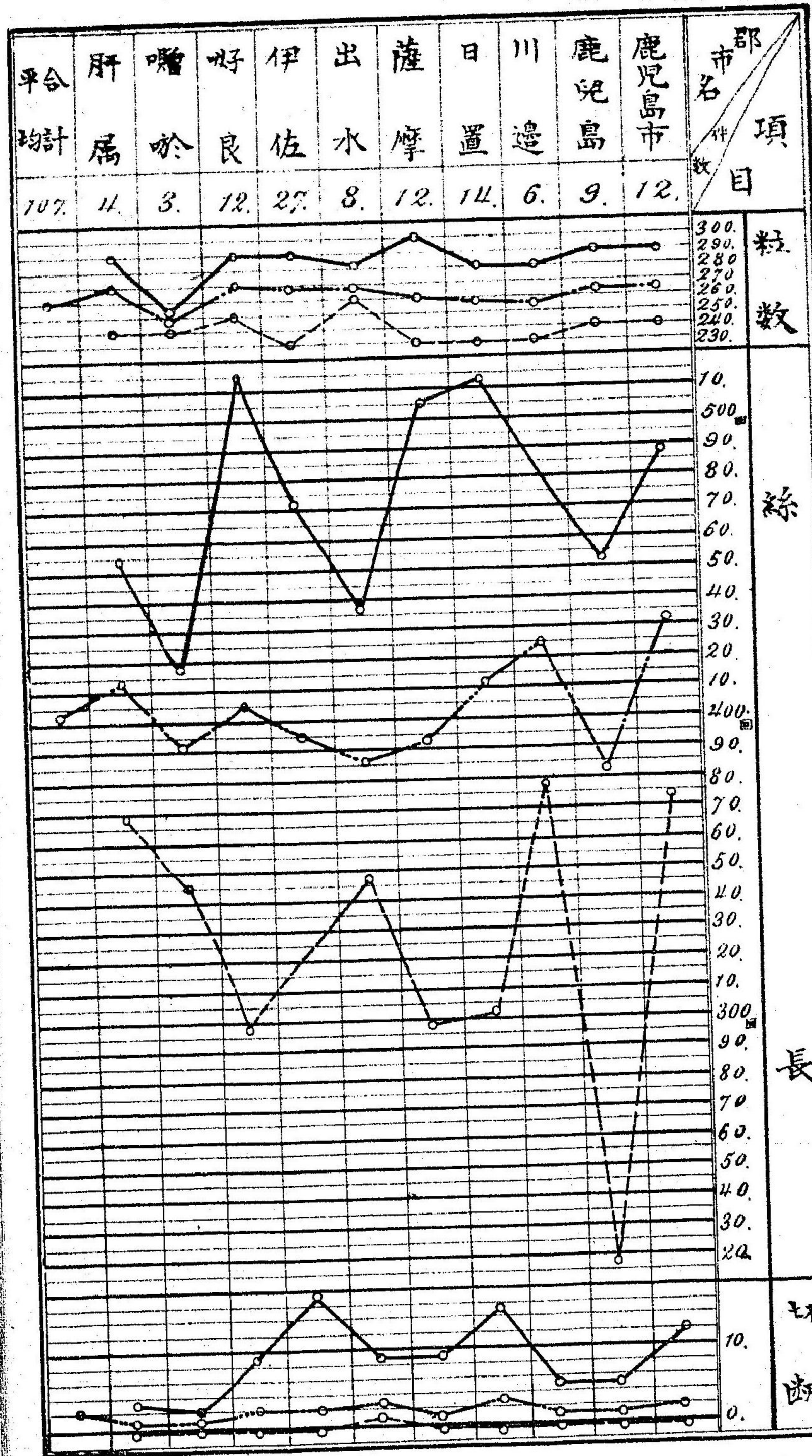
モノ一點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ六點ナリ

揖宿郡 本郡ノ出品ハ三點ニシテ色澤形狀緊緩共ニ觀ルヘキモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ナルモノ一點、形狀不同ニシテ且小ニ失シ一升ノ粒數三百十顆ニ餘レルモノ一點、貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ一點ナリ

川邊郡 本郡ノ出品ハ十四點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ六點ナリ色澤形狀稍佳ナルモノナキニアラスト雖緊緩概テ不齊ニシテ殺蛹貯藏其宜シキヲ得タルモノ甚少シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ナルモノ二點、形狀小ニ失シ一升ノ粒數三百四十顆ニ餘レルモノ二點、殺蛹乾燥ノ度高キニ失シ繭面ヲ焙灼シ色澤ヲ損シタルモノ一點、貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ三點ナリ

日置郡 本郡ノ出品ハ三十四點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ十四點ナリ色澤不美緊緩不齊ニシテ形狀不同ノモノ多ク殊ニ殺蛹貯藏完全ナルモノ極メテ少シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ナルモノ一點、形狀不同ニシテ且小ニ失シ一升ノ粒數、三百五十顆ニ餘レルモノ一點、殺蛹ノ時機早キニ過キテ未タ蛹ニ變セサルモノ又ニ遅キニ失シテ將ニ蛾ニ化セントセルモノ或ハ乾燥ノ度高キニ過キテ繭面ヲ焙灼シ色澤ヲ損シタルモノ十五點、貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ三點ナリ薩摩郡 本郡ノ出品ハ三十七點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ十二點ナリ品位優等ノモノナキニア





繭器械審査成績表 其一

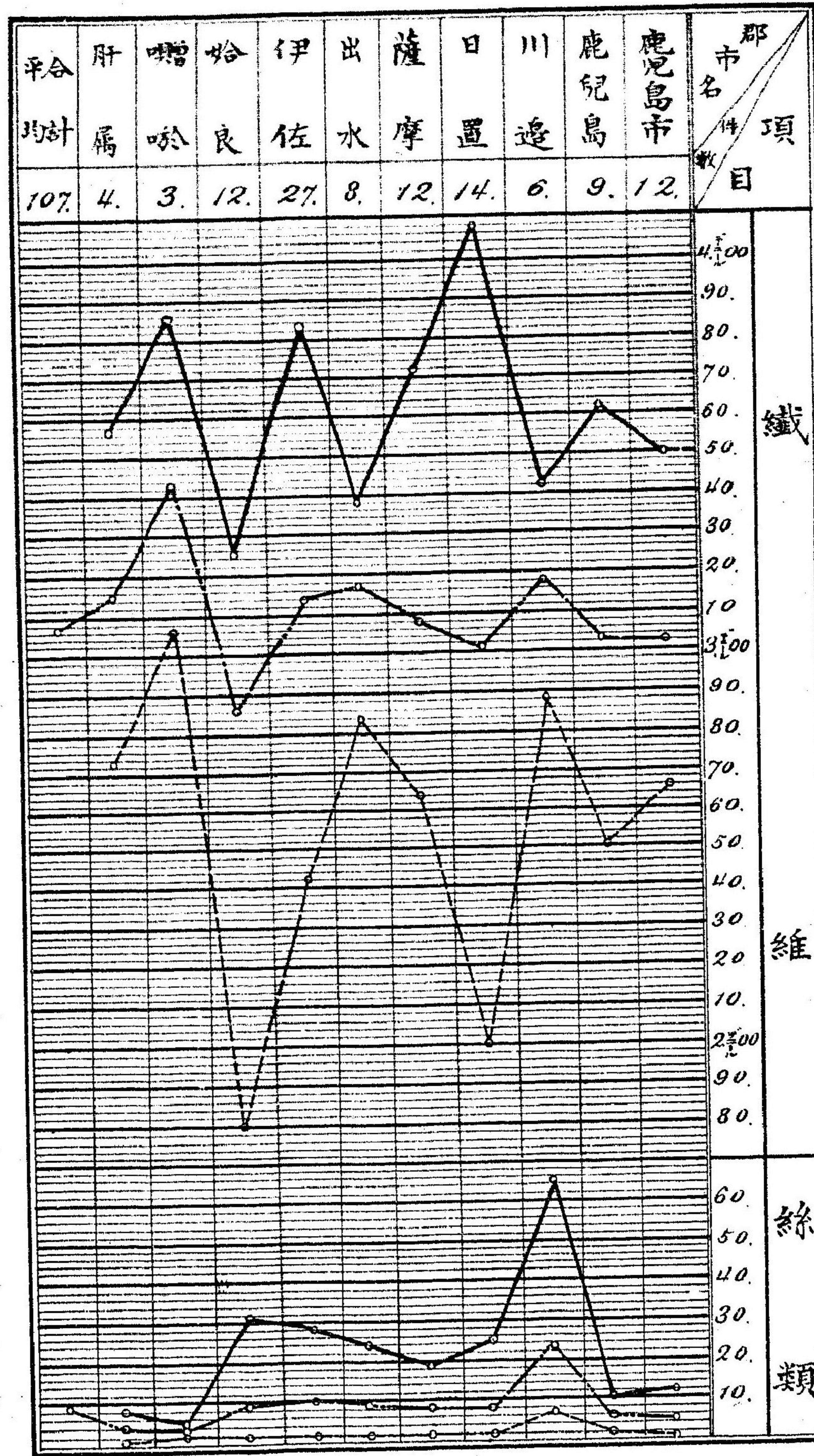
ラスト雖色澤形状概々佳良ナラス緊緩頗フル不齊ニシテ殺蛹貯藏完全ナルモノ極メテ少シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ナルモノ六點、形状不同ニシテ且大ニ失シ一升ノ粒數百九拾顆ニ足サルモノ三點、殺蛹ノ時機ヲ失ヒ乾燥ノ適度ヲ過テ蛹變化蛾繭面焙灼大ニ内層ヲ汚シ頗フル色澤ヲ損セルモノ拾點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ六點ナリ

**出水郡** 本郡ノ出品ハ二拾二點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ八點ナリ色澤不美緊緩不齊ニシテ殺蛹貯藏完全ナルモノ極メテ少シ然レトモ形状稍齊一ニシテ大小不同ノ差少ク頗フル觀ルヘキモノアリ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ナルモノ二點、殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ拾點、貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ二點ナリ

**伊佐郡** 本郡ノ出品ハ五拾點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ二拾七點ナリ色澤形状稍佳良ニシテ殺蛹貯藏亦觀ルヘキモノナキニアラス然レトモ緊緩概シテ不齊ニシテ繭層ノ硬軟宜シキニ適セルモノナシ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ナルモノ八點、形状不同ニシテ且小ニ失シ一升ノ粒數三百拾顆乃至三百四拾顆ニ餘レルモノ拾點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ一點貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ四點ナリ

**始良郡** 本郡ノ出品ハ三十九點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ十二點ナリ色澤形状共ニ佳良ナルモノナキニアラス然レトモ緊緩頗フル不齊ニシテ殺蛹貯藏完全ナルモノ極メテ少シ而シテ肉眼鑑定





繭器械審査成績表 其二



ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣等ナルモノ一點、形狀不同ニシテ且小ニ失シ一升ノ粒數三百十顆  
乃至三百二十顆ニ餘レルモノ五點殺蛹ノ時機ニ後レタルモノ八點乾燥貯藏ヲ誤リ蛹體膨脹シテ腐  
瘁甚シキモノ十三點ナリ

贈喉郡 本郡ノ出品ハ九點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ三點ナリ色澤不美緊緩不齊ニシテ殺蛹貯  
藏完全ナルモノナク唯形狀ノ稍觀ルヘキモノアリ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除シタルモノハ品位劣  
等ノモノ一點殺蛹ノ時機ヲ失ヒ乾燥ノ適度ヲ過テ繭面ヲ焙灼シ色澤ヲ損シタルモノ四點ナリ

肝屬郡 本郡ノ出品ハ七點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ六點ナリ色澤形狀佳良ナルモノナキニア  
ラスト雖緊緩頗フル不齊ニシテ殺蛹貯藏其宜シキヲ得タルモノ甚少シ而シテ肉眼鑑定ニ於テ廢除  
シタルモノハ品位劣等ナルモノ一點、貯藏ヲ誤リ内微ヲ生シタルモノ二點ナリ

今別紙器械審査ノ成績ヲ表記シ各郡相對照シテ以テ一覽ニ供ス

沖繩縣 本縣ノ出品ハ僅ニ二點ニシテ其種類ハ角又ノ一種ナリ品質佳ナラス色澤美ナラス形狀過小ニ  
シテ緊緩軟弱ナリ而シテ殺蛹ノ術貯藏ノ法不完不熟ニシテ未タ以テ談ルニ足ラサルナリ蓋シ本縣ニ  
於ケル斯業改善ノ前途猶遠ナリト謂フヘシ

#### 生絲審査報告

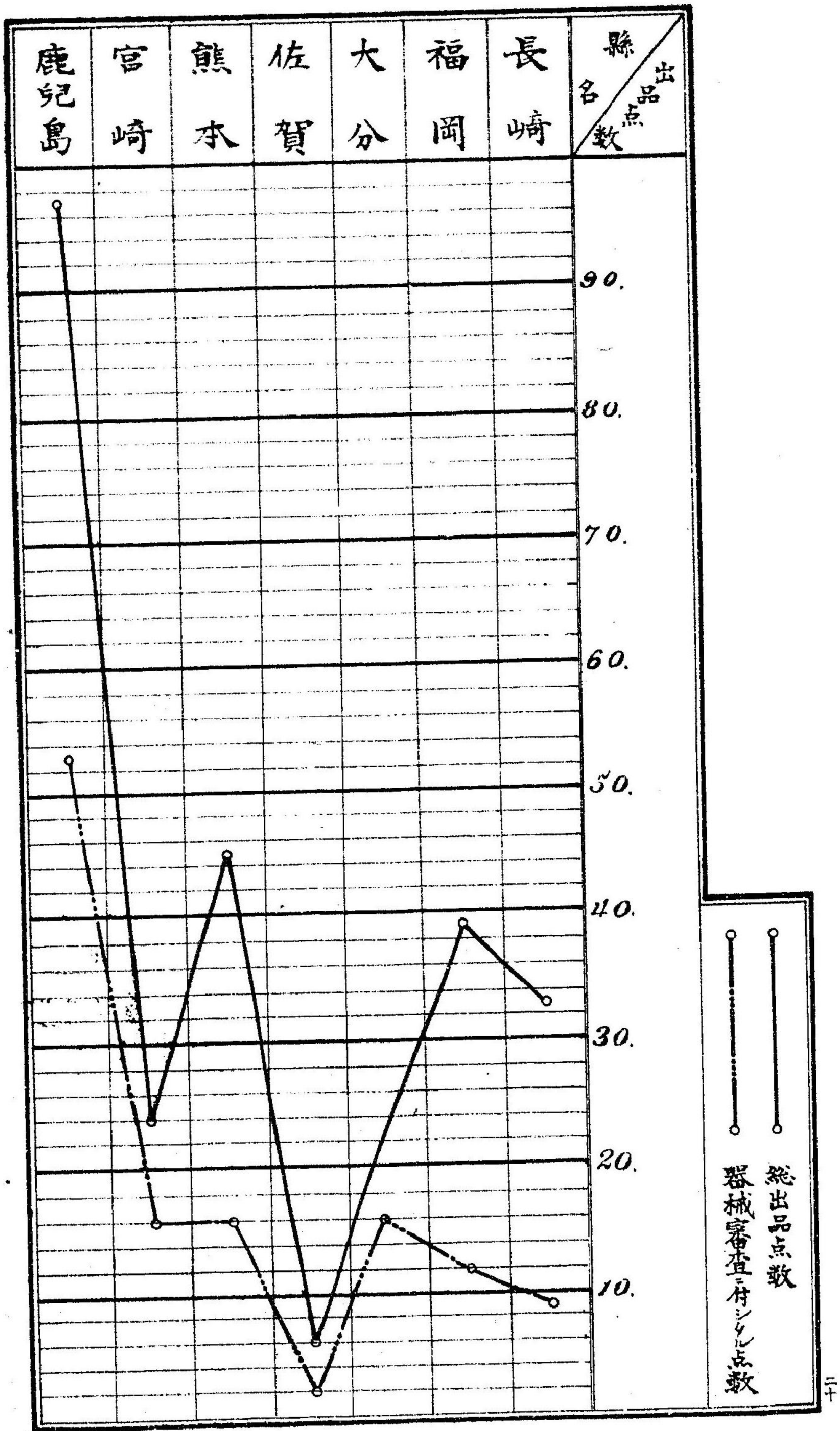
生絲ノ出品總數ハ二百六拾六點ニシテ之ヲ前回ノ八百二拾八點ニ比スレハ實ニ五百六拾二點ノ減少ナ



リ是蓋シ出品規則ヲ改正シ其數量ヲ増加シタルノ結果ニシテ固ヨリ斯業退歩ノ証徴ニアラス寧ロ改善  
進歩ノ變影ナリト謂フヘシ

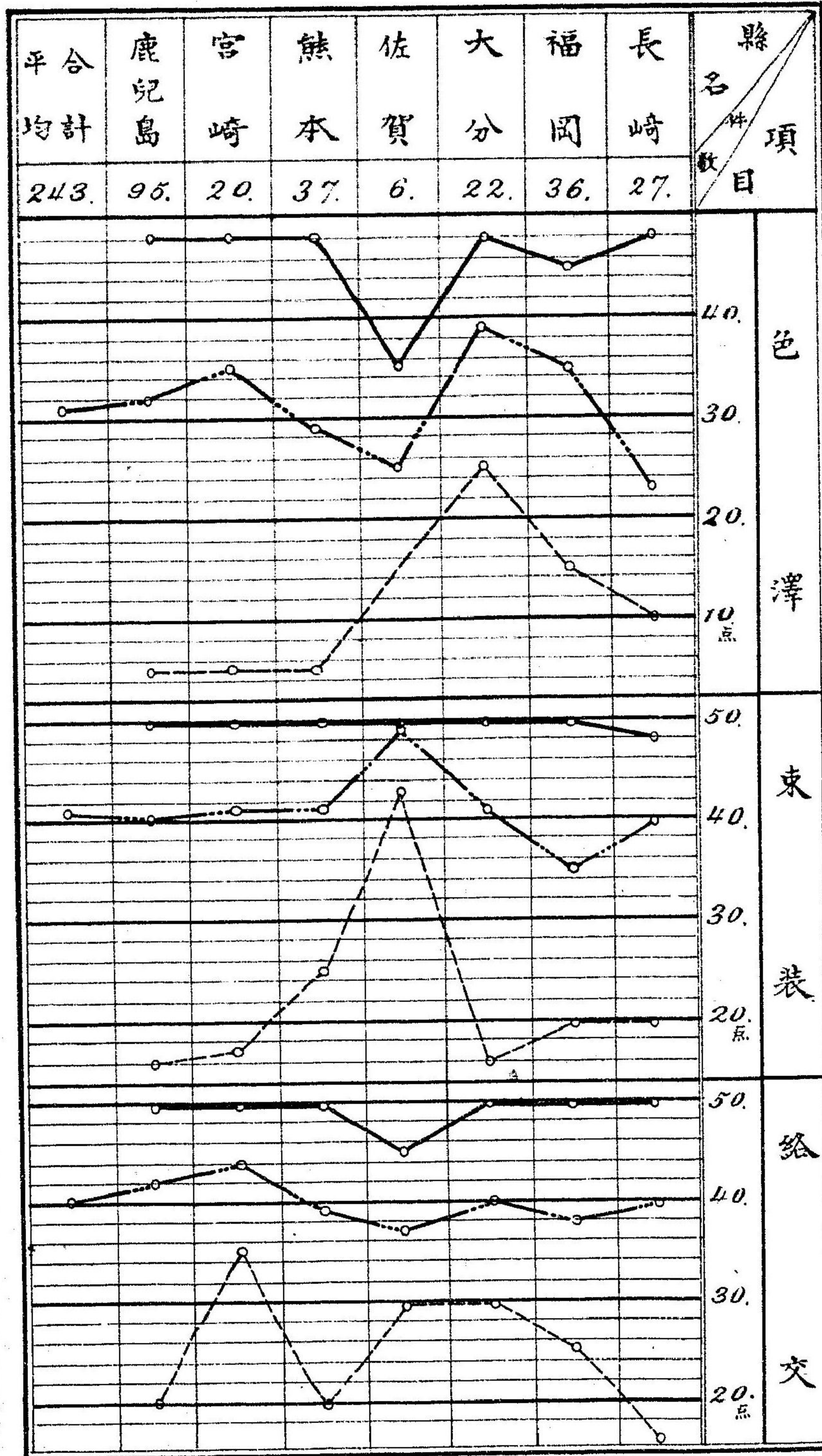
今回出品ノ最多キハ鹿兒島縣ニシテ熊本、福岡、長崎ノ三縣之二次キ宮崎、大分、佐賀ノ三縣又之ニ  
次ケリ面シテ更ニ出品ナキヲ沖繩縣トナス

今其出品ニ就テ概評ヲ下セハ品位優等ニシテ觀ルヘキモノナキニアラスト雖色澤概テ區々ニシテ殆ソ  
ト齊一ヲ缺キ束裝亦不同ニシテ務メテ外觀ヲ裝ヒ往々虚飾ニ流レテ實利ヲ顧ミサルノ傾向アリ唯絡交  
頗フル精緻ニシテ多クハ一定セルカ如シト雖徒ラニ鑿角ノ固着ヲ恐レ專ラ乾燥ニ務ムルノ結果不知不識  
強伸ニ力ヲ減損セルノミナラス遂ニ絡交ヲ適度ニ維持スルノ効用ヲ沒了シ動モスレハ絲條錯綜シテ純  
亂シ易ク之カ爲メ再線困難ナルモノアリ聯合各縣ニ於ケル生絲改良ノ點極メテ多カラサルニアラス彼  
ノ織度ノ均一ナラサル類節ノ頗多ナル強伸ニ力ノ比較的乏シキカ如キ素ヨリ改良ヲ要スヘキノ點ナリト  
雖要スルニ色澤ノ齊一束裝ノ一樣品質ノ一定ヲ圖ルハ其急務中ノ急務ナルヲ信ス而シテ此ノ目的ヲ達  
センニハ一人一己ノ力固ヨリ之レカ成功ヲ期スヘカラス宜シク協同一致シテ以テ事ニ茲ニ從フヘシ  
全出品中審査ノ結果トシテ壹等賞ニ擬シタルモノ一、貳等賞ニ擬シタルモノ二、參等賞ニ擬シタルモ  
ノ三、四等賞五、五等賞十五、六等賞三十二合計五十八點ノ優品ヲ得タリ  
別紙聯合各縣出品ノ割合並ニ器械審査ニ附シタル點數ヲ表示シ以テ一覽ニ供ス





生絲肉眼鑑定成績表





今回出品總點數中品質劣レルカ爲メニ器械審査ヲ經サリシモノ一百三十二點ニシテ其器械審査ヲ了シタルモノハ一百二十四點ナリトス

尙左ニ肉眼鑑定及器械審査ノ成績ヲ表示シ更ニ各縣別ニ概評ヲ下スヘシ

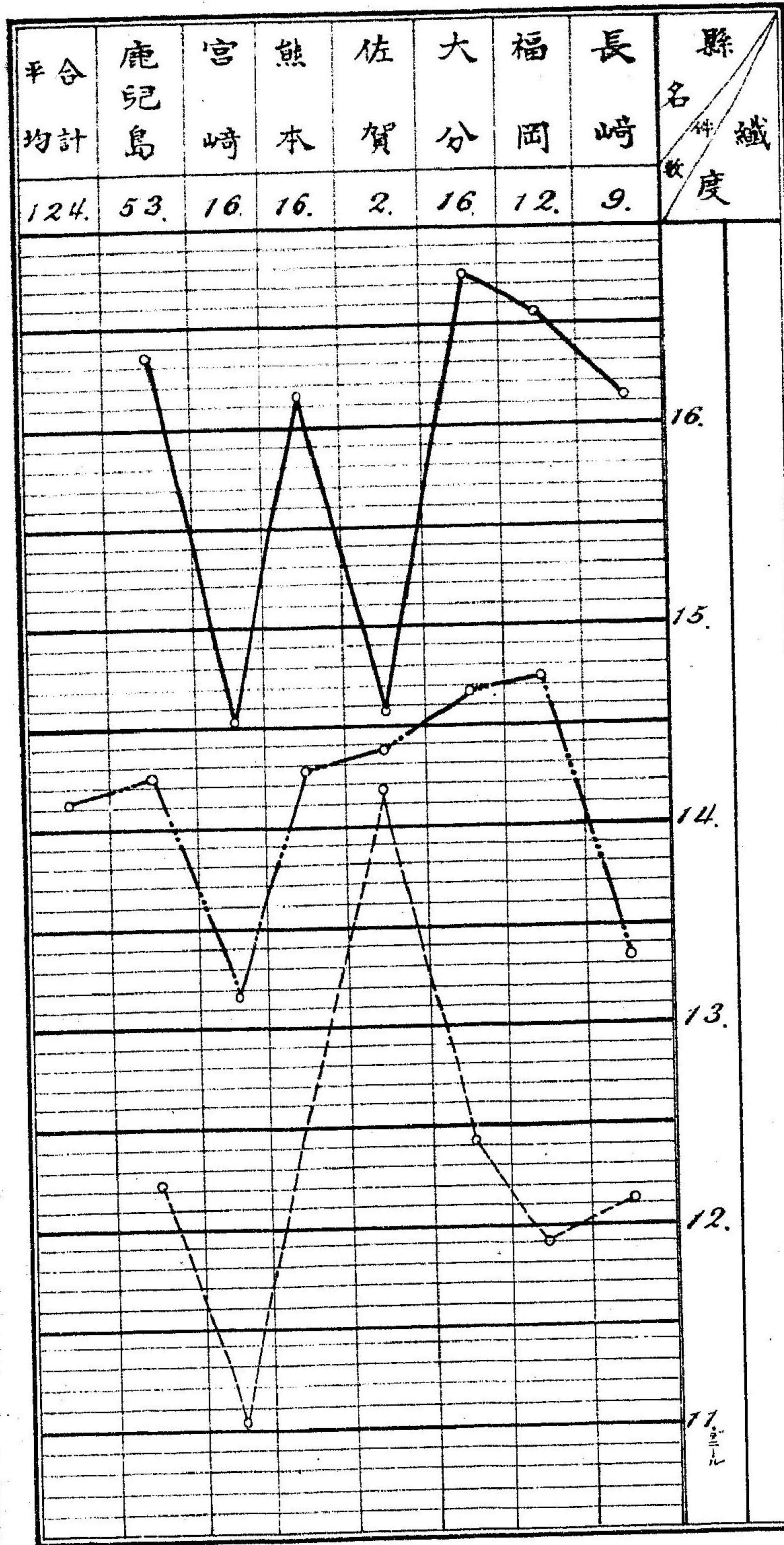
長崎縣 本縣ノ出品ハ三十三點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ九點ナリ色澤概シテ美ナラスト雖束裝稍整備シ絡交亦緻密ナルモノ少カラス然レトモ緒留ニシテ完全ナラサルモノアリ或ハ全ク之ナキモノアリ力絲ニシテ其當ヲ得サルモノアリ或ハ太キニ失セルモノアリ又ハ絹絲ヲ用キテ虚飾ニ流ル、モノアリ其他認耳ノ厚キニ失セルモノ鑿角ノ固着甚シキモノ或ハ乾燥ニ過キテ絲條ノ紊亂セルモノアリ

器械審査ノ成績ニ依レハ平均織度ハ十三デニール三分五厘ニシテ織度ノ差ハ二デニール二分一厘ナリ而シテ其差ノ最少キモノハ僅カニ〇デニール七分一厘ニシテ其最多キモノハ七デニール一分七厘ナリ

又平均強力ハ四十六グラムニシテ平均伸度ハ八十八ミリメートルナリ今之ヲ其織度ニ準シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケルニケ年間ノ平均ニ比スルニ強力ニアラテハ一グラム劣リ伸度ニアリテハ二十ミリメートル劣レリ

又類節ハ絲長五百メートルニ對スル顆數ニ改算シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケルニケ年平ノ平均





生絲器械審査成績表

其一



最平均

最細

最太

ニ比スルニ其結果最多キモノハ二百十四顆ニシテ最少キモノハ一百六十五顆ナリ而シテ其平均ニ於テ尙七十九顆少シ概スルニ織度ノ差ハ極メテ多カラスト雖又甚少シト云フヘカラス而シテ強力伸度ニ至リテハ共ニ頗フルモ乏シク類節稍少シ

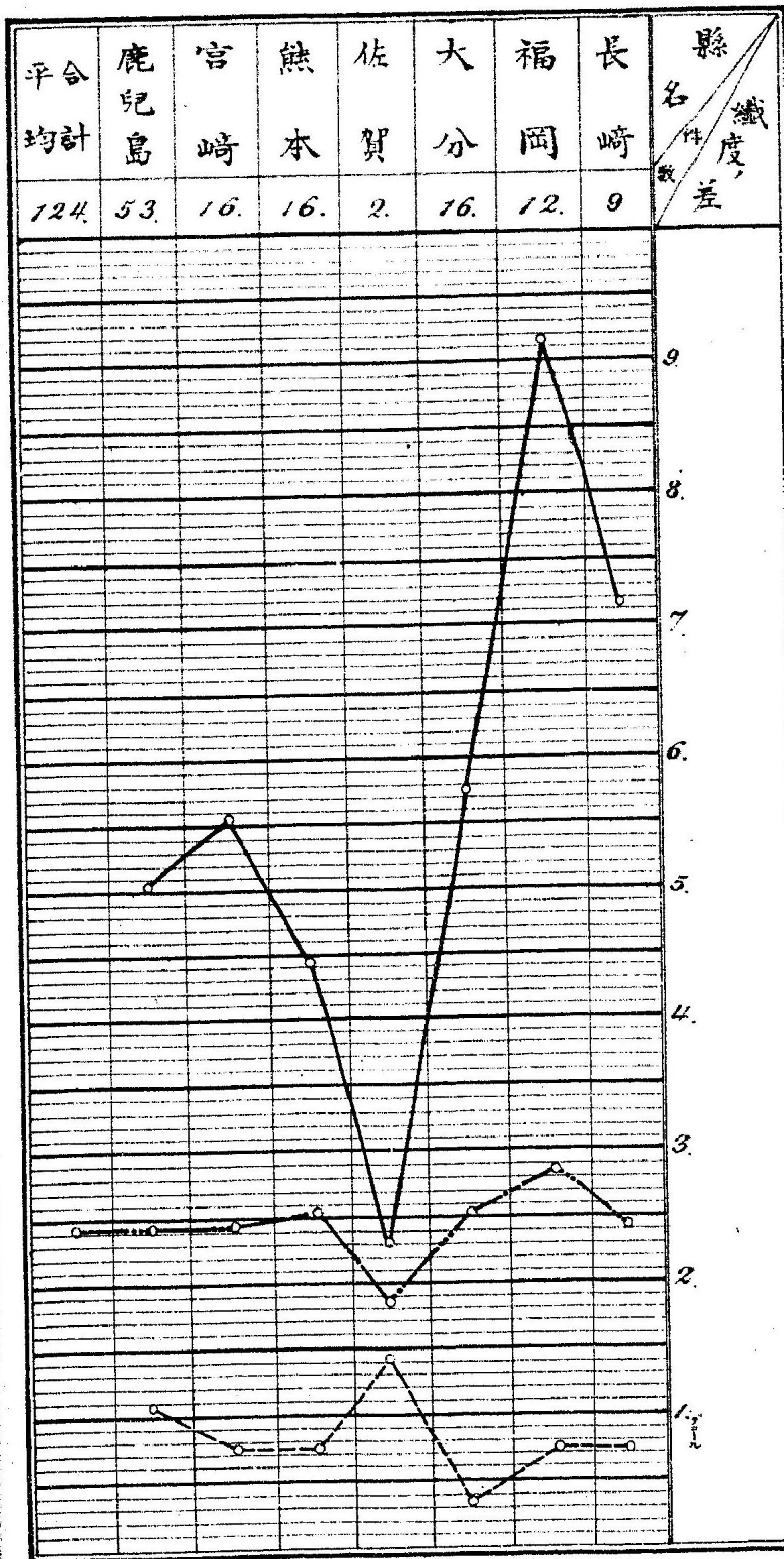
福岡縣 本縣ノ出品ハ三拾九點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ拾二點ナリ色澤稍佳良ニシテ觀ルヘキモノナキニアラスト雖東裝頗フル不整ニシテ絡交亦緻密ナルモノ極メテ少シ

尙左ニ其缺點ヲ指摘スレハ絡留ニシテ完全ナラサルモノアリ或ハ絲條多キニ過キテ指頭ヲ以テ輒ク切斷シ能ハサルモノアリ或ニ力絲ヲ以テ殊更ニ編込ミタルモノアリ又ハ全ク之レナキモノアリ力絲ニシテ太キニ失セルモノアリ或ハ絹絲ヲ用キテ徒ラニ虚飾セルモノアリ其他鑿角ニシテ乾燥ニ過キタルカ爲メ全ク絡交ヲ適度ニ維持スルノ効用ヲ失ヒタルモノアリ

器械審査ノ成績ニ依レハ平均織度ハ十四デニール七分五厘ニシテ織度ノ差ハ二デニール八分七厘ナリ而シテ其差ノ最少キモノハ僅カニ〇デニール七分二厘ニシテ其最多キモノハ九デニール一分四厘ナリ

又平均強力ハ五十一グラムニシテ平均伸度ハ九十二ミリメートルナリ今之ヲ織度ニ準シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケル二ケ年間ノ平均ニ比スルニ強力ニアリテハ二グラム劣リ伸度ニアリテハ十六ミリメートル劣レリ





生絲器械審査成績表

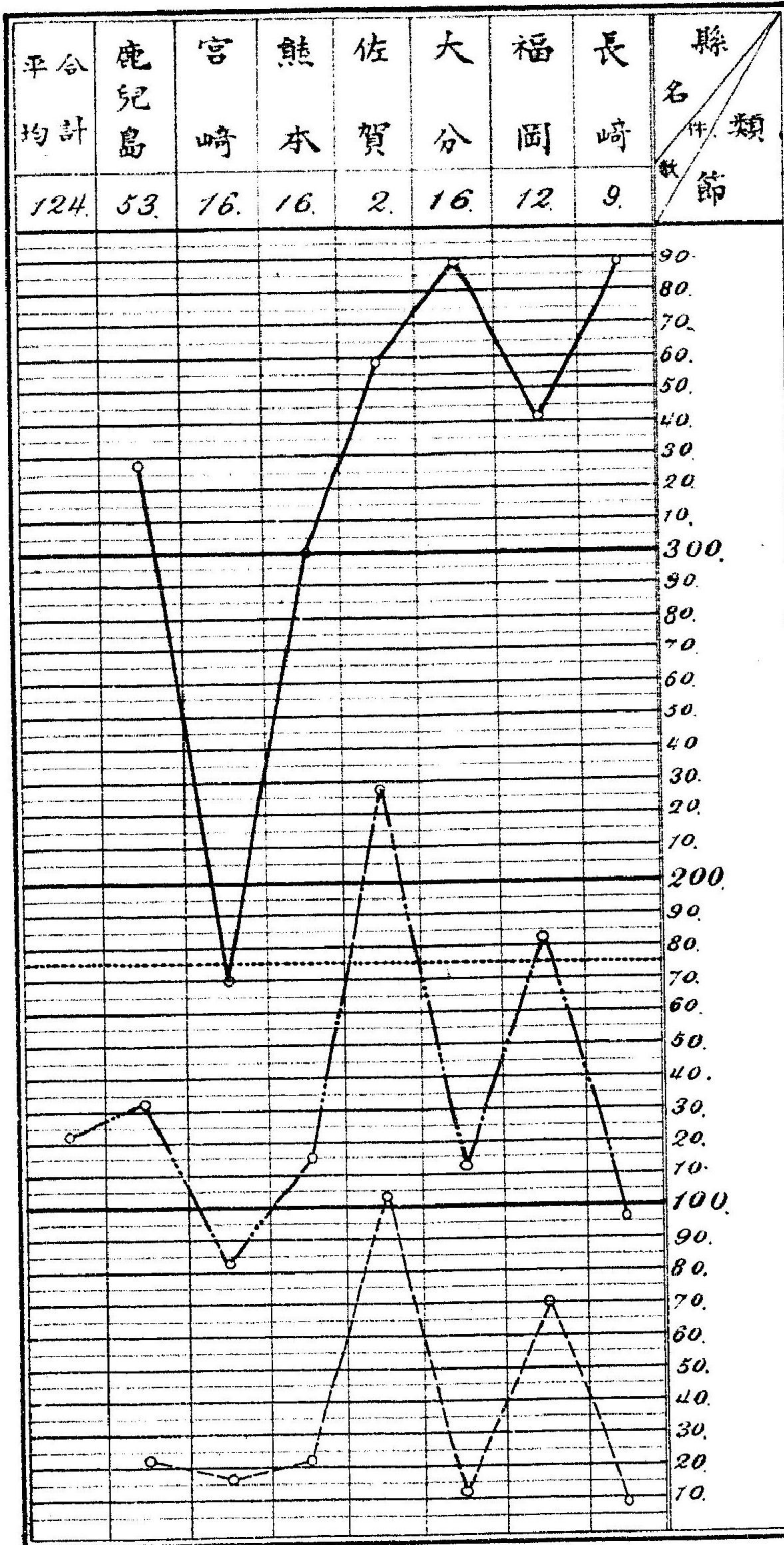
其二

最平最

少均多



生絲器械審査成績表 其三



横濱及神戸生絲検査所二十年半平均

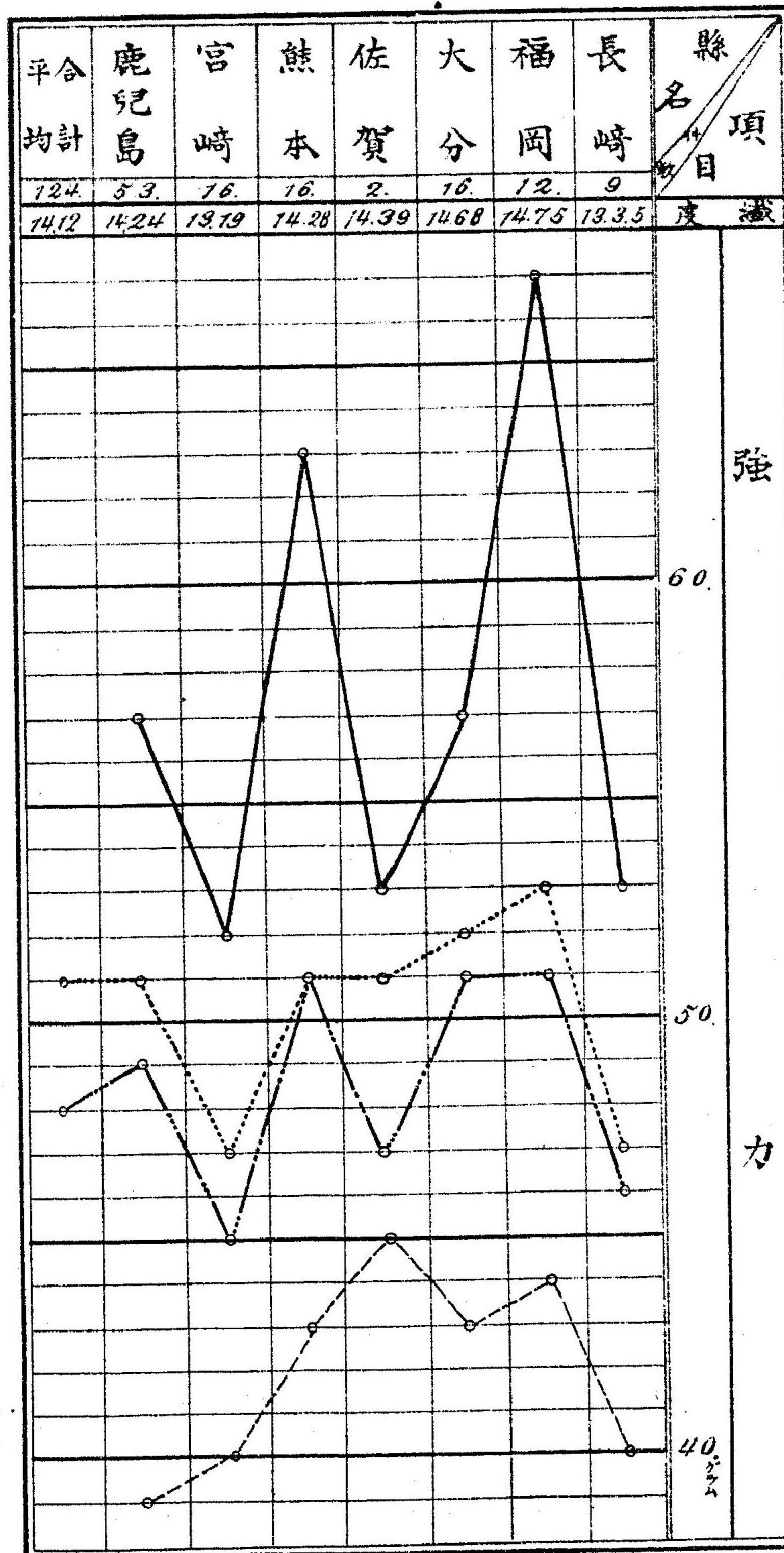
最平最

少均多

三四

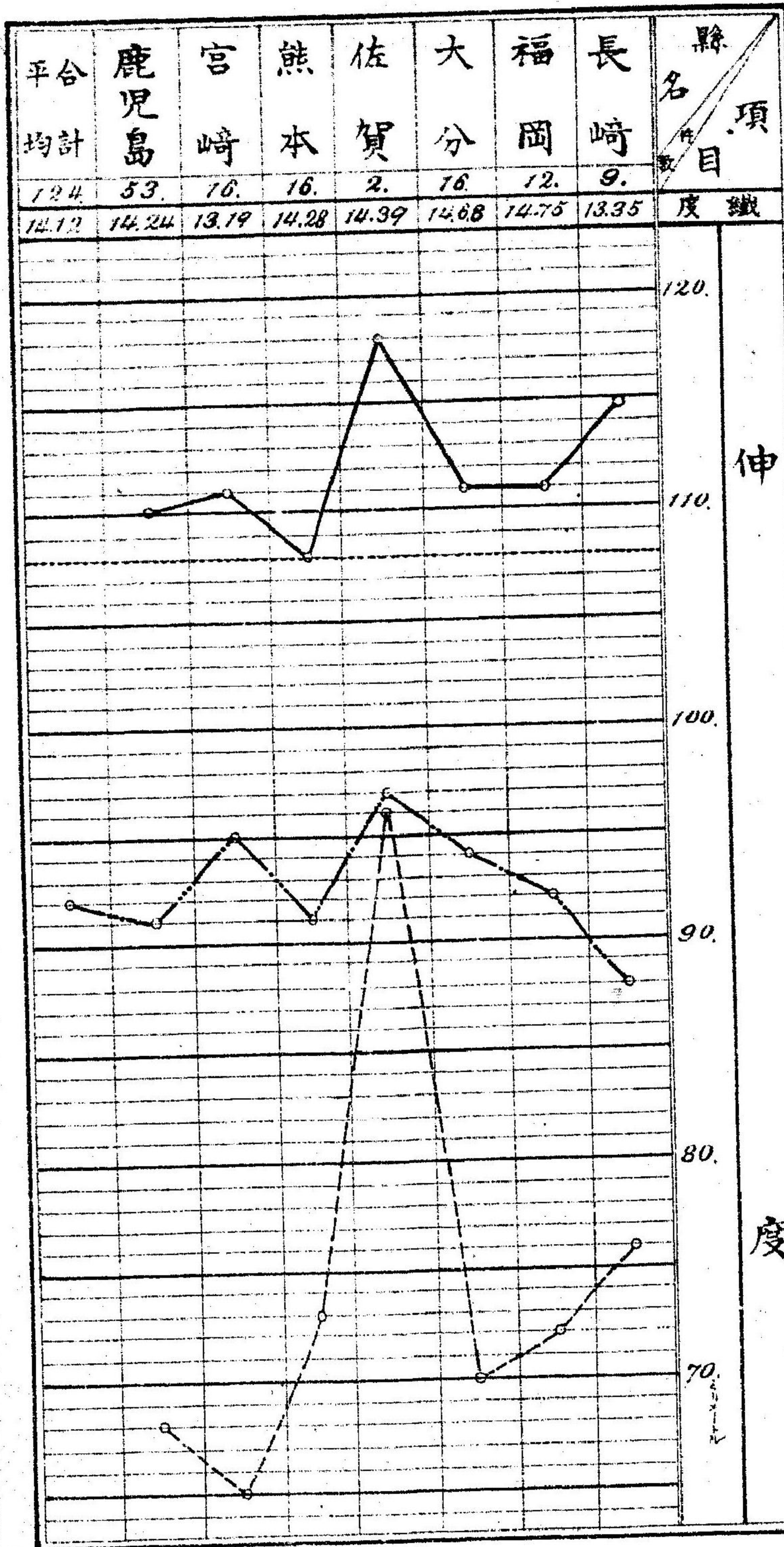


生絲器械審査成績表 其四





生絲器械審査成績表 其五





又類節ハ絲長五百メートルニ對スル顆數ニ改算シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケル二ヶ年ノ平均ニ比スルニ其結果最多キモノハ一百七拾七顆ニシテ最少キモノハ一百零五顆ナリ而シテ其平均ニ於テ尙十顆多シ

概スルニ織度ノ差多ク強力伸度共ニ乏シク類節亦多シ

大分縣 本縣ノ出品ハ二十二點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ十六點ナリ色澤概ネ艶麗ニシテ束裝頗フル整備セルモノ多ク絡交亦精緻ナルモノ少カラス斯ノ如ク色澤ニ束裝ニ絡交ニ多クハ其致ヲ一ニセルハ職ヲ當局者ノ獎勵ト營業者ノ熱心トニ因ルノ結果ナルヘシト雖抑又彼ノ南豊館ノ如キ率先シテ協同一致ニ盡力セルノ功決シテ少シト云フヘカラス尙左ニ其缺點ヲ擧ケレハ緒留ニシテ細小ニ失シ一見シテ其所在ノ認め難キモノアリ力絲ニシテ太キニ失シ指頭ヲ以テ輒ク切斷シ能ハサルモノアリ或ハ其當ヲ得サルモノ又ハ其色濃厚ニ過キテ褪色汚染スルノ虞アルモノアリ其他鑿角ニシテ乾燥ニ失シ之レカ爲メ絲條ノ紊亂セルモノアリ

器械審査ノ成績ニヨレハ平均織度ハ十四デニール六分八厘ニシテ織度ノ差ハ二デニール五分一厘ナリ而シテ其差ノ最少キモノハ僅カニ〇デニール三分六厘ニシテ其最多キモノハ五デニール七分三厘ナリ又平均強力ハ五十一グラムニシテ平均伸度ハ九十四ミリメートルナリ今之ヲ其織度ニ準シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケル二ヶ年間ノ平均ニ比スルニ強力ニアリテハ一グラム劣リ伸度ニアリテハ十



四ミリメートル劣レリ

又類節ハ絲長五百メートルニ對スル顆數ニ改算シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケル二ケ年ノ平均ニ比スルニ其結果最多キモノハ二百十四顆ニシテ最少ナキモノハ一百六十二顆ナリ而シテ其平均ニ於テハ五十九顆少シ

概スルニ織度ノ差極メテ少カラス強力伸度亦甚多カラス唯類節ノ稍少キヲ見ル

佐賀縣 本縣ノ出品ハ僅カニ六點ニシテ器械審査ニ附シタルモノニ點ナリ色澤絡交共ニ佳良ナラスト雖束裝ノ頗フル整備セルモノアリ尙左ニ其缺點ヲ舉レハ緒留ニシテ殊更ニ寸餘ノ紅色絲ヲ添加シテテ目標トセルモノアリ一見スレハ用意周到ナルカ如シト雖必竟無用ノ長物ニ過キス其他雙角ニシテ乾燥ニ失シ之レカ爲メ絲條ノ紊亂ヲ來セルモノアリ

器械審査ノ成績ニヨレハ平均織度ハ十四デニール三分九厘ニシテ織度ノ差ハ一デニール八分八厘ナリ而シテ其差ノ最少キモノハ一デニール四分三厘ニシテ其最多キモノハ二デニール三分三厘ナリ又平均強力ハ四十七グラムニシテ平均伸度ハ九十七ミリメートルナリ今之レヲ其織度ニ準シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケル二ケ年間ノ平均ニ比スルニ強力ニアリテハ四グラム劣リ伸度ニアリテハ十一ミリメートル劣レリ

又類節ハ絲長五百メートルニ對スル顆數ニ改算シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケル二ケ年ノ平均

ニ比スルニ其結果最多キモノハ一百七十二顆ニシテ最少キモノハ七十顆ナリ而シテ其平均ニ於テハ五十二顆多シ

概スルニ織度ノ差最少ク伸度稍多シト雖強力著シク劣リ類節亦甚多シ

熊本縣 本縣ノ出品ハ四十六點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ十六點ナリ色澤艶麗ナルモノ極メテ少ク絡交精緻ナルモノ甚稀ナリ然レトモ束裝稍整備シ比較的觀ルニ足ルモノアリ尙左ニ其缺點ヲ舉クレハ緒留ニシテ極メテ不完全ナルモノアリ或ハ力絲ヲ以テ殊更ニ編込ミタルモノアリ又ハ力絲ニ結付ケタルモノアリ力絲ニシテ絹絲ヲ用キ徒ラニ虚飾ニ流ル、モノアリ或ハ全ク之レナキモノアリ總耳ニシテ厚キニ失セルモノアリ雙角ニシテ甚シク固着セルモノアリ或ハ乾燥ニ過キテ絲條纏亂シ易キモノアリ其他認巾ノ極メテ狭キモノ又ハ一認ヲ以テ一捻トナシタルモノアリ

器械審査ノ成績ニ依レハ平均織度ハ十四デニール二分八厘ニシテ織度ノ差ハ二デニール五分一厘ナリ而シテ其差ノ最少キモノハ僅カニ〇デニール七分一厘ニシテ其最多キモノハ四デニール四分九厘ナリ

又平均強力ハ五十一グラムニシテ平均伸度ハ九十一ミリメートルナリ今之レヲ其織度ニ準シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケル二ケ年間ノ平均ニ比スルニ強力ニアリテハ更ニ優劣ナク伸度ニアリテハ十七ミリメートル劣レリ



又類節ハ絲長五百メートルニ對スル顆數ニ改算シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケル二ケ年ノ平均ニ比スルニ其結果最多キモノハ一百二十拾五顆ニシテ最少キモノハ一百五拾三顆ナリ而シテ其平均ニ於テハ六拾顆少シ

概スルニ織度ノ差極メテ少カラス伸度稍之シト雖強力殊ニ多ク類節亦甚少シ

宮崎縣 本縣ノ出品ハ二拾四點ニシテ器械審査ニ附シタルモノ拾六點ナリ色澤美麗ナルモノ多ク束裝整備セルモノ少カラス加フルニ絡交多クハ精緻ニシテ粗糙ナルモノアルヲ見ス然レトモ尙緒留ニシテ完全ナラサルモノアリ力絲ニシテ其當ヲ得サルモノアリ其他認耳ノ極メテ厚キモノアリ鑷角ノ乾燥ニ失セルモノアリ

器械審査ノ成績ニ依レハ平均織度ハ十三デニール一分九厘ニシテ織度ノ差ハ二デニール四分三厘ナリ而シテ其差ノ最少ナキモノハ僅カニ〇デニール七分二厘ニシテ其最多キモノハ五デニール五分六厘ナリ

又平均強力ハ四十五グラムニシテ平均伸度ハ九十五ミリメートルナリ今之レヲ其織度ニ準シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケル二ケ年間ノ平均ニ比スルニ強力ニアリテハ二グラム劣リ伸度ニアリテハ十三ミリメートル劣レリ

又類節ハ絲長五百メートルニ對スル顆數ニ改算シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケル二ケ年ノ平均

ニ比スルニ其結果一モ多キモノナク其平均ニ於テ實ニ九十三顆ノ少キヲ見ル

概スルニ織度ノ差稍少ク強力伸度之シト雖類節極メテ少シ

鹿兒島縣 本縣ノ出品ハ九十七顆ニシテ器械審査ニ附シタルモノ五十三點ナリ色澤稍齊一ニシテ束裝概キ一定セリ殊ニ絡交ハ頗ル精緻ニシテ觀ルヘキモノ少カラス斯ノ如ク色澤、束裝、絡交ノ比較的一定ニシテ其品位ノ一様ナルハ決シテ偶然ノ結果ニアラス蓋シ多クハ鹿兒島共同生絲検査所ナル組織ノ下ニ整理セラレタルモノナレハナリ尙左ニ其缺點ヲ擧クレハ緒留ニシテ力絲ニ編込マレタルモノアリ力絲ニシテ其當ヲ得サルモノアリ或ハ美麗ナル絹絲ヲ用キ又ハ濃厚ナル色絲ヲ用キテ徒ラニ虚飾ヲ裝フモノアリ其他絡交不完ニシテ認耳ノ厚キニ失セルモノアリ或ハ認幅廣クシテ鑷角甚シク固着セルモノアリ又ハ乾燥ニ過キテ絲條ノ紊亂セルモノアリ

器械審査ノ成績ニ依レハ平均織度ハ十四デニール二分四厘ニシテ織度ノ差ハ二デニール四分二厘ナリ而シテ其差ノ最少キモノハ一デニール零分七厘ニシテ其最多キモノハ五デニール零分二厘ナリ又平均強力ハ四十九グラムニシテ平均伸度ハ九十一ミリメートルナリ今之レヲ其織度ニ準シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケル二ケ年間ノ平均ニ比スルニ強力ニアリテハ二グラム劣リ伸度ニアリテハ十七ミリメートル劣レリ

又類節ハ絲長五百メートルニ對スル顆數ニ改算シテ横濱及神戸生絲検査所ニ於ケル二ケ年ノ平均



ニ比スルニ其結果最多キモノハ一百五拾二顆ニシテ最少キモノハ一百五拾二顆ナリ而シテ其平均ハ四拾二點少シ

概スルニ織度ノ差ハ甚多カラスト雖強力伸度共ニ乏シク類節稍少シ

紅茶綠茶審査復命書

小官儀鹿兒島縣主催九州沖繩八縣聯合共進會茶審査官ノ命ヲ拜シ明治三十二年一月三十一日出發三月十日ヲ以テ歸京セリ而シテ現品ノ審査ハ二月十二日ヨリ開始シ全二十一日ヲ以テ結了シ二十六日ニ至リ擬賞ノ表ヲ調査シテ之ヲ審査長ニ提出セリ左ニ紅茶綠茶ノ審査ニ係ル報告書相添此段謹テ復命候也  
明治三十二年七月十二日

農商務大臣會副荒助殿

農務商技師

大林雄也

紅茶綠茶審査報告

茶製造ノ技術ハ已往六七年間ニ在リテ長足ノ進歩ヲナシ今ヤ九州ニ於テハ會テ見ルヲ得ザリシ良茶ヲモ産スルニ至レリ而シテ今回ノ出陳紅茶二百二十六點中授賞セラレシモノハ壹等一、貳等一、參等二、四等五、五等十五、六等三十計五十四ニシテ綠茶五百六十點中壹等一、貳等二、參等五、四等七、五等二十二、六等七十計百〇七アリ今之ヲ出品ノ總數ニ比スレハ紅茶ハ百分ノ二十三、八強綠茶ハ百分ノ十九強ニ當レリ其縣別表左ノ如シ

紅茶授賞人員調

縣名	壹等	貳等	參等	四等	五等	六等	計	出品數
長崎					八	二	一〇	二六
熊本						三	三	一三
鹿兒島						三	三	一三
福岡						三	三	一三
佐賀						三	三	一三
通計				五	一五	三〇	五〇	二六

綠茶授賞人員調

縣名	壹等	貳等	參等	四等	五等	六等	計	出品數
長崎					四	一	五	一〇
熊本					七	一	八	一〇
鹿兒島					一	〇	一	一〇
大分					四	一	五	一〇
宮崎					七	一	八	一〇
通計				三	一〇	二	一五	一〇

紅茶綠茶審査復命書



福	九十六
佐	八十七
通	八十七
計	二七
賀	八十七
岡	二七
計	五〇

今回出品ノ製茶ヲ審査スルニ支那風紅茶及細揉綠茶ハ實ニ驚ク可キ進歩ヲ來シ殊ニ紅茶ノ如キハ昔ニ外觀ノ美ニ走ラサルノミナラス浸汁ノ濃厚ナル香味ノ豐富ナル一層ノ進歩ヲ呈セルヲ認ム是レ紅綠茶傳習所ヲ設置シテ技工ヲ養成シ巡廻講話ヲナシ以テ製法ノ改良ヲ計リシ其効與ツテカアル可ク又以テ聯合各縣カ茶業ノ改善ニ盡瘁セシ成績顯著ナルヲ證スルニ足ラン只憾ム玉露茶ノ進歩或ハ往年ノ如クナラザルノ觀アリテ綠紅茶ト其進運ヲ共ニセザルノ感アルコトヲ今縣別出品茶ニ就キテ概評センカ

長崎縣 紅茶ノ出品十三點中五點ハ品質不良ニシテ評スルノ價值ナク他ノ八點中ノ二三ハ色澤最モ支那茶ニ類シ形狀亦佳麗ナリ此等ノ紅茶ハ蓋シ本縣下紅茶製造ノ木鐸タラン

綠茶ノ出品ハ九十三點ニシテ内三十一點ハ形狀貯藏香味不完全ニシテ殆ント評スルニ足ラス良品六十二點中五十七點ハ普通ナレトモ他ノ五點ハ頗ル優等ナルモノアリシ而シテ此五點ノ中ニ就テ概評セハ色澤最モ輝綠ナリシモ形扁平ニ失シ且ツ製造中幾分ノ蒸損アルカ如キハ將來注意スヘキ所ナリトス

熊本縣 紅茶ノ出品ハ百六十一點ニシテ中四十四點ハ劣等茶ナリシモ殘百十七點ハ其製作普通以上ニ

アリテ就中優等品ト稱スヘキモノ三十五點アリ蓋シ本縣ノ紅茶ハ色澤少シク紅色ニ過クルモノナキニ非ラサルモ輸尙商品タルノ資格ヲ具備シ且ツ出品ノ能ク揃ヒタルハ賞スルニ足ルヘシ然レトモ

蒸蒸ニ就キテハ過不足ノ感アリテ香氣ハ原葉ニ應セサルアリ或ハ揉込ミニ其適時ヲ誤マリテ汁液割合ニ淡薄ナルモノアリシハ實ニ遺憾トスル所ナリ尙一層培養ヲ致メ以テ製法ヲ誤ラサレハ支那茶ニ勝ル良品ヲ産スルニ至ラン

綠茶ノ出品八十五點中四十九點ハ劣等品ナリシモ他ノ三十六點ハ普通良品ニシテ就中最佳良ナリシハ玉露茶及宇治風煎茶ナリ然レトモ色澤前年ノ如クナラス從テ香氣ニ缺クル所アリシハ當業者ノ注意ヲ要スル所ナリ

宮崎縣 ハ紅茶ノ出品ナク綠茶百四點中良品七十九點アリテ就中最モ優等ナリシモノ十四點アリ抑モ本縣ノ綠茶ハ九州ノ東南部ニ於テ久シク聲價ヲ占メ近來又輸出茶トシテ神戸港ニ於ケル信用益厚キヲ加ヘ來リ概シテ形狀肥大ニ香味ノ充實セルハ爭フ可カラサレトモ原茶ノ佳良ナルニ比シテ香氣ノ發揚セサルハ製法ノ前途尙進歩ノ餘地ヲ存スルモノ、如シ蓋シ他ノ各縣ニ於テハ多クハ培養ニ比シ製法ノ進歩シタルモノアリト雖本縣ニ在リテハ之ニ反シテ却テ製法ノ進歩ハ培養ノ下ニ位スルモノト謂フ可シ

大分縣 紅茶ノ出品十四點ニシテ内優等茶三點アリト雖形狀ノ美ナルニ比シテ製法ノ不完全ナルハ遺憾



憾ナリトス宜シク之カ改良ヲ圖ルヘシ

緑茶ノ出品二十七點中普通ノ良品十四點アリシモ如何セン皆貯藏不完全ナリシカ爲メ其眞價ヲ評スルニ足ラサリシ

鹿兒島縣 紅茶ノ出品ハ僅ニ三點ニシテ授賞ニ値スルモノナシ

緑茶ハ百四十四點ニシテ内百七點ノ普通良品アリシハ改良ニ勉メタルノ功績著シト謂ハサル可カラヌ出品ハ採切製ノ細揉茶多クシテ形狀佳ナレトモ香味ハ足ラサルノ感ナキニ非ラス殊ニ水色ノ清澄ナラサルハ遺憾トスル所ニシテ就中培養ノ懇到ナラサルハ尙注意ヲ要スル所ナリ

福岡縣 紅茶ハ二十六點ニシテ内良品十六點アリ色澤稍黒味ヲ帶フルノ感アリシモ熊本縣ニ亞キテ優

等品多カリシ然レトモ前回ニ比シテ優絶ノ佳品ヲ見サリシハ出品者ノ少カリシ爲メナラン

緑茶ハ出品總數二十七點中良品七點アリシモ優等ノ佳品ニ乏シク形狀香味等製法上ノ改良ヲ要スル處少ナカラス

佐賀縣 紅茶ハ十二點ニシテ佳良ナルモノ僅カニ二點ニ止マリシハ當業者ノ奮勵ヲ要スル所ナリ

緑茶ハ出品總數八十點中良品二十三點アリシカ佳良ナリシモノハ僅ニ五點ニ止マレリ改良細揉茶ハ摘採ノ時機ニ遅クレシ爲メ品質劣リ又嬉野茶ノ中ニ就キテ形狀色澤等絶佳ノ品之ナキニアラサリシモ水色黄濁ニ變シ從テ他縣細揉茶ノ良品ト競争スルヲ能ハザリシハ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ

沖繩縣 茶ノ出品ナシ

今左ニ紅茶緑茶ノ製造上注意スヘキ要點ヲ摘記シテ當業者ノ參考ニ供セントス

紅茶

九州ハ紅茶ノ本產地トシテ夙ニ世人ノ認ムル所ナルヲ以テ今回出品ノ如キモ亦支那紅茶ノ商品ニ酷似スルニ至リシハ特ニ賞揚セザル可カラザル所ナリ故ニ出品者一般ノ製造方法ニ就テ非難ス可キ處少シト雖仔細ニ吟味シ來レバ又一言ノ注意スベキ點ナキニ非ザルナリ今出品紅茶ノ改良ニ就テ主要ノ點ヲ記サンニ

一、生葉ノ萎凋ハ之レヲ原葉量ノ三割四五分ニ至ラシメ而モ最モ平均ニ莖葉ノ萎凋スル様注意ヲ怠ラズンバ風味一層ニ上進セン

二、生葉ノ原質ニ付キテ培養ノ不足ハ須ラク之レヲ補給セザル可カラズ

三、揉採 生葉ハ其原量ニ對シ四割三四分減ニ至レバ最モ充分ニ揉ムベキ時期ニシテ此際莖葉共ニ手觸恰モ綿ノ如ク柔軟ナル様平等ニ揉採スルヲ要ス茶葉モ此時ニ於テハ最モ能ク細形ニ揉マルヲ得ルモノナルガ故ニ斯ノ如クスル時ハ浸汁濃厚ニ香味ノ完全ナルモノヲ得ルコト易シ

四、罏蒸ヲ初ムルノ適度ハ生葉ノ原量ニ對シ五割乾キノ時ヲ擇ムベシ罏蒸終リノ度ハ茶葉ノ力ヲ見テ鑑別スベキモノナルガ故ニ筆紙ヲ以テ明示スルコト難シト雖罏蒸茶ノ生臭ヲ減シ且莖ノ内部黄



化スルニ至レハ凡テ其適度ヲ示セルモノトシテ可ナラン

五、火乾ニハ籠焙爐ノ火度華氏百二十度弱ノ文火ヲ以テ最モ持久ニ且最モ完全ニ莖葉ノ濕分ヲ去ル迄充分乾燥セシムヘシ完ク乾キタル茶ハ之ヲ指頭間ニテ揉メハ忽細紛トナルヘク乾燥ノ方法ハ恰モ臺灣烏龍茶ノ終乾ノ如ク充分ナランコトヲ要ス

### 緑茶

一、出品中摘採ノ期遅レテ硬葉トナリシモノ若シクハ二番芽ヲ以テ形狀佳良ナル茶ヲ造リシモノアリシカ是等ノ茶ハ香味水色共ニ良茶ニ匹敵ス可キモノニ非ラサルヲ以テ製造者ノ心勞ハ多トスルモ到底其技術ニ對スルノ賞ヲ擬スルコト能ハサルナリ

二、蒸シ方ハ一般ニ注意足ラサルノ憾アリ故ニ宇治風ノ蒸籠、蒸釜籠等ニ改良セハ鮮綠ナル一段ノ良茶ヲ製スルコト易カラシ

三、荒揉ニ就テ助炭ノ上ニ於テ揉捻中茶ノ蒸ル、カ如キ心持ナキ様注意スヘシ又荒揉ノ内練揉ノ足ラサル茶多キカ如シ凡ソ蒸葉ハ四割五分乾キノ時ニ當リテ力ヲ入レ揉ミ込メハ粘ハリ付キテ塊トナルモノナレトモ之ヲ恐レヌ中揚ケノ出來得ル迄揉ミ切ラサル可ラス揉切リテ葉崩ヲナシ以テ中揚ケトナル然ル時ハ助炭ヲ清メ中揉ミニ移ルテ荒揉ミニ於テ茶葉ヲ綿ノ如ク柔軟テナシ置クトキハ仕上ケニ至リテ色澤鮮綠ナル茶トナリ佳香ヲ放ツニ至ルモノナリ

四、仕上ケ揉ニ於テ餘リ火度高キハ固ヨリ好マシカラスト雖細揉茶製造ニ於テ普通ニ使用スルカ如キ低度ノ火力ハ良茶ノ仕上ケニ於テ使用スヘキモノニ非ラズ助炭面ノ火力ハ攝氏百四十度許ヲ適度トス可シ

前項ノ如ク荒揉充分ナル茶ハ仕上ケノ際莖葉内部ノ水濕ハ揉切振揉含揉等ノ手使ヒヲ以テ自由ニ發散シ仕上ケ揉ミノ終ニ於テ葉筒含揉ニテ濕氣全ク散シ佳香ヲ生スルト同時ニ鮮綠色トナル且含揉ミノ巧拙ニ依リテ光澤ヲ生スルノ度自ラ差異アリト雖モ少シク其術ニ熟スレハ以テ輝綠ノ茶ヲ製スルヲ得ヘシ出品者ノ多クハ形狀佳良ニ光澤アル茶ヲ製シタルモ往々水色香氣之ニ伴ハスシテ未タ以テ真正ノ良茶ヲ産シタリトスルニ足ラス

### 玉露茶

玉露茶ハ其色澤一層鮮綠ナラン事ヲ希望ス色澤ニシテ一層鮮綠ナルニ至レハ從テ香氣自然ニ高ク味モ亦從テ甜和ナルコトヲ得ヘシ而シテ斯ノ如ク色澤ヲ改良スルニハ綠茶ノ部第四項ニ述ヘタル練揉ヲ充分ニナシ茶葉ノ粘ハリ付キテ玉トナリ軟塊トナルヲ恐レヌ揉ミ抜カサヲ可ラス又第五項ノ仕上ケ揉ニ際シ早乾シヲ廢シテ色澤ノ鮮綠ニ變スル迄充分手ニテ揉ミ堪ユヘシ仕上ケ揉ノ巧拙ニ依リテ此種ノ希望ハ之ヲ達ス可ラスト思ハル、人アランモ事ノ實際ニ於テ意外ニ容易ナルモノナリ



今回ノ茶審査ニ於テ採用セシ鑑定目ニ對スル標準點左ノ如シ  
紅茶附點標準

鑑定目	最高點數
形狀	百點
色澤	百點
水色	百點
香氣	二百點
味	百點
萎凋	百點
罨蒸	百點
貯藏	百點
需要	百點
合計	千點

鑑定目	最高點數
形狀	二百點
色澤	百點
水色	百點
蒸熬	百點
香氣	二百點
味	百點
貯藏	百點
需要	百點
合計	千點

但玉露茶ニ在リテハ形狀ヲ百點トナシ味ヲ二百點トナス  
又茶審査員諸氏ノ報告ハ左ノ如シ

茶審査報告書

第十回九州沖繩八縣聯合共進會出品ニ係ル紅綠茶審査茲ニ終了ヲ告ケタルヲ以テ意見ヲ附シ左ニ報告ス

一宮崎、鹿兒島、長崎三縣ノ出品ニ係ル製茶中天下ニ製ハ之ヲ既往ノ成績ニ徴シ長足ノ進歩ヲナシ居

紅茶綠茶審査報告



リシモ未タ以テ完全無缺ノ製法ト云ヘカラス宜シク諸般ノ點ニ留意シ以テ之カ改良ヲ計ルヲ要ス  
一大分、佐賀、福岡、熊本四縣ノ天下一製ハ形狀稍見ルヘキモノアリト雖モ香氣水色具備セサルカ故ニ宜シク之ヲ改良シ且貯藏ニ最モ注意スルヲ要ス

一熊本、福岡、長崎、大分、佐賀五縣ノ紅茶ハ稍改良ノ緒ニ就キタリトスルモ貯藏不完全ノモノアリ一層注意セサルヘカラス又大分、佐賀二縣ノ紅茶ハ支那印度折衷製ニシテ販路上顧客ノ嗜好ニ適セサルノ憾アリ宜シク之カ改良ヲ計ルハ斯業上焦眉ノ急ナリトス

一各縣ノ出品ニ係ル玉露茶ハ往々見ルヘキモノアリトスルモ製造法一定セス又滋味ヲ帶ルノ憾アリ一層注意シテ之ヲ改良スルヲ要ス

一福岡、熊本、佐賀ノ出品ニ係ル綠茶中釜熬茶ハ其實粗製茶多キヲ以テ之ヲ米國ニ輸出版賣セントスルモ單獨之カ輸出ヲ見ルヲ得ス漸ク他ノ製茶ニ包藏セラレテ販路ノ疏通ヲ得來タリシモ近來米國ニ輸入ノ課稅アリ加フルニ不正茶輸入禁止條例ノ實施ハ遂ニ釜熬製茶ヲシテ悲境ニ陥落セシメタレハ今ヤ實ニ悠々閑過スヘキ秋ニアラサルナリ故ニ之レカ改良ヲ計ルハ焦眉ノ急ナリト雖因襲ノ久シキ一時ニ之ヲ改良スルコト又容易ノ業ニアラサルハ實ニ遺憾トナス所ナリ

一前各項ニ付之カ改良ヲ計ルノ法一ニシテ足ラスト雖要スルニ傳習所ヲ増設擴張スルヲ良法トナス然リト雖之レヲ實施セントスルニハ多額ノ費金ヲ要シテ能ク當業者ノ負擔シ得ヘキ事業ニアラサルヲ

以テ各縣共之ヲ縣是トシ一層縣費補助ヲ増額シ以テ目的ヲ達セシメラル、樣獎勵アラソコヲ希望ス

右審査結了ニ付意見ヲ附シ及報告候也

九州沖繩八縣聯合共進會紅綠茶審査員

明治三十二年二月二十三日

- 平 田 正 晴
- 井 上 泉
- 高 柳 嘉 市
- 石 坂 平 九 郎
- 下 田 敬 太 郎
- 溝 田 文 吉
- 岸 川 理 一

審 查 官

農商務技師大林雄也殿

砂糖審査復命書

鹿兒島縣主催第十回九州沖繩八縣聯合共進會砂糖審査官トシテ出張被命本年一月三十一日東京出發翌

砂糖復命書



二月五日日本會開設地鹿兒島市着爾後審查ニ關スル所要ノ準備ニ從事シ全十五日ヨリ規定ノ審査例則ニ準シテ現物ノ鑑定ヲ開始シ三月三日全ク了テ四月十二日歸京候段茲ニ別紙報告書相添護而復命候也

第十回九州沖繩八縣聯合共進會砂糖審査官

明治三十二年五月二十五日

農商務技師 坂野初次郎

農商務大臣會福荒助殿

砂糖審査報告書

一、審査員

聯合各縣中佐賀縣ノ出品ハ僅ニ一點ニシテ宮崎縣ハ全ク之ナキカ故ニ當該審査員ハ六名ニシテ何レモ勤勉嚴正以テ事ニ從ヒ能ク其任務ヲ全フセリ今其縣別氏名ヲ舉クレハ即テ左ノ如シ

長崎縣	本多次郎
福岡縣	古賀金三郎
大分縣	和田浦之助
熊本縣	明瀬二吉
鹿島縣	大迫清二子

沖繩縣	喜數松助
-----	------

二、出品概況

出品總點數ハ二千百九十六點ノ多キニ昇リ長崎、福岡、大分、佐賀、熊本、鹿島、沖繩七縣ノ出品ニ係ルモノトス而シテ其種類ニ至リテハ黑糖白下及赤糖ノ三種ニシテ黑糖ハ之カ大部ヲ占メ白下及赤糖ノ如キハ極メテ少數ニ過キス尤モ近來九州各産糖地方中白下ノ産地トシテ有名ナルハ宮崎縣ナルニモ係ハラス今回ニ限リ一點ノ出品ヲ見サルハ頗ル遺憾トスル所ニシテ比較的白下出品點數ノ少カリシ所以ナリトス

元來黑糖白下又ハ赤糖ノ如キ初製糖ナルモノハ一旦製品トナセシ以來種々ノ條件ニ據リ容易ニ化學變化ヲ起スヘキ性質ヲ有スルカ故ニ荷造、運搬、陳列器物等總テノ點ニ於テ注意周到ナラサルトキハ此等取扱ノ當否ノミニ因リ原質以外ニ於ケル品位ノ優劣ヲ醸シ延テ審査ノ上ニ重大ノ關係ヲ及ホスヘク此一點ニ至リテハ就中砂糖出品上ノ一要件トシテ深ク注意ヲ要スヘキモノナリトス然リ而シテ今回陳列ノ實況ヲ視ルニ製造以來ノ取扱上其當ヲ得サリシカ爲メ品質ノ上ニ一大變化ヲ來タシタル出品モ往々ニシテ之ナキニアラス殊ニ白下ニ於テ最モ甚(主トシテ水分ノ吸收)シキヲ見シモ之ヲ既往ニ於ケル内國勸業博覽會又ハ共進會等ノ實例ニ比スレハ前陳ノ如キ惡變ヲ醸シタルモノハ割合甚少シ是必竟出品取扱上ノ一進歩トシテ認メ得ヘシ蓋シ將來審査法ノ益、精密ニ進ムニ隨ヒ一層此



種ニ關スル注意ヲ要スヘキナリ

三、審査概要

其一 舊慣審査法ノ改正

從來本邦ニ於テ慣行シ來レル砂糖ノ審査鑑定ハ從前ノ時勢適度ノ方法ニシテ出品優劣ノ斷定ヨリ斯業獎勵ノ期圖上敢テ著シキ不都合ヲ認メス今之ヲ外國ノ例ニ徵スルモ亦甚シキ遜色ナキノミナラス或點ニ於テハ寧ロ進歩シタルモノナキニアラサルナリ元來諸外國ニ於テ一時普ク採用セラレタルモノハ所謂和蘭標準法 (Dutch Standard) ト慣稱スル舊式法ニシテ單ニ色澤ニ基ケル品位ノ階級ヲ二十級ニ分位シタル公定標準糖ヲ以テ現物ニ對照比較シ求ムル所ノ品位等級ヲ定ムヘキ簡易法ニ過キナリシモ舊時ニ在リテハ時勢ノ程度ニ應シ能ク期スル所ノ目的ヲ達シ得タルモノトス然レドモ爾來科學ノ進歩ト共ニ該法ノ極メテ不完全ニシテ正確ナル標準トナスニ足ラサルノミナラス之カ爲メ却テ種々ノ不都合ヲ醸スノ憂ヲ免レサリシカ故ニ近來開明諸外國ニ於ケル普通ノ場合ニハ大抵全ク化學的鑑定ノミニ據ルカ若クハ化學的鑑定ヲ主トナシ和蘭標準式ヲ補施スルコトニ改メ自今益々進歩改良ノ傾向アルヲ見ル之必竟諸外國ニ於ケル砂糖ノ審査鑑定モ亦他ノ事物ト等シク時勢ノ進歩發達ノ程度ニ相伴ハサルヘカラサル必然ノ結果トシテ之ヲ鑑ミルヘキ適例タルヲ信ス然ルヲ獨リ我國ニ於テハ依然從來ノ舊法ノミヲ墨守シ科學進歩ノ今日ニ於テ尙ホ之ヲ襲用スルハ稍穩當ヲ欠クノ嫌ナ

キ能ハサルノミナラス場合ニ據リテハ所期ノ目的ヲ達シ得サル結果ヲ醸スコトナキヲ保セサルカ故ニ今日ニ於テハ之カ改良ヲ爲ササルヘカラサルノ必要ニ迫レリ乃チ豫メ審査長ニ謀リテ之カ適法ヲ審議協定シ遂ニ肉眼鑑定ノ外更ニ左記ノ如ク切要ナル分析鑑定ノ事項ヲモ加ヘ施行スルノ規定ヲ設ケタル所以ナリ蓋シ府縣聯合共進會又ハ內國勸業博覽會ニ於ケル砂糖ノ審査上分析鑑定 (付顯微鏡的調査) ヲ加ヘ實施シタルハ實ニ本會ヲ以テ嚆矢トナス而シテ主催縣ニ於テハ之カ技術ニ必要ナル設備ノ供給ニ務メタルヲ以テ施業ノ功程モ略ホ所期ノ如ク進行スルコトヲ得タリ思フニ右審査法改定實施ノ結果トシテ今回ハ比較的確實ナル成績ヲ擧ケ得タルモノト確信スルカ故ニ此實驗ニ徵シ今後內國勸業博覽會ハ勿論設備ノ許ス限リハ府縣聯合共進會ノ如キ規模稍大ナル出品ノ審査ニハ可成分析鑑定ヲ加ヘ舊式法ノ欠點ヲ補フノ必要ヲ認ム是レ特ニ本回審査法改正ノ事由ヲ述ヘ併テ將來ノ希望ヲ陳フル所以ナリトス

其二 審査例則

各種ノ砂糖ヲ通シ肉眼鑑定、分析鑑定及調査ノ三途ニ分テ現物ノ種別ニ應シテ更ニ必要ノ項目ニ分テリ

第一種 黑砂糖 (初製黑褐色ノ全粒ヲ含ム)

一、肉眼鑑定

砂糖審査報告



左記ノ項目ニ從ヒ別ニ質地ニ就キ例示スル所ノ施術心得ニ準シテ現物ノ鑑定ヲ行ヒ當該附點標準ニ照シ附點ス

第一項 臭味

臭ノ有無、種類又ハ其程度、味ノ濃淡、種類又ハ其程度ノ如何ヲ鑑定ス

第二項 色澤

色澤ノ良否、同不同又ハ其程度ノ如何ヲ鑑定ス

第三項 密濕

密分濕分ノ多少又ハ粘着力ノ強弱及其程度ノ如何ヲ鑑定ス

第四項 結晶

舍利ノ細大又ハ其同不同ノ如何ヲ鑑定ス

第五項 石灰

石灰使用ノ適否又其程度ノ如何ヲ鑑定ス

第六項 火度

仕上ケ火度ノ適否又ハ其程度ノ如何ヲ鑑定ス

第七項 雜物

混入挾雜物ノ種類又ハ其程度ノ如何ヲ鑑定ス

二、分析鑑定(附顯微鏡的鑑定)

第一項 反應

一定ノ濃液ヲ調製シ之ガ反應ノ種別及程度ヲ檢定ス

第二項 比重

適當ノ供試液ヲ調製シ一定ノ溫度ノ下ニ於ケル比重ヲ檢定ス

第三項 右轉糖

法ノ如ク處理シタル供試液ニ就キ回光檢糖鏡式ニ據リテ右轉糖ノ含有全量ヲ檢定ス

第四項 甘蔗糖

法ノ如ク處理シタル供試液ニ就キ回光檢糖鏡式ニ據リテ檢定シ得タル數ト第三項ニ於テ得タル數トニ基キ該法ノ公定式ニ據リ之ヲ算出ス

但場合ニ據リフエリンク氏式其他適當ナル秤量法ニ據リ所要ノ檢定ヲ行フコトアルヘシ

第五項 純度係數

前項比重ニ基ケル糖分ノ算出數ト回光檢糖鏡式ニ於テ得タル糖分ノ檢定數トニ據リ法式ノ如ク之ヲ算出ス



第六項 結晶

顯微鏡ニ據リ品ノ形狀細大若クハ同不同ノ如何ヲ檢査ス

三、調 査

本業ノ狀態、出品者ノ業況等ヲ調査ス

第二種 白下及赤糖

一、肉眼鑑定

第一種糖ノ例則ニ準ス

二、分析鑑定

第一種糖ノ例則ニ準ス

三、調 査

第一種糖ノ例則ニ準ス

但シ白下及赤糖ハ各特別ニ鑑定スルモノトス

第三種 白糖(貳度押貳度半押等ヨリ三盆糖ノ類ヲ包含ス)

一、肉眼鑑定

第一項 臭味

第一種糖ノ例ニ準ス

第二項 色 澤

各當該糖固有ノ色合ニ對スル色澤ノ適否又ハ其同不同等ヲ鑑定ス

第三項 密 濕

各當該糖ニ於ケル密濕ノ適否又ハ其程度ノ如何ヲ鑑定ス

第四項 結 晶

舍利ノ形狀細大又ハ其不同ヲ鑑定ス

二、分析鑑定

第一種糖ノ例則ニ準ス

三、調 査

第一種糖ノ例ニ準ス

備考 白糖ニ對スル例則ヲ規定セシモ此種ノ砂糖ノ出品ナキヲ以テ不用ニ歸セリ

其三 受 賞

前陳ノ方法ニ據リ施行シタル審査ノ結果トシテ出品總數二千百九十六點ノ内賞ニ與リタルモノ百六十四點ヲ得タリ乃チ左表ノ如シ

砂糖審査報告



縣名等級	長崎						福岡						佐賀						熊本						鹿兒						沖繩											
	一	二	三	四	五	六	一	二	三	四	五	六	一	二	三	四	五	六	一	二	三	四	五	六	一	二	三	四	五	六	一	二	三	四	五	六						
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
純島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
本島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
分島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

四、概評

其一 黑糖

今回出品砂糖ノ多數ハ黑糖ニシテ品位及製品整一ノ上ニ於テハ沖繩縣ノ出品ニ及フモノナシ是同縣ニ於テハ近來適當ナル製糖場ノ組織ニ據リ竈ノ改良及汚物除去ノ法ヲ實行スルニ至リタル結果ニシテ就中製品純度ノ一事ニ至リテハ分析鑑定ノ成績ニ徴シ著シキ進歩ノ形跡アルヲ認ム

第二二位スヘキモノハ鹿兒島縣ノ出品ニシテ品位ノ上ニ於テハ往々優等ノモノ尠シトセサルモ大体ニ於テ觀察ヲ下ストキハ甚シク不整一ノ欠點アリ是一ハ同縣ニ於ケル主ナル産糖地ハ大島五ヶ島南

北種子島若クハ櫻島等所々點在ノ離島タルカ故ニ地理學上既ニ同一ノ性格ヲ保ツヘキ要素ヲ欠クカ爲メナルヘシト雖モ製糖組織不整備ノ事實モ亦タ之カ一原因タラスンハアラス故ニ將來事情ノ許ス限リ成ルヘク最寄附近又ハ親屬兄弟等合意ノ區域ニ基キ共同集合ノ製造組織ヲ設クルニ於テハ比較的製品ノ改良ト一様ヲ計リ得ルノミナラス事業ノ規模ヲモ擴張シ得ルニ至ルヘキ乎

又第三二位スヘキハ熊本、大分兩縣ノ出品ニシテ熊本縣ノモノハ概シテ中等品ノ整一ナルモノ大分縣ノモノハ間々比較的良好ナルモノアレトモ總シテ同一ナルヲ免レサルナリ

其二 白下

九州中白下産地トシテ有名ナル宮崎縣ノ出品ナキカ故ニ此種ニ屬スヘキ砂糖ノ點數ハ普通ニ比シ僅少ニ止マリシモ鹿兒島縣下南北種子島ノ如キハ割合多數ノ白下ヲ出セルハ蓋シ近來同島ニ於ケル斯業改良ノ一徵證トシテ見ルニ足ルヘシ然レトモ製品ノ良好ナルモノ割合ニ少キハ遺憾トスル所ニシテ想フニ石灰ノ使用糖汁ノ清澄及仕上ケ火度ノ點ニ於テ未タ熟達ノ域ニ進マサルノ結果タルヘキ乎又大分、長崎ノ出品ノ如キハ甲乙不同甚シキヲ免レスト雖モ品位ノ上ニ於テハ比較的良好ニ就中長崎縣ノモノヲ以テ優等トナススルニ九州ニ於ケル白下製造事業ハ將來屬望ノ一要件ナルニモ係ラス目下尙幼稚ノ域ヲ脱セサルナリ

其三 赤糖

砂糖實査報告



赤糖ト認ムヘキ種類ノ砂糖ハ鹿兒島、沖繩、大分、福岡ノ諸縣共何レモ若干ノ出品ナキニアラサル  
 モ中ニ就キ福岡ノ出品ニ係ルモノハ最優等ニシテ特ニ結晶及色澤ノ點ニ於テ良好ナリトス元來此種  
 ニ屬スヘキ砂糖ハ黑糖ニ比シ色澤結晶良好ニシテ汚物少キカ故ニ直接消費品トシテハ比較的上品ニ  
 又白下ニ比スレハ密濕少ク隨テ又變質ノ傾少キカ上ニ商品トシテノ取扱便ナルカ故ニ需用ノ目途モ  
 亦將來大ニ區域ヲ擴ムルニ至ルノ望ミアリ然レトモ各縣共該品製造ノ技術尙ホ初歩ノ程度ニ止マル  
 ノミナラス其產出額モ甚々僅少ニ過キサルカ故ニ未タ廣ク世上ノ注意ヲ引クニ足ラサルナリ

職物審査復命書

茲ニ第十回九州沖繩八縣聯合共進會出品職物審査御用ヲ以テ鹿兒島縣へ出張セシカ這度別紙報告書脫  
 稿ニ付謹テ之ヲ閣下ニ呈ス請フ幸ニ瀏覽ノ榮ヲ賜ハラント

明治三十二年七月

會福農商務大臣閣下

農商務技師

山口

務

職物審査報告目次

- 第一章 概況
- 第二章 長崎縣
- 第三章 鹿兒島縣
- 第四章 熊本縣

- 第五章 佐賀縣
- 第六章 福岡縣
- 第七章 大分縣
- 第八章 沖繩縣
- 第九章 褒賞

職物審査報告

第一章

概況

第十回九州沖繩八縣聯合共進會ハ明治三十二年二月十日ヨリ同年三月廿一日ニ至ル四十日間鹿兒島縣、  
 鹿兒島市ニ於テ開設セラレタリ、本會ニ於ケル出品ノ種類ハ米、大豆、繭、生絲、紅茶、綠茶、砂糖、  
 木蠟、製造煙草、絹織物、綿織物及雜織物、花苳、紙、椎茸、陶磁器、錫、乾鮑、鱈、鯉節ニシテ  
 之ヲ十九區ニ別テリ而シテ其第十區ハ絹織物、第十一區ハ綿織物及雜織物ナリキ  
 職物類ハ宮崎ヲ除クノ外出品セサルノ縣ナク其點數ハ第十區一千二百二十六點(此人員五百〇一名)第十  
 一區二千六百六十八點(此人員一千〇四十七名)合計三千七百九十四點(此人員一千五百四十八名)ニシ  
 テ前回ニ比較スレハ一千二百七十一點ノ減少(人員ニ於テハ九十名減)ヲ見タリ是レ蓋シ開設地ノ邊陲  
 ナルノ致ストコロカ若クハ他ニ原因アリテ存セシカ得テ知ルヘカラサルナリ然レトモ前回ヲ除キテハ  
 既往數回ノ狀況ニ比シテ常ニ増加ノ傾向ニ居ルコト左表ニ依テ明カナリ

職物審査報告



自第一回 九州沖繩八縣聯合共進會織物出品一覽表  
至第十回

回次	開設年	長崎縣	鹿島縣	熊本縣	佐賀縣	福岡縣	大分縣	宮崎縣	沖繩縣	通計
第一回	明治十五年	1	1	1	1	1	1	1	1	10
第二回	明治十六年	1	1	1	1	1	1	1	1	10
第三回	明治十七年	1	1	1	1	1	1	1	1	10
第四回	明治十八年	1	1	1	1	1	1	1	1	10
第五回	明治十九年	1	1	1	1	1	1	1	1	10
第六回	明治二十年	1	1	1	1	1	1	1	1	10
第七回	明治二十一年	1	1	1	1	1	1	1	1	10
第八回	明治二十二年	1	1	1	1	1	1	1	1	10
第九回	明治二十三年	1	1	1	1	1	1	1	1	10
第十回	明治二十四年	1	1	1	1	1	1	1	1	10

夫レ此クノ如ク織物類ノ出品點數ハ前回ニ比スレハ多少ノ減少ヲ來タシタルニ相違ナケレトモ尙本會ニ於ケル出品總點數ノ一割二分餘ヲ占有セリ此ニ依リテ察スレハ如何ニ本品ハ聯合各縣ノ重視スル處タルヤ知ルヘシ

茲ニ出品全体ニ就テ概評スレハ第十區出品ノ主モノナルモノハ長崎縣ノ傘地絹、鹿兒島縣ノ大島紬、熊

本縣ノ一樂織、福岡縣ノ博多織等ニシテ其工作未タ往々ニシテ完備ヲ缺クモノナキニアラサントモ或ハ染色ノ改善ニ勉メ或ハ意匠ノ講究ニ勵ミ致々トシテ業勢ノ進運ヲ期圖スルノ蹟歴々徴スヘキモノアリ又第十一區出品ノ主モノナルモノハ熊本縣ノ肥後緋、沖繩縣ノ琉球緋、紺上布、白上布、芭蕉布、鹿島縣ノ薩摩緋、福岡縣ノ久留米緋、久留米縞、長崎、佐賀、大分三縣ノ縞木綿等ニシテ超然群ヲ拔クノ佳品ニ乏シト雖トモ又粗濫ノ甚シキモノヲ觀ス但緋木綿ノ一種ヲ除キテハ其他處向タルト地捌用タルトヲ論セス概シテ柄行ノ精巧ナルモノナキハ販路ノ狀態ヲトスルニ足ルモノアラシク若夫レ聯合各縣出品ニ關スル細評ハ請フ逐次之ヲ述ヘン

第二章

長崎縣

本縣ノ出品點數ハ第十區六十九點(此人員二十五名)第十一區九十六點(此人員六十三名)合計百六十五點(此人員八十八名)ニシテ之ヲ前回ニ對照スレハ四百四十點ノ減少(人員ニ於テハ二百七十五名減)ヲ見ル

出品中ノ主ナル種類ハ白羽二重、白縮緬、博多織帶地及袴地、傘地絹、糸織、斜子、生絹(以上第十區)白木綿、双子縞其他縞木綿(以上第十一區)等ナリ

元來本縣ハ著名ナル機業地ニアラス其製産力又未タ巨大ナルニ至ラス然ルニ前回ニ於テハ主權縣タリシ故ニヤ出品極メテ多數ナリシノミナラス一等賞ノ月桂冠ハ偶々本縣ニ落タタリシカハ爾來本縣ハ深



ク世間ノ、否、聯合各縣ノ注目スル所トナリタルモノ、如シ  
願フニ本縣ヲシテ這般ノ光榮ヲ荷ハシメタルハ第十區ノ、否、本縣出品織物ノ主腦トモ云フヘキ傘地絹  
アリシヲ以テナリ蓋シ本品ハ輒近興起シタル物産ナルニモカ、ハラス今ヤ長崎傘地ノ名聲稍高ク其價  
格ノ割合ニ低廉ナル處其品質ノ何處トナク堅實ラシキ處、本場ノ甲州スヲ將來ノ剛敵トシテ畏ル、ノ  
有様アリキ

然ルニ今回ノ出品タル存外不出來ニシテ指摘スヘキノ缺點極メテ多々ナルハ實ニ失望ノ感ナクハアラ  
ス先ツ原糸ニ就テ評スレハ撰別ノ不充分ナルト撚方ノ不完全ナルヨリ間々「すじ」ヲ見ハシタルモノア  
リシ次ニ染色ハ各戸區々ナル染方ヲ施セシ故カ色合一定セサルノミナラス毫モ「すき」ノ見ルヘキモノ  
ナキハ甚タ面白カラス又組織ハ徒ラニ硬キニ失シ輒モスレハ折切レル虞アルコト「ちゝみ」ヲ來スノ傾  
キアルコト及ヒ本然ノ趣味ヲ缺クコト等甚タ惜ムヘシ其他光澤ニ乏シキカ如キ一度塵埃ヲ受レハ容易  
ニ脱除セサルカ如キ油臭紛々鼻ヲ衝クモノアルカ如キ「梅雨ノ季節ナトニハ」カビ」ノ虞アラシク今一段  
ノ工風ヲ要スル處トス前回ノ審査報告ニ云ク「傘地絹ハ北高來郡及西彼杵郡ノ出品ニ係リ概シテ佳良  
ナルモノ多シ和田半ノ出品ノ如キ染色佳良組織亦整正ナリ尙ホ進ンテ経緯共精美ナル細糸ヲ用ヒ經糸  
ノ數ヲ増サハ趣味ヲ加フルコト一層ニシテ完璧タルヲ得ン」ト彼此對照シ來レハ殆ント異様ノ觀ニ堪  
ヘサル次第ナリ

夫レ傘地絹ノ製織タル何人モ困難トスル處ニシテ一度其業ヲ創ムルモ目的ヲ達セスシテ已ムモノ比々  
皆是ナリ而ルニ創業日尙淺キ本縣ノ出品ニ向テ彼此小言ノミ並フルハ少シク過酷ナルヤモ知ラサレト  
モ畢竟多クノ望ヲ本品ニ屬シ切ニ其改良進歩ヲ欲スルカ故ノミ當業者諸氏ハ屈セス機マス銳意熱心本  
品ヲ大成シ往々々々ハ外國輸出品トモ爲サン覺悟ヲ以テ勇往敢進セラレンコト最モ希望シテ已マサル  
所ナリ五二會長崎織物業諫早同盟會及ヒ武富與六、宇都宮辰太郎、澤村やす、早田廉等諸氏ノ出品ハ  
其主モナルモノナリシ

島原織物合資會社出品ノ白羽二重ハ其組織ニ精練ニ平生ノ苦辛ヲ推想スルニ足ル殊ニ原糸ノ撰擇ニ注  
意スルノ淺カラサルヲ信ス白縮緬ハ「しぼ」ノ具合ナド可ナリノ出來ナリシカ光澤ニ乏シキト精練ノ思  
ハシカラサルハ遺憾ナリ楠田甚助氏ノ出品稍佳也

打出琥珀女帶地ハ本縣ノ出品トシテ一寸目新シキ迄ニテ別段稱揚スヘキ程ノモノニアラス蓋シ模様打  
出ノ操作ハ京都ニテ施行シタルモノカ

糸織、斜子、博多織帶地及袴地、生結等ハ見ルニ足ルヘキ程ノ出品ナカリシ  
傘地絹ニ次テ重要ナルハ第十一區中諫早地方ノ製産ナル白柄物縞木綿ニシテ組織、縞柄共ニ難ナク一  
寸小奇麗ナル出來ナレモ原糸ノ晒白不充分ナルヲ以テ兎角引立サル憾ミナキニアラス當業者諸氏ニシ  
テ今少シク奮發セラル、ニ於テハ蓋シ効果ノ見ルヘキモノアラン其他ノ縞木綿ニ至テハ特ニ評スルニ

織物審査報告



足ルヘキモノナカリキ

又第十一區中手嶋榮次氏ノ出品ニ係ル白木綿ハ大巾物ト小巾物トアリテ先ツ可ナリノ出來ト謂フモ差支ナカルヘシ只綿質ノ「加す」ヲ混スルヲ免レナルハ惜ムベシ

第三章

鹿兒嶋縣

本縣ハ主催地丈ケアリテ出品點數意外ニ多カリキ即チ第十區五百五十九點(此人員三百四名)第十一區三百三十四點(此人員二百六十一名)合計八百九十三點(此人員五百六十五名)ニシテ之ヲ前回ニ比較スレハ五百四十六點ヲ增加(人員ニ於テハ三百五十六名増)セリ

第十區出品ノ主モナルモノハ大島紬ニシテ其點數四百二十五點アリ他ハ斜子、一樂、縮緬、糸織、羽二重、博多織帶地及袴地、壁上布等ニシテ其點數一百三十四點ナリキ

大島紬ハ本縣ノ特産ニシテ古來大島郡ニ於テノミ製織セシガ晚近鹿兒嶋市ニ於テモ亦之ヲ織出シ其業漸ク隆盛ナラントスルノ狀況アリ蓋シ大ニ本品ノ需用ヲ増加シタルノ結果ニシテ而シテ其ノ世ニ嗜好セラル、ハ趣味、色合、柄行等ニ一種ノ特性アルニ因ルナリ今大島産ト鹿兒嶋産トヲ比較スルニ前者ハ其原糸手紡ニ係ルヲ以テ何處トナク雅致アレトモ後者ハ器械紡ナルヲ以テ平滑ニシテ品位ニ乏シキノ嫌アリ前者ハ古來鐵木染ナルヲ以テ其色合ニ妙味アレトモ後者ハ丹柄染ナルヲ以テ兎角黒ズミ易クシテ肉ナキノ傾アリ柄行ハ兩者共甚シキ差異ナク四ツ目、十字、米ノ字、ヒツカケ、龜甲、猫足、井

ケタ箱崩、齋形、角椿、アミ形、キ字、錢形、等其主モナルモノニシテ別ニ新案ト認ムヘキ程ノモノナシ只以前ハ六十玉許ノモノ精々ノ手際ナリシカ今日ニ於テハ八十玉以上ノモノサヘ出品セラル、ニ至リタルハ一段ノ進歩トヤ謂ハン歟願フニ本品ハ曾テ贅澤物トノミ見做サレシカ今ハ上流社會ノ常用品トシテ愛好セラル、ノ趨勢アリテ所謂名物ノ境域ヲ脱シテ將ニ物産トナラントスルノ時機ニ到着シタルモノナレハ方針ノ立テ方ニ依リテハ隨分面白キ仕事トナルヘシ就テハ此際習テ粗製濫造ノ邪徑ニ蹈入ルコトヲ避ケ益々本然ノ特性ヲ發揮シテ江湖ノ信用ヲ博スルヲ勉メサルヘカラス彼ノ絢糸ニ玉糸等ヲ使用シテ特性ヲ損スルモノ、如キハ荷モ爲スハキノ業ニアラサルヘシ人或ハ價值ノ高貴ナルヲ難スルモノアレトモ是レ供給少ナクシテ需用多キヨリ起リタル自然ノ現象ニシテ徒ラニ製造家ヲ責ムヘカラス只此ニ注意ヲ要スルコトハ製造家タルモノハ何時々々マテモ今日ノ如キ潤澤ナル利益ヲ占收スルヲ得スシテ供給ノ充實スルト同時利益ノ漸ク減却スルニ至ランコト是也況ンヤ某機業地ノ如キハ其收益ノ多大ナルヲ見テ模擬品ヲ製出セントスルノ計畫アルニ於テオヤ又特ニ一言シ置キタキコトハ鹿兒嶋産ノ如ク原料已ニ手紡糸ヲ要セス鐵木染料漸ク缺乏スルアラハ大島ニ於ケル本業ハ將ニ如何シテ他製品ト競争シ而シテ發達永續セントスルカ同地當業者諸氏ノ大ニ講究スヘキ問題タラスンハアラサルナリ淵上武右衛門、丸田兼義、坂本敏、佐多アグリ、玉理安次郎、藤井常益、平江前吉、山下惣右衛門等諸氏ノ出品ハ實ニ本類中ノ佳品ナリシナリ



大島紬以外ノ絹織物ハ多クハ御織物所ノ遺業ニシテ沿革中々舊久ナルモノナルニ割合ニ是レソト申ス  
ヘキ伎倆ノ見ルヘキモノナキハ甚惜ムヘシ宮本卯吉、永野勇助二氏ノ袴地有馬純輝氏ノ縮緬ノ如キ稍  
佳品ト爲スニ足ルモ其他ニ至リテハ自家用品トシテハイサ知ラス商賣品トシテハ殆ント一顧ヲ値スル  
モノナシトイフモ誣言ニアラサルヘキ歟蓋シ此等諸品ニ在リテハ自家ノ意匠考案ヲ以テ製産スルニア  
ラスシテ多クハ顧客ノ注文ニ應シテ(場合ニ依リテハ顧客ノ自製糸等ヲ使用シテ)織出スモノナレハ不  
知不識操業ノ注意深カラサルノミナラス器具機械ノ如キモ舊式ニ甘ンシ改良ヲ加ヘサルノ致ス所ナル  
ヘシ

第十一區出品ノ主モノナルモノハ絹木綿ニシテ其點數二百〇三點アリ餘ハ双子縞其他ノ縞木綿、綿フ  
ランテル、絹綿交織、小倉織等ニシテ其點數一百三十一點ナリキ

絹木綿ハ明治七年以來士族授産ノ目的ヲ以テ本縣カ銳意奨勵セラル、處ニシテ今日ニ於テハ授産場ノ  
ミニテモ一萬反許ノ産出アルニ至レリト云フ蓋シ將來トモ好望アル産業ニシテ益々之ヲ擴張普及セサ  
ルヘカナルモノナリ而シテ其品質ニ至リテハ特ニ改良ヲ要スルモノアリ其ハ後段ニ於テ續述セントス  
絹木綿以外ノ綿織物ハ概ネ粗品ニシテ高價ナルヲ以テ商品タルノ性格ヲ具備スルモノト爲スヘカラス  
僅カニ加治木地方ヨリ出品シタル双子縞類ハ品質多クハ佳良ナレトモ其價值ノ比較的高貴ナルハ要ス  
ルニ缺點タルヲ免レス

第四章

熊本縣

本縣ノ出品點數ハ第十區百五十一點(此人員五十三名)第十一區百六十九點(此人員三十一名)合計三百  
二十點(此人員八十四名)ニシテ前回ニ比較シテ三百十五點ノ減少(人員ニ於テハ二十七名増)ナリキ  
第十區出品ノ細目ヲ舉レハ白一樂、縞一樂、壁風通、斜紋織、浮糸織、縞、斜子、羽二重、甲斐絹、  
大島紬等數種ニ亘レトモ最モ注目スヘキハ一樂、風通等ノ着尺地、白斜子、甲斐絹ノ三者ナリトス  
願フニ本縣カ一樂、風通等ノ着尺地ニ留意スルヤ一朝一夕ノ事ニアラス夙ニ熊本織物協會ヲ組織シテ  
斯業上ノ機關トシ或ハ視察員ヲ派遣シ或ハ専門家ヲ招聘シ拮据經營實ニ想察スヘキモノアリ試ニ之ヲ  
今回ノ出品ニ徴スルニ其苦辛終ニ空シカラスシテ組織ト云ヒ意匠ト云ヒ染色ト云ヒ概シテ間然スル處  
ナカリキ若シ強テ其缺點ヲ求レハ蓋シ趣味ノ稍硬ニシテ何處トナク面白カラサルコト是也蓋シ或ハ原  
糸ノ然ラシムル處歟或ハ手腕ノ未タ神髓ヲ會得セサルモノアル歟將タ或ハ前回ノ出品ノ「趣味軟ニ過  
クルモノ往々ニシテ之アリ」ト批評セラレタル爲メ歟兎ニ角當業者諸氏ノ研究ヲ要スルモノナルヘシ  
夫レ本縣ノ着尺地ニ於ケル夙トニ世人ノ注目スル處ニシテ第四回内國勸業博覽會審査報告ニモ  
熊本縣ノ出品ハ其産額未ダ多大ナラサレトモ前回以來漸ク世人ノ注目ヲ惹キタルモノ、如シ蓋シ同  
縣ノ本品ニ於ル事業未ダ久シカラサルヲ以テ他ノ老機業地産ノ如ク特得ノ風樣ト趣味トニ缺ク處ア  
ルノミナラス縞樣ト謂ヒ配色ト謂ヒ單ニ着實穩當ナリト云フニ過キサレドモ暗ニ八王子物ノ風樣ヲ



摸シテ漸ク其境ニ臻ラントスルカ原絲ノ撰擇、染方、練方杯苦心ノ程察スルニ餘アリ惟フニ九州ノ地固ト機業ニ名アラヌ殊ニ絹織物ニ於テ然リトス而シテ其稍顯ハル、モノ特リ福岡縣アルノミナシトモ此トテモ着尺地杯ノ産出極メテ少額ナレハ今後若シ着尺物ヲ以テ起ルモノアラハ夫レ實ニ熊本縣ナル歟本縣機業者タルモノ豈奮勵一番スルナクシテ可ナランヤ

ト評シニキ今ヤ本縣機業ノ状態又昔日ノ比ニアラスト雖製額未タ甚タ大ナラサルコト及ヒ家族的工業ノ範圍内ニアルコトハ尙免レサル處ニシテ更ニ一段ノ奮發ヲ希望セサルヘカラサルモイアリ若シ夫レ單ニ聯合各縣ニ見テ技術上ノ進連ヲ察スルトキハ先ツ指ヲ本縣ニ屈スルノ至當ナルヲ信セスンハアラサルナリ就中嘉稱スヘキモノヲ河田精一、積政士、橋本秀實、河瀬典次、牧野巳之介、植村新、白畑丞つ、古藤かじ等諸氏ノ出品トナス

斜子ハ其出品極メテ少ナカリシノミナラス特ニ群ヲ抜クノ佳品ヲ見ルヲ得サリシハ遺憾千萬ナリキ甲斐絹ハ随分舊久ノ事業ニシテ熊本市向榮社ノ如キ大ニ苦辛經營シタル處ナレトモ未タ本場ノ特性ヲ了得スルノ機運ニ達セサルノミナラス今回ノ出品ニ徴スレハ寧ろ退歩セサルカラ疑フモノアルニ至テハ私カニ斯業ノ爲メニ惜マサルヘカラス

第十一區出品ノ主ナルモノハ縞木綿、紺木綿、紺木綿ノ三種ナリキ而シテ縞木綿ハ丈夫一式ナル田舎向ノ柄多ク殆ント屬目スルニ足ルヘキ品ナシ紺木綿ハ組織實質ニシテ價格低廉ナレトモ染色暗曇トシ

テ光澤ナク試ニ布端ヲ濕シテ紙上ニ摩擦スレハ汚暗紫色ヲ呈スルヲ見ル蓋シ一種ノ掛紺ナランカ這般ノ掛紺タル染色堅牢ナルヲ以テ強チニ咎ムヘキニアラサレトモ今少シク手際克ク施行シ其眞價ヲ發揚スルニ勉ムヘシ縞木綿ニ關シテハ別ニ後段ニ於テ批評スル所アラントス

第五章

佐賀縣

本縣ノ出品點數ハ第十區六十點(此人員二十四名)第十一區三百五十六點(此人員九十五名)合計四百十六點(此人員百十九名)ニシテ前回ニ比較スレハ五十五點ノ増加(人員ニ於テハ三名減)ナリキ

第十區出品ノ狀況ハ鹿兒島縣ノ同區ニ似テ否寧ロ一層甚シク錯綜雜駁ヲ極メタリキ曰ク白羽二重曰ク白斜子曰ク白一樂曰ク風通織曰ク博多曰ク縞絹曰ク黄八丈曰ク御召縮緬曰ク白浮織曰ク紡織絹織曰ク絹上布曰ク生紹曰ク何曰ク何ト蓋シ幼稚ナル機業地ノ常觀ニシテ深ク怪ムニ足ラサレトモ厚生舎ノ出品ヲ除キテハ一個嚙目スヘキノ佳品ニ接セザリシコト亦鹿兒島縣ヨリモ甚シトナス聞ク本縣佐賀市ノ如キハ授産ノ目的ヲ以テ夙トニ機業ヲ興起シ獎勵鼓舞スルモノ多シト而シテ今回ノ出品ハ實ニ此ノ如シ遺憾千萬ナル次第ナリ

第十一區ハ第十區ニ比スレハ兎ニ角纏マリタル出品ニシテ双子縞其他ノ縞木綿ヲ最トシ又多少ノ絹織交織アリ柄行固ヨリ斬新ナラス岡色未タ完全ナラサルノミナラス種類甚タ豊カナラサレトモ組織先ツ難辯ナク藍染ニ嘘偽ナク直段ノ相當ナルハ追々發達ノ見込アル品ト謂フヘシ厚生舎ノ出品ニ係ル綿織